令和5年度

大野地区地域課題解決検討支援事業

実績報告書

令和６年２月

大野地区地域課題解決検討会

～ 目 次 ～

【はじめに－業務概要】

（１）業務の目的 …… １
（２）業務の位置付け …… １
（３）業務内容と実績報告書の構成 …… ２

【第１部－令和５年度 中学生以上全住民アンケート調査】

（１）中学生以上全住民アンケート調査 …… ３
１）調査概要
２）調査結果（単純集計）
３）調査結果（属性別集計）
４）調査結果のまとめ
参考資料１：中学生以上全住民アンケート調査票
参考資料２：調査周知チラシ
参考資料３：地域地区別座談会用説明資料のイメージ（第６地区を事例に）

【第２部－住民等参加推進の支援】

（１）記念講演・パネルディスカッション ……１７９
１）趣旨・目的
２）開催概要
３）プログラムの検討過程
４）成果と課題
参考資料１：参加者アンケート結果
参考資料２：取組報告資料
参考資料３：会場内掲示物

【第３部－プロジェクトチーム会議の運営支援】

（１）プロジェクトチーム……１９９
１）趣旨・目的
２）メンバー構成
３）開催概要
４）成果と課題
参考資料１：会議資料
参考資料２：ニュースレター

【第４部－行政区再編モデル事業の支援】

（１）行政区再編の基本方針（案）……２０９
１）基本方針の目的と役割
２）行政区再編の目的
３）行政区再編の目標
４）行政区再編の基本方針
５）行政区再編の標準の検討
（２）行政区再編の推進に関する分析……２１４
１）再編に関する取り組み状況
２）再編意向状況（令和４年度調査結果の分析）
３）再編等に関する他都市の事例
（３）再編以外の共同化・合理化……２２１
１）大野地区における共同化の状況（令和４年度調査結果の分析）
２）デジタル技術の導入による合理化

資料編

（１）令和５年度大野地区地域課題解決検討会役員名簿
（２）大野地区地域課題解決検討会会則

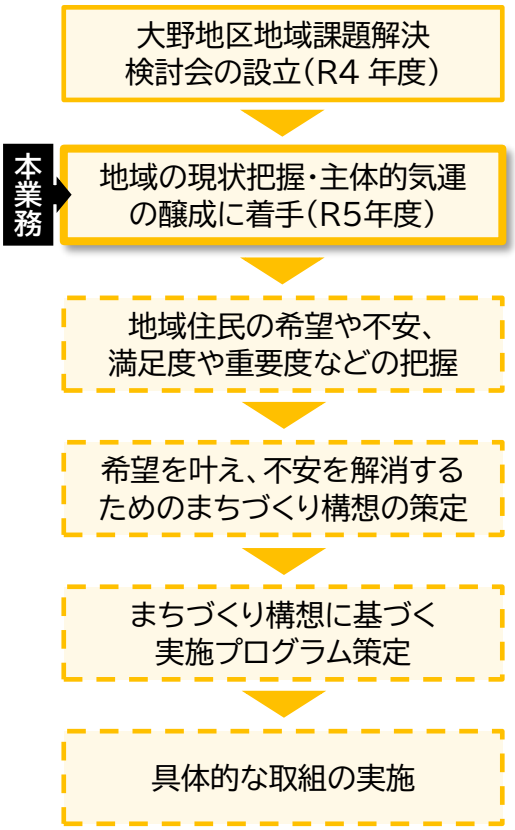
【はじめに－業務概要】

（１）業務の目的

・大野地区地域課題解決検討会では、大野市大野地区における地域課題の解決に向けて、地域課題を把握し、その解決に資する大野地区まちづくり構想を近年中に策定する予定です。
本業務の目的は、大野地区まちづくり構想の策定に必要な事項の検討及び合意形成に係る事項の支援を行うことです。

（２）業務の位置付け

・本業務は、大野地区まちづくり構想の策定に向け、地区住民全体が共感できるまちづくり構想を策定するための基礎資料となる住民意向の把握および地域課題解決への住民の主体的な気運の醸成の開始の取組です。
・地域の将来像に対する想いや現状に対する満足度・重要度、日常の困り事や不安などについて大野地区の住民の意向を把握するため、中学生以上の全住民を対象にアンケート調査を実施しました。
・調査内容の検討に当たり、大野地区課題解決検討会プロジェクトチームや理事会で議論を重ねるとともに、調査実施に際して大野地区区長会と連携・協力しました。
・地域課題解決への主体的な機運醸成のため、プロジェクトチームの主体的な参画のもと、大野地区まちづくり推進協議会 50 周年事業と連携し、記念講演・パネルディスカッションの企画検討、運営に取り組みました。
・次年度以降は、本業務の成果の周知、共有を図るとともに、これから取り組むべき大野地区のまちづくりの課題や今後のまちづくりの方向性について地域住民と話し合い、まちづくり構想・実施プログラムの策定へと推し進め、具体的な取組を実施していきます。



■図　大野地区課題解決検討の取組における本業務の位置付け

（３）業務内容と実績報告書の構成

・本業務の内容と本実績報告書の構成との関係は、以下に示す通りです。

■表　本業務の内容と本実績報告書の構成との関係

本業務の内容（業務委託仕様書）		本実績報告書の構成
(1) 中学生以上全住民アンケートの支援 より多くの住民が共感できる将来像や対応すべき課題の共有を図るため、地区の住民一人ひとりが地域の現状や課題、目指すべき将来像について、どのような考えを持ち、共有・共感できる部分がどのようなことなのかを明らかにするため、中学生以上の全住民を対象とした意識調査の実施について、調査事項の提案、調査結果の集計、分析、作図等の支援を行う。	調査結果を取りまとめ	【第１部－令和5年度 中学生以上全住民アンケート調査】 (1)中学生以上全住民アンケート調査 1)調査概要 2)調査結果(単純集計) 3)調査結果(属性別集計) 4)調査結果のまとめ
(2) 住民等参加推進の支援 本地区内の住民等の参加を推進するために発注者が行うフォーラム等の開催について、効果的な開催方法の提案、周知物原案の提示、開催支援を行う。	記念講演の講師、企画検討等の支援の内容を取りまとめ	【第2部－住民等参加推進の支援】 (1)記念講演・パネルディスカッション 1)趣旨・目的 2)開催概要 3)成果と課題
(3) 行政区再編モデル事業の支援 本地区内の行政区が円滑に再編の協議を行うために発注者が行う行政区再編モデル事業の実施について、再編に係る手法や手順等、事業の進め方や計画素案作成等の支援を行う。	行政区再編基本方針(案)を作成、モデル事業候補地区基礎資料の作成	【第3部－プロジェクトチーム会議の運営支援】 (1)プロジェクトチーム 1)趣旨・目的 2)メンバー構成 3)開催概要 4)成果と課題
(4) プロジェクトチーム会議の運営支援 発注者が開催するプロジェクトチーム会議について、会議の協議内容の助言や資料作成など、会議の企画・運営の支援を行うこと。	協議、活動の支援の内容を取りまとめ	【第4部－行政区再編モデル事業の支援】 (1)行政区再編の基本方針(案) (2)行政区再編の推進に関する分析 (3)再編以外の共同化・合理化
(5) 報告書の作成 受注者は、本業務の成果を取りまとめ、中間報告書及び報告書（図面３種類程度を含む。）並びにそれぞれの概要版を作成し、広く公開するために電子データ及び印刷製本物を提出すること。ただし、本地区内に広く配布するための印刷製本については、発注者が別に行う。	12 月にアンケートの中間報告書を取りまとめ、基調講演会場掲示用図面を作成、本報告書及び概要版を取りまとめ	資料編 (1)令和5年度大野地区地域課題解決検討会役員名簿 (2)大野地区地域課題解決検討会会則
(6) その他の事項 発注者が開催する会議及び打ち合わせ等について、求めに応じて出席し、必要な記録、助言、報告等の業務を行う。	役員会・理事会・プロジェクトチーム会議に随時出席し、記録、助言、報告等を実施	

【第１部－令和５年度　中学生以上全住民アンケート調査】

（１）中学生以上全住民アンケート調査

１）調査概要

① 調査期間

・令和５年９月初旬から９月末までの約１ヶ月の期間に調査を実施しました。

② 調査方法

・下記の調査票を調査対象となる住民（中学生１年生以上）に配布しました。配布・回収は各行政区の区長様、役員様にご協力いただきました。併せて、インターネットでも回答できるようにアンケート回答用のＷＥＢページを設置しました。

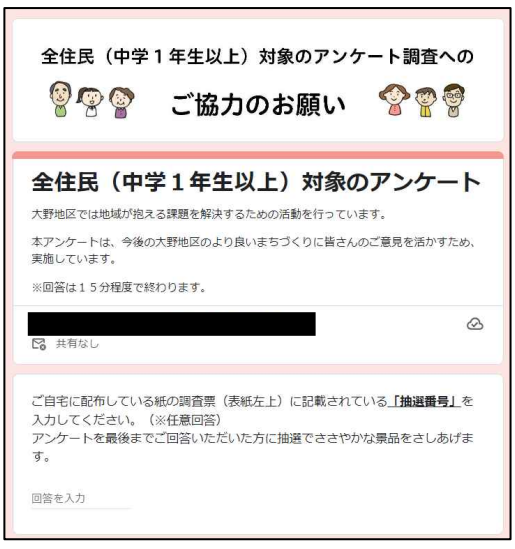
紙面版

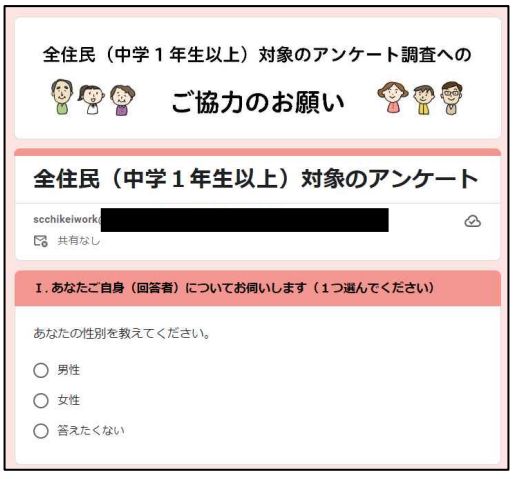






ＷＥＢ版





③ 調査の周知・説明

- アンケート調査の回答率を向上させるために、地区単位での説明会や学校へのチラシの配布、館報での周知等を行いました。

	実施概要
地区	下記の日程で説明会を実施しました。 第１地区：南部集会所（８/17） 第２地区：結とぴあ（８/12） 第３地区：駅東集会所（８/９） 第４地区：学びの里「めいりん」（８/１） 第５地区：学びの里「めいりん」（７/26）、 第６地区：石灯篭会館（８/23）
学生の方	中学生：２学期の始業式に開成中学校を通じて案内文を配布。
一般の方	チラシ（P.111～112 参考資料２）の配布や館報での周知。

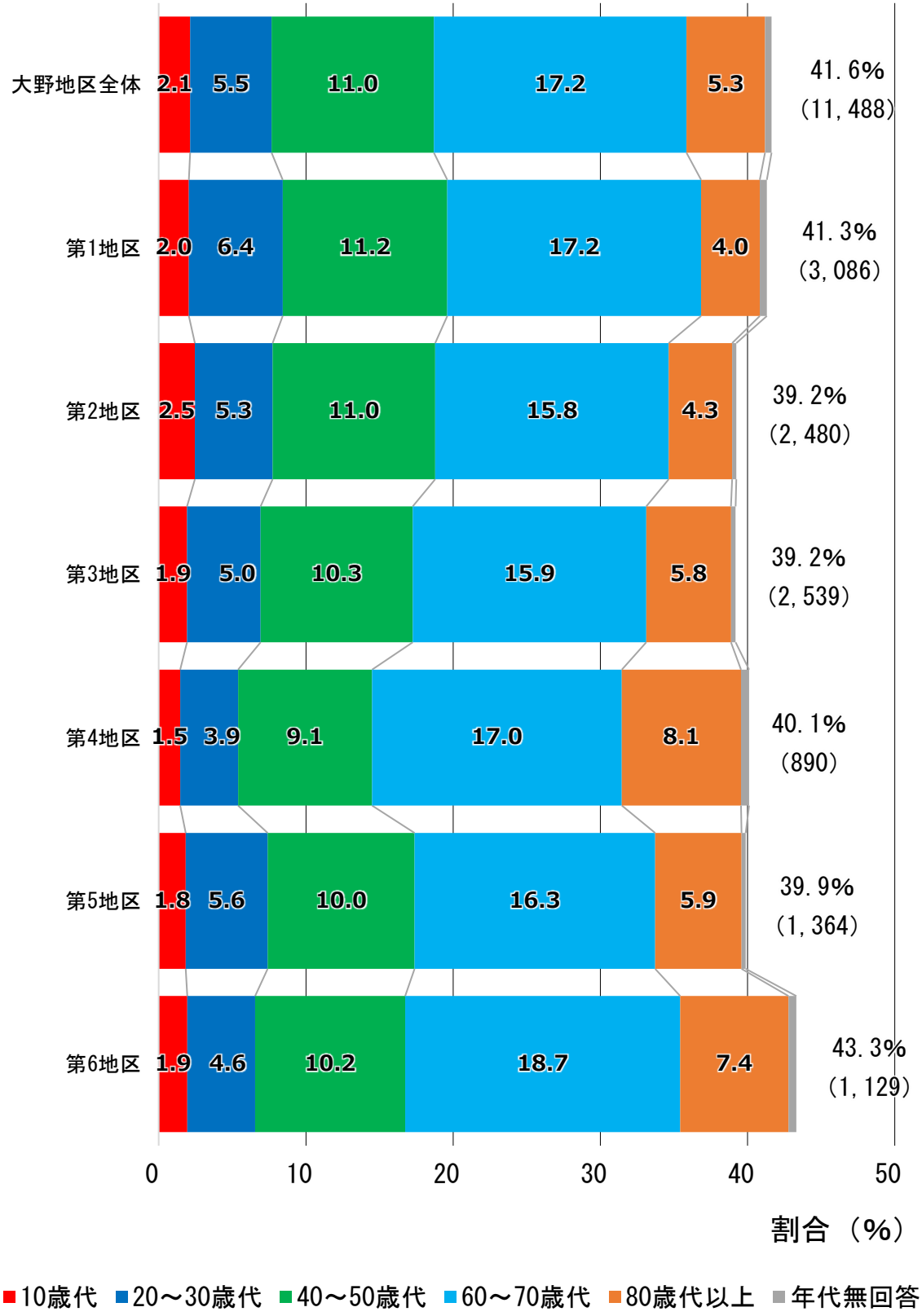
④ 回収結果

- 大野地区全体の配布数に対する回収率は、41.6%となりました。（下表。回収率の年代ごとの内訳は次頁のとおりです。）

地域地区	配布数（件）	回収数（件）	回収率（%）
第１地区	3,086	1,275	41.3%
第２地区	2,480	973	39.2%
第３地区	2,539	995	39.2%
第４地区	890	357	40.1%
第５地区	1,364	544	39.9%
第６地区	1,129	489	43.3%
大野地区全体	11,488	4,782 (※)	41.6%

（※）地区不明の回収数を合算しています。（149 件）

大野地区全体並びに第１地区～第６地区の
地区別の回収率及び年代別の内訳



２）調査結果（単純集計）

質問１．　ご自身について

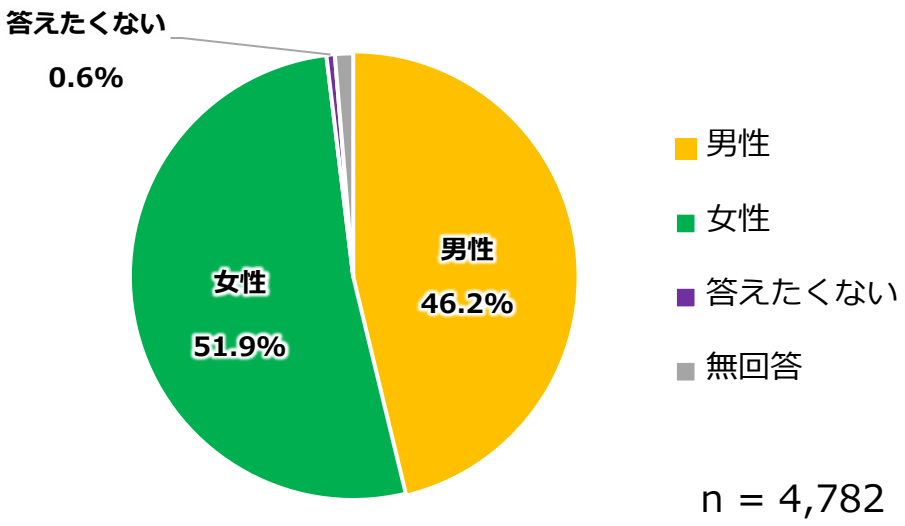
＜ 1-1.　回答者の性別の内訳 ＞

・大野地区全体で回答者のうち、女性が 2,480 件（51.9%）であり、男性の 2,210 件よりも 270 件多い結果となりました。無回答は 63 件（1.3%）ありました。

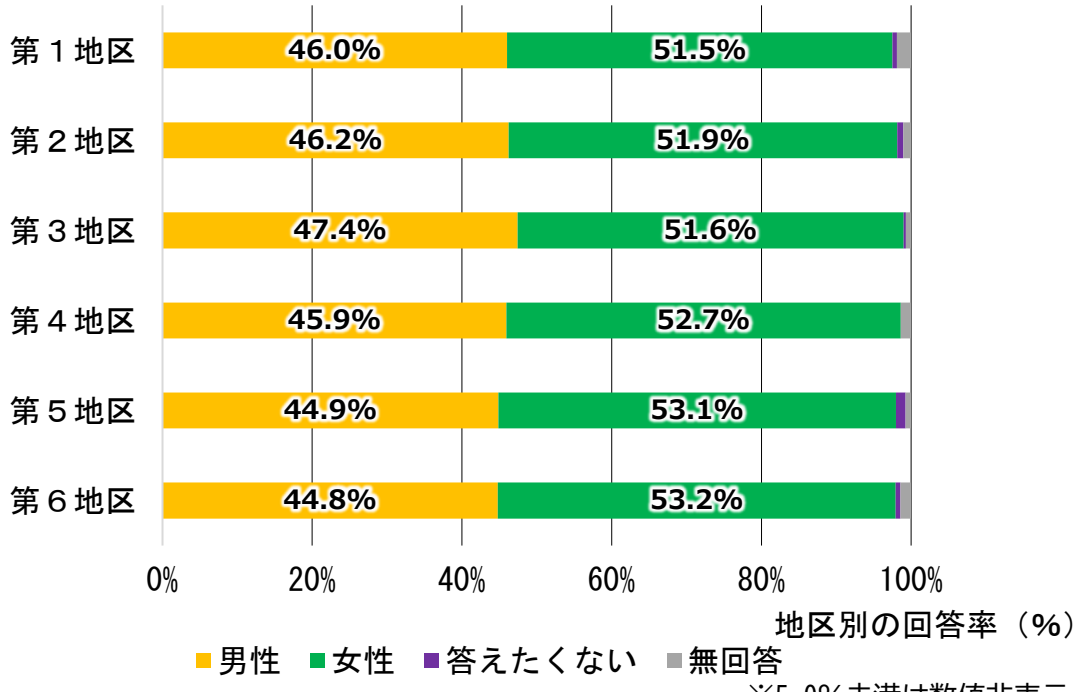
・地域地区別で見ても、回答者のうち、女性の回答割合は 50%を超えており、男性より多く回答していました。

回答者の性別の内訳

大野地区全体



地域地区別



※5.0%未満は数値非表示

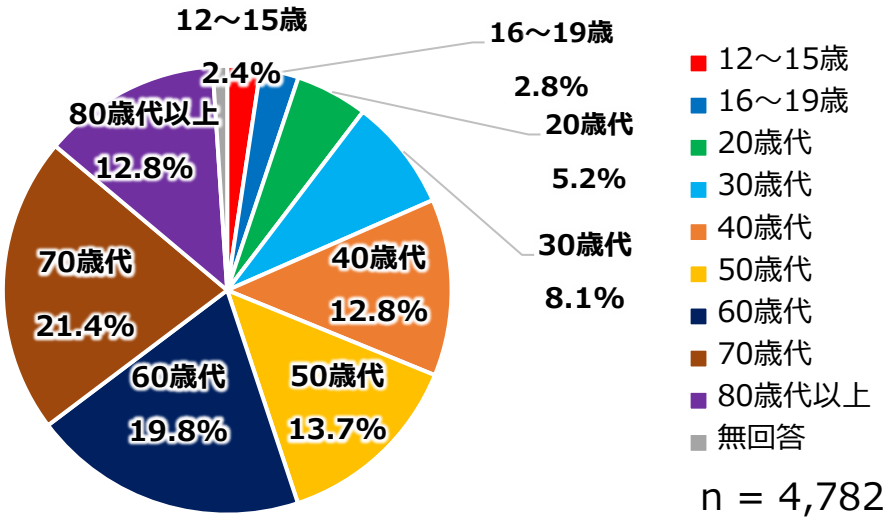
＜ 1-2.　回答者の年齢の内訳 ＞

・大野地区全体で回答者のうち、70 歳代の方が 1,023 件（21.4%）となり、最も多い結果となりました。一方で、12～15 歳の方が 114 件（2.4%）となり、最も少ない結果となりました。

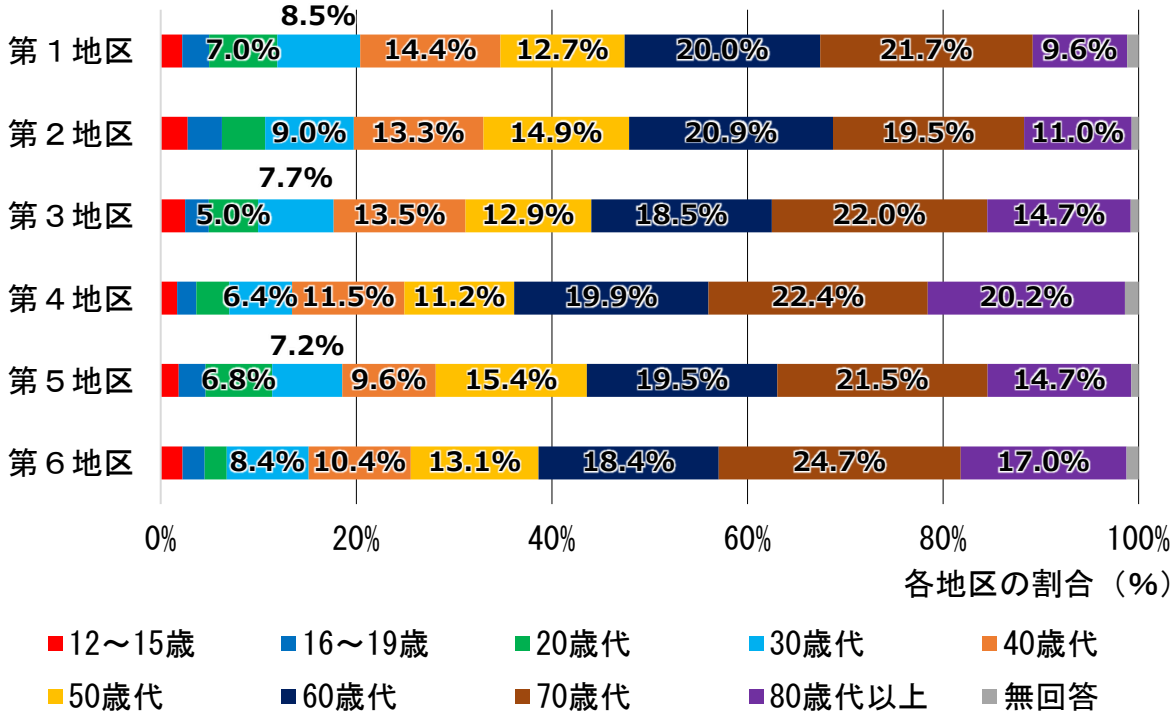
・地域地区別では、第２地区以外は 70 歳代の方が最も多い結果となりました。第２地区は 60 歳代が最も多い結果となりました。

回答者の年齢の内訳

大野地区全体



地域地区別



※5.0%未満は数値非表示

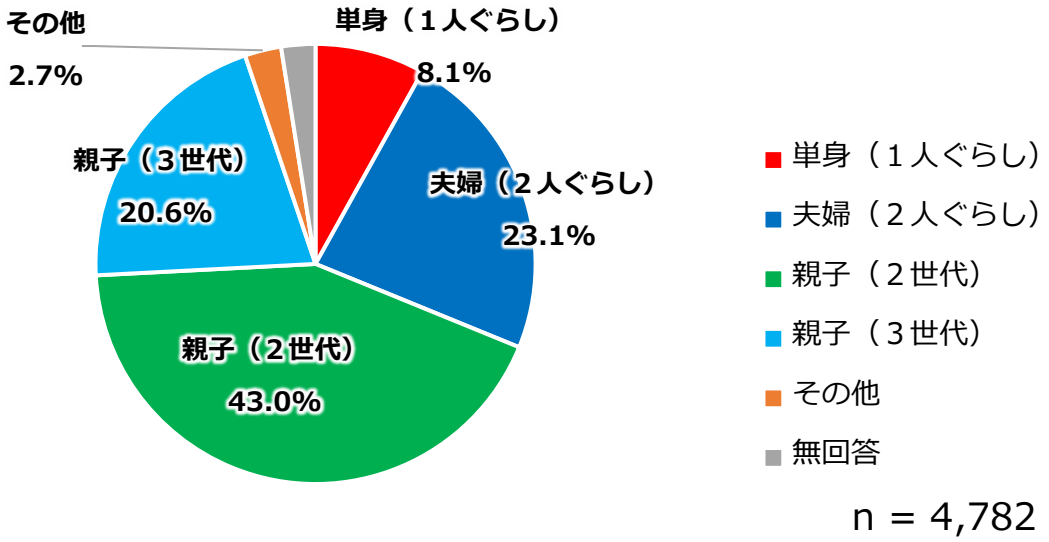
＜ 1-3.　回答者の家族構成の内訳 ＞

・大野地区全体で回答者のうち、親子（２世帯）が 2,056 件（43.0%）と最も多い結果となりました。

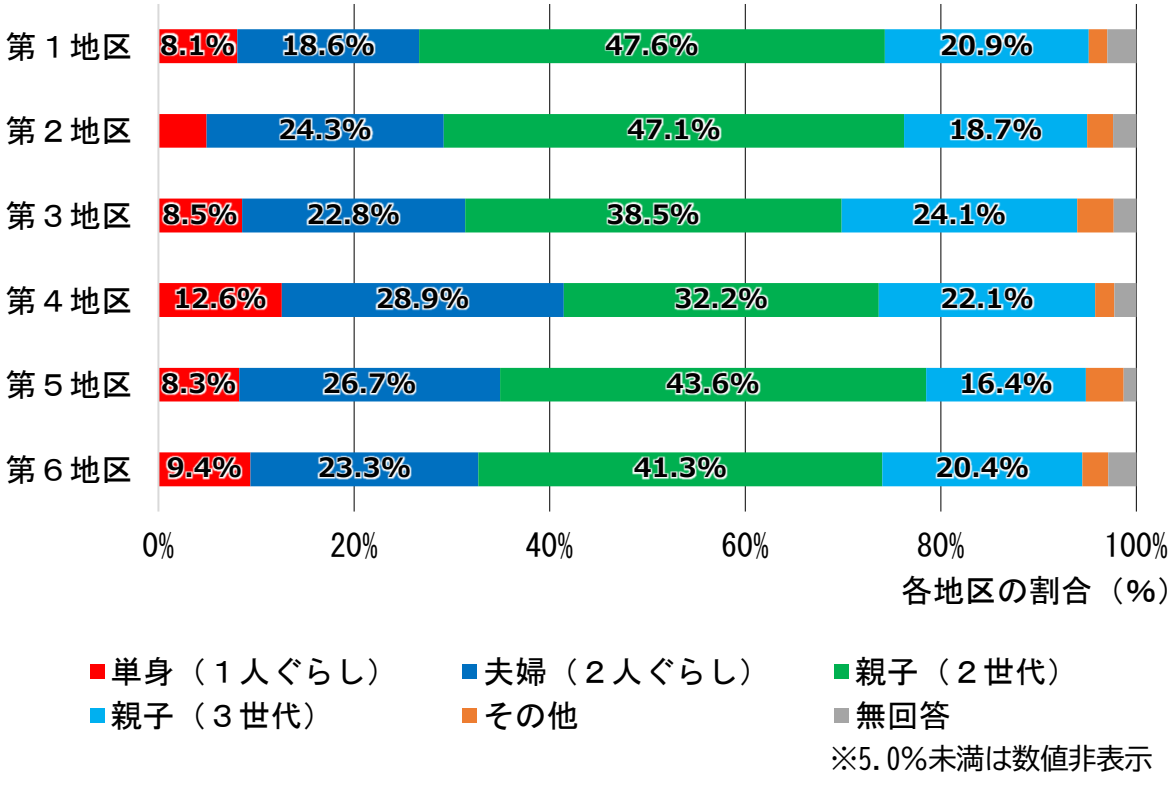
・地域地区別で見ても、親子（２世帯）の回答数が最も多い結果となりました。

回答者の家族構成の内訳

大野地区全体



地域地区別



※5.0%未満は数値非表示

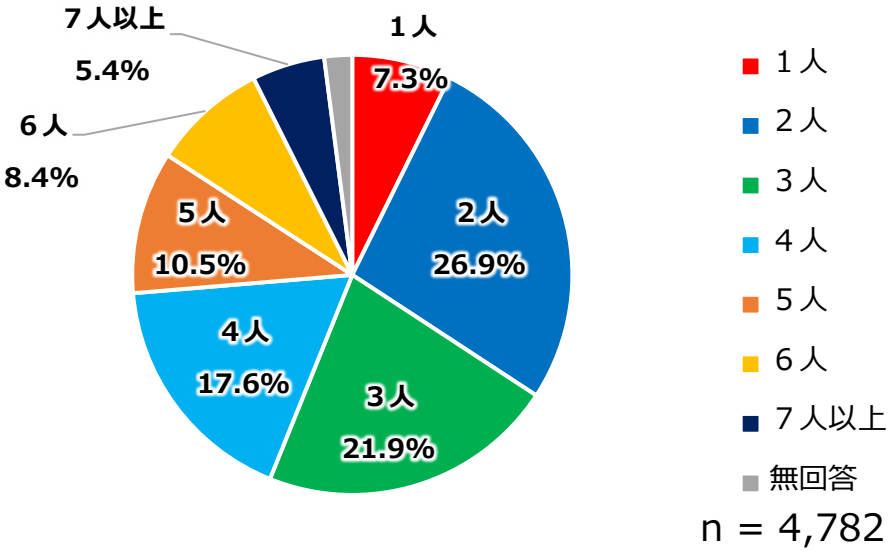
＜ 1-4.　回答者の世帯人数の内訳 ＞

・大野地区全体で回答者のうち、２人の世帯が 1,288 件（26.9%）と最も多い結果となりました。一方で、７人以上の世帯が 256 件（5.4%）と最も少ない結果となりました。

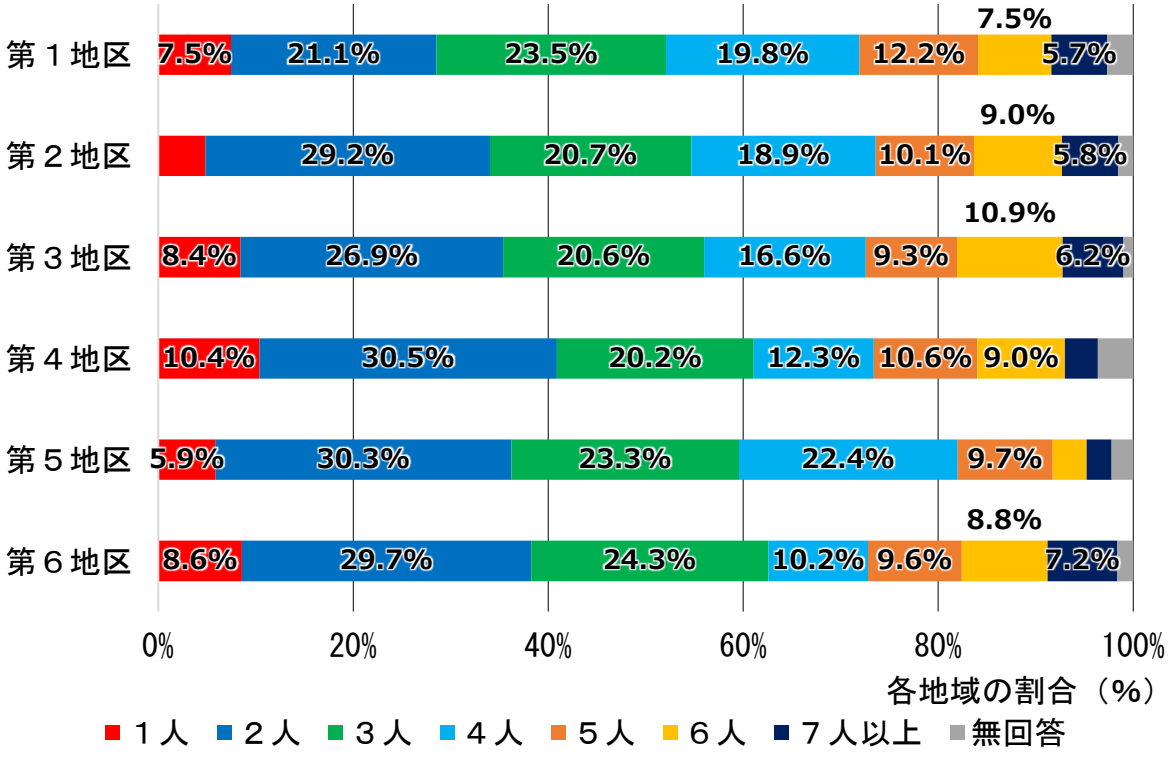
・地域地区別で回答者のうち、第１地区以外は２人の世帯が最も多い結果となりました。第１地区は３人の世帯が最も多い結果となりました。

回答者の世帯人員の内訳

大野地区全体



地域地区別



※5.0%未満は数値非表示

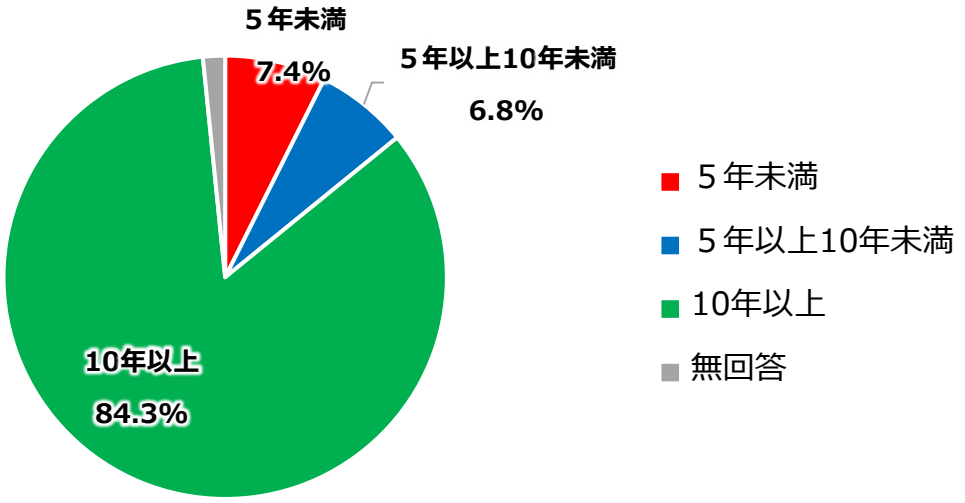
＜ 1-5.　回答者の居住歴の内訳 ＞

・大野地区全体で回答者のうち、10 年以上が 4,029 件（84.3%）と最も多い結果となりました。一方で、５年以上 10 年未満が 323 件（6.8%）と最も少ない結果となりました。

・地域地区別で回答者のうち、すべての地区で 10 年以上が最も多い結果となりました。

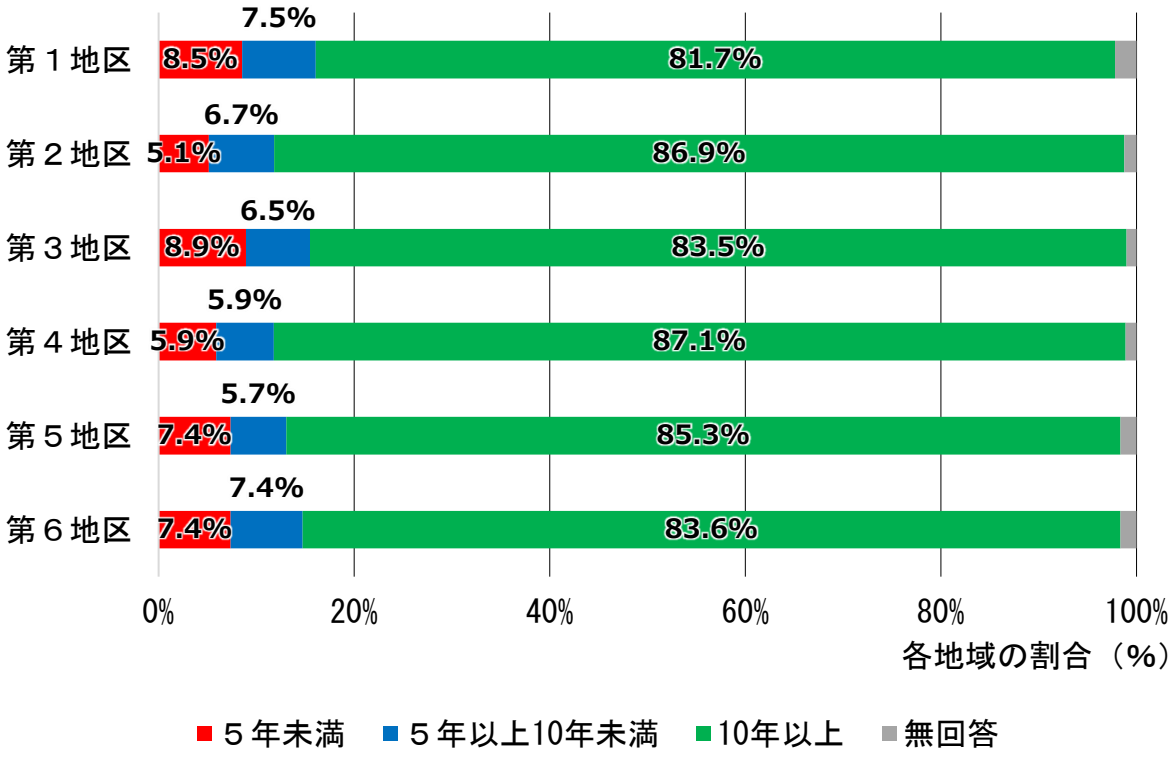
回答者の居住歴の内訳

大野地区全体



n = 4,782

地域地区別



※5.0%未満は数値非表示

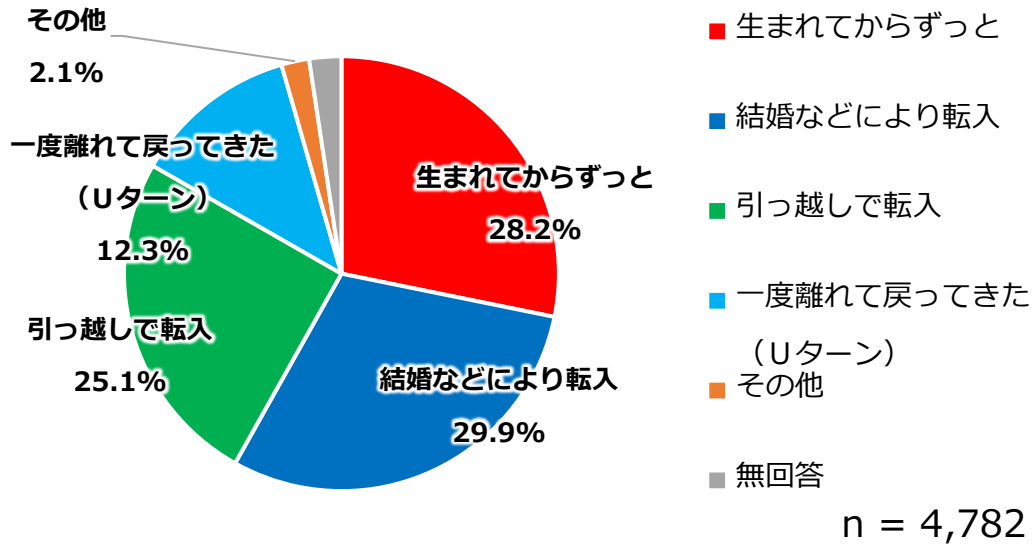
＜ 1-6.　回答者の居住理由の内訳 ＞

・大野地区全体で回答者のうち、結婚などにより転入が 1,432 件（29.9%）と最も多い結果となりました。一方で、その他を除くと一度離れて戻ってきた（Uターン）方は 587 件（12.3%）と最も少ない結果となりました。

・地域地区別で回答者のうち、第１地区、第２地区、第４地区以外は結婚などにより転入した方が最も多い結果となりました。第１地区、第２地区は引っ越しで転入された方が最も多い結果となりました。第４地区は生まれてからずっと大野地区に住んでいる方が最も多い結果となりました。

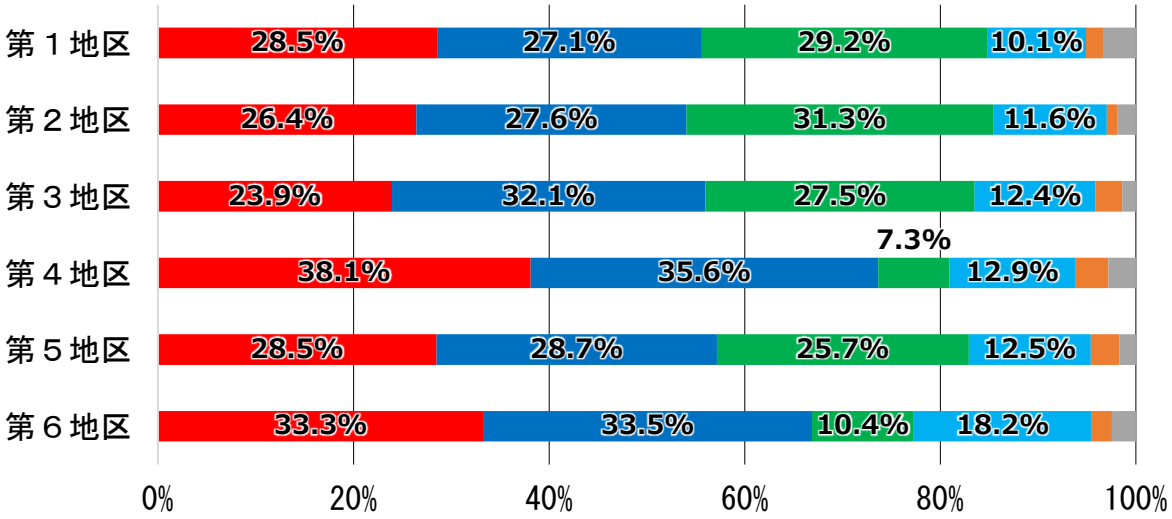
回答者の居住理由の内訳

大野地区全体



n = 4,782

地域地区別



※5.0%未満は数値非表示

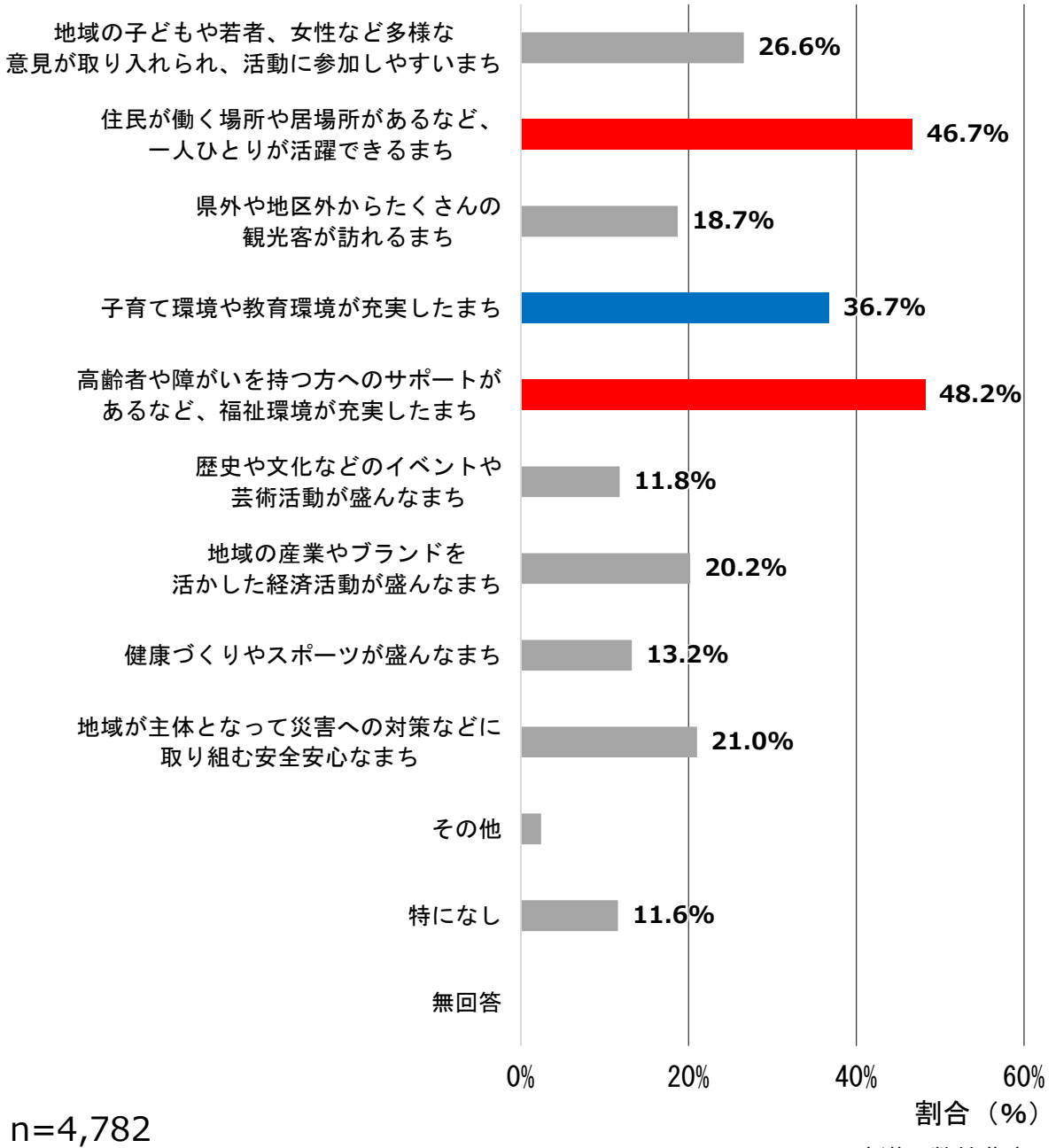
質問２．　お住まいの地域や生活環境について

＜ 2-1.　　１０～２０年後の大野地区の将来像（問１）＞

・多くの方は、「高齢者や障がいを持つ方へのサポートがあるなど、福祉環境が充実したまち」（48.2%）、「住民が働く場所や居場所があるなど、一人ひとりが活躍できるまち」（46.7%）といった地区になると良いと思われていました。次いで、「子育て環境や教育環境が充実したまち」（36.7%）といった地区になると良いと思われていました。

大野地区全体での地区の将来像

問1　大野地区は将来（10～20年後）、
どのような地区になると良いと思われますか。



n=4,782

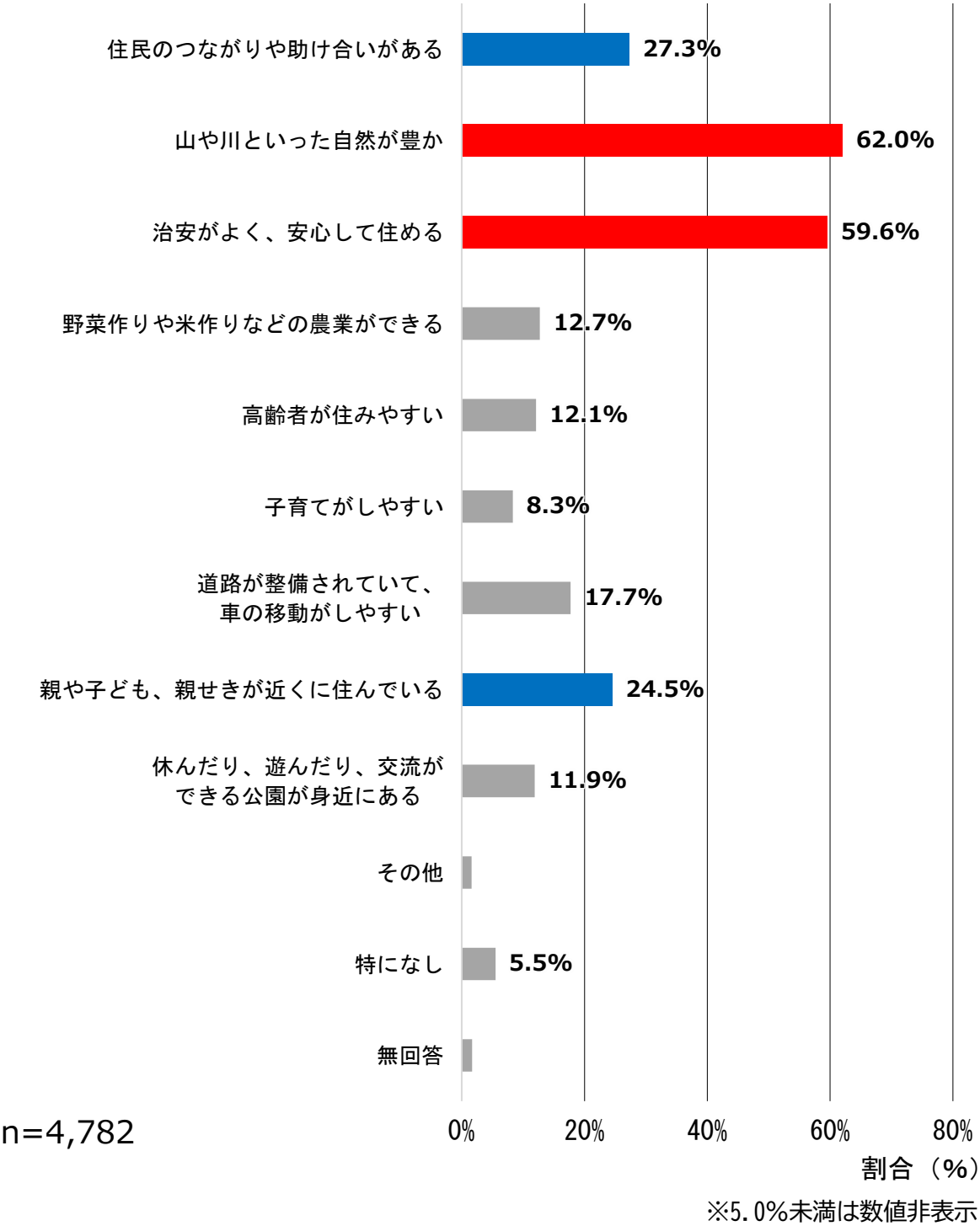
※5.0%未満は数値非表示

＜ 2-2.　大野地区の良い点（問２）＞

・多くの方は、「山や川といった自然が豊か」（62.0%）、「治安がよく、安心して住める」（59.6%）が良い点と思われていました。次いで、「住民のつながりや助け合いがある」（27.3%）、「親や子ども、親せきが近くに住んでいる」（24.5%）が良い点と思われていました。

大野地区全体での地区の良い点

問2　大野地区に住んでいて、良いと思うことや満足していることは何ですか。



n=4,782

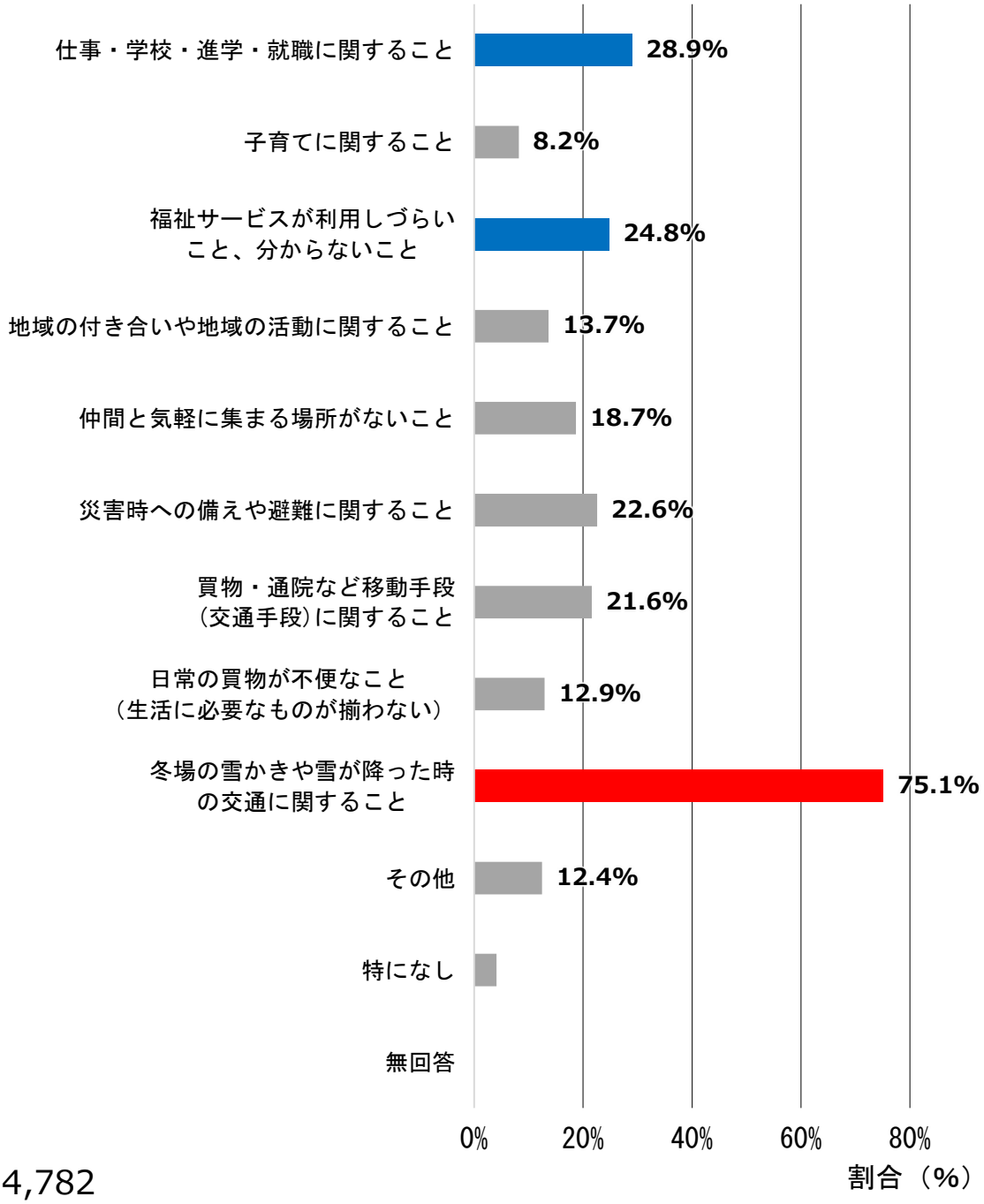
※5.0%未満は数値非表示

＜ 2-3.　大野地区の不安な点（問３）＞

・非常に多くの方が、「冬場の雪かきや雪が降った時の交通に関すること」（75.1%）に不安を感じていました。次いで「仕事・学校・進学・就職に関すること」（28.9%）、「福祉サービスが利用しづらいこと、分からないこと」（24.8%）に不安を感じていました。

大野地区全体での地区の不安な点

問3　生活する上で、あなたが不安に
感じていること、困っていることは何ですか。



n=4,782

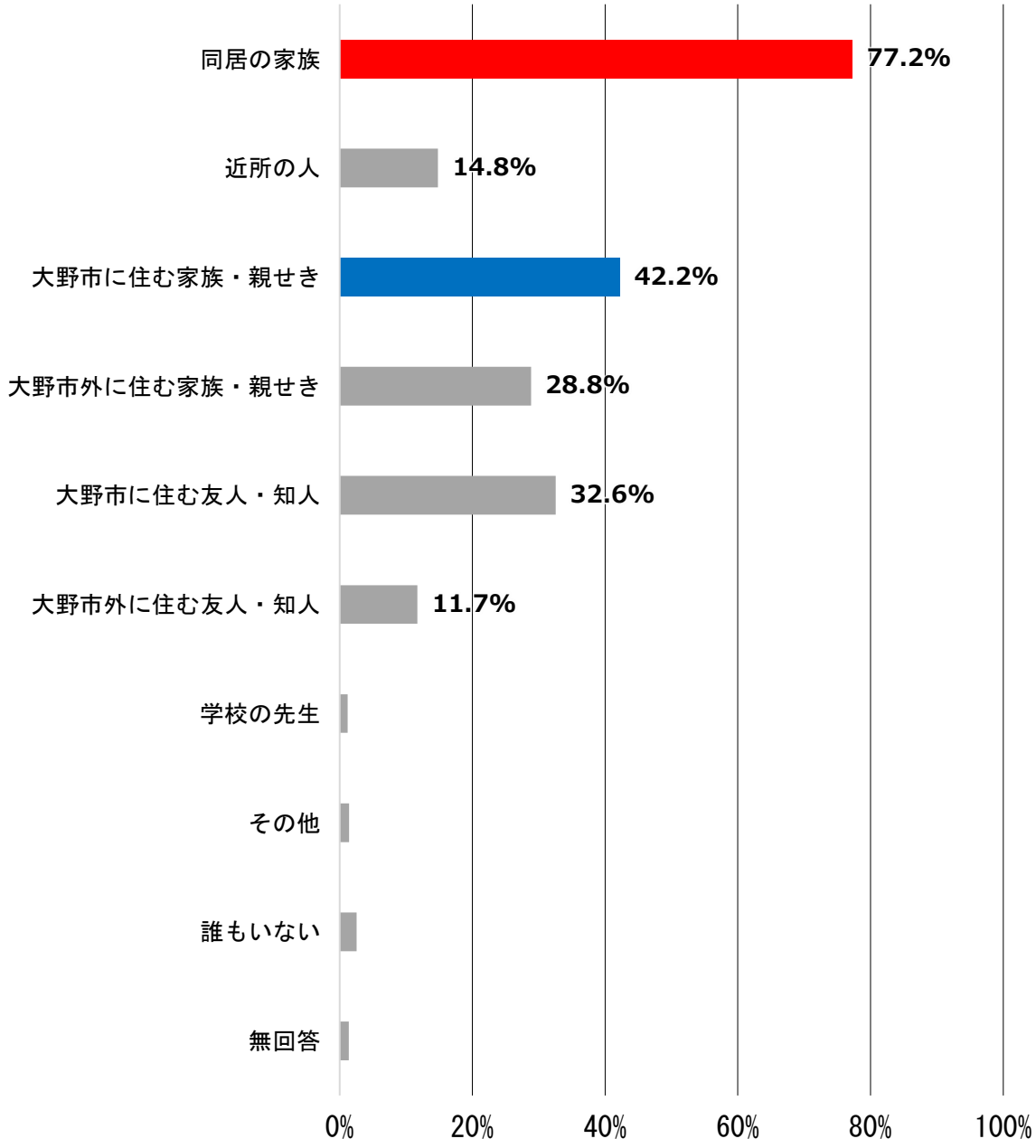
※5.0%未満は数値非表示

＜ 2-4.　相談する相手（問４）＞

・非常に多くの方が、「同居の家族」（77.2%）に相談されていました。次いで「大野市に住む家族・親せき」（42.2%）に相談されていました。

大野地区全体での相談相手

問4　あなたは、いざというときに誰に相談しますか。



n=4,782

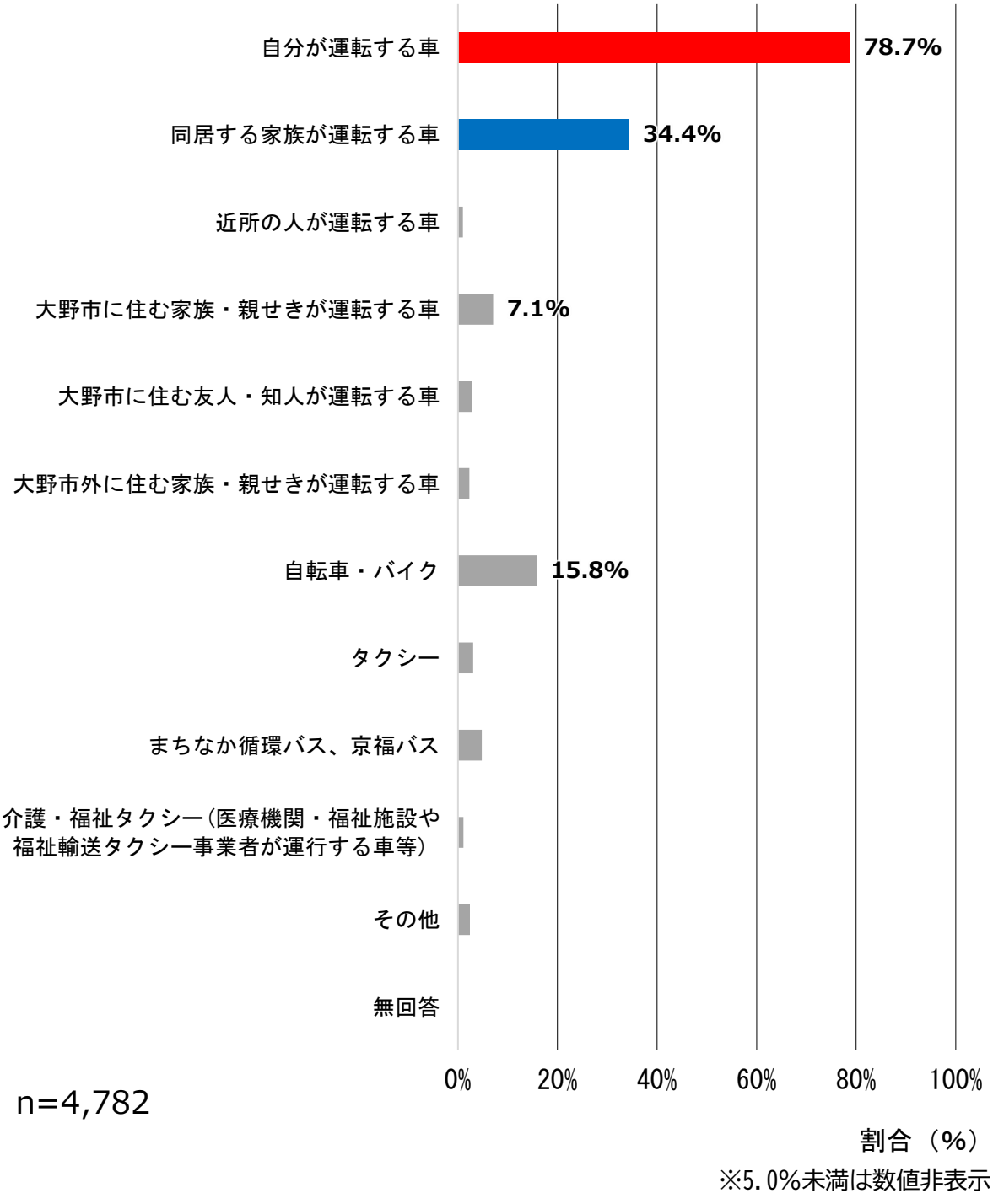
※5.0%未満は数値非表示

＜ 2-5.　普段の交通手段（問５）＞

・非常に多くの方が、「自分が運転する車」（78.7%）で移動されていました。次いで「同居する家族が運転する車」（34.4%）で移動されていました。

大野地区全体での移動手段

問5　あなたは仕事や通学、買物、通院などの
日常的な移動手段はどうしていますか。



n=4,782

※5.0%未満は数値非表示

質問３．　地域の活動について

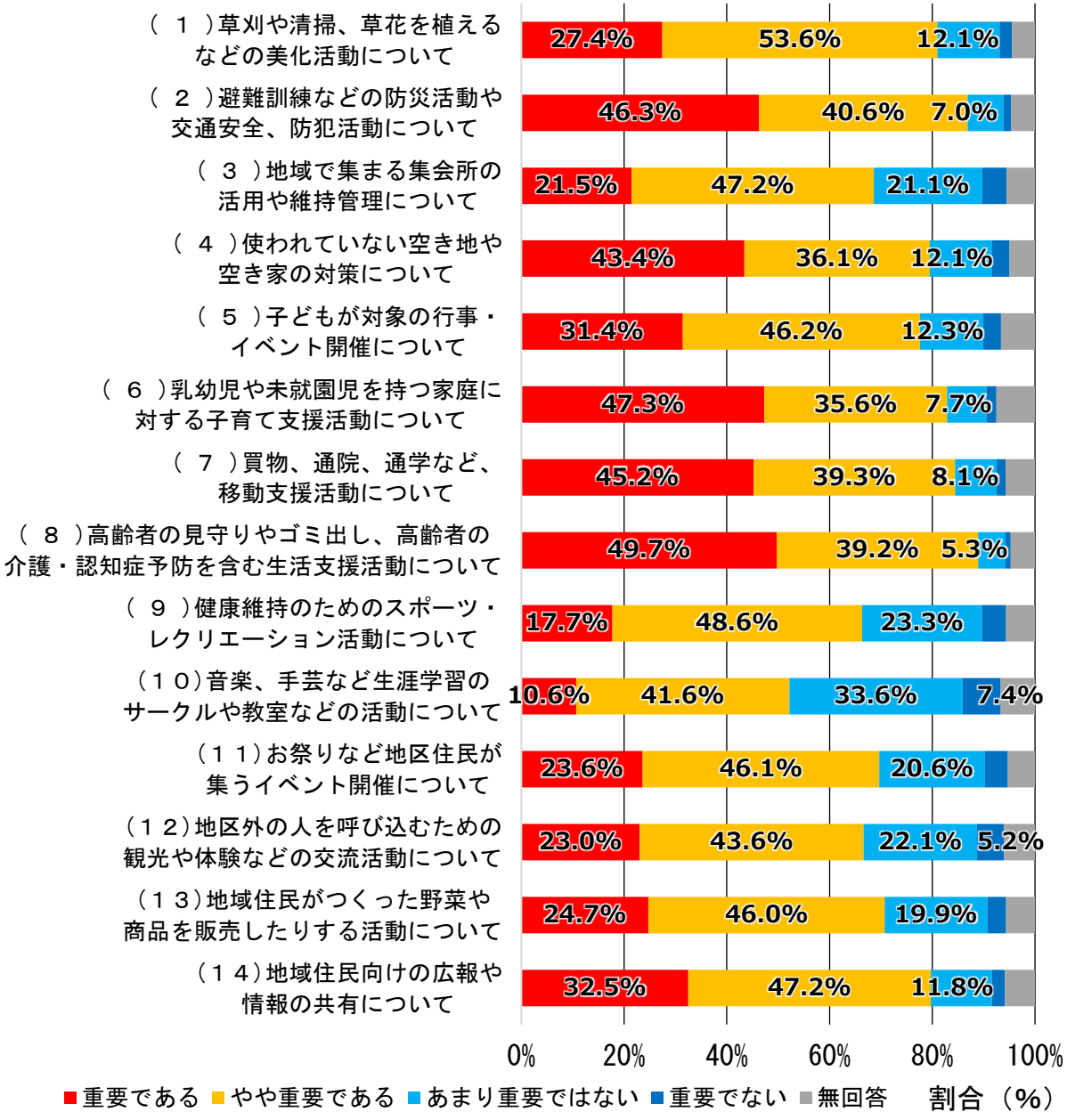
＜ 3-1.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）＞

・多くの方が重要だと思う活動（重要である・やや重要であるの合計）は、「（８）高齢者の見守りやゴミ出し、高齢者の介護・認知症予防を含む生活支援活動について」（88.9%）となりました。次いで「（２）避難訓練などの防災活動や交通安全、防犯活動について」（86.9%）が重要だと思われていました。

大野地区全体での各活動の重要度

重要度

問6　地域で行っている、または、行うべきと考える
下記の活動について、重要度を教えて下さい。



※5.0%未満は数値非表示

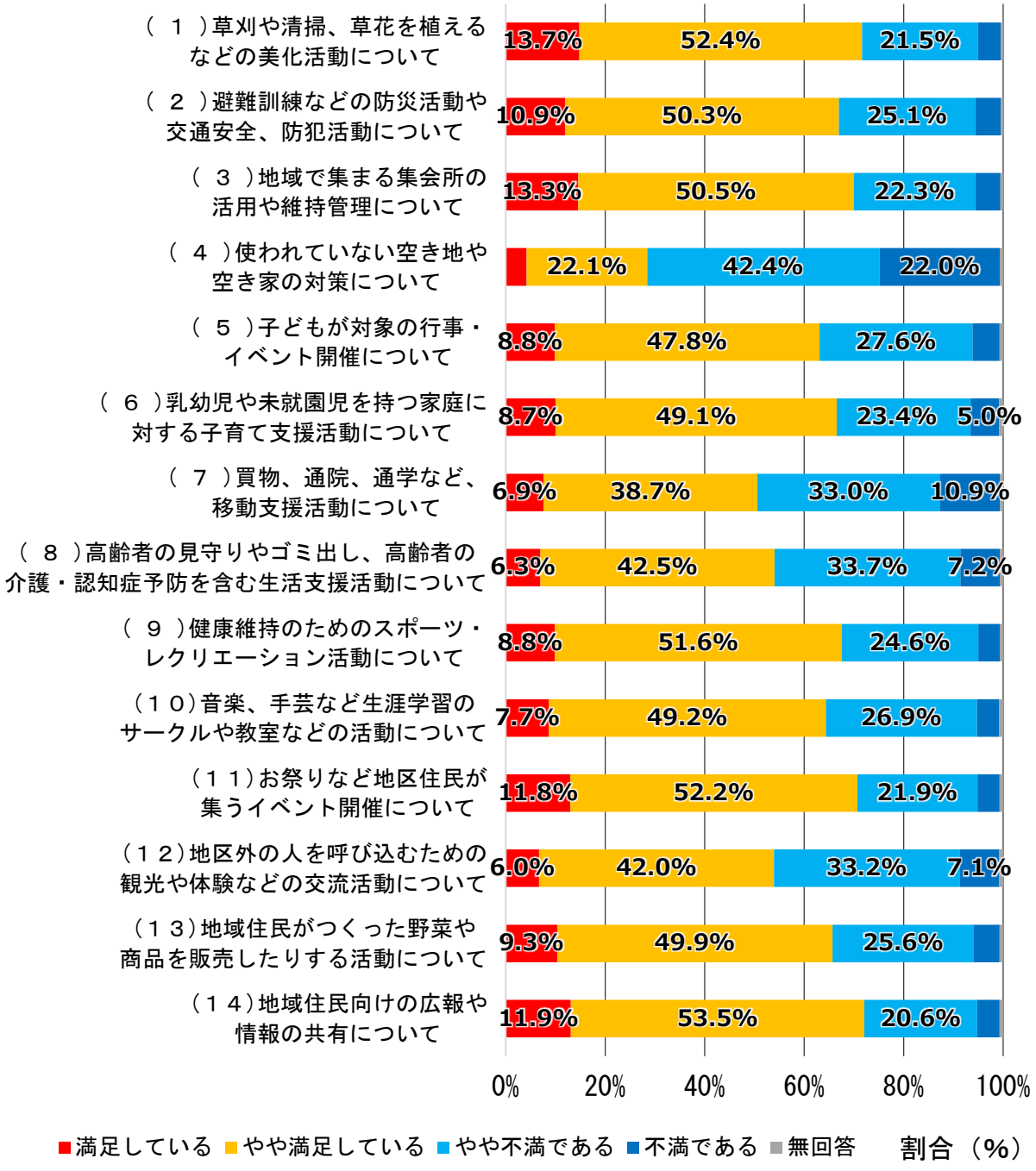
＜ 3-1.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）＞

・多くの方が不満だと感じる活動（やや不満である・不満であるの合計）は、「（４）使われていない空き地や空き家の対策」（64.4%）となりました。次いで「（７）買物、通院、通学など、移動支援活動について」（43.9%）が不満に感じていました。

大野地区全体での各活動の満足度

満足度

問6　地域で行っている、または、行うべきと考える
下記の活動について、満足度を教えて下さい。



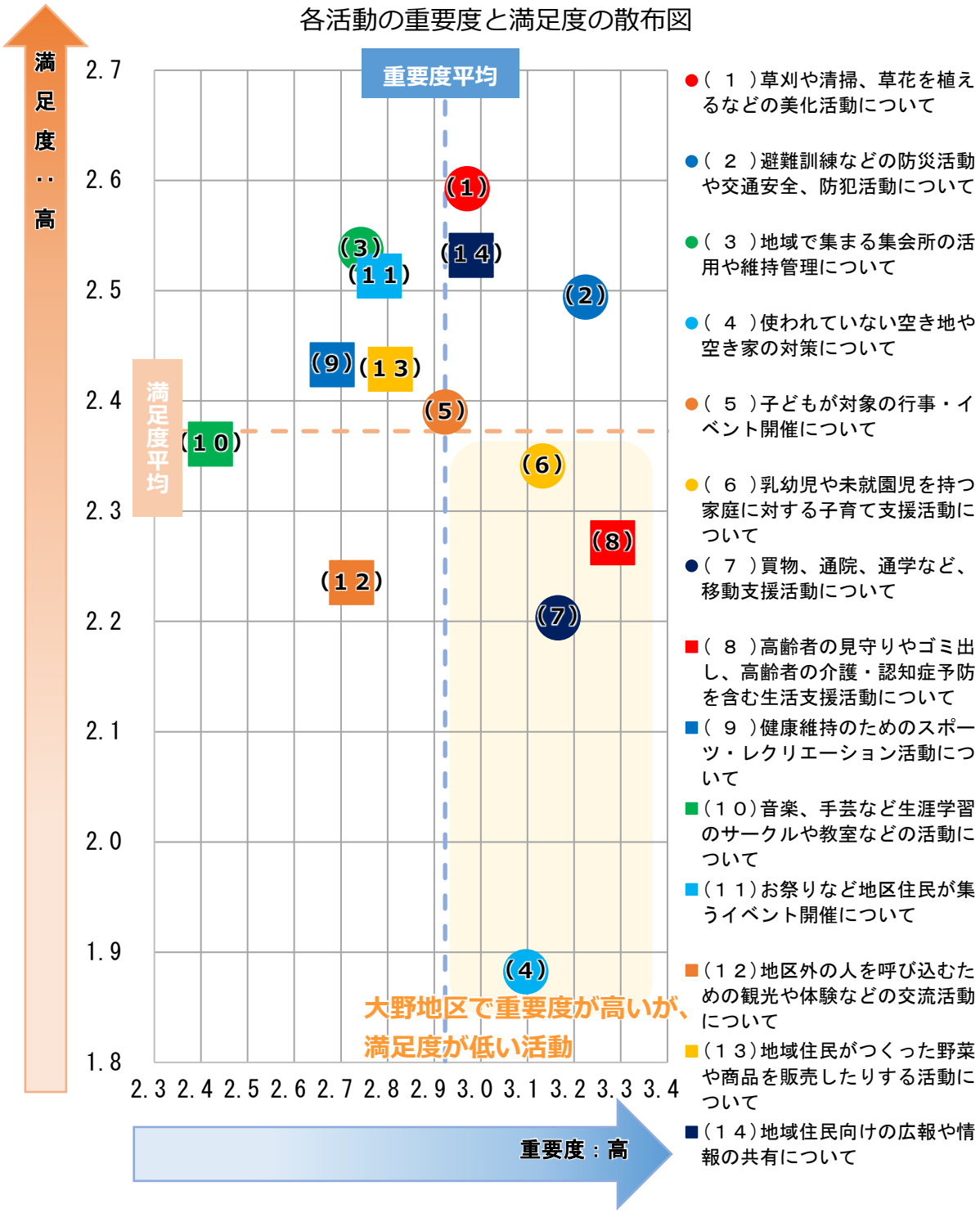
※5.0%未満は数値非表示

＜ 3-1.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）＞

・各項目の「重要度」と「満足度」をポイント化し、14項目の重要度のポイントと満足度のポイントの平均値で４つのグループに分けると、重要度が高いにも関わらず、満足度が低いグループに（４）空き家・空き地対策、（６）子育て支援活動、（７）移動支援活動、（８）高齢者の生活支援活動が分類されました。

大野地区全体での各活動の重要度と満足度

散布図

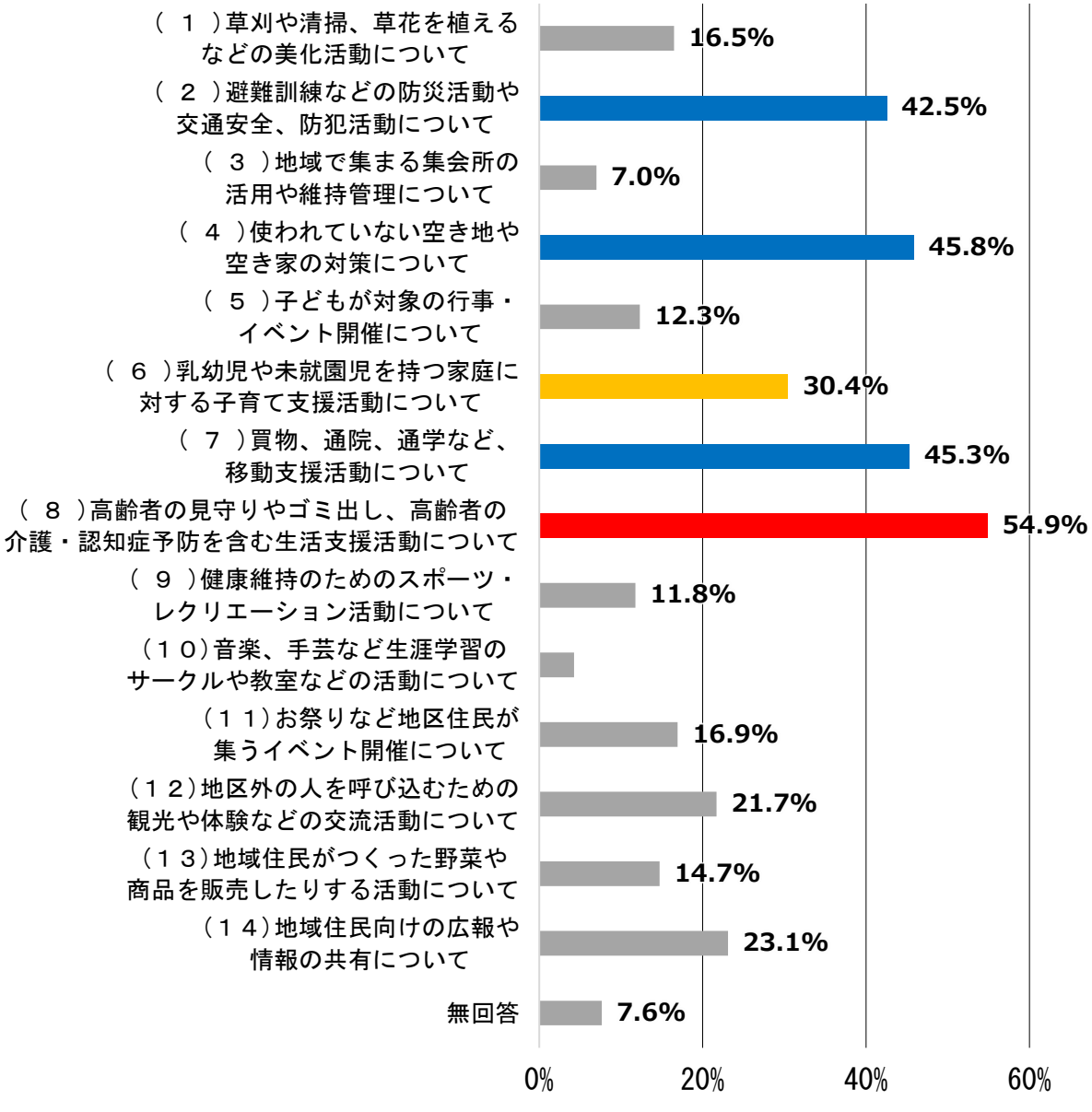


＜ 3-2.　特に重要な活動（問７）＞

・多くの方は、「高齢者の見守りやゴミ出し、高齢者の介護・認知症予防を含む生活支援活動について」（54.9%）が特に重要な活動であると思われていました。次いで「（４）使われていない空き地や空き家の対策」（45.8%）、「（７）買い物、通院、通学など、移動支援活動について」（45.3%）、「（２）避難訓練などの防災活動や交通安全、防犯活動について」（42.5%）、「（６）乳幼児や未就園児を持つ家庭に対する子育て支援活動について」（30.4%）が重要な活動だと思われていました。

大野地区全体での特に重要な活動

問7　問６の（１）～（１４）の活動で、大野地区で
重要な活動であると思われるものを選んでください。



n=4,782

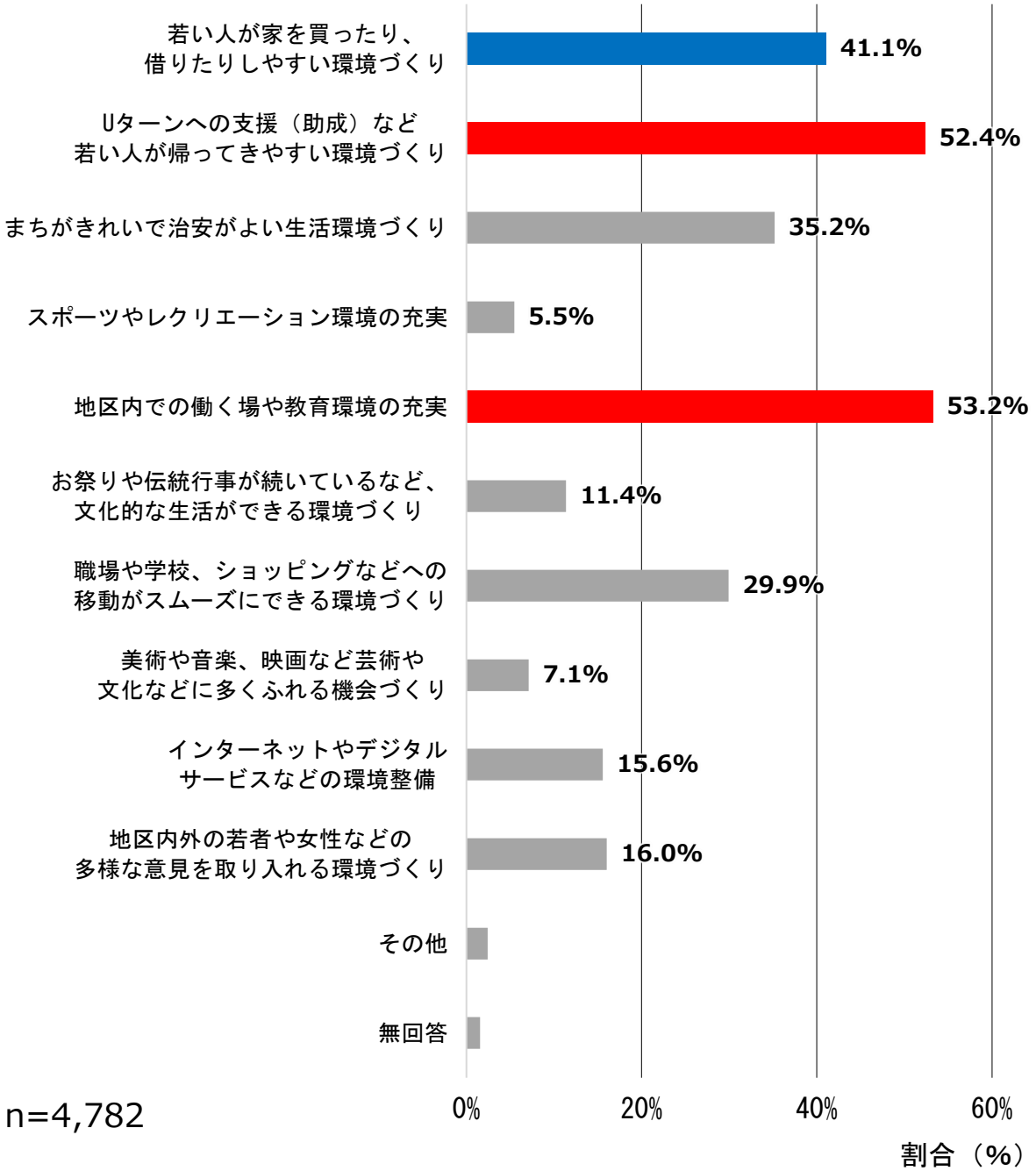
※5.0%未満は数値非表示

＜3-3.　若い世代が１０年後も大野地区で安心して住むために必要なこと（問８）＞

・多くの方は、「地区内での働く場や教育環境の充実」（53.2%）、「Uターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり」（52.4%）が若い世代が住み続けるために必要なことだと思われていました。次いで、「若い人が家を買ったり、借りたりしやすい環境づくり」（41.1%）が必要だと思われていました。

大野地区全体での若い世代が住み続けるために必要なこと

問8　あなたや地域の将来を担う若い世代が10年後も
大野地区で安心して住み続けられるために必要だと
思うことは何だと思いますか。



n=4,782

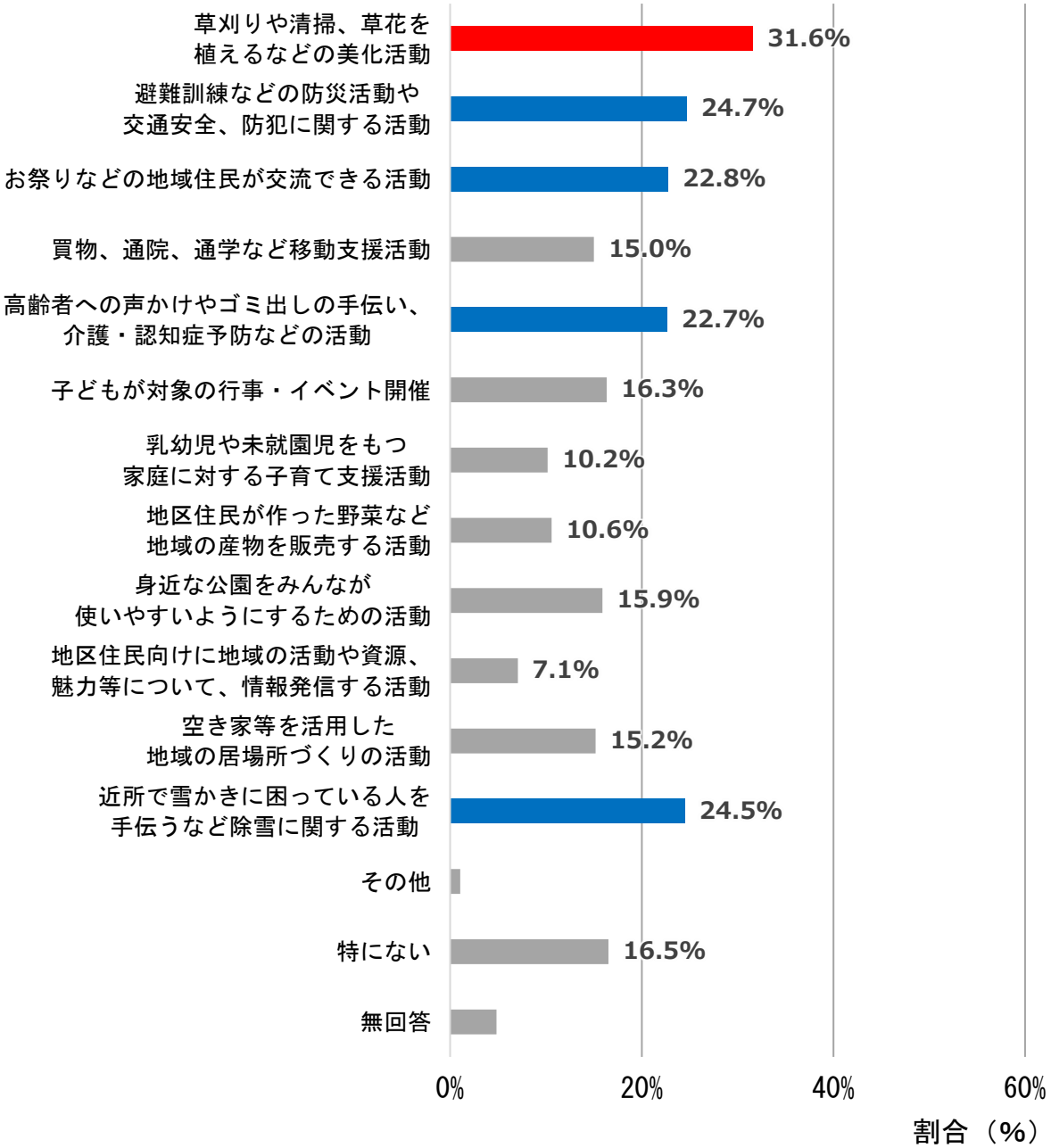
※5.0%未満は数値非表示

＜3-4.　関心・興味・行ってみたい活動（問９）＞

・多くの方は、「草刈りや清掃、草花を植えるなどの美化活動」（31.6%）に興味・関心を持たれていました。次いで「避難訓練などの防災活動や交通安全、防犯に関する活動」（24.7%）、「近所で雪かきに困っている人を手伝うなど除雪に関する活動」（24.5%）、「お祭りなどの地域住民が交流できる活動」（22.8%）、「高齢者への声かけやゴミ出しの手伝い、介護・認知症予防などの活動」（22.7%）に興味・関心を持たれていました。

大野地区全体での興味･関心のある活動

問9　あなたが、大野地区で関心がある活動、行ってみたい活動、これなら協力できるという活動はありますか。



n=4,782

※5.0%未満は数値非表示

質問４．　お住まいの地域への愛着や住みやすさについて

＜ 4-1-1.　大野地区の愛着、住みやすさ、居住意向について（問１０） ＞

・大野地区に愛着を感じる人（強く感じる・ある程度感じるの合計）が非常に多くいました（82.4%）。

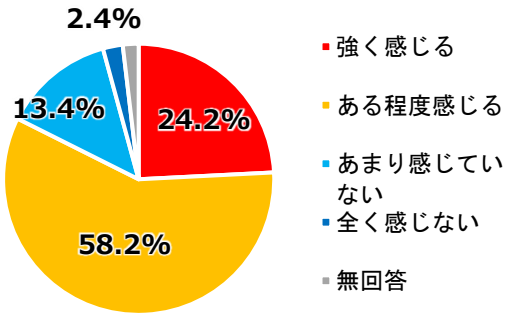
・大野地区を住みやすく感じる人（強く感じる・ある程度感じるの合計）が非常に多くいました（81.3%）。

・大野地区に住み続けたい人（できればずっと住み続けたい・しばらくは住み続けたいの合計）が非常に多くいました。（86.5%）

大野地区全体での愛着･住みやすさ･居住意向

愛着

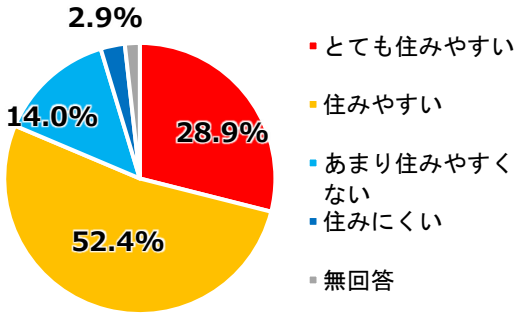
問10　（１）大野地区に愛着を感じていますか。



n=4,782

住みやすさ

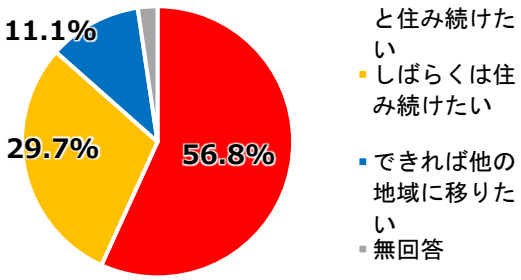
問10　（２）大野地区は住みやすいと感じていますか。



n=4,782

居住意向

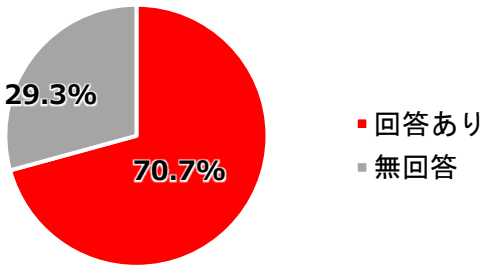
問10　（３）大野地区に住み続けたいですか。



n=4,782

居住意向の理由の回答

問10　（４）（３）でそのように回答した理由をお聞かせください。



n=4,782

＜ 4-1-2.　居住意向に関する理由（問１０（４））＞

・住み続けたい意向のある方（「できれば住み続けたい」または「しばらく住み続けたい」と回答された人）で、理由を回答された 2,909 名の方のうち、多くの方が「出身地だから（住み慣れている等）」（18.6%）と回答されていました。次いで、「居住環境・都市環境がよいから」（14.4%）、「自然環境がよいから」（11.6%）が住み続けたい理由として回答されていました。

・大項目で見ると、「ライフイベントに関するもの」が計 934 件（32.1%）となり、次いで「市・地区への愛着に関するもの」が計 666 件（22.9%）となりました。

大野地区全体での居住意向の理由

住み続けたいと思う人の意見(できればずっと住み続けたい、しばらく住み続けたい)

連番	カテゴリー	大項目	小項目	件数
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	541
2			愛着があるから等	125
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	258
4			交流の場が少ないから	2
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	23
6			娯楽施設等がないから	22
7			交通の便がよくないから	50
8			医療サービスが利用しにくいから	30
9			全体的に不便だから等	7
10			買い物がしやすいから	59
11			交通の便がよいから	37
12			医療サービスが利用しやすいから	22
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	419
14			景観がよいから	26
15			食べ物がおいしいから	27
16			まちの歴史があるから	5
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	3
18			育児環境がよいから	14
19			教育環境がよくないから	3
20			教育環境がよいから	13
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	157
22			被災時に不安があるから	2
23	家庭の事情または	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	243
24	一身上の都合によるもの		加齢による不安があるから	167
25			住居・住宅を所有しているから等	179
26			転居の予定がないから	287
27			転居の予定があるから等	58
28		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	27
29			仕事上の都合があるから	35
30		進学・就職に関するもの	進学するから	24
31			就職（転職）するから	12
32			仕事が少ないから	22
33		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	13
34			将来的なことが分からないから	42
35			視野を広げるため	11
36	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	123
37			除雪があるから	81
38		自然に関するもの	水質に不安があるから	3
39			自然環境がよいから	338
40			良質な水があるから	126
41	市政によるもの	市政への不満に関するもの	地区の将来性を感じないから	21
42			施設の更新等がされていないから	2
43			市政に不満があるから等	5
44		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	1
45			経済的に厳しいから	14
46	その他	その他	現状に満足しているから	72
47			魅力を感じないから	10
48			イベントが多いから	8
49			資産があるから	1
50			その他（理由にならないもの）	114
合計				3,884

＜ 4-1-3.　居住意向に関する理由（問１０（４））＞

・他の地域に移りたいと思う方（「できれば他の地域に移りたい」と回答した人）で、理由を回答された 463 名の方のうち、多くの方が「降雪があるから」（25.3%）と回答されていました。次いで、「交通の便がよくないから」（16.6%）、「除雪があるから」（14.3%）が他の地域に移りたい理由として回答されていました。

・大項目で見ると、「生活の利便性に関するもの」が計 222 件（47.9%）となり、次いで「雪に関するもの」が計 183 件（39.5%）となりました。

大野地区全体での居住意向の理由

地域を移したいと思う人の意見(できれば他の地域に移りたい)

連番	カテゴリー	大項目	小項目	件数
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	3
2	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	9
3			交流の場が少ないから	4
4		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	40
5			娯楽施設等がないから	37
6			交通の便がよくないから	77
7			医療サービスが利用しにくいから	40
8			全体的に不便だから等	28
9		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	5
10			食べ物がおいしいから	1
11			まちの歴史があるから	1
12		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	4
13			育児環境がよいから	1
14			教育環境がよくないから	5
15			教育環境がよいから	1
16		安全・安心に関するもの	治安がよくないから	2
17			被災時に不安があるから	2
18	家庭の事情または	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	15
19	一身上の都合によるもの		加齢による不安があるから	32
20			住居・住宅を所有しているから等	2
21			転居の予定がないから	1
22			転居の予定があるから等	30
23		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	2
24			仕事上の都合があるから	7
25		進学・就職に関するもの	進学するから	5
26			就職（転職）するから	3
27			仕事が少ないから	35
28		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	3
29			将来的なことが分からないから	2
30			視野を広げるため	4
31	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	117
32			除雪があるから	66
33		自然に関するもの	水質に不安があるから	3
34			自然環境がよいから	2
35			良質な水があるから	1
36	市政によるもの	市政への不満に関するもの	地区の将来性を感じないから	17
37			施設の更新等がされていないから	1
38			市政に不満があるから等	21
39		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	2
40			経済的に厳しいから	9
41	その他	その他	魅力を感じないから	16
42			その他（理由にならないもの）	17
合計				673

＜ 4-2.　今後のまちづくりに対する意見（問１１）＞

・大野地区の今後のまちづくりについて、1,366 名から計 1,888 件のご意見を頂きました。「雇用の創出」（9.4%）に関する意見が最も多く、次いで、「交通の便の向上」（7.9%）、「若者が離れないまちづくり」（7.0%）に関する意見が多くありました。

・大項目で見ると、「生活環境の利便性向上」が計 263 件（19.3%）となり、次いで「地域の稼ぎ力」が計 203 件（14.9%）となりました。

大野地区全体でのまちづくりに対する意見

連番	カテゴリー	大項目	小項目	全て
1	生活しやすいまちづくり	施設の誘致	商業施設の誘致	40
2			教育施設の誘致	12
3			企業の誘致	45
4			飲食店の誘致	18
5			娯楽施設の誘致	10
6			小売店の誘致	15
7			専門店の誘致	6
8			宿泊施設の誘致	1
9			医療施設の誘致	33
10			福祉施設の誘致	2
11		育児・教育環境の向上	子育て世代向けの施設の増加	6
12			育児支援の拡充	25
13			児童向け施設の増設	16
14			教育・保育環境の整備	27
15		生活環境の利便性向上	交通の便の改善	108
16			医療サービスの向上	35
17			生活環境の整備（買い物や住宅など）	83
18			スポーツ施設等の充実	6
19			利便性の向上	15
20			放送サービスの向上	3
21			通信サービスの向上	3
22			介護サービスの向上	10
23	経済力のあるまちづくり	観光事業の強化	魅力のある場所の創設	48
24			地域資源の活用	44
25			観光業の強化	37
26			地域住民への配慮	6
27			積極的な発信（SNS等）	15
28			魅力のあるまちづくり	14
29		地域の稼ぐ力	雇用の創出	129
30			地域経済の強化	12
31			U・I・Jターンの増加	58
32			労働環境の改善	4
33	安心できるまちづくり	自然との共生	除雪の強化	89
34			獣害の対策	1
35			自然の保全	20
36		空き家・空地の対策	空き家等の対策	72
37		高齢者が住みやすいまちづくり	高齢者が働き、住みやすいまちづくり	56
38		安全・安心の確保	安全・安心の向上（子ども・高齢者等）	20
39			災害への備え	18
40			防犯の対策	6
41			交通モラル・マナーの意識改善	5
42	活気あるまちづくり	地域の活性化	コミュニケーションの活発化	33
43			イベントの開催	61
44			住民意識の改革	34
45			にぎわいの創出	31
46			市民の参画促進	9
47		若者が住みたくなるまちづくり	若者の結婚支援	13
48			若者が離れないまちづくり	96
49	寄り添えるまちづくり	適切な支援	経済的支援	16
50			要配慮者への支援強化	7
51			市民活動への支援	6
52			補助金等の獲得および利用	4
53	風通しのよいまちづくり	市政の改革	行政の改革（体制など）	56
54			財政の改革	11
55		地域づくりの推進	将来像の共有	13
56			地域のコンパクト化	9
57			特定分野の特化	7
58		公共施設等の整理	公共施設の整理	16
59			既存施設の再整備	6
60		地区等の整理	行政区の統合等	14
61			地区の再開発	5
62		活動の見直し	活動の見直し	15
63			イベントの削減	1
64			イベントの体制の見直し	4
65	誰も取り残さないまちづくり	情報の入手のしやすさ	情報共有の強化	12
66			サイトやアプリなどの使いやすさの向上	3
67	挑戦できるまちづくり	IT技術の活用・DXの促進など	IT技術の活用	2
68			都市のスマート化	2
69		新規事業等の開始	新規事業等の開始	9
70	美しいまちづくり	景観の保全	景観の整備	39
71	伝統を重んじるまちづくり	伝統の継承	伝統・文化の継承	13
72	その他	その他	資産形成の教育	2
73			その他	166
合計				1,888

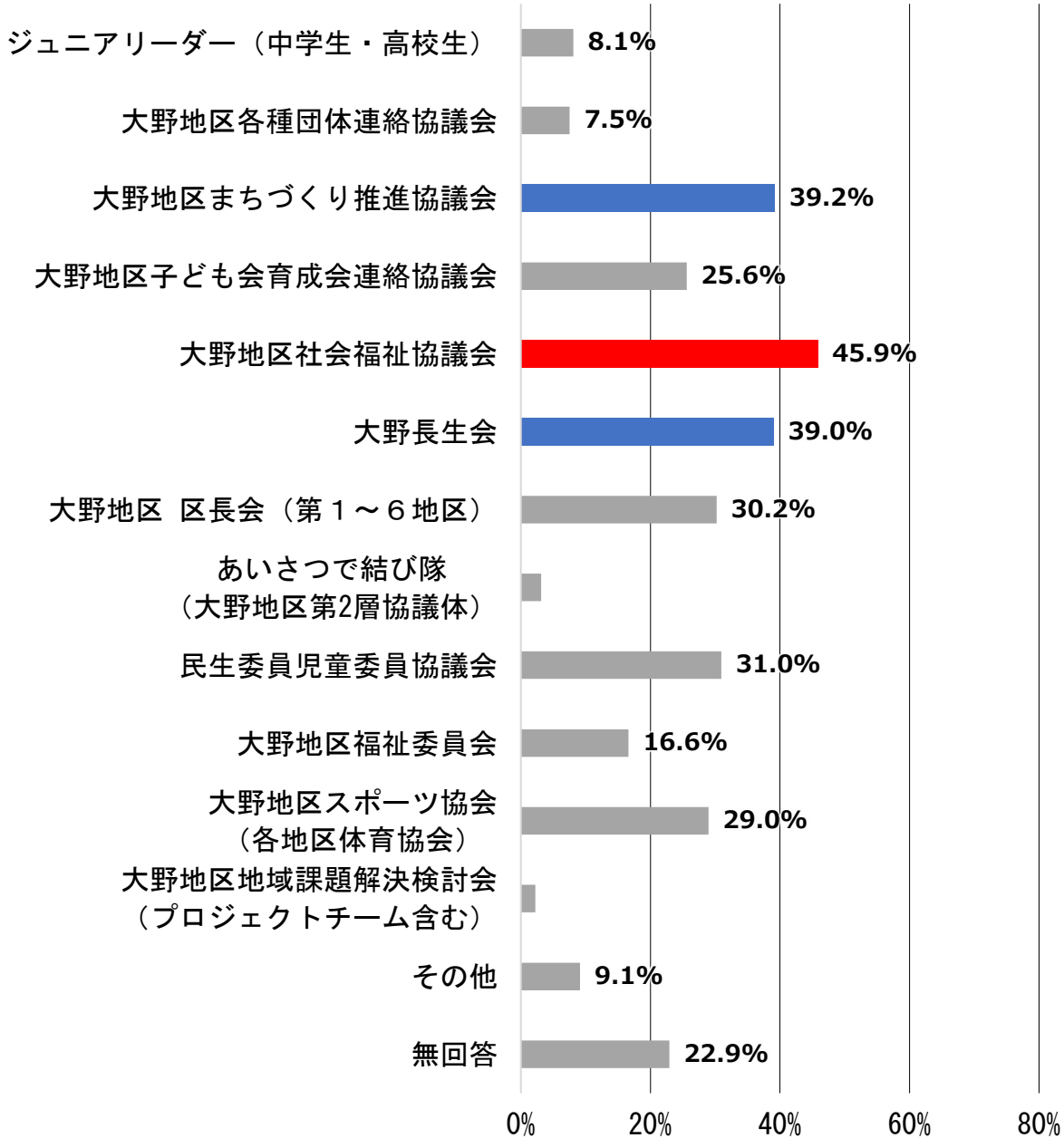
質問５．　町内会や地域住民組織、団体について

＜ 5-1.　知っている大野地区で活動している団体（問１２）＞

・多くの方は、「大野地区社会福祉協議会」（45.9%）を認知していました。次いで「大野地区まちづくり推進協議会」（39.2%）、「大野長生会」（39.0%）が認知されていました。

大野地区全体での知っている団体

問12　大野地区で活動する団体について、
活動内容を知っている団体を選んでください。



n=4,486

※5.0%未満は非表示

＜ 5-2.　興味・関心のある大野地区で活動している団体（問１３） ＞

＜ 5-3.　役員経験がある団体（問１４） ＞

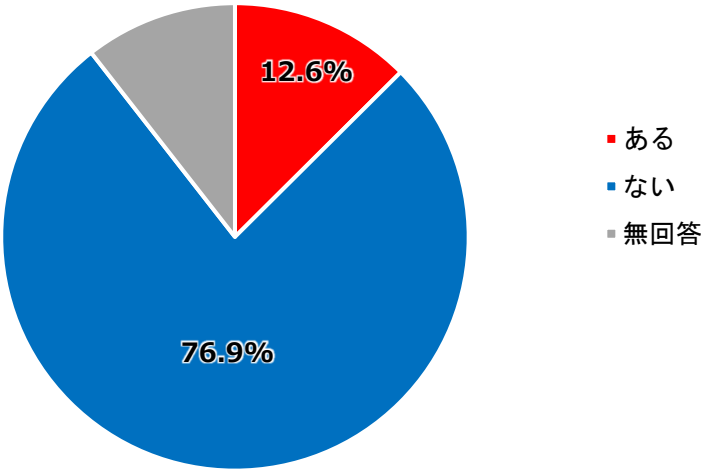
・問１３について、「興味がない」と回答した方が最も多い結果となりました（76.9%）。

・問１４について、「役員経験がない方」が最も多い結果となりました（47.6%）。

大野地区全体での団体への興味･関心、役員経験

問 13 の集計結果

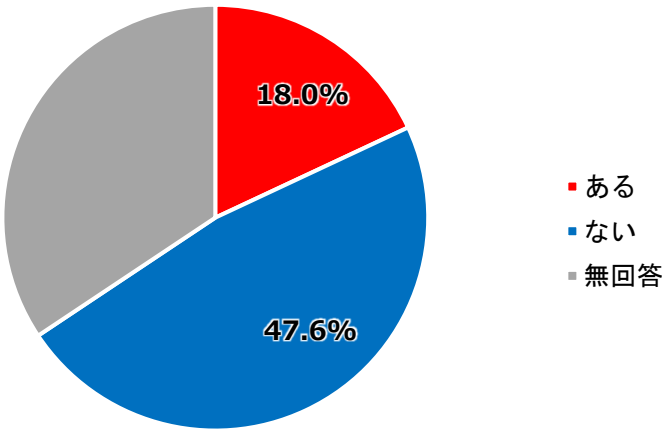
問13　大野地区で活動する団体に興味や関心はありますか。



n=4,486

問 14 の集計結果

問14　今まであなたは町会役員や消防団などの
地域の組織や団体の役員を担当したことがありますか。



n=4,486

＜ 5-4.　役員経験のある団体の活動経験について（問１５）＞

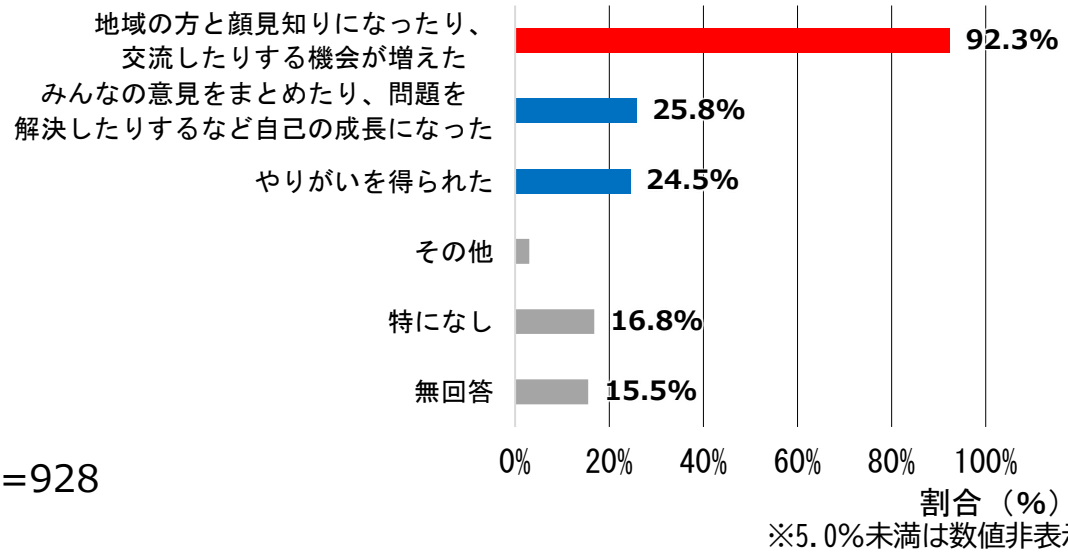
・役員経験のある方にとって良かった点は、「地域の方と顔見知りとなったり、交流したりする機会が増えた」（92.3%）、「みんなの意見をまとめたり、問題を解決したりするなど自己の成長になった」（25.8%）、「やりがいを得られた」（24.5%）が多くなっていました。

・役員経験のある方にとって苦労した点は、「役割が多く、仕事と両立するのが大変であった」（39.7%）、次いで「特になし」（29.1%）、「みんなの意見をまとめるのが大変であった」（26.7%）、「慣れるのに時間がかかった」（26.5%）が多くなっていました。

大野地区全体での役員経験の良い点、悪い点

役員経験の良かった点

問15　問14で「ある」と回答された方に伺います。
役員を務めていた際に、良かった点をお聞かせください。

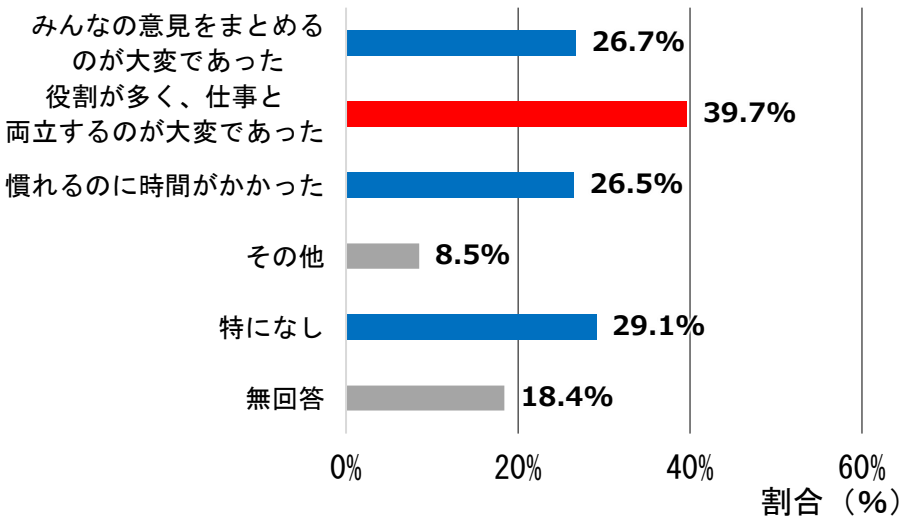


n=928

※5.0%未満は数値非表示

役員経験の苦労した点

問15　問14で「ある」と回答された方に伺います。
役員を務めていた際に、苦労した点をお聞かせください。



n=928

３）調査結果（属性別集計）

① 属性別集計を行う設問について

・単純集計から得られた結果について、地域の特性や世代の特性等を分析するために基本属性（地域地区、性別、年齢、家族構成、居住歴、居住理由）ごとの集計を行いました。

設問	地域地区	性別	年齢	家族構成	世帯人員	居住歴	居住理由
問１	○	○	◎	－	－	－	－
問２	○	○	○	－	－	○	○
問３	○	○	◎	○	－	○	－
問４	○	○	○	○	－	○	－
問５	○	○	○	－	－	－	－
問６	○	○	◎	－	－	－	○
問７	○	○	○	－	－	－	－
問８	○	○	◎	－	－	－	○
問９	○	○	○	－	－	－	－
問１０	○	○	◎ (※)	－	－	○	－

○：属性別集計を実施　◎：年代による意向の違いの分析を実施

－：属性別集計を実施しない

（※）問 10 は（３）のみ行いました。

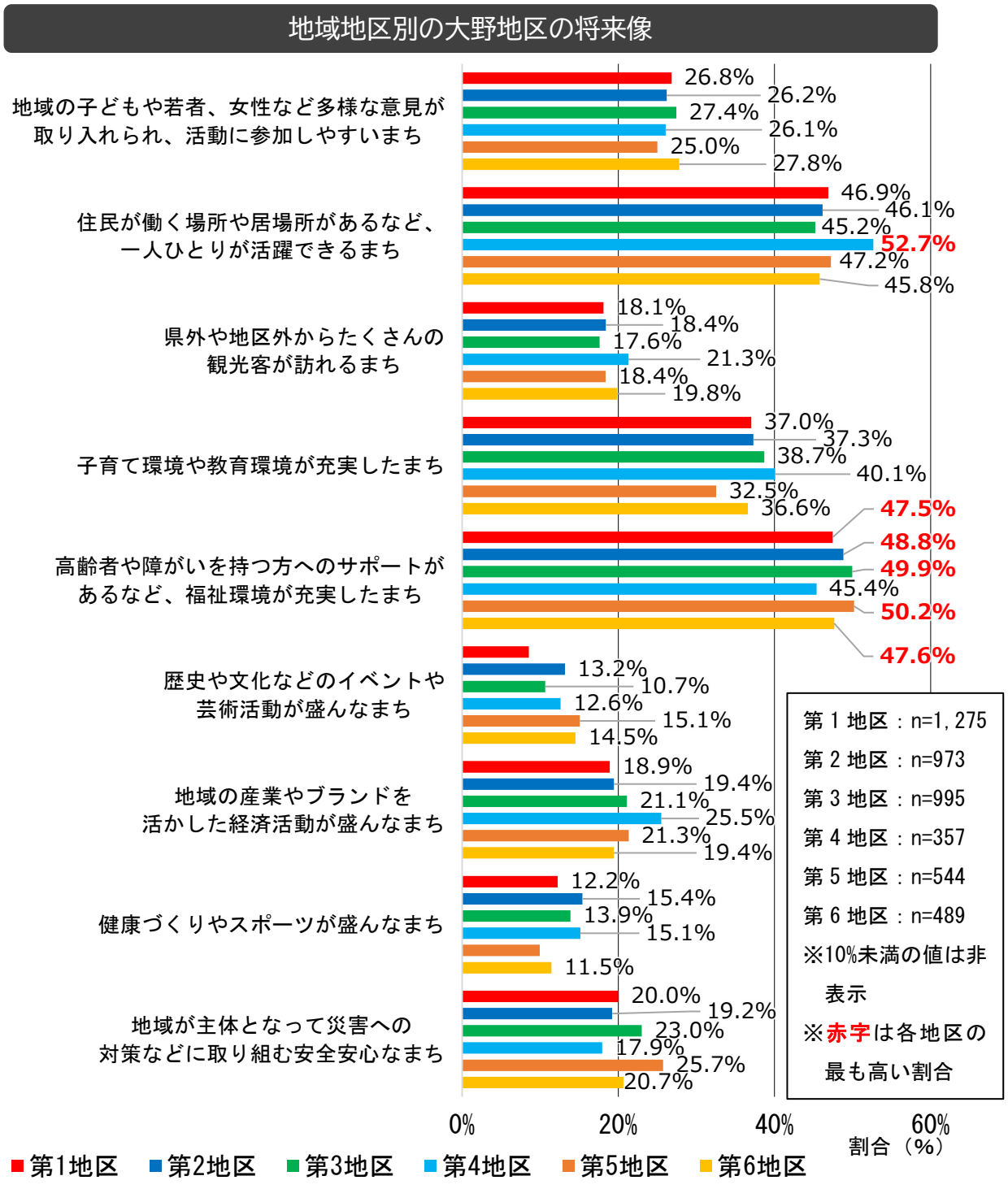
② 属性別集計結果について

属性別集計 1.　地域地区別の集計

＜ 1-1.　１０～２０年後の大野地区の将来像（問１）＞

・第４地区以外は、「高齢者や障がいを持つ方へのサポートがあるなど、福祉環境が充実しているまち」といった地区になると良いと思われていました。

・一方で、第４地区は、「住民が働く場所や居場所があるなど、一人ひとりが活躍できるまち」といった地区になると良いと思われていました。

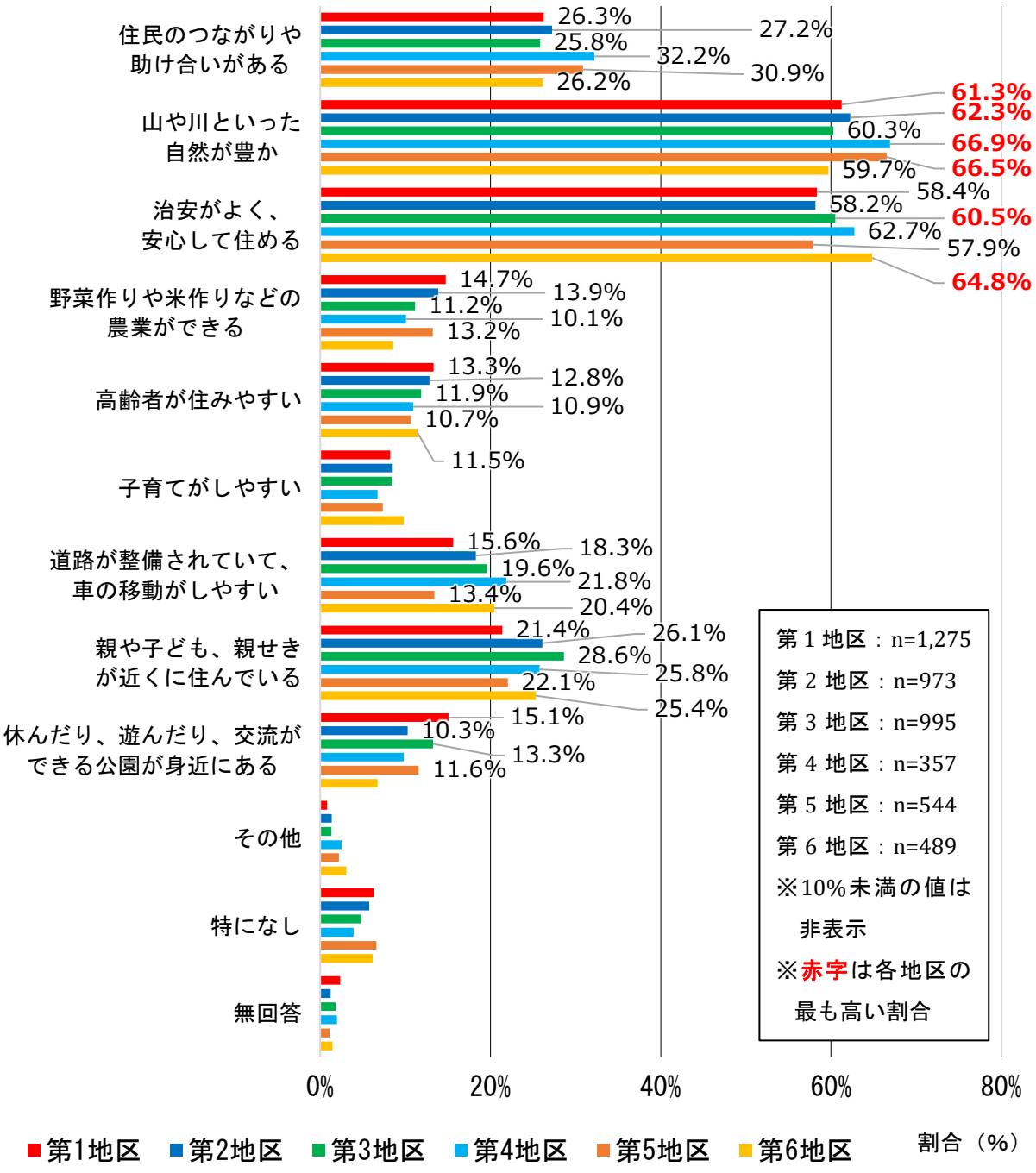


＜ 1-2.　大野地区の良い点（問２）＞

・第３地区、第６地区以外は、「山や川といった自然が豊かまち」が良い点と思われていました。

・一方で、第３地区、第６地区は、「治安がよく、安心して住める」が良い点と思われていました。

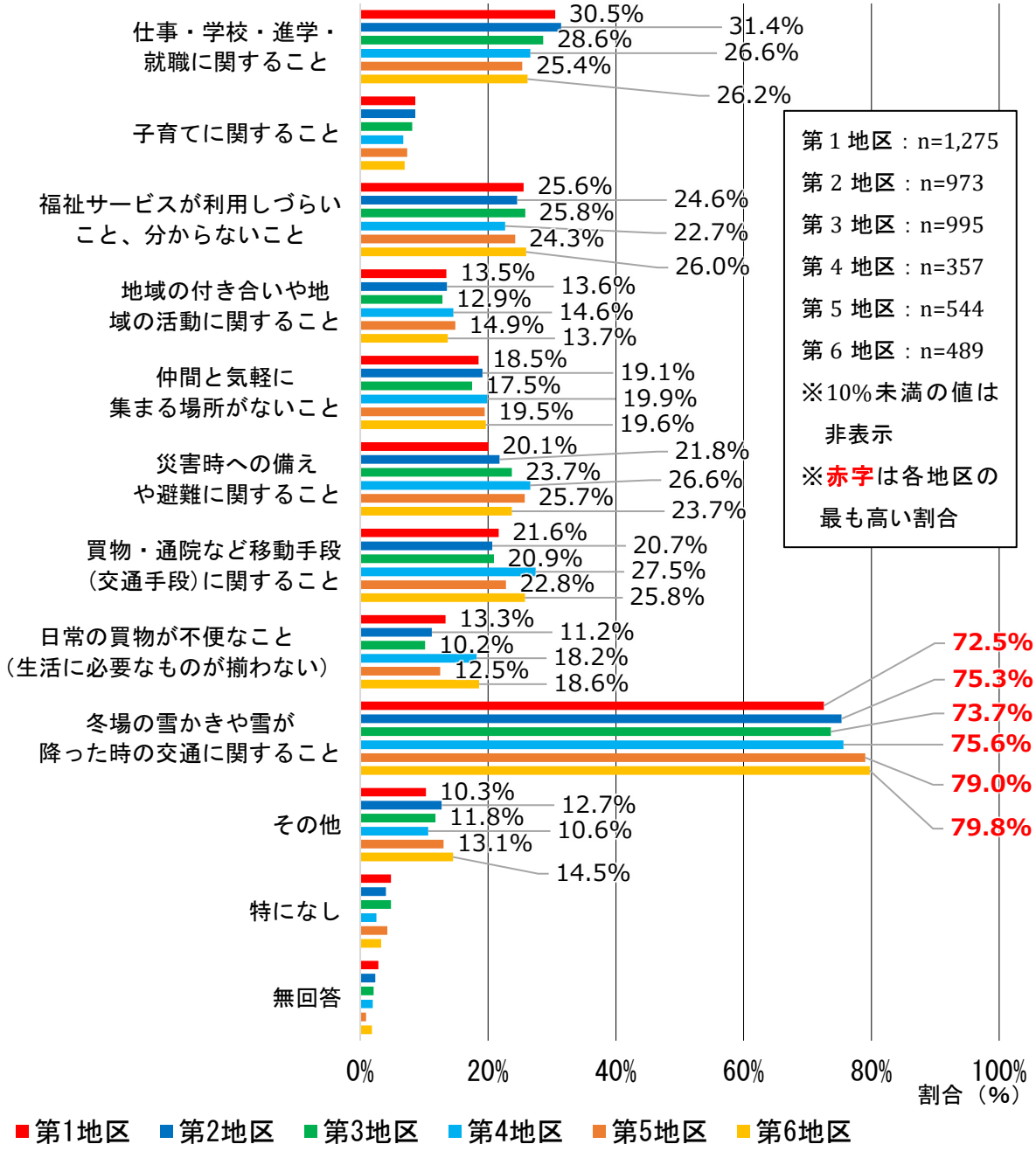
地域地区別の大野地区の良い点



＜ 1-3.　大野地区の不安な点（問３）＞

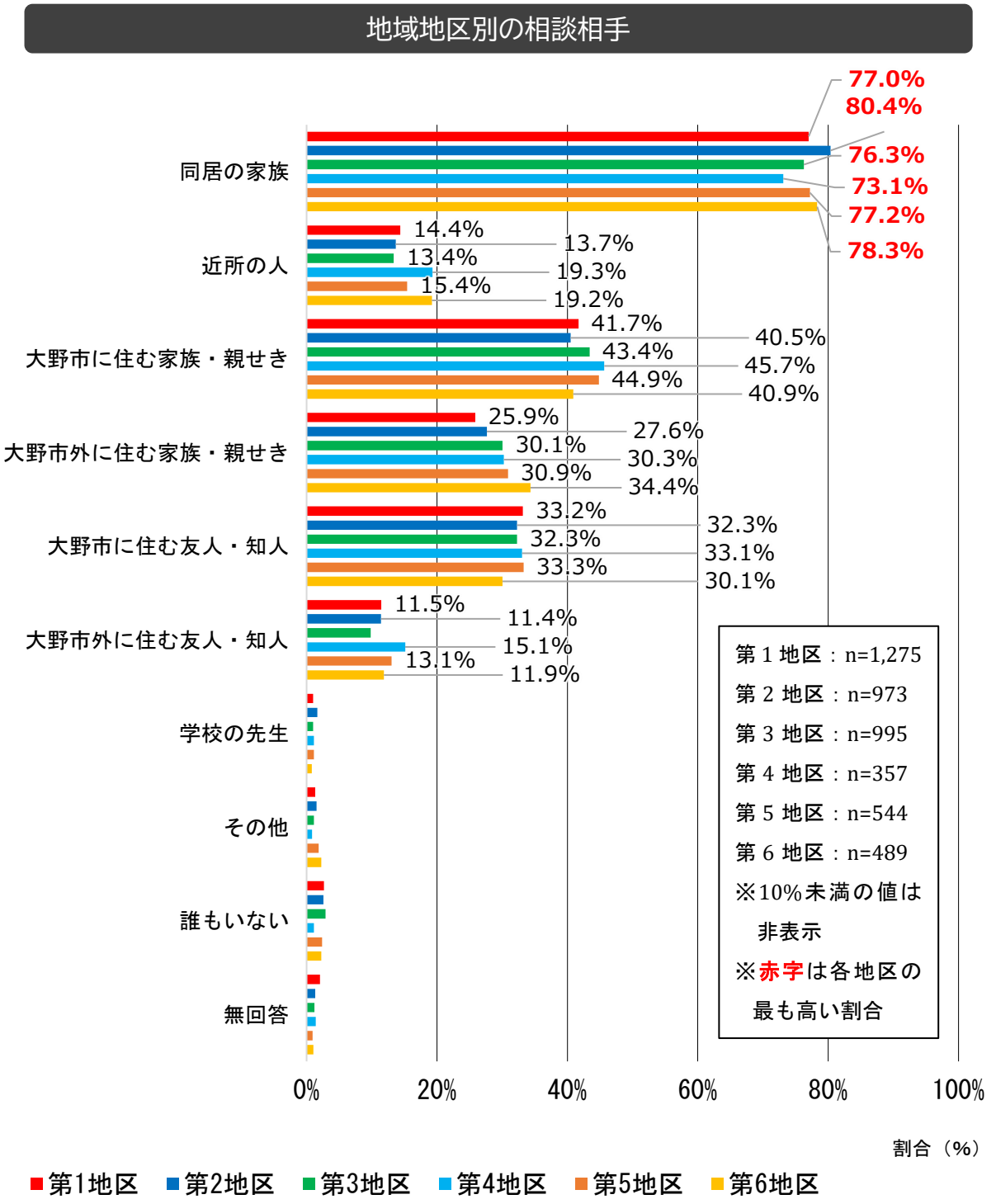
・全ての地区で共通して、「冬場の雪かきや雪が降った時の交通に関すること」といった雪に関することに不安を感じていました。

地域地区別の大野地区の不安な点



＜ 1-4.　相談する相手（問４）＞

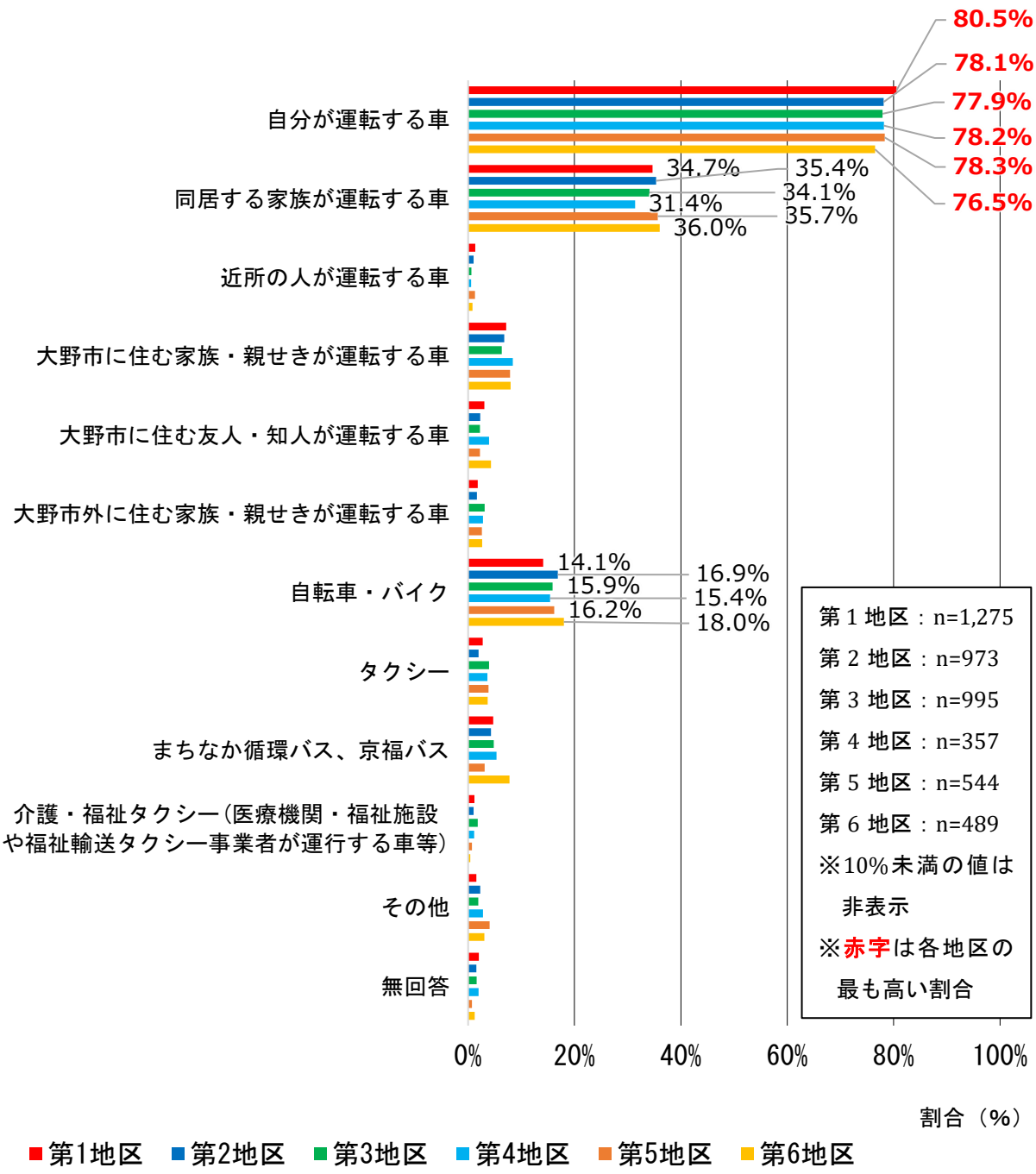
・全ての地区で共通して、「同居の家族」に相談する方が多くいました。



＜ 1-5.　普段の交通手段（問５）＞

・全ての地区で共通して、「自分が運転する車」で日常的な移動をしている方が多くいました。

地域地区別の日常の移動手段

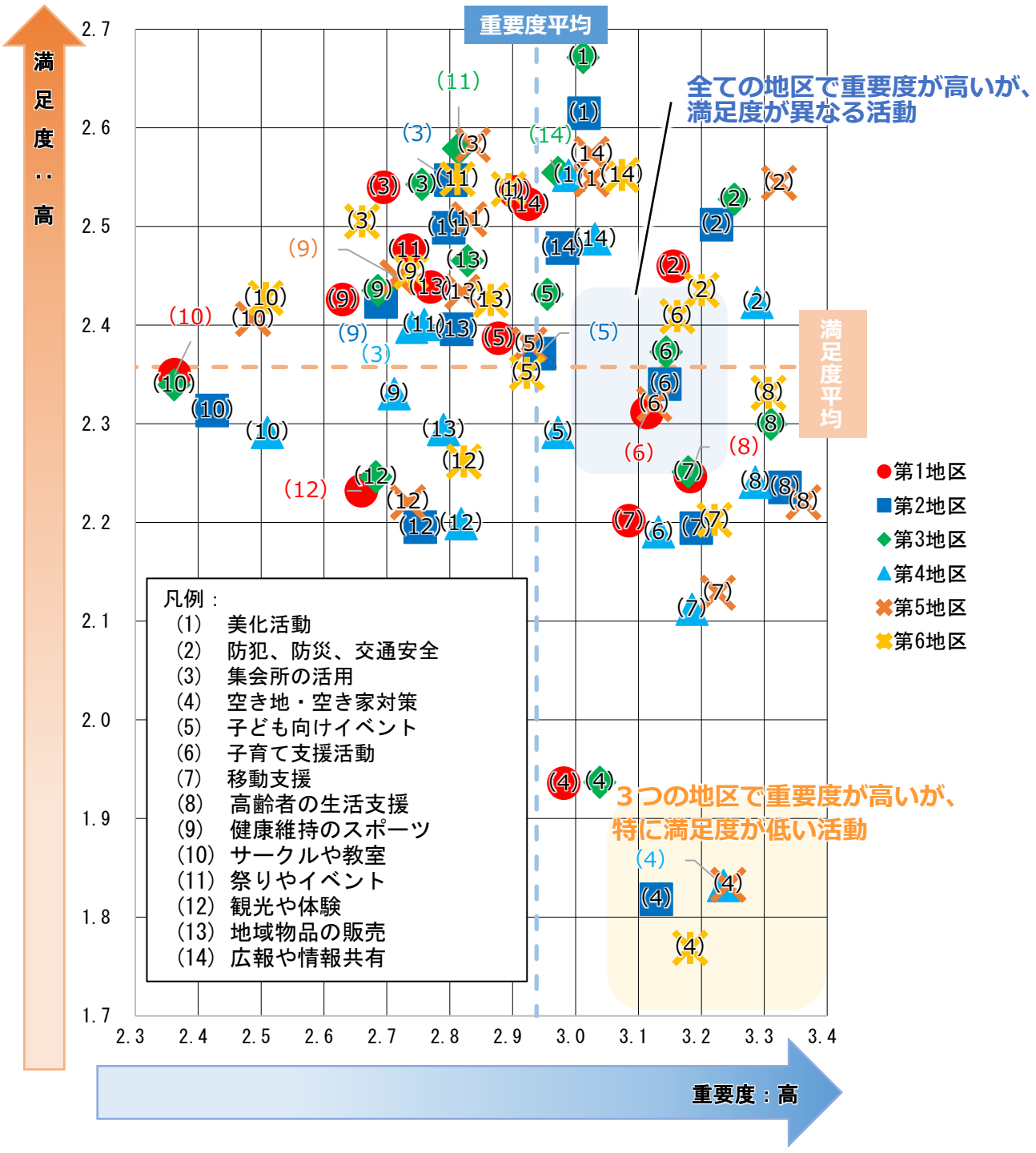


＜ 1-6.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）＞

・第２地区、第４地区、第５地区、第６地区は、「（４）空き地・空き家対策」に関する活動が、重要と思われつつも、不満に思われていました。

・「（６）子育て支援活動」に関する活動は、全ての地区で重要だと思われつつも、地区によって満足度が異なっていました。

地域地区別の各活動の重要度と満足度

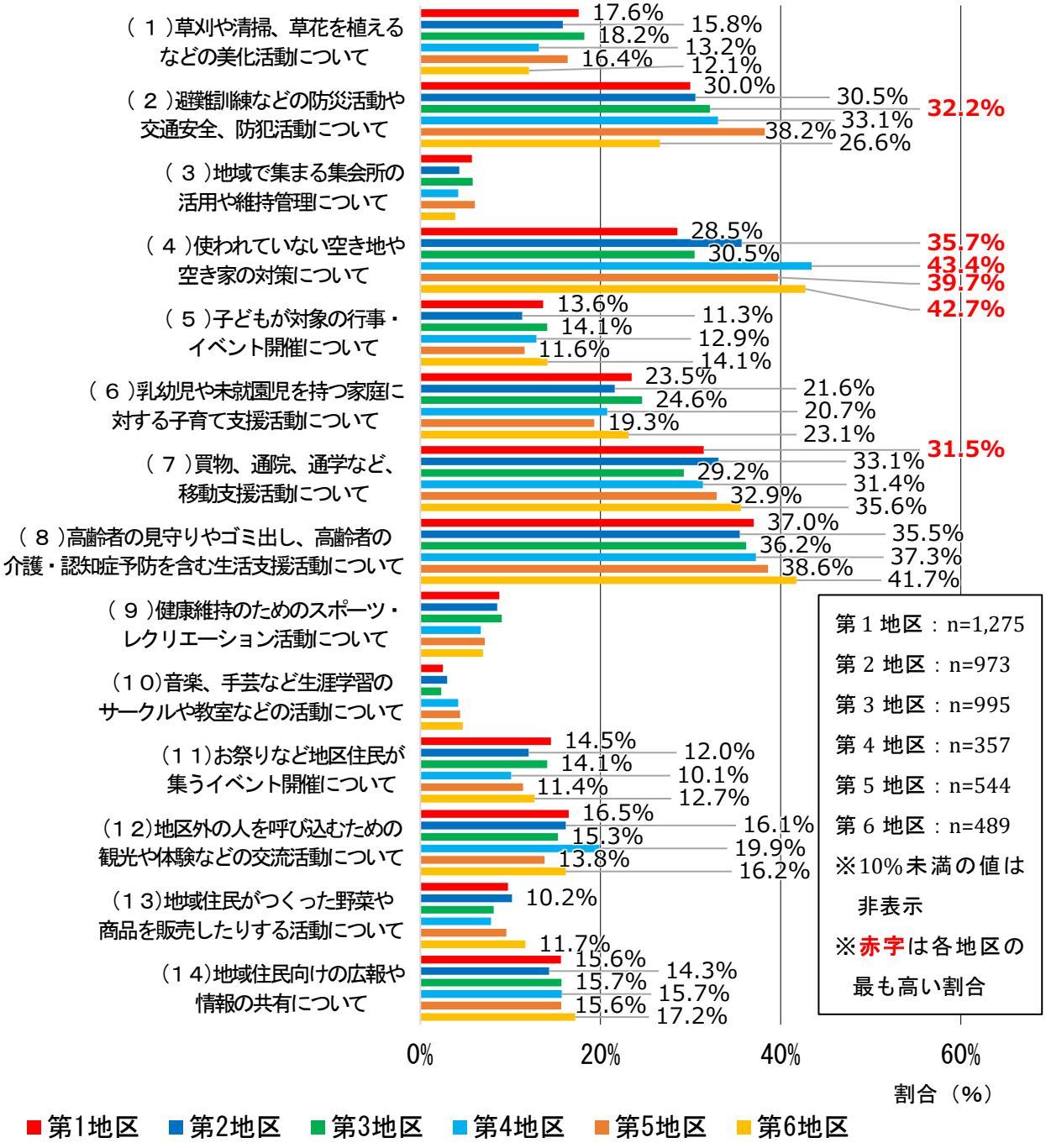


＜ 1-7.　特に重要な活動（問７）＞

・第１地区、第３地区以外は、「（４）使われていない空き地や空き家の対策について」が特に重要と思われていました。

・一方で、第１地区は、「（７）買物、通院、通学など、移動支援活動について」、第３地区は、「避難訓練などの防災活動や交通安全、防犯活動について」が重要だと思われていました。

地域地区別の各活動で特に重要な活動

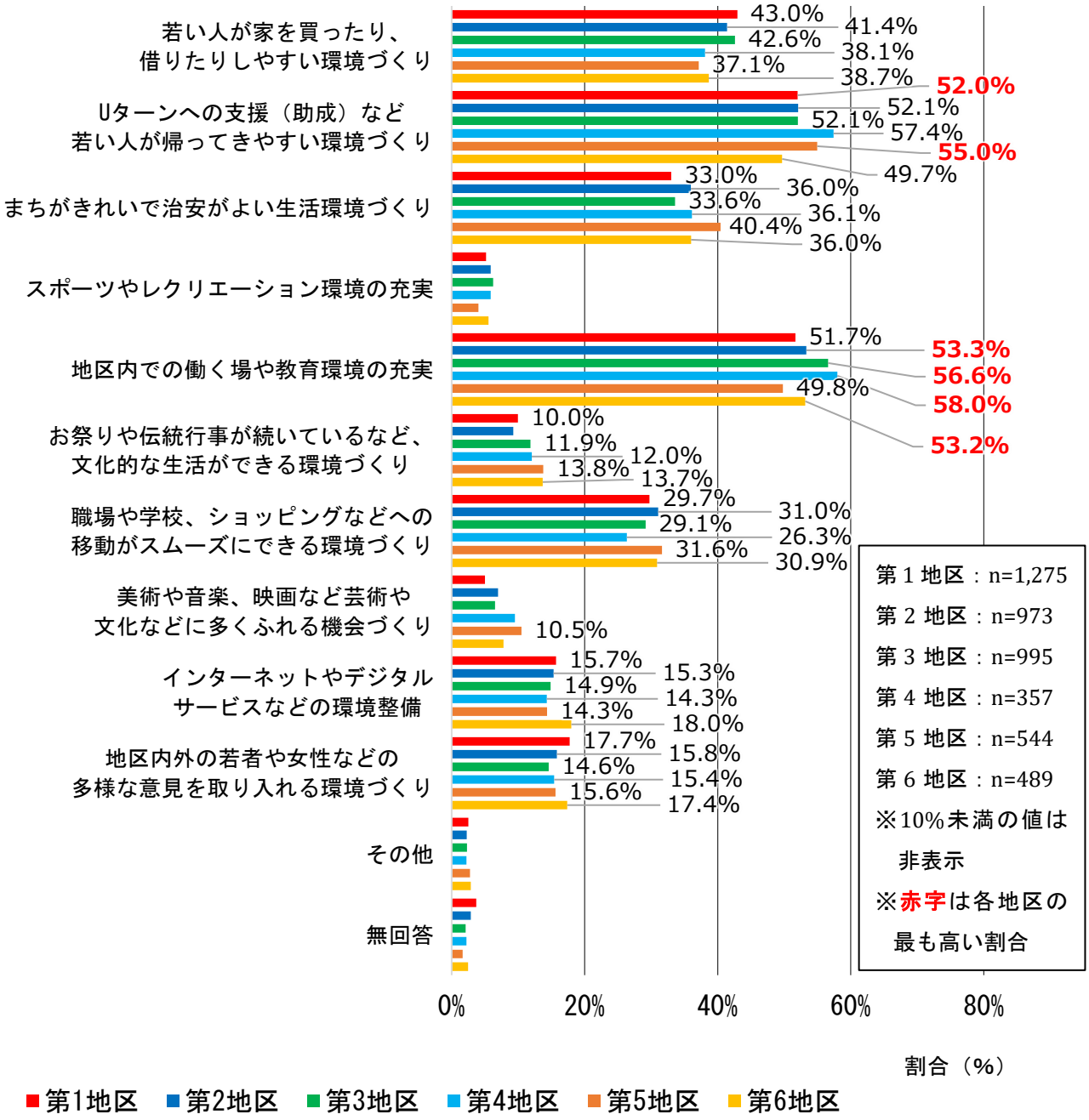


＜ 1-8.　若い世代が１０年後も大野地区で安心して住むために必要なこと（問８）＞

・第１地区、第５地区以外は、「地区内での働く場や教育環境の充実」が必要であると思われていました。

・一方で、第 1 地区、第５地区は、「Uターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり」が必要であると思われていました。

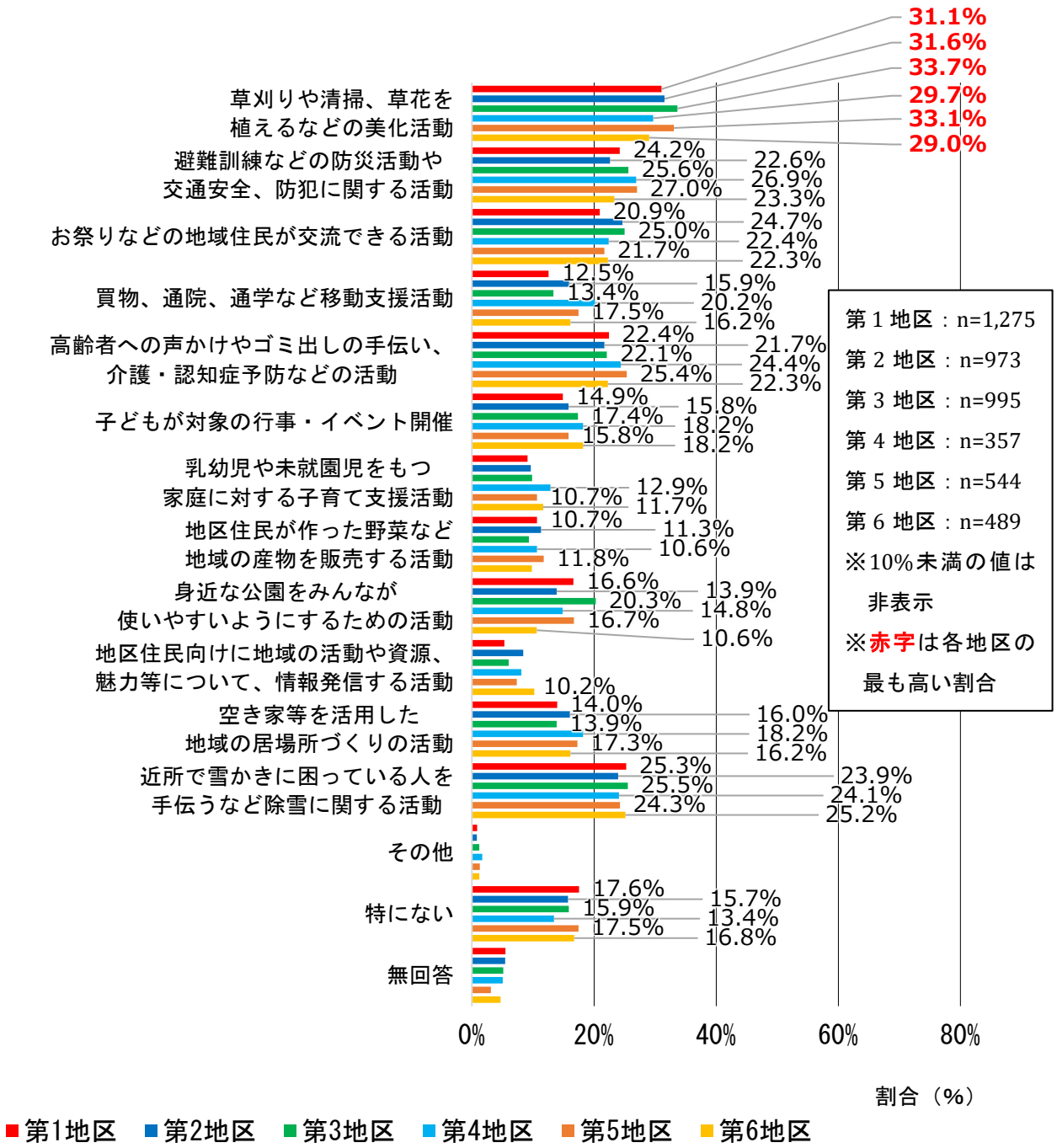
地域地区別の若い世代が住むために必要なこと



＜ 1-9.　関心・興味・行ってみたい活動（問９）＞

・全ての地区で共通して、「草刈りや清掃、草花を植えるなどの美化活動」に興味・関心を持たれていました。

地域地区別の関心･興味･行ってみたい活動

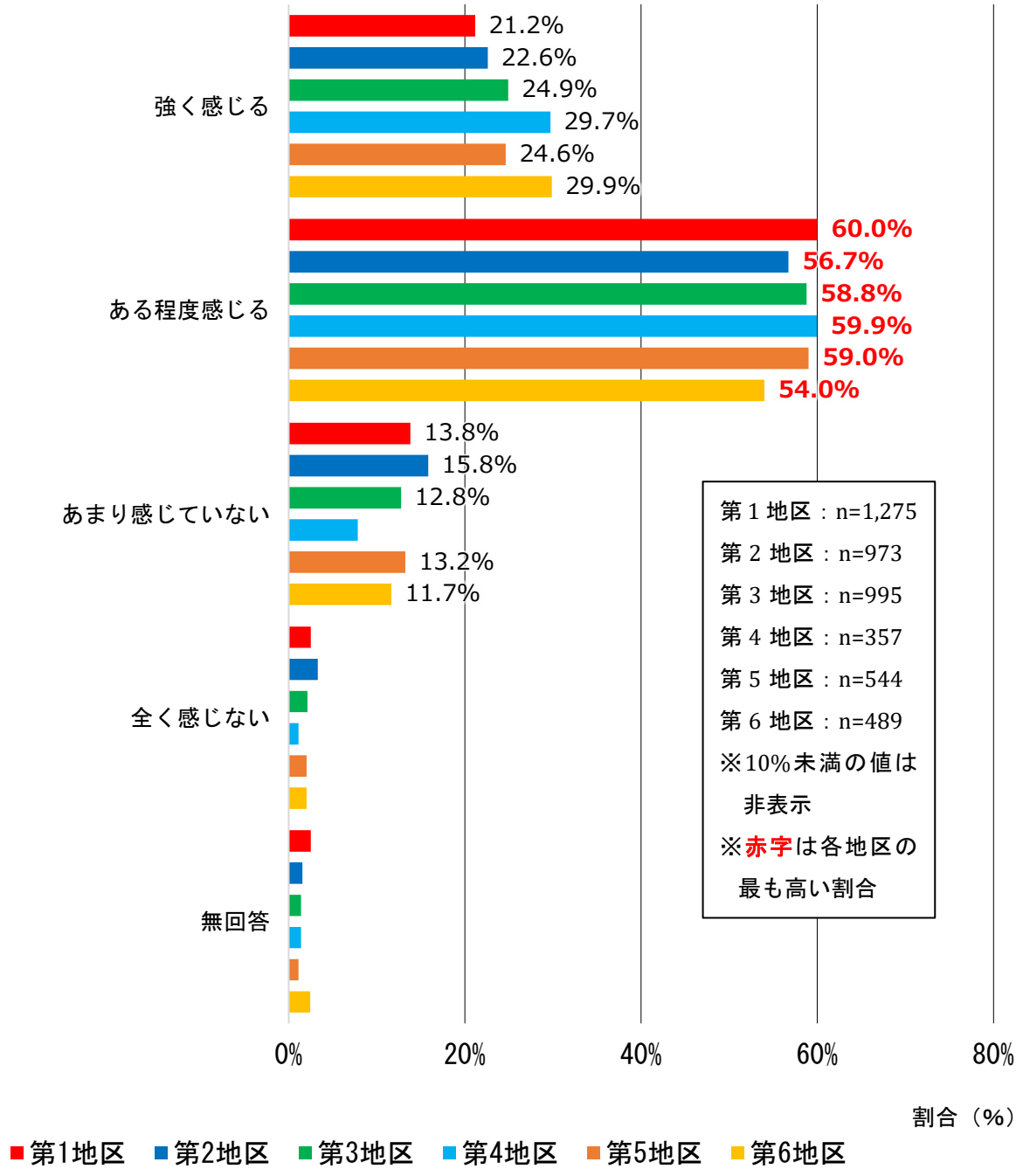


＜ 1-10-1.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（１））- 愛着 ＞

・全ての地区で共通して、大野地区にある程度の愛着を感じていました。

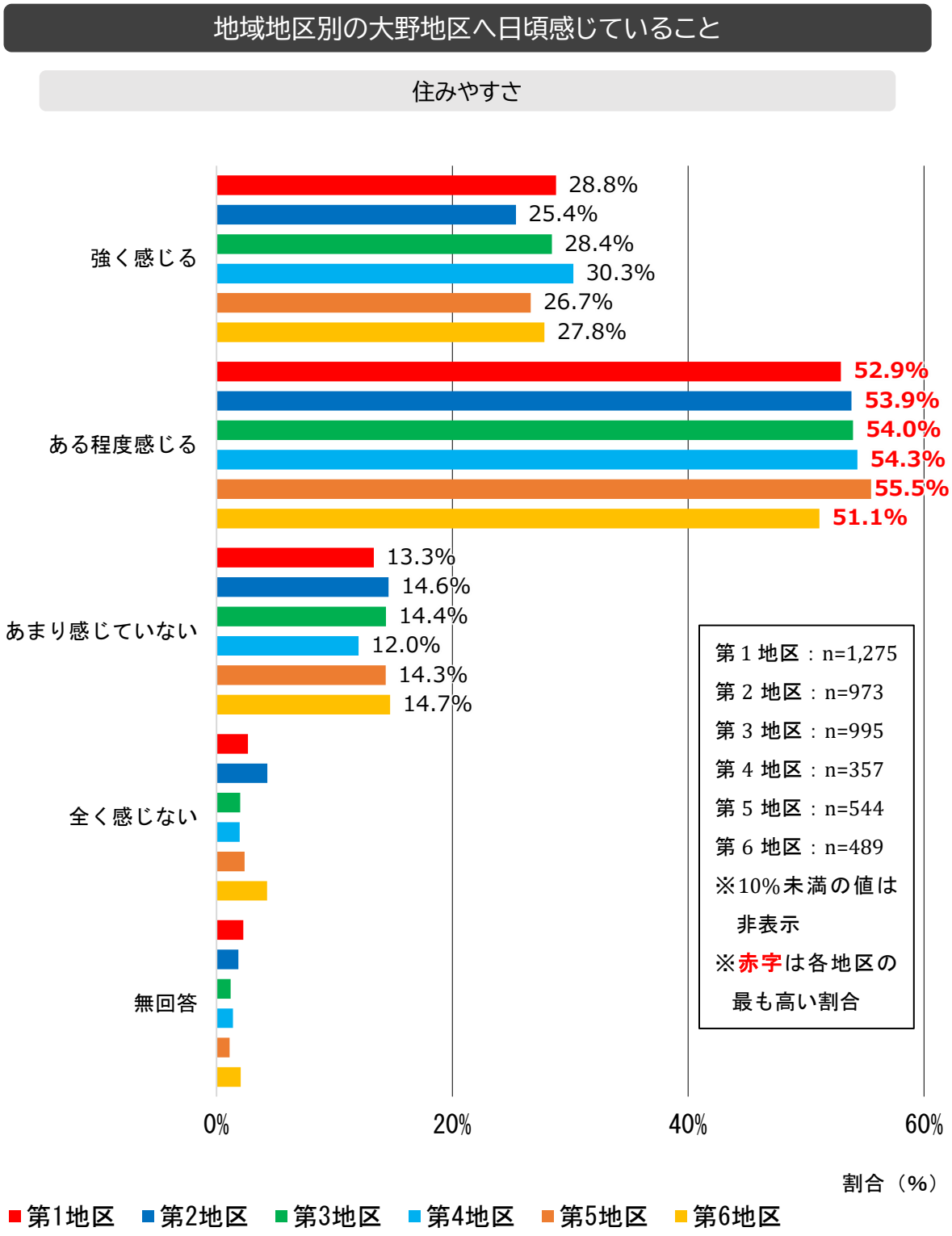
地域地区別の大野地区へ日頃感じていること

愛着



＜ 1-10-2.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（２））- 住みやすさ ＞

・全ての地区で共通して、ある程度住みやすく感じていました。

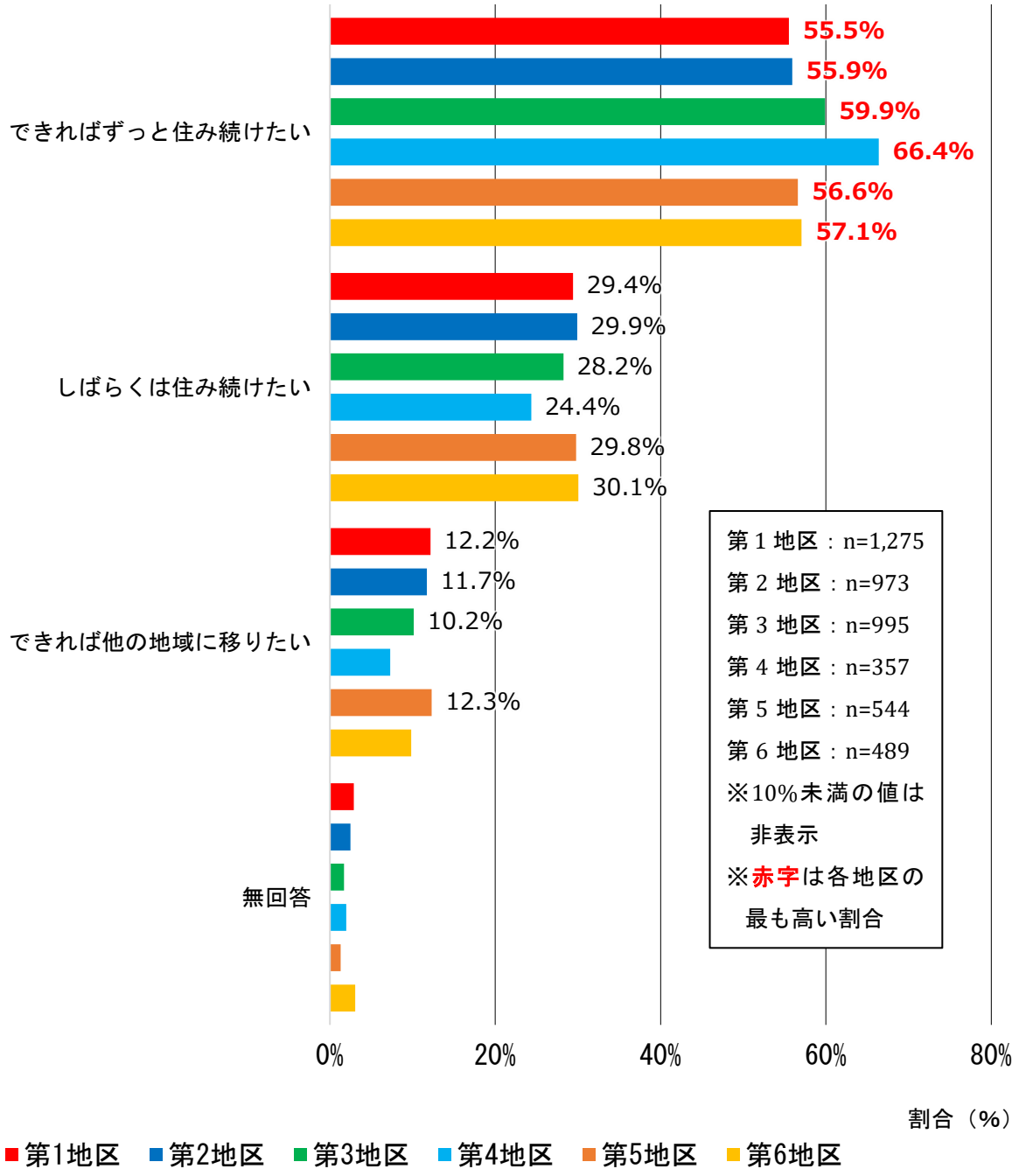


＜ 1-10-3.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（３））- 居住意向 ＞

・全ての地区で共通して、できればずっと住み続けたいと感じていました。

地域地区別の大野地区へ日頃感じていること

居住意向



＜ 1-10-4.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・全ての地区で共通して、住み続けたい理由として「出身地だから（住み慣れている等）」が最も多くなっていました。

・大項目で見ると、どの地区においても「家庭の事情に関するもの」に分類される意見が多くなっていました。

地域地区別の大野地区へ日頃感じていること

住み続けたいと思う人の意見（できればずっと住み続けたい、しばらく住み続けたい）

連番	カテゴリー	大項目	小項目	地域地区					
				第１地区	第２地区	第３地区	第４地区	第５地区	第６地区
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	138	106	98	45	65	71
2			愛着があるから等	44	18	28	10	8	16
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	68	46	59	19	30	28
4			交流の場が少ないから	0	0	0	1	0	1
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	7	4	3	2	2	4
6			娯楽施設等がないから	7	4	5	0	3	2
7			交通の便がよくないから	9	6	10	5	9	10
8			医療サービスが利用しにくいから	7	5	9	1	4	3
9			全体的に不便だから等	2	1	2	0	1	1
10			買い物がしやすいから	17	10	18	2	9	1
11			交通の便がよいから	15	6	6	5	3	2
12			医療サービスが利用しやすいから	4	4	8	0	4	2
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	103	87	99	35	39	40
14			景観がよいから	11	4	5	1	2	3
15			食べ物がおいしいから	5	4	7	4	2	4
16			まちの歴史があるから	0	0	0	0	2	3
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	0	1	1	1	0	0
18			育児環境がよいから	3	1	5	1	0	4
19			教育環境がよくないから	1	1	0	1	0	0
20			教育環境がよいから	0	6	4	0	1	2
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	40	41	35	11	14	11
22			治安がよくないから	0	0	0	0	0	0
23			被災時に不安があるから	1	0	0	0	1	0
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	56	57	48	28	29	21
25			加齢による不安があるから	38	28	37	16	19	25
26			住居・住宅を所有しているから等	54	43	29	10	16	17
27			転居の予定がないから	79	53	61	24	25	39
28			転居の予定があるから等	7	13	11	4	8	10
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	5	8	5	1	1	6
30			仕事上の都合があるから	6	8	7	5	5	4
31		進学・就職に関するもの	進学するから	9	4	6	0	2	3
32			就職（転職）するから	1	2	3	3	2	1
33			仕事が少ないから	7	3	7	2	2	1
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	2	7	2	0	1	1
35			将来的なことが分からないから	10	7	8	2	7	5
36			視野を広げるため	4	3	1	1	1	1
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	35	24	31	10	11	11
38			除雪があるから	14	13	14	9	10	16
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	0	1	1	0	1	0
40			自然環境がよいから	89	64	70	29	41	35
41			良質な水があるから	25	17	23	9	23	24
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	地区の将来性を感じないから	2	5	6	1	2	4
43			施設の更新等がされていないから	0	1	0	0	0	1
44			市政に不満があるから等	2	1	0	0	1	1
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0	0	0	0	0
46			経済的に厳しいから	2	1	5	2	1	3
47	その他	その他	現状に満足しているから	14	13	19	3	10	12
48			魅力を感じないから	2	3	3	1	0	1
49			イベントが多いから	1	2	1	2	1	1
50			資産があるから	0	0	0	0	1	0
51			その他（理由にならないもの）	33	23	24	8	20	5
合計				979	759	824	314	439	456

＜ 1-10-5.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・全ての地区で共通して、他の地域に移りたいと思う理由として「降雪があるから」が最も多くなっていました。

・大項目で見ると、どの地区においても「生活の利便性に関するもの」に分類される意見が多くなっていました。

地域地区別の大野地区へ日頃感じていること

地域を移したいと思う人の意見（できれば他の地域に移りたい）

連番	カテゴリー	大項目	小項目	地域地区					
				第１地区	第２地区	第３地区	第４地区	第５地区	第６地区
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	0	2	1	0	0	0
2			愛着があるから等	0	0	0	0	0	0
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	4	4	0	1	0	0
4			交流の場が少ないから	1	0	2	0	0	0
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	11	8	5	3	5	5
6			娯楽施設等がないから	12	7	8	3	6	1
7			交通の便がよくないから	22	14	16	6	6	6
8			医療サービスが利用しにくいから	10	7	9	1	6	6
9			全体的に不便だから等	11	4	3	2	0	6
10			買い物がしやすいから	0	0	0	0	0	0
11			交通の便がよいから	0	0	0	0	0	0
12			医療サービスが利用しやすいから	0	0	0	0	0	0
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	1	0	3	0	1	0
14			景観がよいから	0	0	0	0	0	0
15			食べ物がおいしいから	0	0	1	0	0	0
16			まちの歴史があるから	0	0	0	0	1	0
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	0	0	0	1	0	3
18			育児環境がよいから	0	0	0	0	0	1
19			教育環境がよくないから	2	0	0	0	1	2
20			教育環境がよいから	0	1	0	0	0	0
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	0	0	0	0	0	0
22			治安がよくないから	1	0	0	0	1	0
23			被災時に不安があるから	0	0	0	0	2	0
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	3	2	5	2	2	1
25			加齢による不安があるから	9	3	7	4	5	2
26			住居・住宅を所有しているから等	2	0	0	0	0	0
27			転居の予定がないから	0	0	0	0	1	0
28			転居の予定があるから等	5	8	10	2	2	3
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	2	0	0	0	0	0
30			仕事上の都合があるから	1	1	0	2	3	0
31		進学・就職に関するもの	進学するから	1	1	1	0	1	0
32			就職（転職）するから	0	0	2	0	0	1
33			仕事が少ないから	12	2	6	2	8	5
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	3	0	0	0	0	0
35			将来的なことが分からないから	1	1	0	0	0	0
36			視野を広げるため	1	1	1	0	1	0
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	42	26	20	9	12	5
38			除雪があるから	13	12	15	3	9	9
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	1	0	0	0	1	1
40			自然環境がよいから	1	0	0	0	0	0
41			良質な水があるから	0	0	0	0	0	1
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	地区の将来性を感じないから	3	4	4	1	3	1
43			施設の更新等がされていないから	0	0	0	0	0	1
44			市政に不満があるから等	5	9	3	1	1	2
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0	2	0	0	0
46			経済的に厳しいから	2	2	2	1	1	1
47	その他	その他	現状に満足しているから	0	0	0	0	0	0
48			魅力を感じないから	10	0	1	0	2	2
49			イベントが多いから	0	0	0	0	0	0
50			資産があるから	0	0	0	0	0	0
51			その他（理由にならないもの）	6	5	4	0	2	0
合計				198	124	131	44	83	65

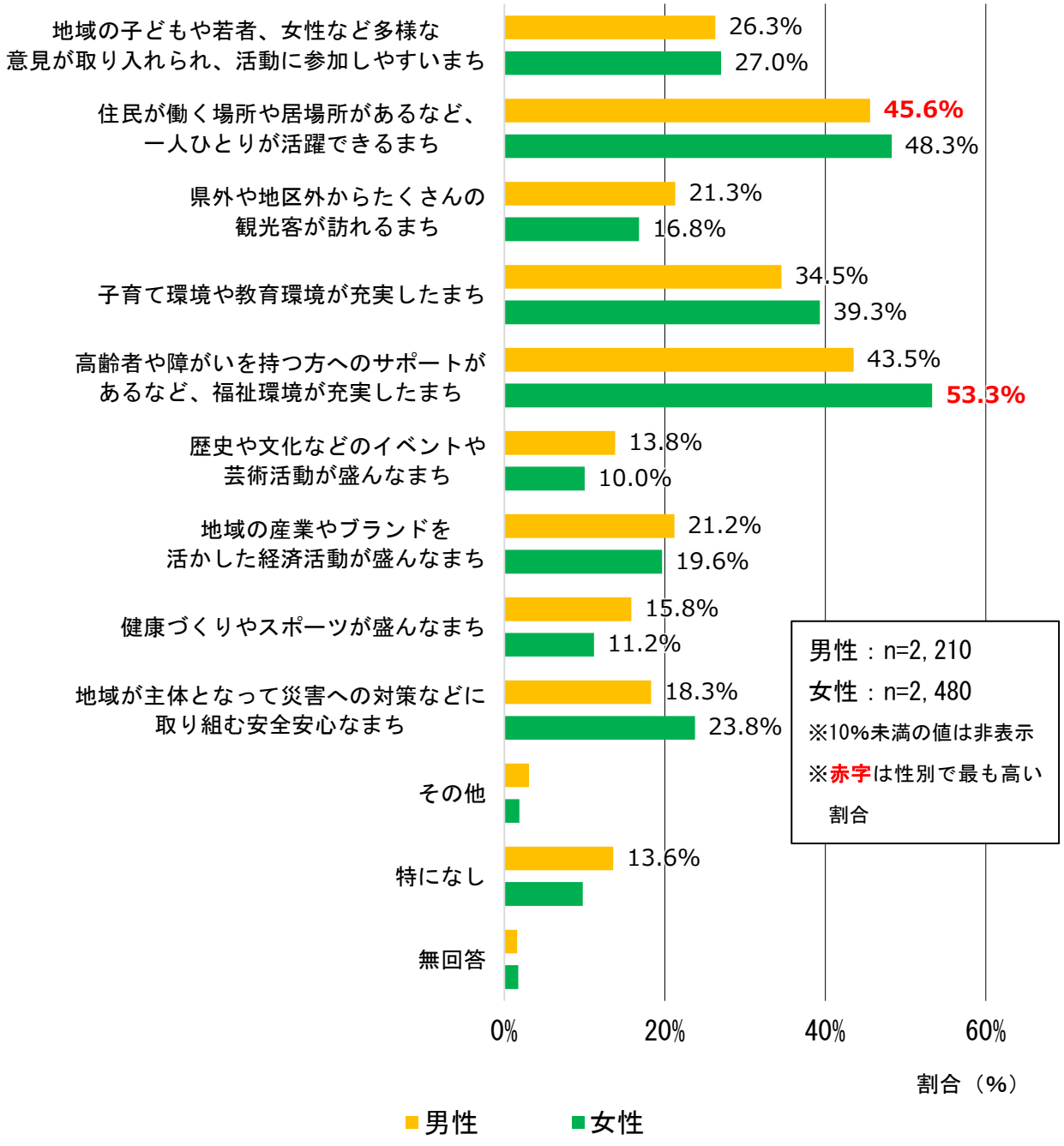
属性別集計２．　男女別の集計

＜2-1.　　１０～２０年後の大野地区の将来像（問１）＞

・男性は、「住民が働く場所や居場所があるなど、一人ひとりが活躍できるまち」といった地区になると良いと思われていました。

・一方で、女性は、「高齢者や障がいを持つ方へのサポートがあるなど、福祉環境が充実したまち」といった地区になると良いと思われていました。

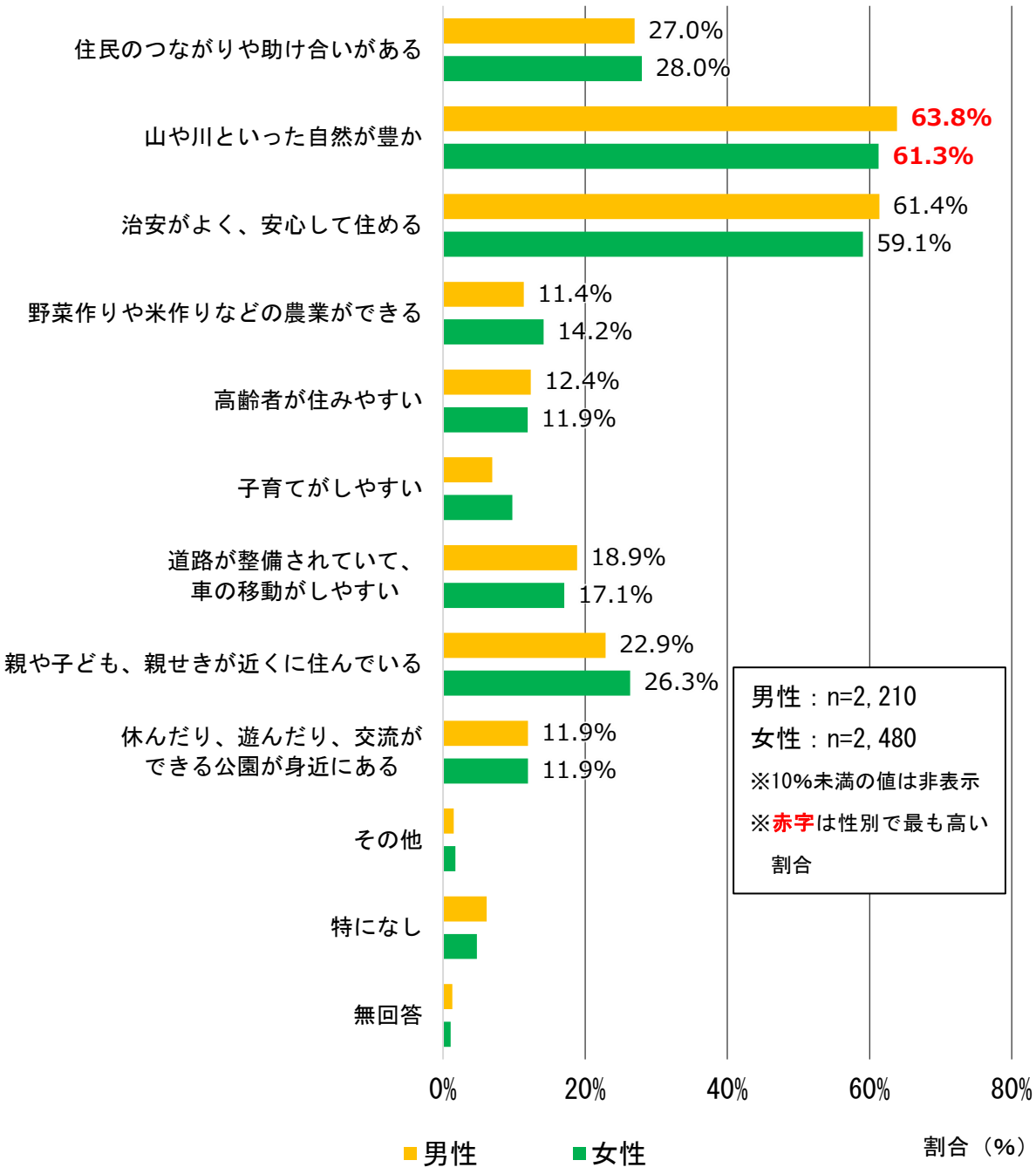
男女別の大野地区の将来像



＜ 2-2.　大野地区の良い点（問２）＞

・男女共通して、「山や川といった自然が豊か」が良い点と思われていました。

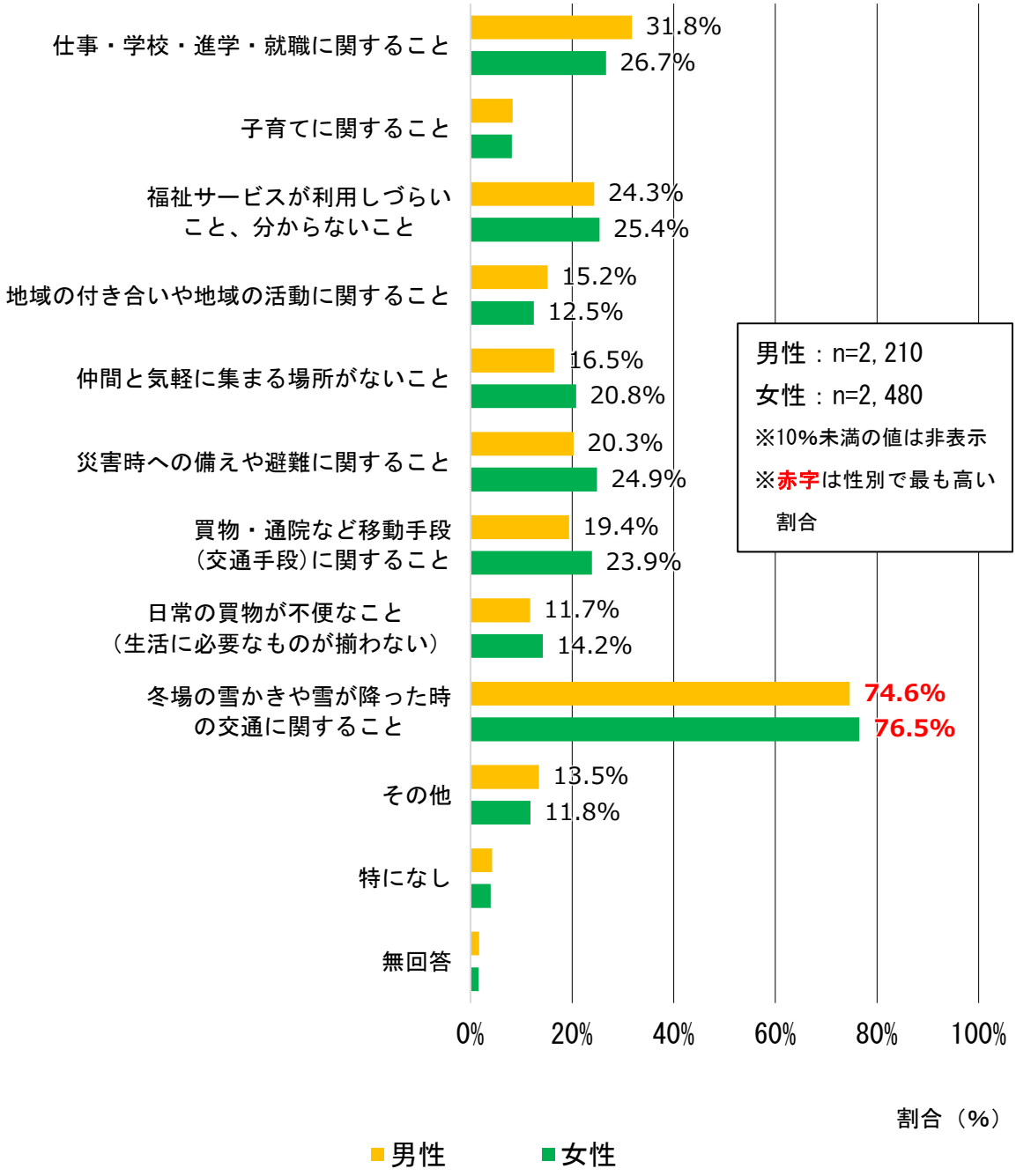
男女別の大野地区の良い点



＜ 2-3.　大野地区の不安な点（問３）＞

・男女共通して、「冬場の雪かきや雪が降ったときの交通に関すること」といった雪に関することに不安を感じていました。

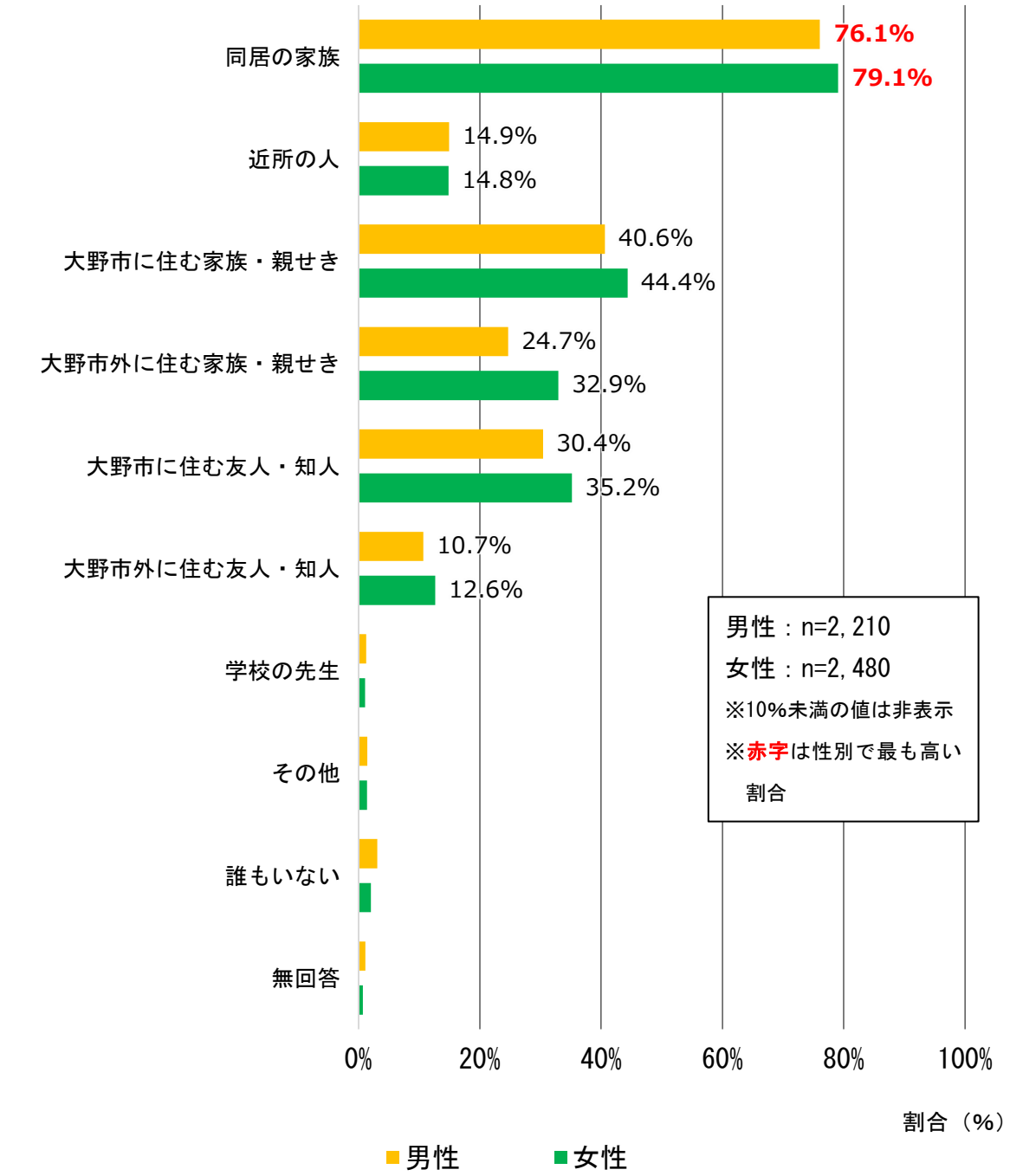
男女別の大野地区の不安な点



＜ 2-4.　相談する相手（問４）＞

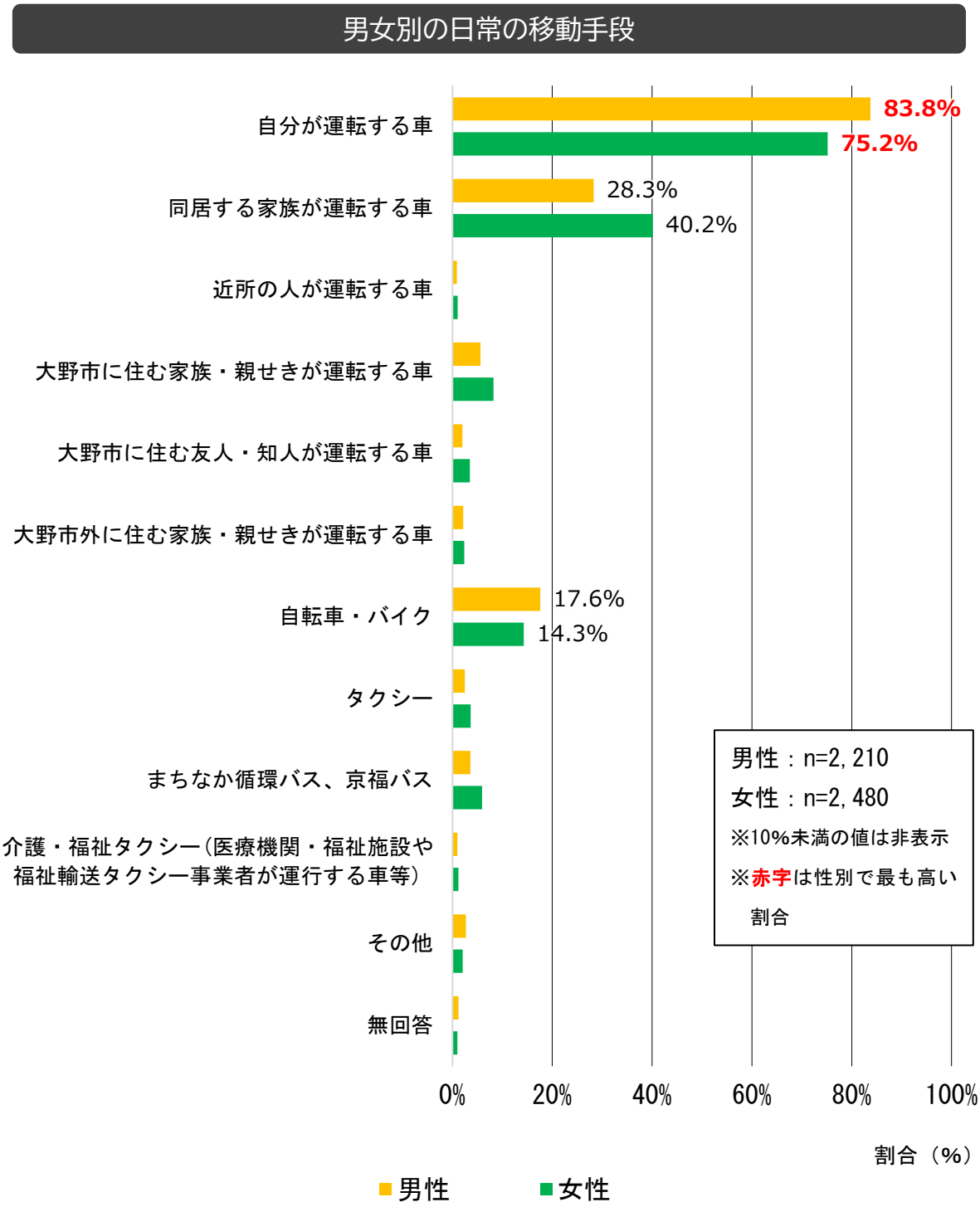
・男女共通して、「同居の家族」に相談している方が多くいました。

男女別の相談相手



＜ 2-5.　普段の交通手段（問５）＞

・男女共通して、「自分が運転する車」で日常的な移動をしている方が多くいました。

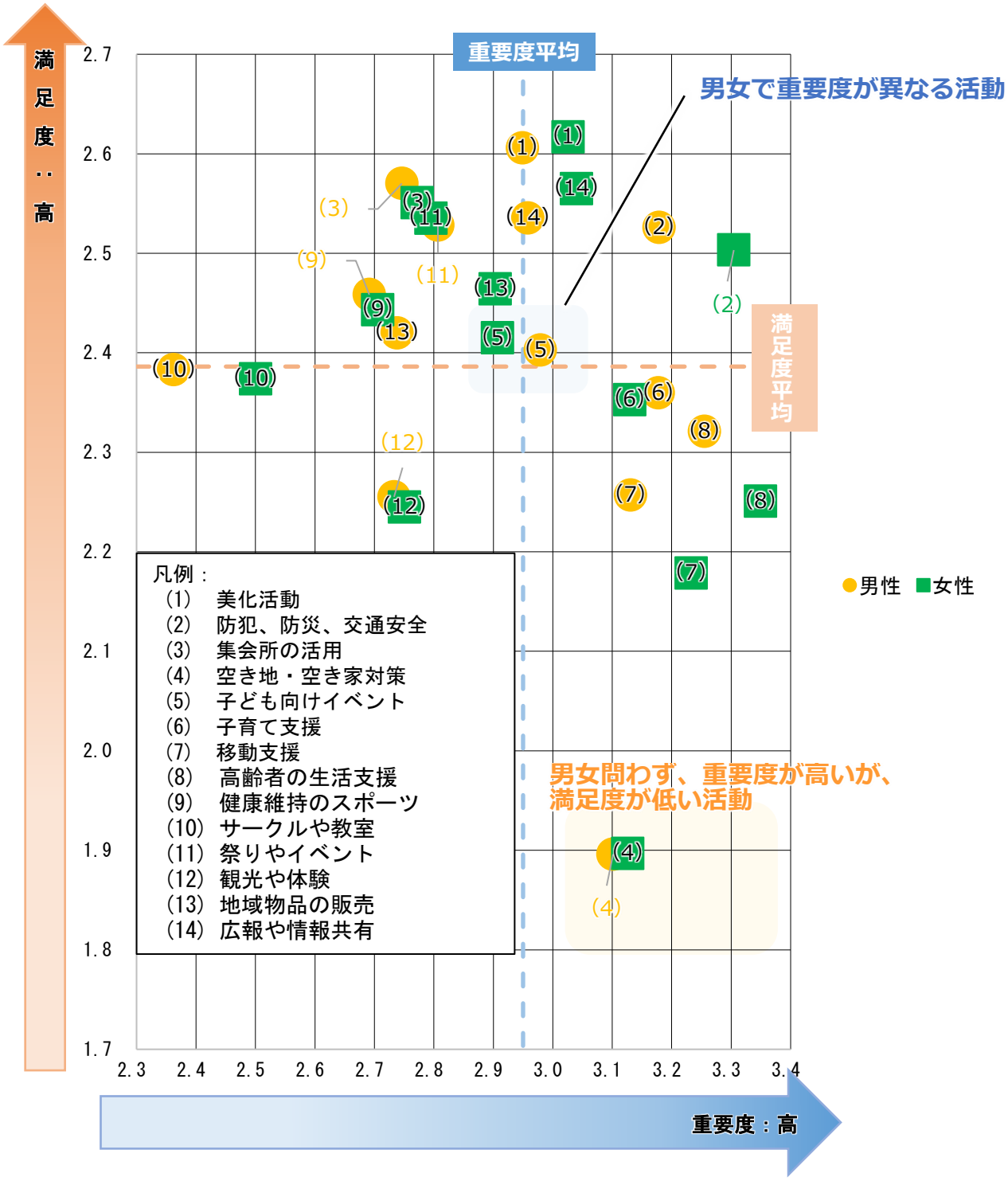


＜ 2-6.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）＞

・男女共通して、「（４）空き地・空き家対策」に関する活動が重要と思われつつも、不満に感じていました。

・一方で、「（５）子ども向けイベント開催」は男女ともにある程度満足に感じていますが、重要度は異なっていました。

男女別の各活動の重要度と満足度

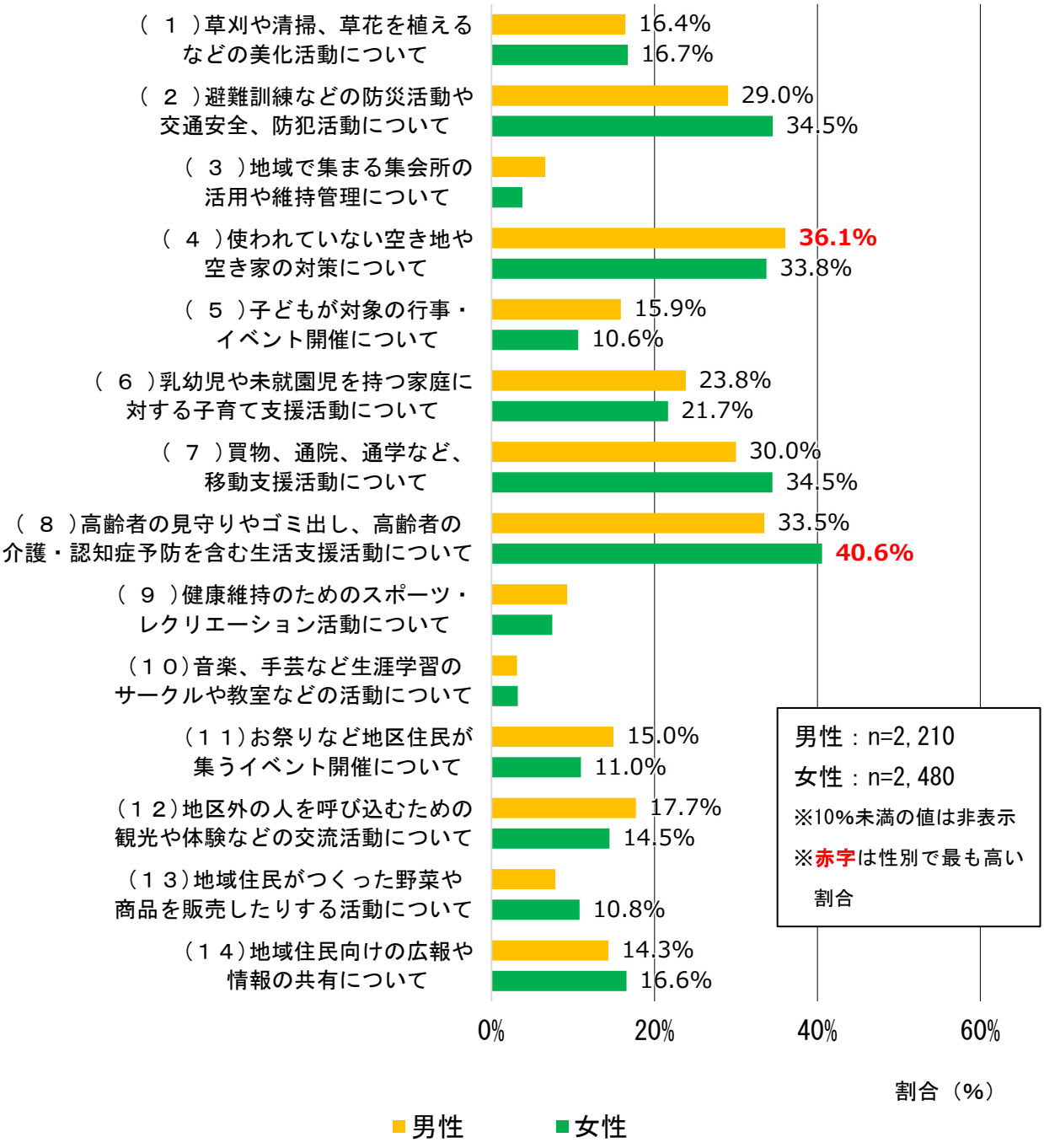


＜ 2-7.　特に重要な活動（問７）＞

・男性は、「（４）使われていない空き地や空き家の対策について」が特に重要だと思われていました。

・一方で、女性は、「（８）高齢者の見守りやゴミ出し、高齢者の介護・認知症予防を含む生活支援活動」が特に重要だと思われていました。

男女別の各活動で特に重要な活動

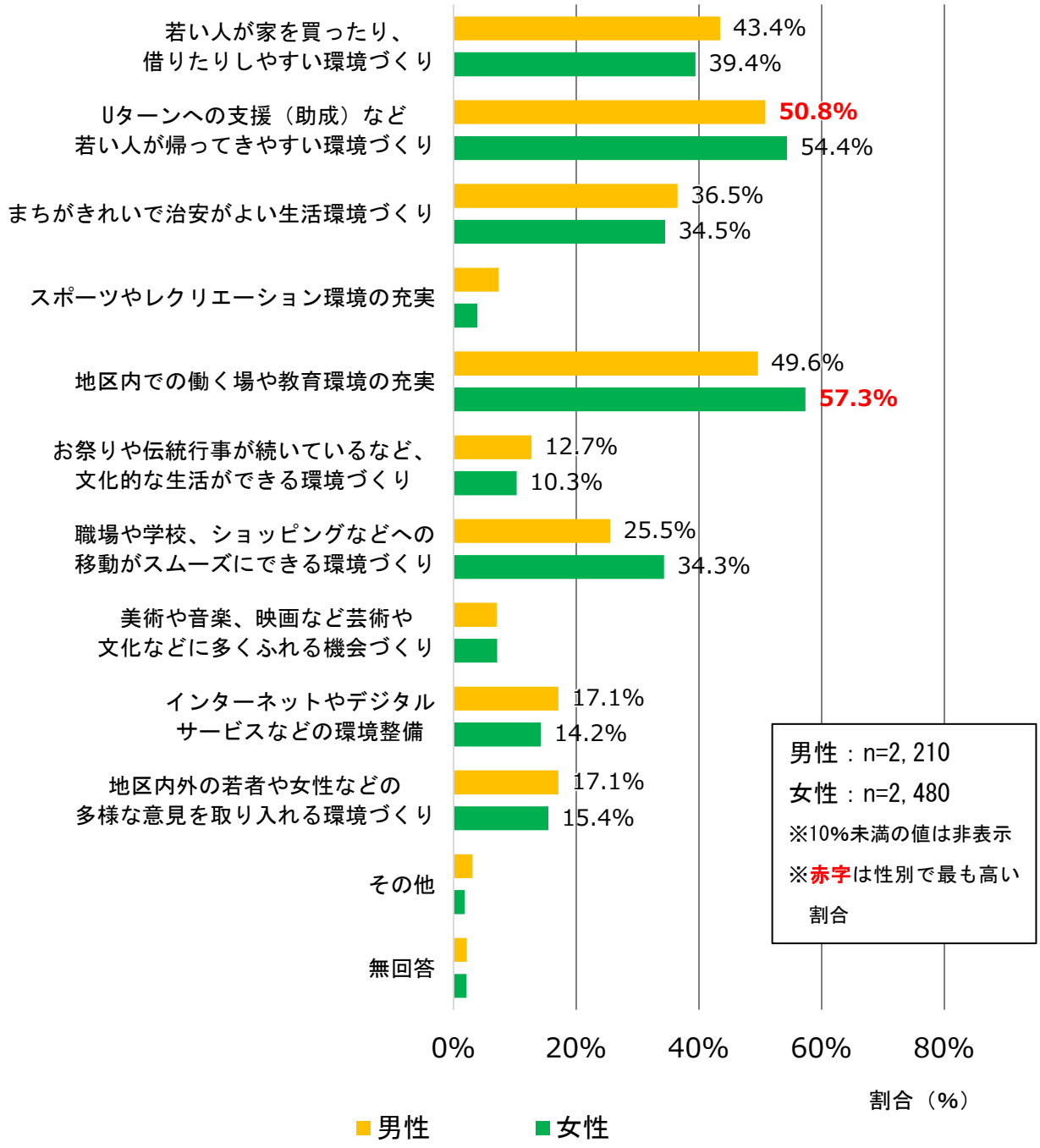


＜2-8.　若い世代が１０年後も大野地区で安心して住むために必要なこと（問８）＞

・男性は、「Ｕターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり」が必要であると思われていました。

・一方で、女性は、「地区内での働く場や教育環境の充実」が必要であると思われていました。

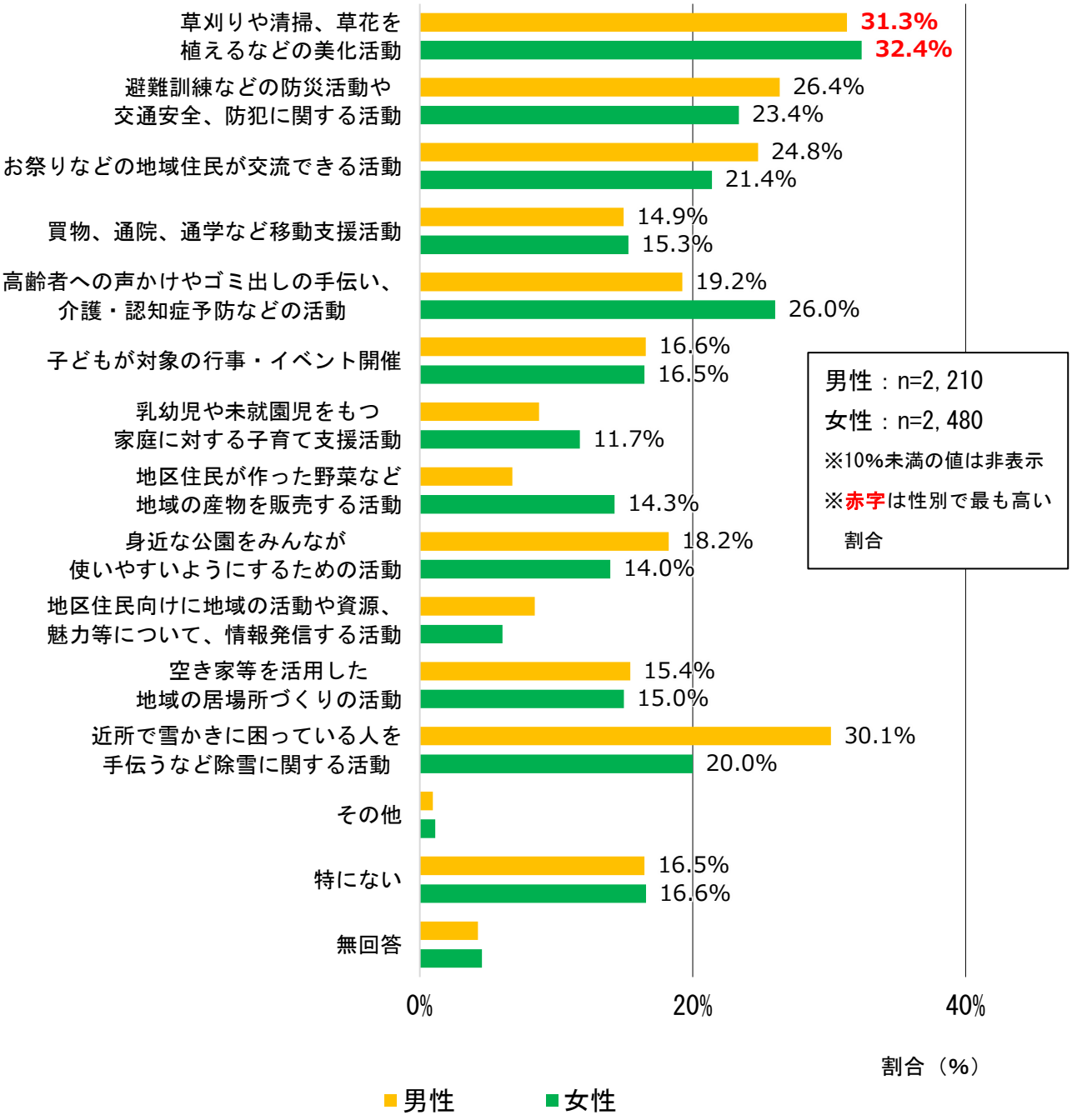
男女別の若い世代が住むために必要なこと



＜ 2-9.　関心・興味・行ってみたい活動（問９）＞

・男女共通して、「草刈りや清掃、草花を植えるなどの美化活動」に興味・関心を持たれていました。

男女別の関心･興味･行ってみたい活動

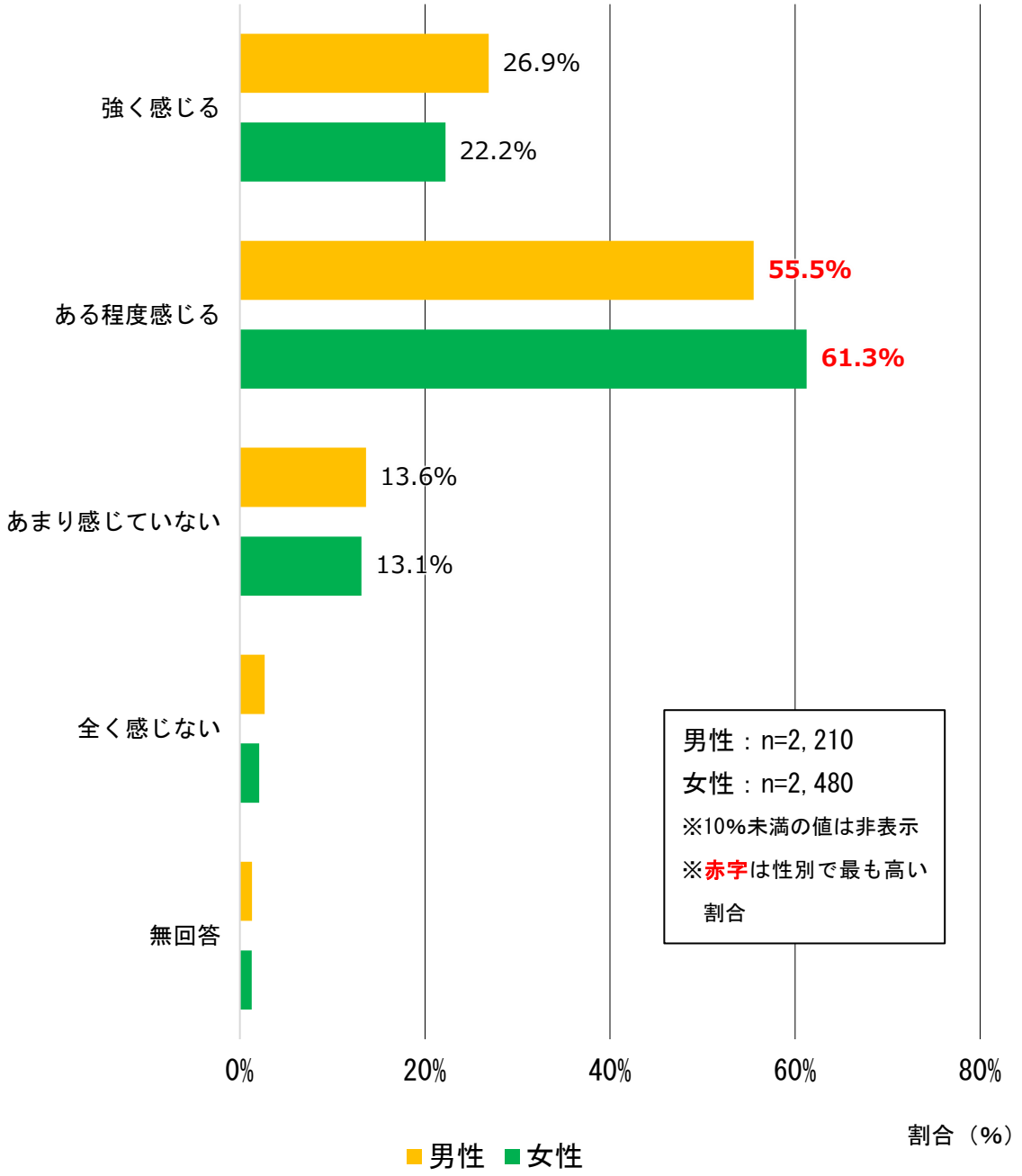


＜ 2-10-1.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 愛着 ＞

・男女共通して、大野地区にある程度の愛着を感じていました。

男女別の大野地区へ日頃感じていること

愛着

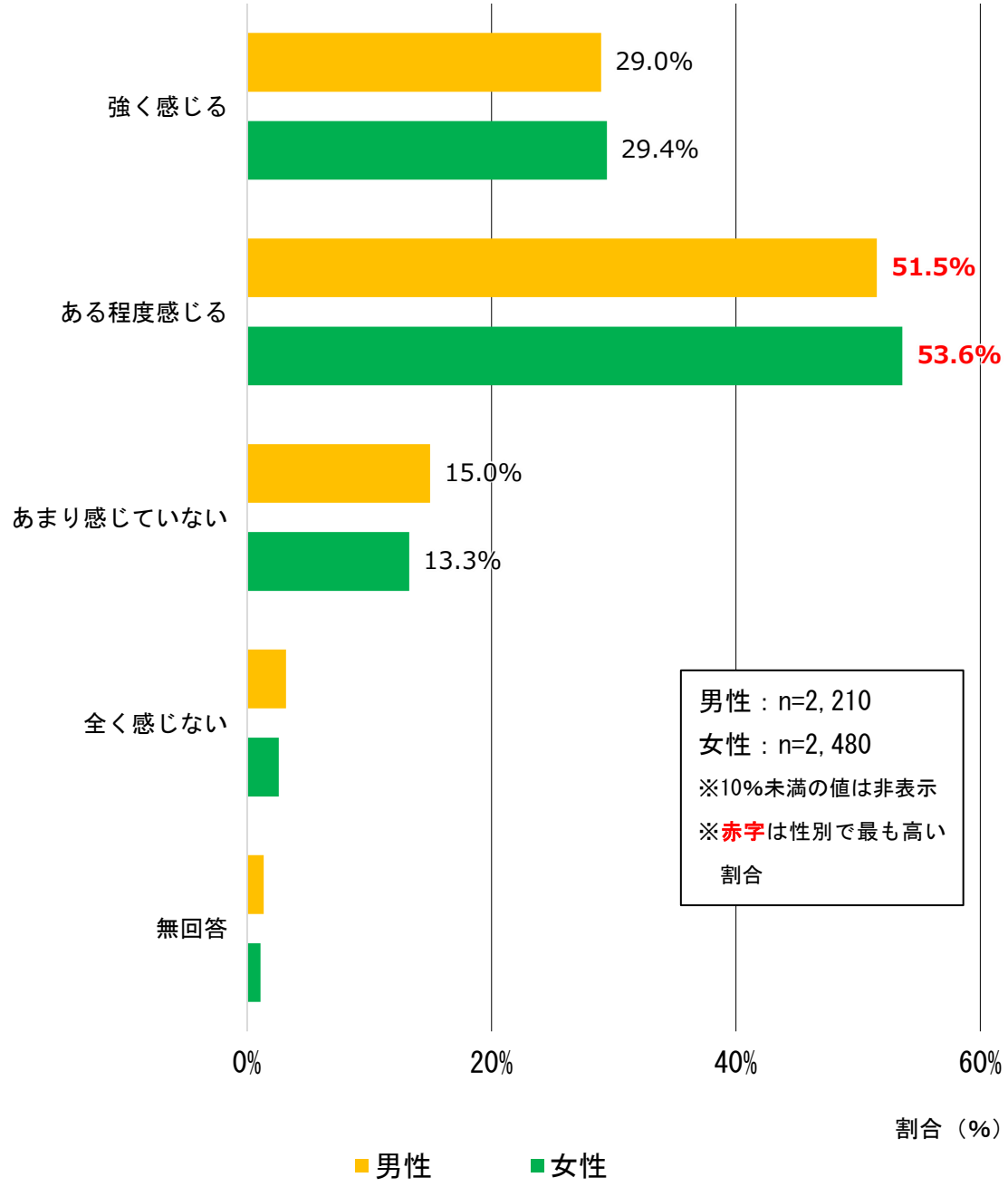


＜ 2-10-2.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 住みやすさ ＞

・男女共通して、大野地区にある程度住みやすさを感じていました。

男女別の大野地区へ日頃感じていること

住みやすさ

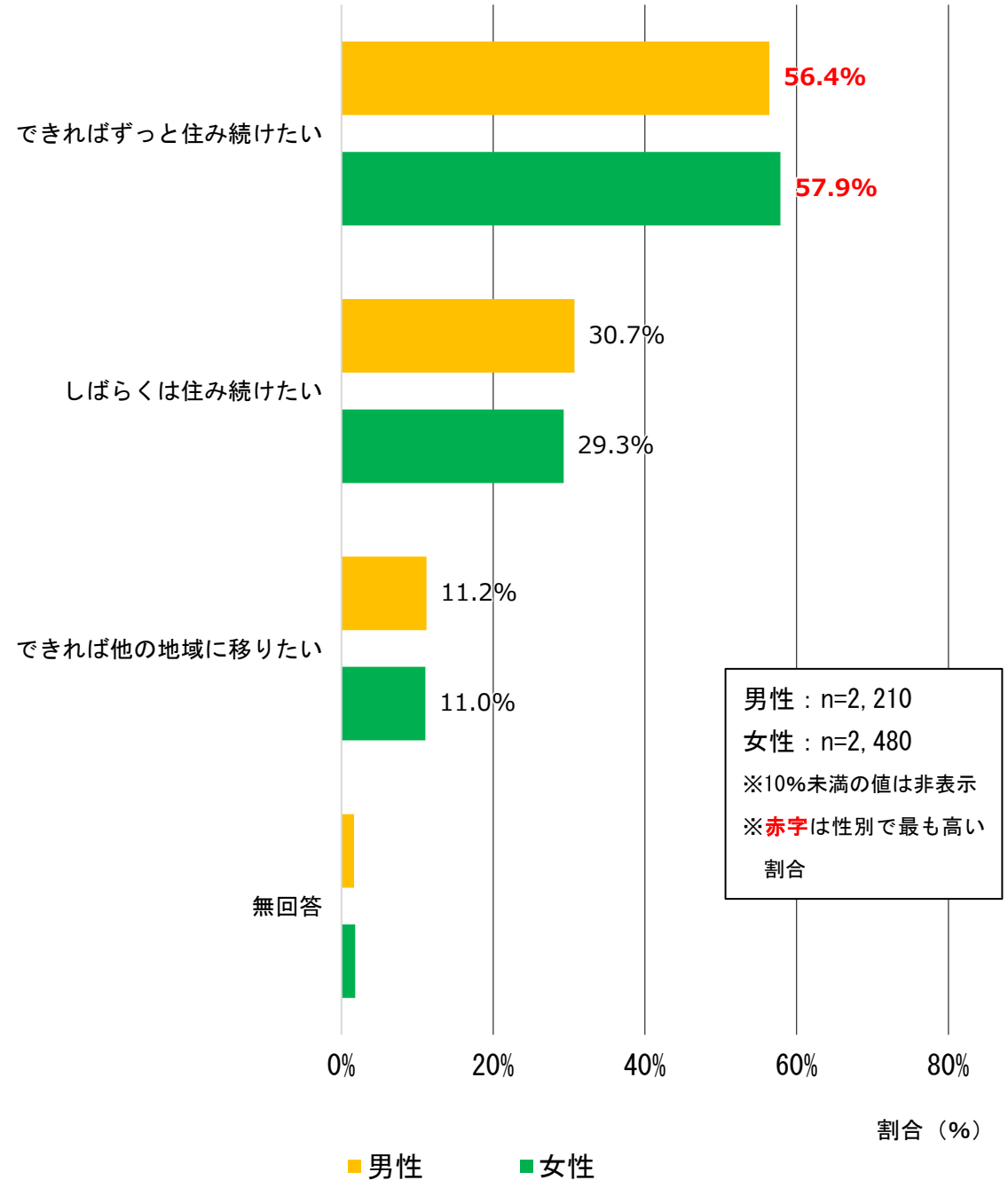


＜ 2-10-3.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 居住意向 ＞

・男女共通して、大野地区にできればずっと住み続けたいと感じていました。

男女別の大野地区へ日頃感じていること

居住意向



＜ 2-10-4.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・男女共通して、住み続けたい理由として「出身地だから（住み慣れている等）」が最も多くなっていました。

・大項目で見ると、男性、女性どちらも「家庭の事情等に関するもの」に分類される意見が多くなっていました。

男女別の大野地区へ日頃感じていること

住み続けたいと思う人の意見（できればずっと住み続けたい、しばらく住み続けたい）

連番	カテゴリー	大項目	小項目	性別	
				男性	女性
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	257	276
2			愛着があるから等	59	66
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	105	152
4			交流の場が少ないから	0	2
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	7	15
6			娯楽施設等がないから	13	8
7			交通の便がよくないから	20	29
8			医療サービスが利用しにくいから	6	24
9			全体的に不便だから等	5	2
10			買い物がしやすいから	15	44
11			交通の便がよいから	8	29
12			医療サービスが利用しやすいから	4	18
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	184	235
14			景観がよいから	9	17
15			食べ物がおいしいから	10	17
16			まちの歴史があるから	2	3
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	1	2
18			育児環境がよいから	4	10
19			教育環境がよくないから	1	1
20			教育環境がよいから	4	9
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	74	82
22			治安がよくないから	0	0
23			被災時に不安があるから	1	1
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	87	153
25			加齢による不安があるから	52	114
26			住居・住宅を所有しているから等	91	88
27			転居の予定がないから	128	157
28			転居の予定があるから等	23	34
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	14	13
30			仕事上の都合があるから	22	13
31		進学・就職に関するもの	進学するから	14	9
32			就職（転職）するから	3	8
33			仕事が少ないから	7	15
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	2	10
35			将来的なことが分からないから	11	29
36			視野を広げるため	6	5
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	40	83
38			除雪があるから	27	54
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	2	1
40			自然環境がよいから	145	191
41			良質な水があるから	49	77
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	性別の将来性を感じないから	33	37
43			施設の更新等がされていないから	7	3
44			市政に不満があるから等	3	5
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0
46			経済的に厳しいから	0	0
47	その他	その他	現状に満足しているから	33	37
48			魅力を感じないから	7	3
49			イベントが多いから	3	5
50			資産があるから	1	0
51			その他（理由にならないもの）	74	38
合計				1,673	2,224

＜ 2-10-5.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・男女共通して、他の地域に移りたい理由として「降雪があるから」が最も多くなっていました。

・大項目で見ると、男性、女性どちらも「生活の利便性に関するもの」に分類される意見が多くなっていました。

男女別の大野地区へ日頃感じていること

地域を移したいと思う人の意見(できれば他の地域に移りたい)

連番	カテゴリー	大項目	小項目	性別	
				男性	女性
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	1	2
2			愛着があるから等	0	0
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	6	3
4			交流の場が少ないから	2	2
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	12	27
6			娯楽施設等がないから	11	26
7			交通の便がよくないから	26	51
8			医療サービスが利用しにくいから	13	27
9			全体的に不便だから等	12	16
10			買い物がしやすいから	0	0
11			交通の便がよいから	0	0
12			医療サービスが利用しやすいから	0	0
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	4	1
14			景観がよいから	0	0
15			食べ物がおいしいから	1	0
16			まちの歴史があるから	0	1
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	2	2
18			育児環境がよいから	0	1
19			教育環境がよくないから	5	0
20			教育環境がよいから	1	0
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	0	0
22			治安がよくないから	0	1
23			被災時に不安があるから	0	2
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	9	6
25			加齢による不安があるから	15	17
26			住居・住宅を所有しているから等	2	0
27			転居の予定がないから	0	1
28			転居の予定があるから等	14	16
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	1	1
30			仕事上の都合があるから	4	3
31		進学・就職に関するもの	進学するから	1	4
32			就職（転職）するから	2	1
33			仕事が少ないから	20	14
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	1	2
35			将来的なことが分からないから	1	1
36			視野を広げるため	1	3
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	48	66
38			除雪があるから	26	38
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	2	1
40			自然環境がよいから	0	2
41			良質な水があるから	0	1
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	性別の将来性を感じないから	0	0
43			施設の更新等がされていないから	11	4
44			市政に不満があるから等	0	0
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0
46			経済的に厳しいから	0	0
47	その他	その他	現状に満足しているから	0	0
48			魅力を感じないから	11	4
49			イベントが多いから	0	0
50			資産があるから	0	0
51			その他（理由にならないもの）	10	7
合計				275	354

属性別集計３．　年代別の集計

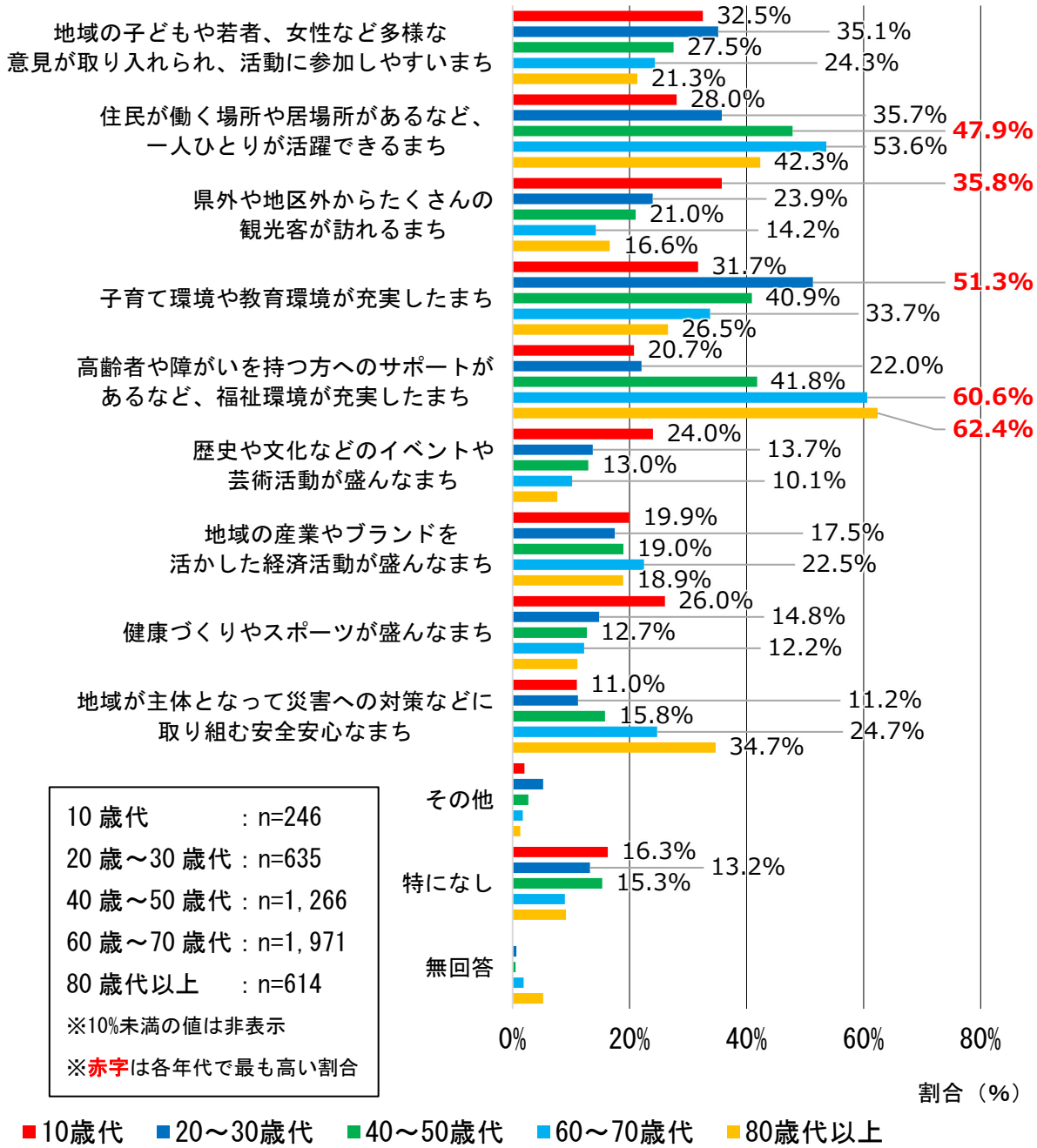
＜　3-1-1.　　１０～２０年後の大野地区の将来像（問１）　＞

・60 歳代以上の方は、「高齢者や障がいを持つ方へのサポートがあるなど、福祉環境が充実しているまち」といった地区になると良いと思われていました。

・一方で、10 歳代は「県外や地区外からたくさんの観光客が訪れるまち」、20～30 歳代は「子育て環境や教育環境が充実したまち」、40～50 歳代は「住民が働く場所や居場所があるなど、一人ひとりが活躍できるまち」が多くなっていました。

年代別の大野地区の将来像

各年代別の傾向の比較



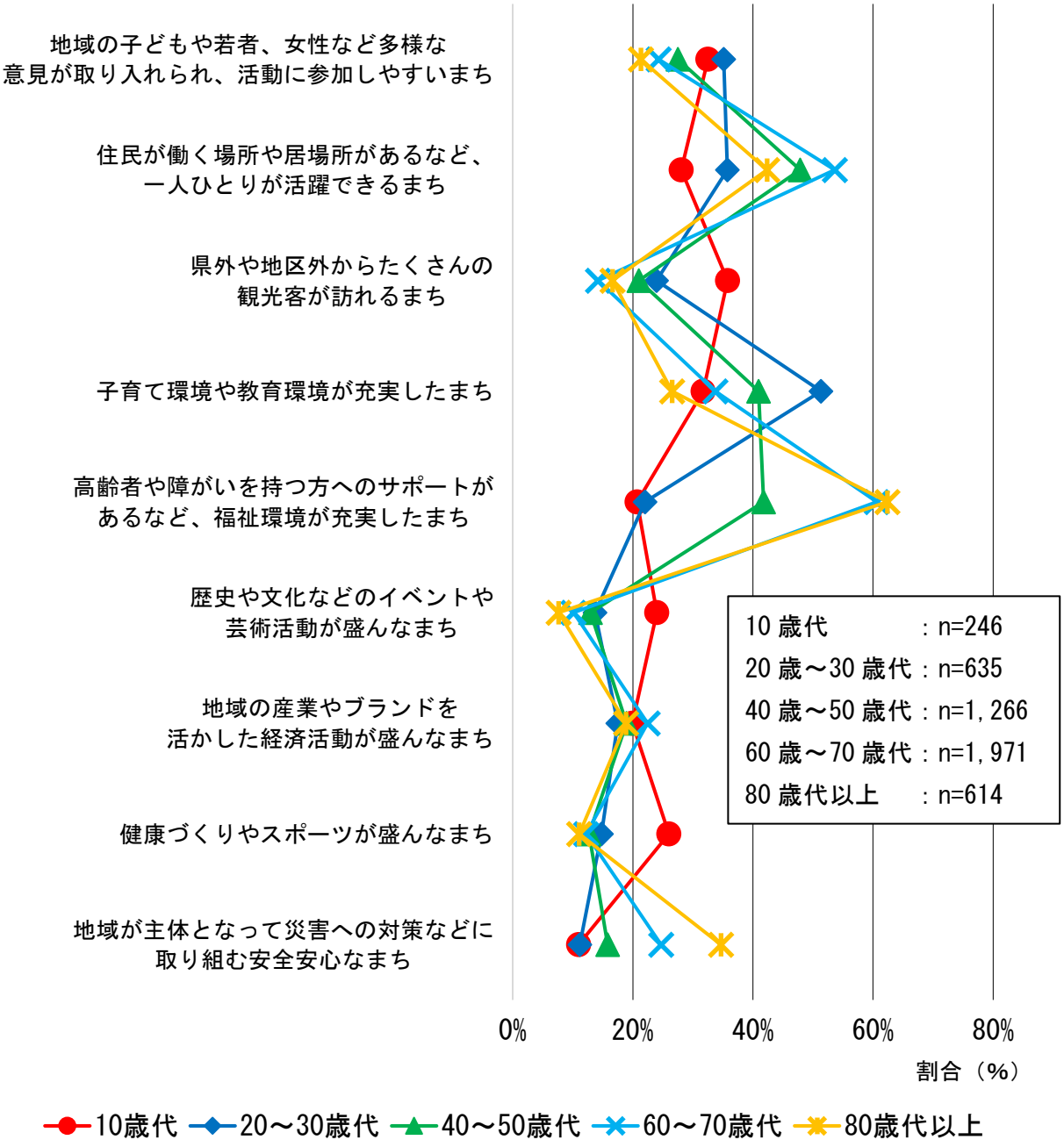
＜ 3-1-2.　　１０～２０年後の大野地区の将来像（問１）＞

・選択肢ごとの年代の傾向をみると、若い世代と高い年代では「高齢者や障がいを持つ方へのサポートがあるなど、福祉環境が充実したまち」で選択のばらつきが大きくなっていました。高い年代ほど、福祉環境を充実させてほしいと感じている傾向にありました。

・また、10 歳代と 20 歳以上の年代では、「県外や地区外からたくさんの観光客が訪れるまち」、「歴史や文化などのイベントや芸術活動が盛んなまち」、「健康づくりやスポーツが盛んなまち」で選択のばらつきが大きくなっていました。若い世代ほど、活気のあるまちになってほしいと感じている傾向にありました。

年代別の大野地区の将来像

異なる年代同士の比較(年代によるばらつきの確認)

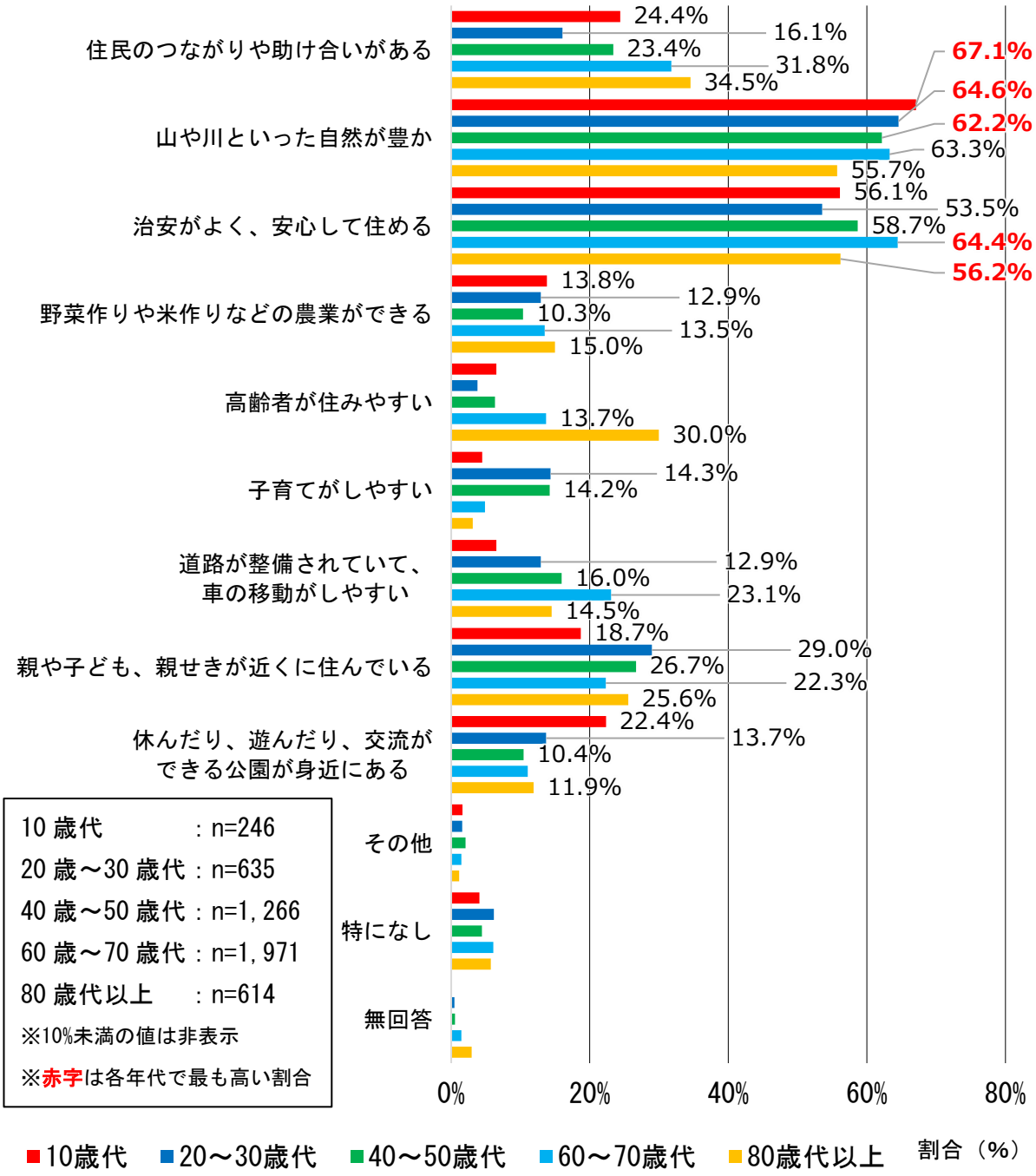


＜ 3-2.　大野地区の良い点（問２）＞

・60 歳代以上の方は、「治安がよく、安心して住める」が良い点と思われていました。

・一方で、40～50 歳代以下の方は、「山と川といった自然が豊か」が良い点と思われていました。

年代別の大野地区の良い点



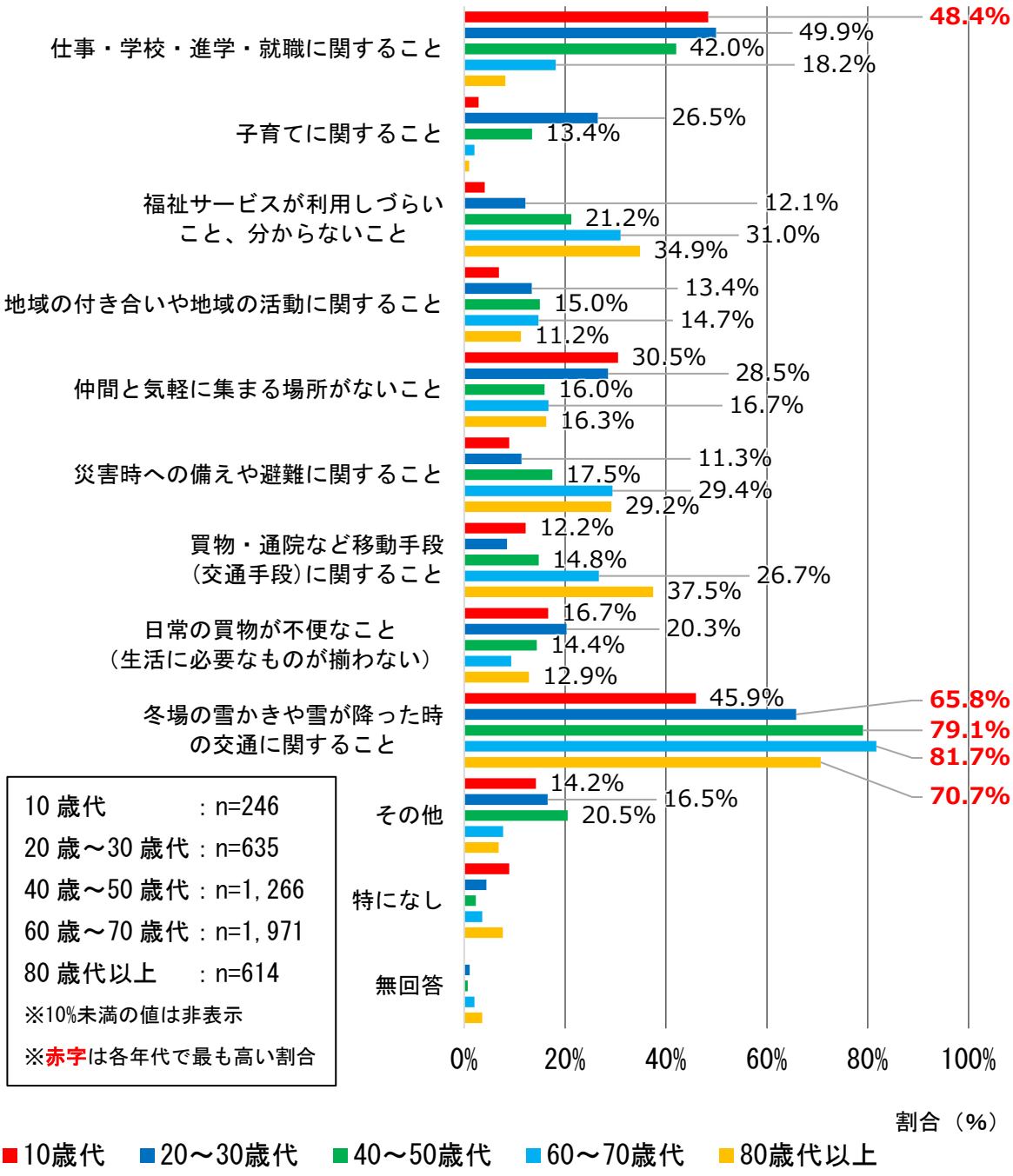
＜ 3-3-1.　大野地区の不安な点（問３）＞

・10 歳代以外は、「冬場の雪かきや雪が降った時の交通に関すること」に不安を感じていました。

・一方で、10 歳代は、「仕事・学校・進学・就職に関すること」に不安を感じていました。

年代別の大野地区の不安な点

各年代別の傾向の比較



10 歳代　　：n=246
20 歳～30 歳代：n=635
40 歳～50 歳代：n=1, 266
60 歳～70 歳代：n=1, 971
80 歳代以上　：n=614
※10%未満の値は非表示
※赤字は各年代で最も高い割合

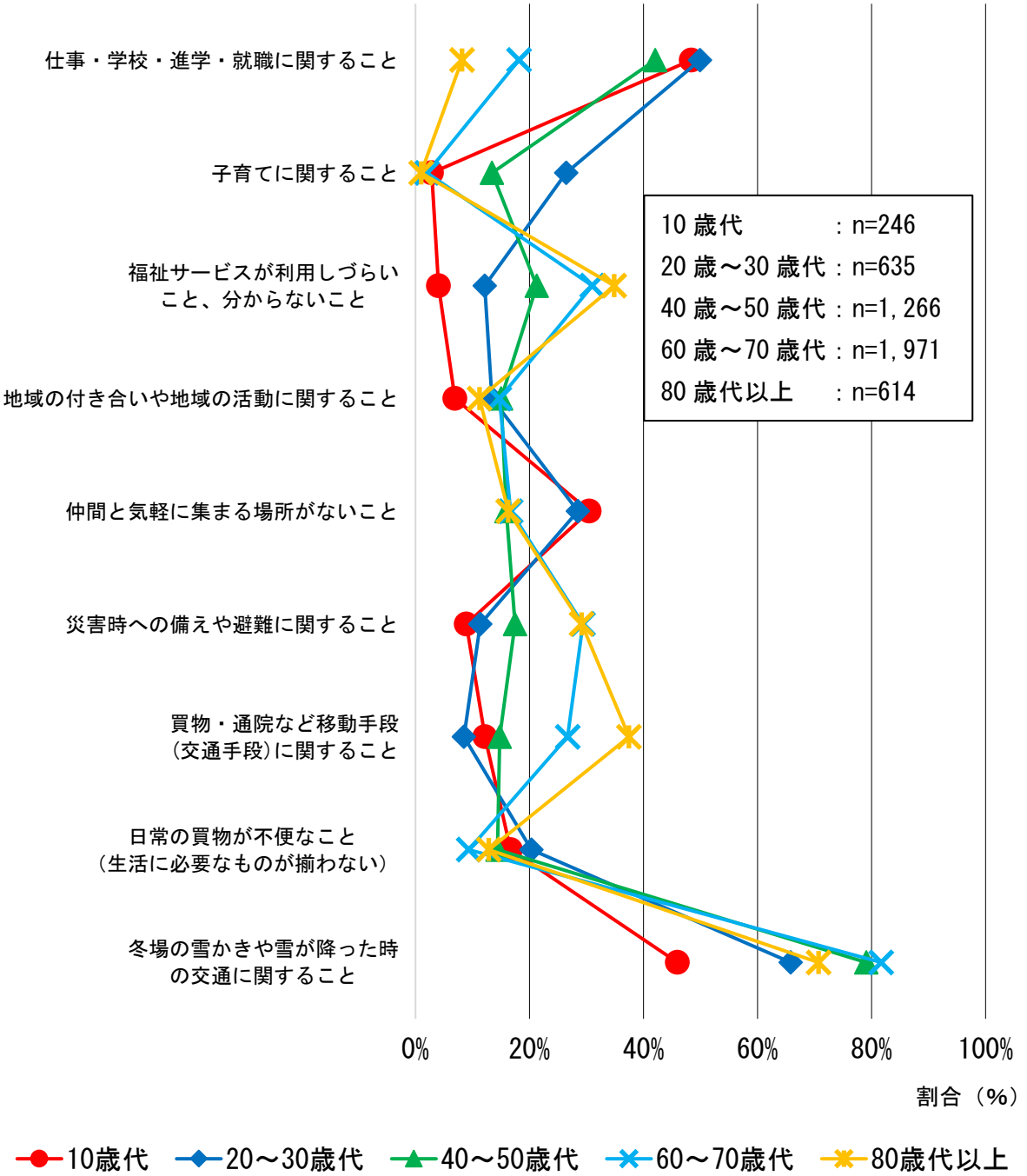
＜ 3-3-2.　　大野地区の不安な点（問３）＞

・選択肢ごとの年代の傾向をみると、若い世代と高い世代で「仕事・学校・進学・就職に関すること」、「福祉サービスが利用しづらいこと、分からないこと」、「冬場の雪かきや雪が降った時の交通に関すること」で世代間のばらつきが大きくなっていました。

・若い世代ほど進学や就職といった将来に関すること、高い年代ほど福祉サービスや雪かきなど支援に関することに不安を感じる傾向にありました。

年代別の大野地区の不安な点

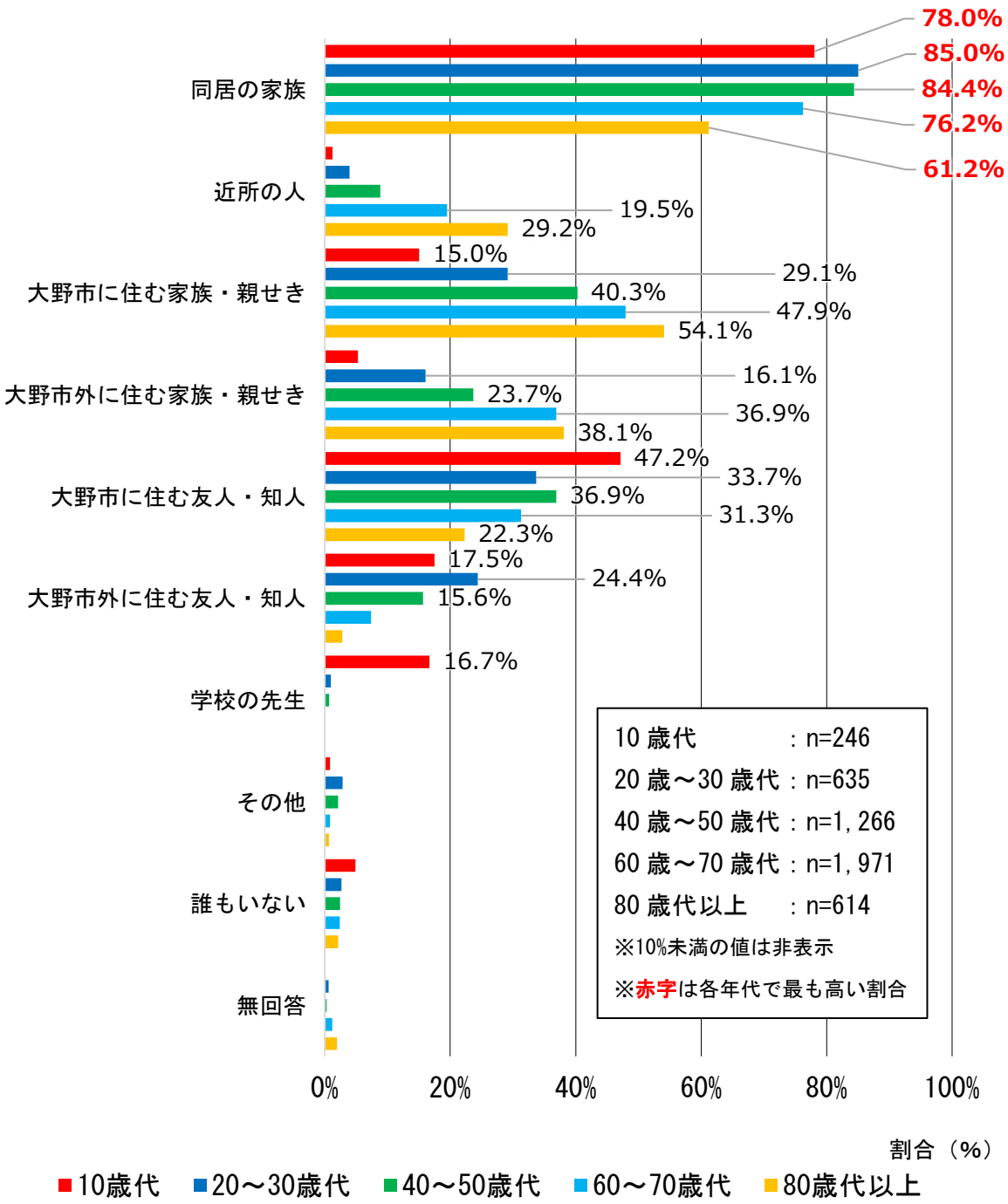
異なる年代同士の比較(年代によるばらつきの確認)



＜ 3-4.　相談する相手（問４）＞

・全ての年代で共通して、「同居の家族」に相談している方が多くいました。

年代別の相談相手

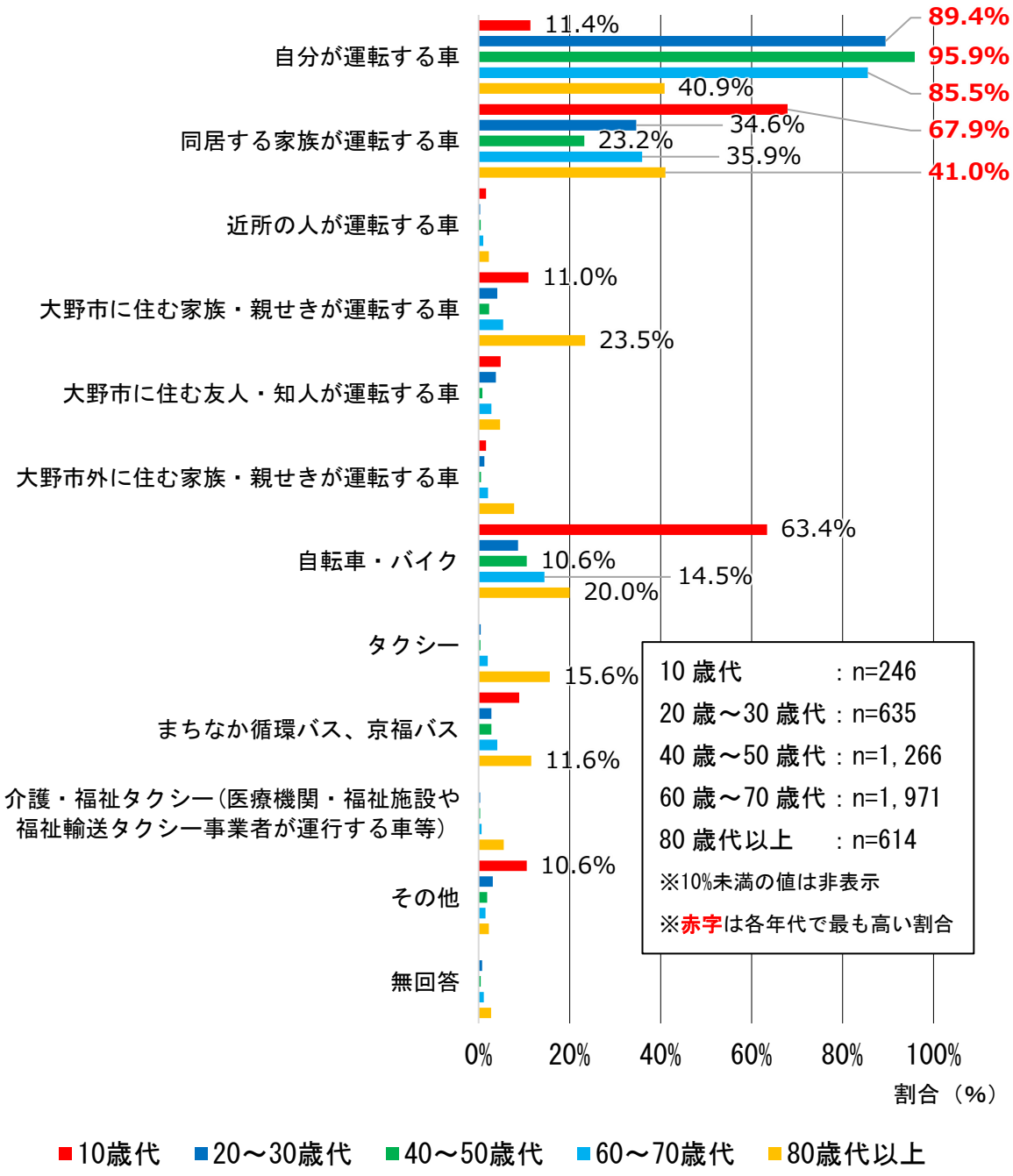


＜ 3-5.　普段の交通手段（問５）＞

・10 歳代と 80 歳代以上以外は、「自分が運転する車」で移動していました。

・一方で、10 歳代と 80 歳代以上は「同居する家族が運転する車」で移動していました。

年代別の日常の移動手段



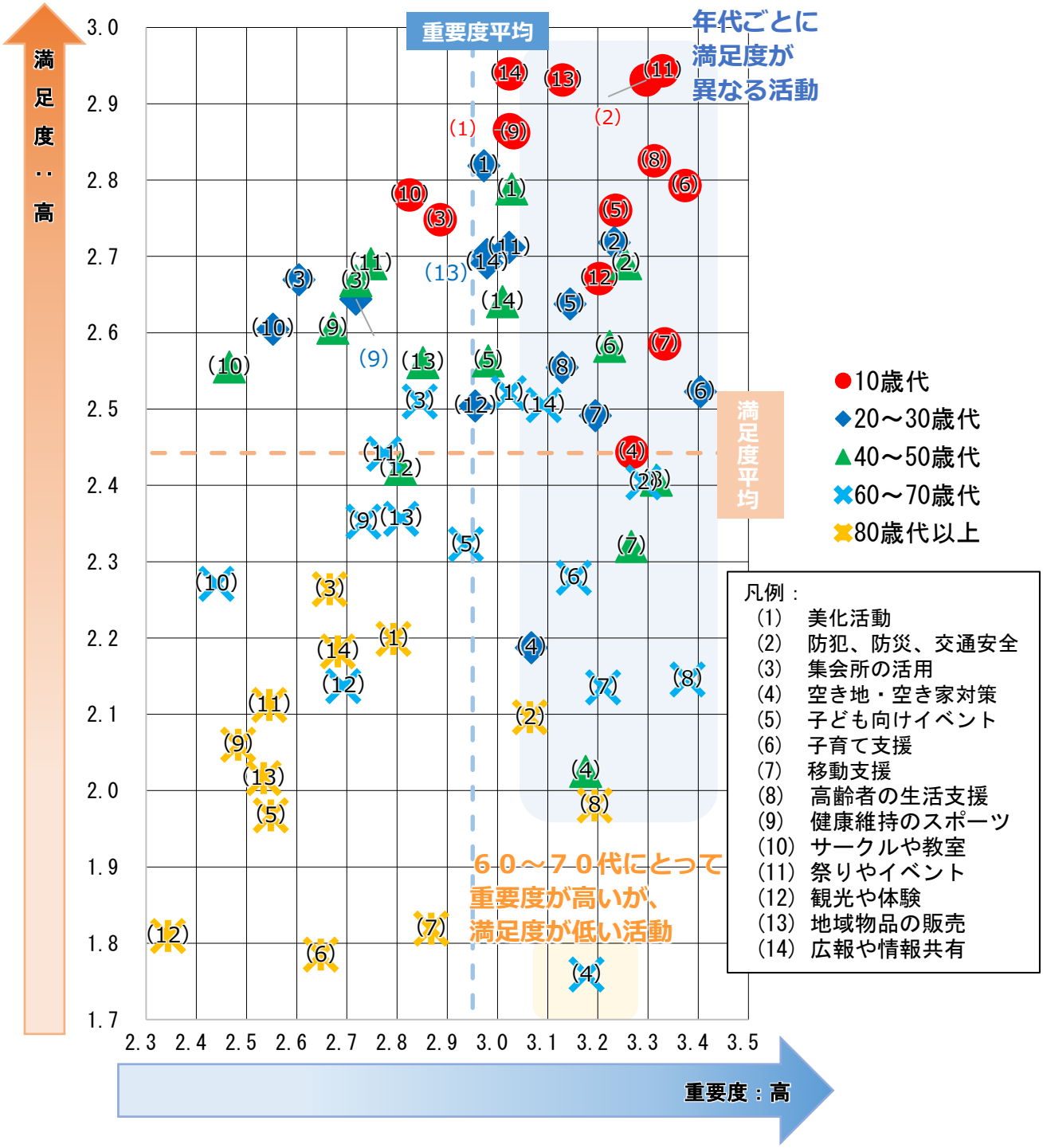
＜3-6-1.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）＞

・60 歳代～70 歳代の方は、「（４）空き地・空き家対策」に重要だと思いつつ、かなり不満に感じていました。

・「（２）防災・防犯活動」、「（６）子育て支援活動」、「（８）高齢者の生活支援活動」は、共通して重要度が高いものの、10 歳代から順に満足度が低くなっていました。

年代別の各活動の重要度と満足度

異なる年代同士の比較（年代によるばらつきの確認）

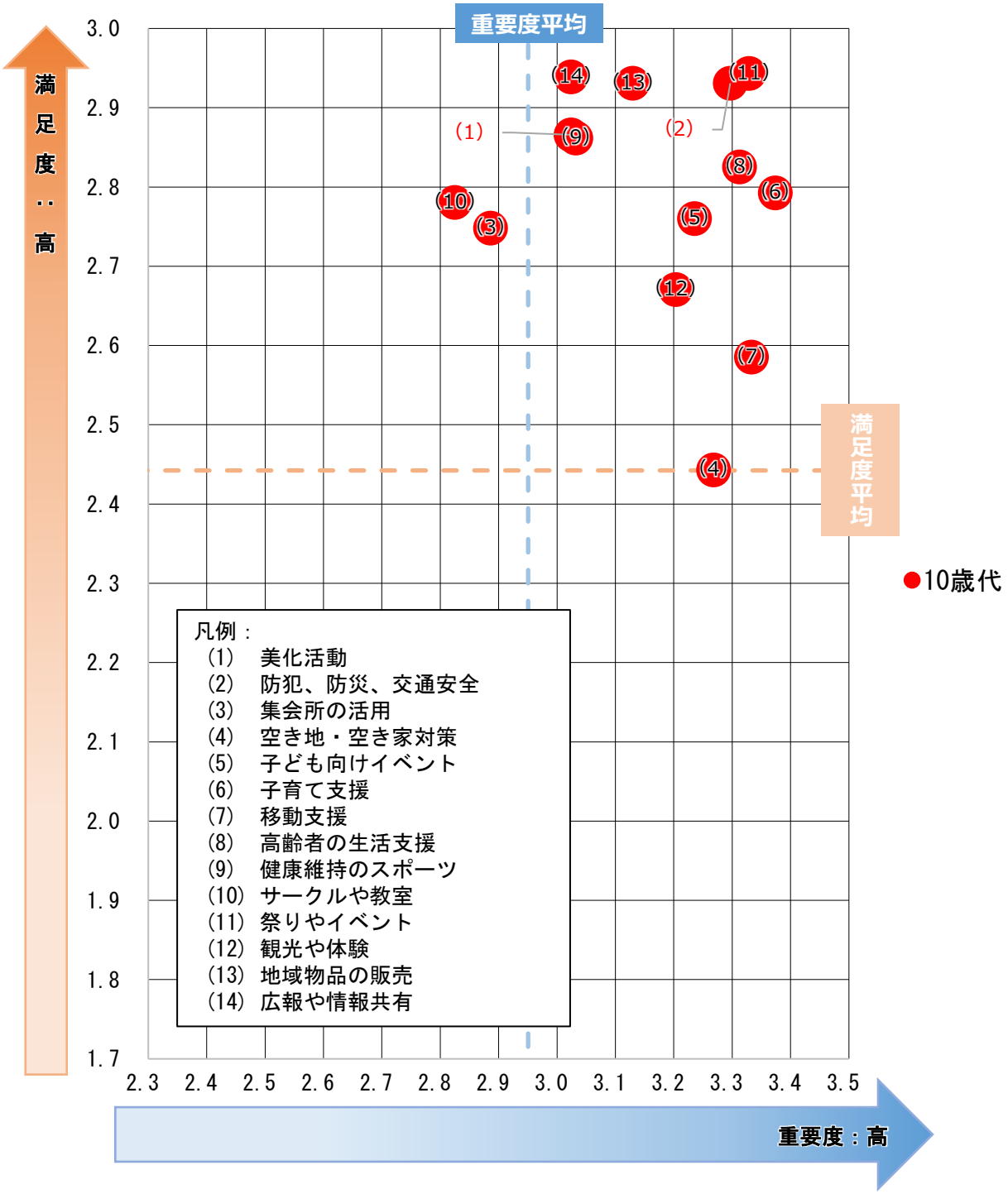


＜ 3-6-2.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）（10 歳代）＞

・10 歳代では、多く活動で重要に感じつつ、満足に感じている活動は多いものの、「（３）集会所の活用」、「（10）サークルや教室」に関する活動は重要度が低い傾向でした。

年代別の各活動の重要度と満足度

各年代別の傾向の比較

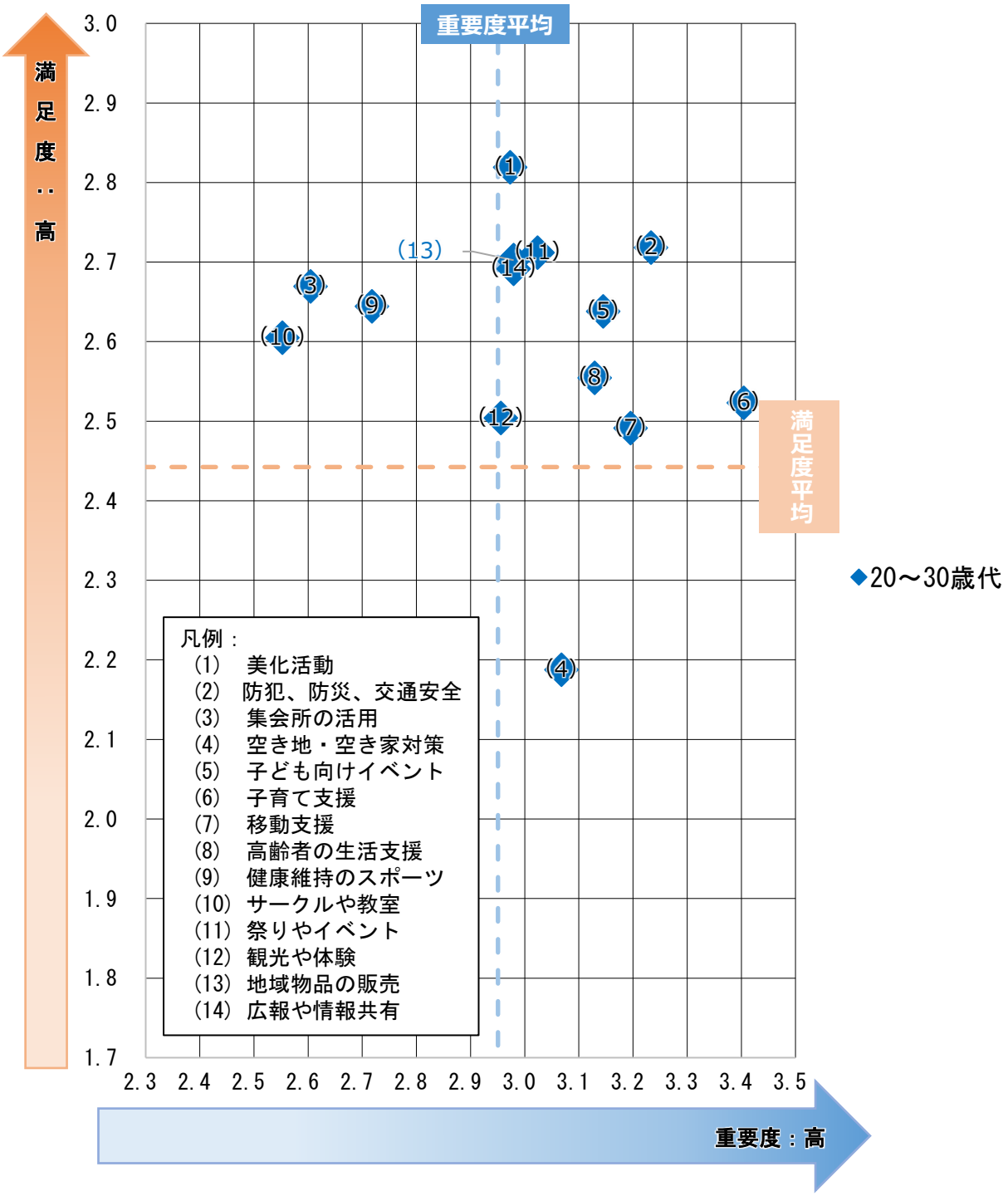


＜3-6-3.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）（20～30 歳代）＞

・ 20～30 歳代では、多く活動で重要に感じつつ、満足に感じている活動は多いものの、「（３）集会所の活用」、「（９）健康維持のスポーツ」、「（10）サークルや教室」に関する活動は重要度が低い傾向でした。また、「（４）空き地・空き家対策」に関する活動は、重要に思われつつ、不満に感じていました。

年代別の各活動の重要度と満足度

各年代別の傾向の比較

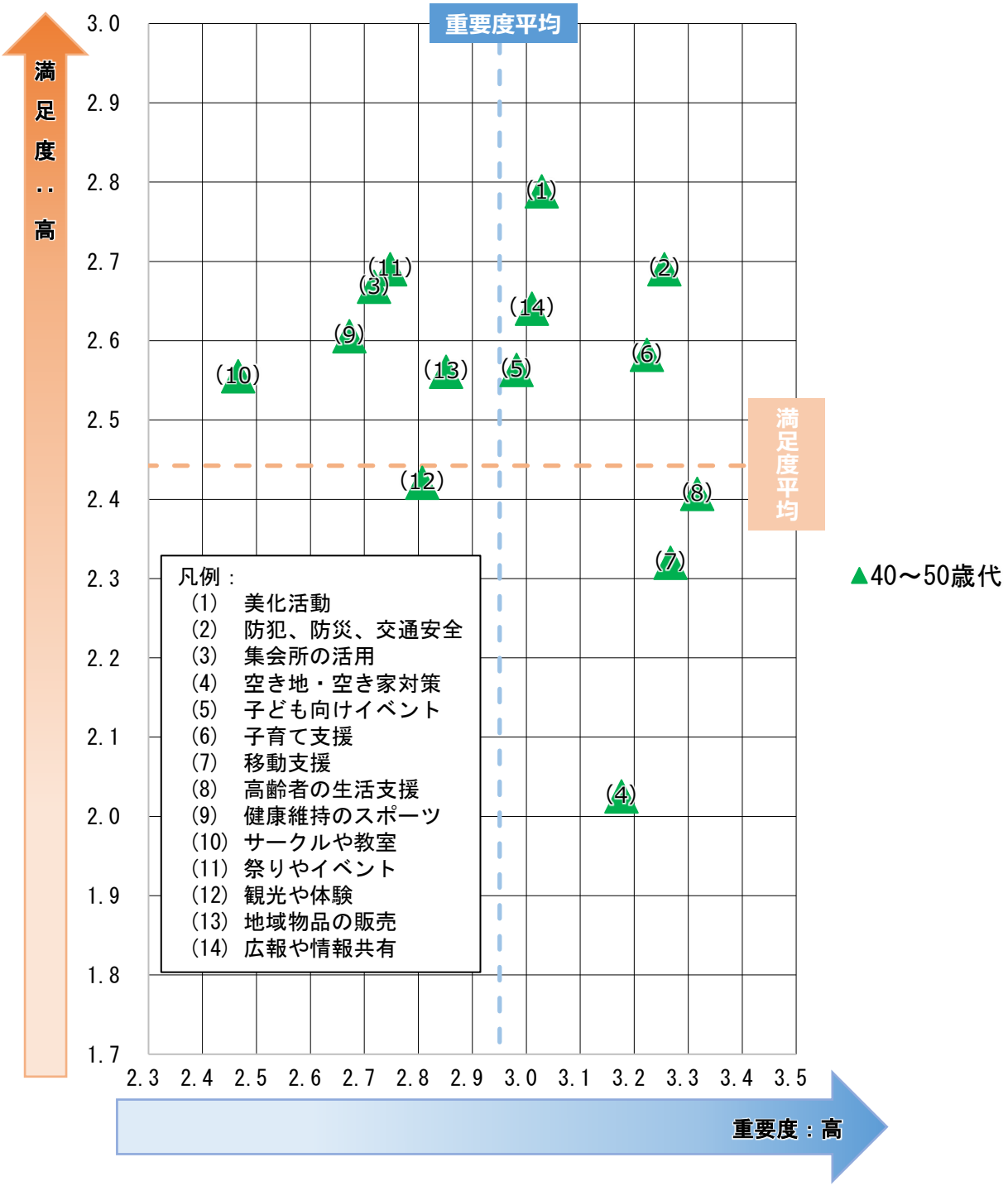


＜3-6-4.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）（40～50 歳代）＞

・40～50 歳代では、重要に感じつつ、満足に感じている活動が半数を切っていました。「（３）集会所の活用」、「（９）健康維持のスポーツ」、「(10）サークルや教室」、「(11）祭りやイベント」、「(13）地域物品の販売」に関する活動は満足しつつも、重要度が低い傾向でした。また、「（４）空き地・空き家対策」、「（７）移動支援」、「（８）高齢者の生活支援」に関する活動は、重要に思われつつ、不満に感じていました。

年代別の各活動の重要度と満足度

各年代別の傾向の比較

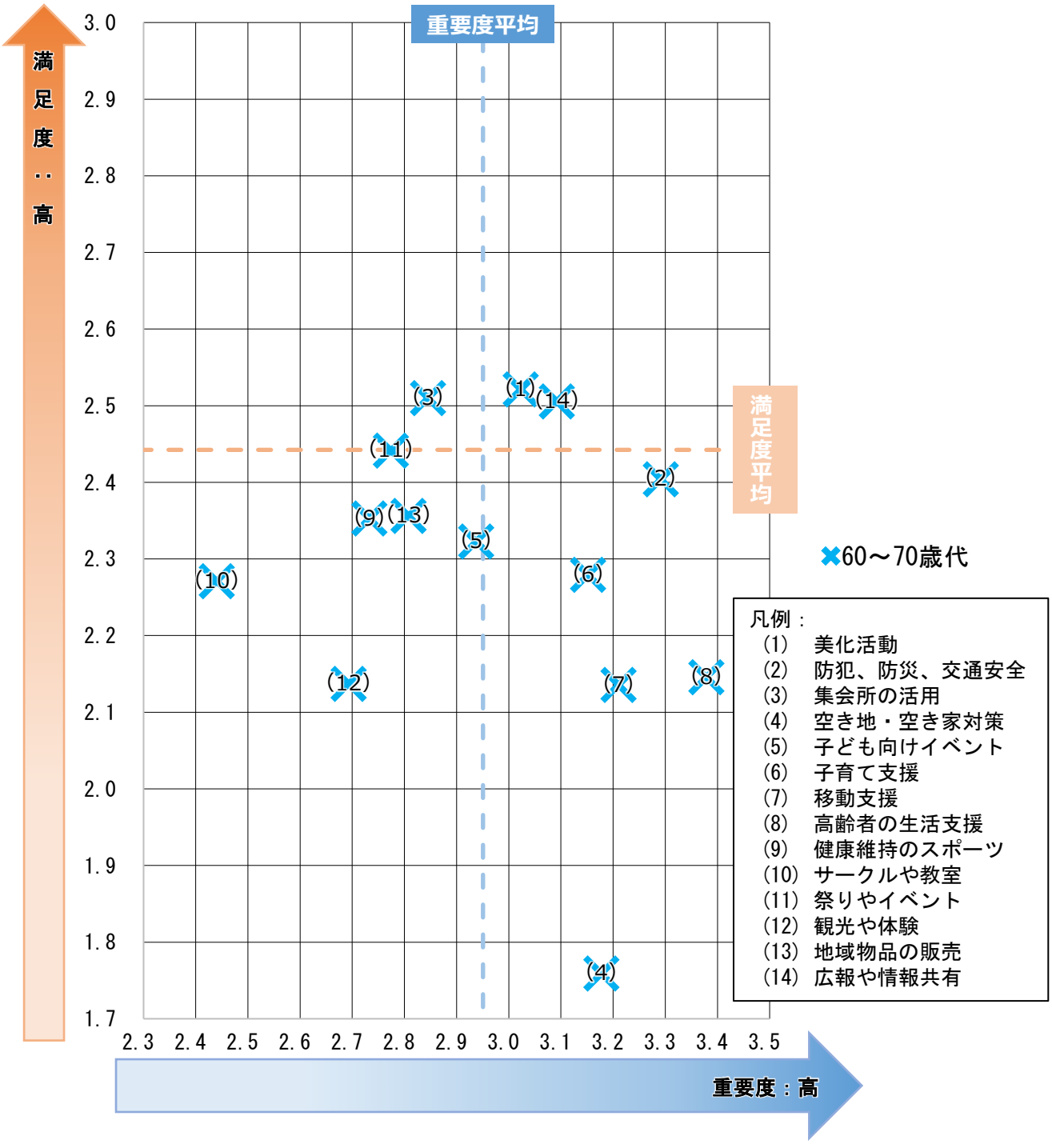


＜3-6-5.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）（60～70 歳代）＞

・60～70 歳代では、重要に感じつつ、満足に感じている活動はほとんどありませんでした。「（３）集会所の活用」に関する活動は満足しつつも、重要度が低い傾向でした。また、「（２）防犯、防災、交通安全」、「（４）空き地・空き家対策」、「（７）移動支援」、「（８）高齢者の生活支援」に関する活動は、重要に思われつつ、不満に感じていました。

年代別の各活動の重要度と満足度

各年代別の傾向の比較

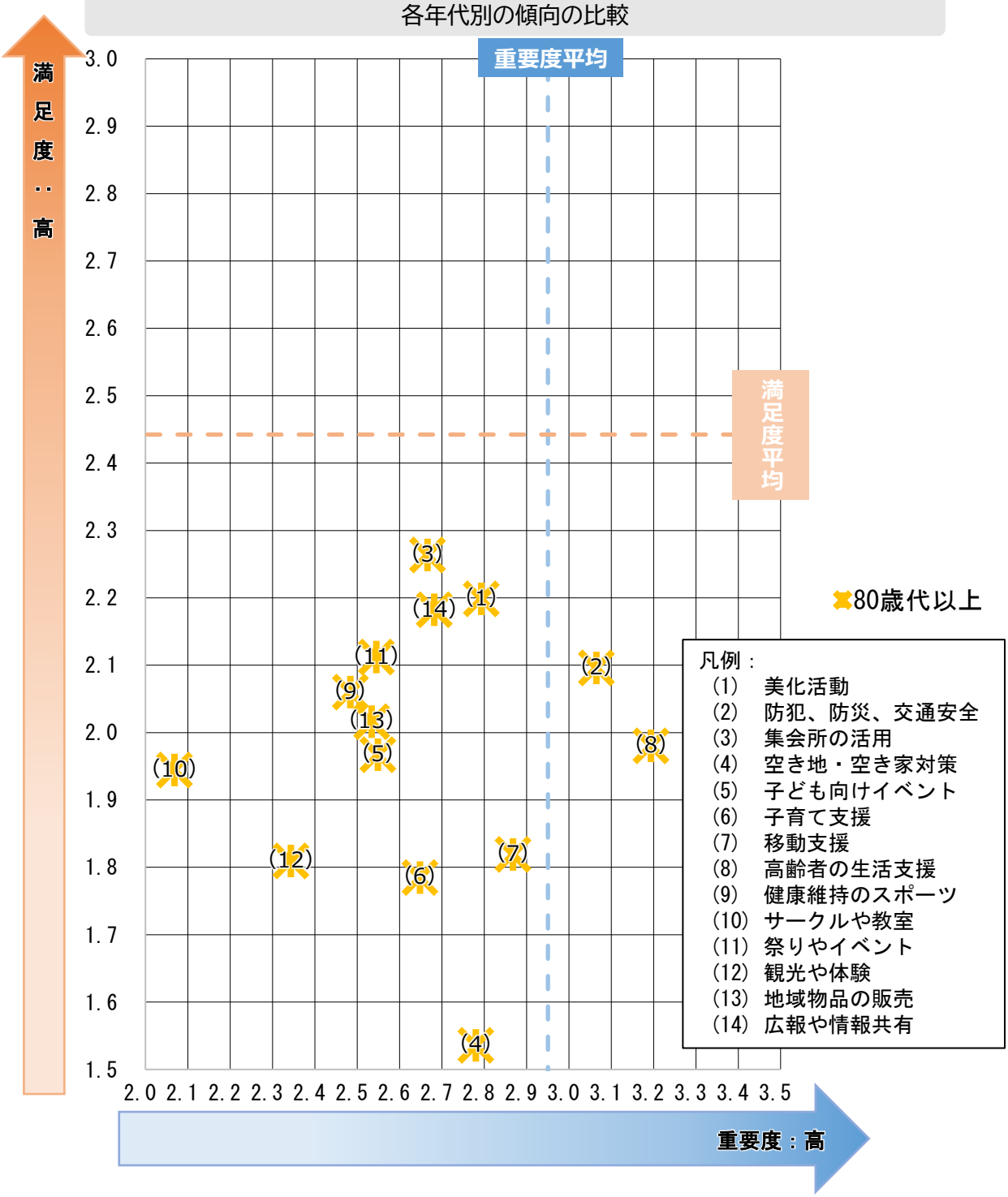


＜ 3-6-6.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）（80 歳代以上）＞

・80 歳代以上では、重要に感じつつ、満足に感じている活動はありませんでした。「（２）防犯、防災、交通安全」、「（８）高齢者の生活支援」に関する活動は、重要に思われつつ、不満に感じていました。

年代別の各活動の重要度と満足度

各年代別の傾向の比較

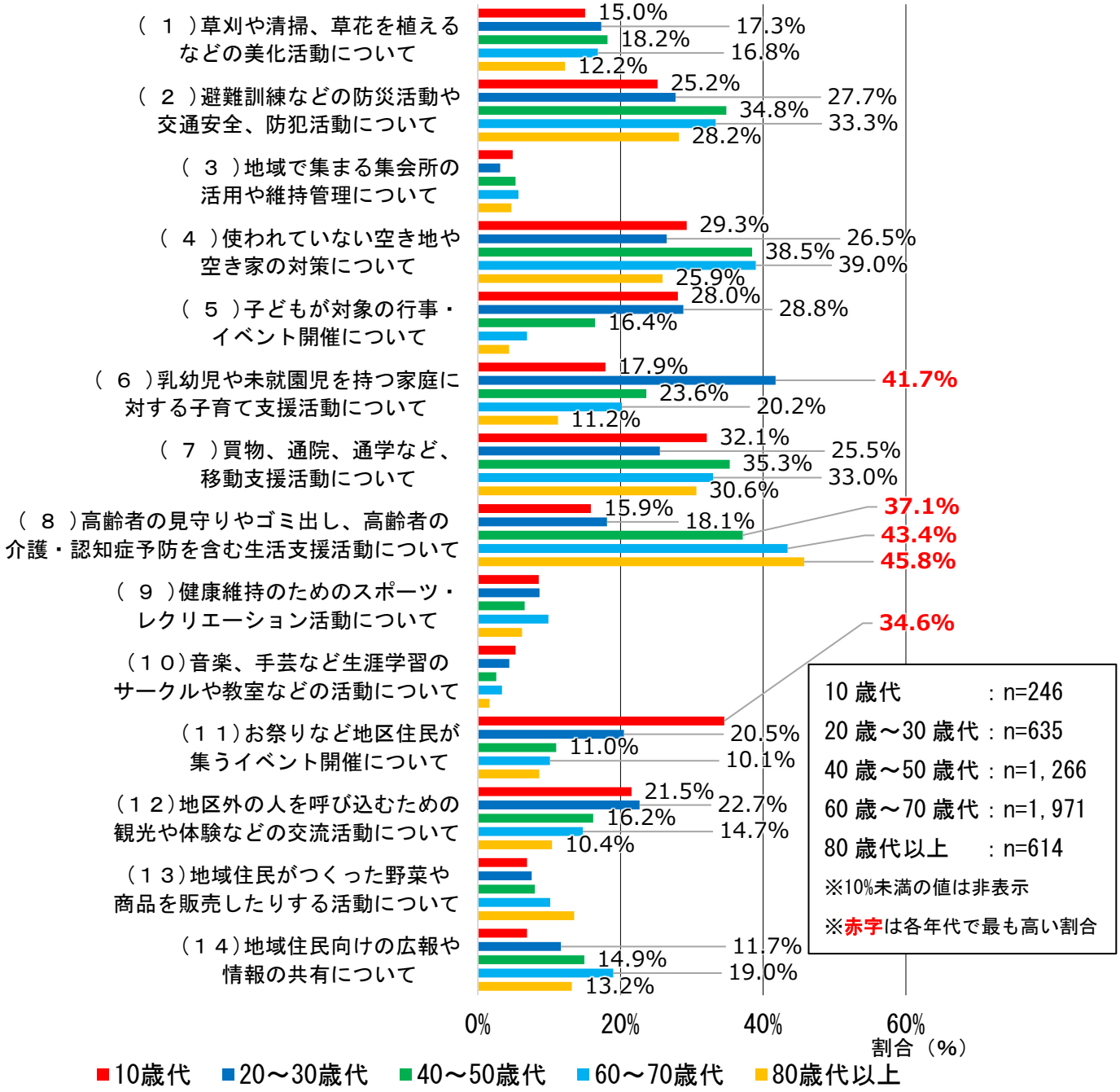


＜ 3-7.　特に重要な活動（問７）＞

・40 歳代以上は、「（８）高齢者の見守りやゴミ出し、高齢者の介護・認知症予防を含む生活支援活動」が特に重要だと思われていました。

・一方で、10 歳代は、「(11) お祭りなど地区住民が集うイベント開催について」、20～30 歳代は「（６）乳幼児や未就園児を持つ家庭に対する子育て支援活動について」が特に重要だと思われていました。

年代別の各活動で特に重要な活動



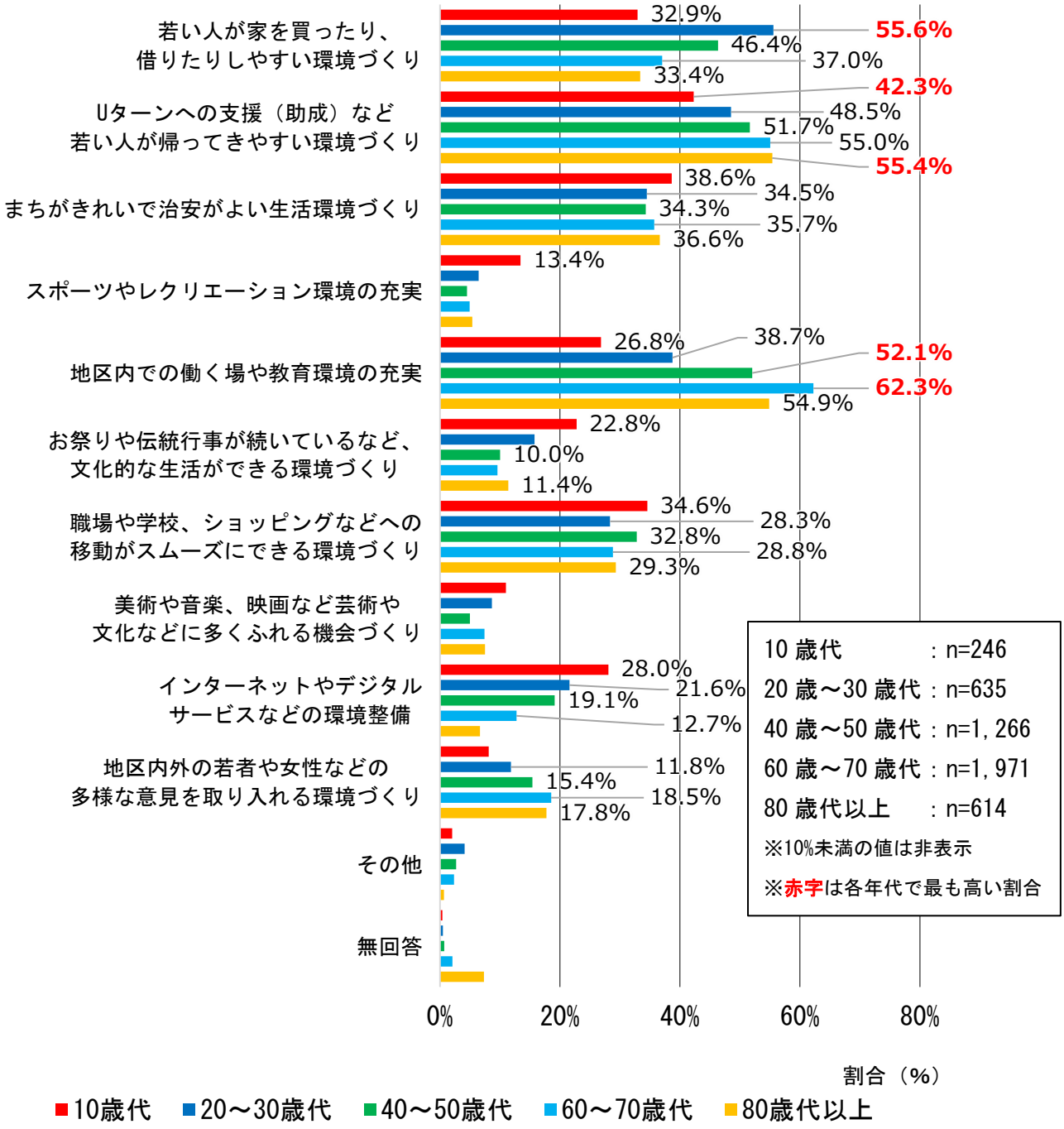
＜3-8-1.　若い世代が１０年後も大野地区で安心して住むために必要なこと（問８）＞

・10歳代は「Uターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり」が必要であると思われていました。20～30歳代は「若い人が家を買ったり、借りたりしやすい環境作り」が必要であると思われていました。40～70歳代は「地区内での働く場や教育環境の充実」が必要であると思われていました。

・また、80歳代も「Uターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり」が必要であると思われていました。

年代別の若い世代が住むために必要なこと

各年代別の傾向の比較



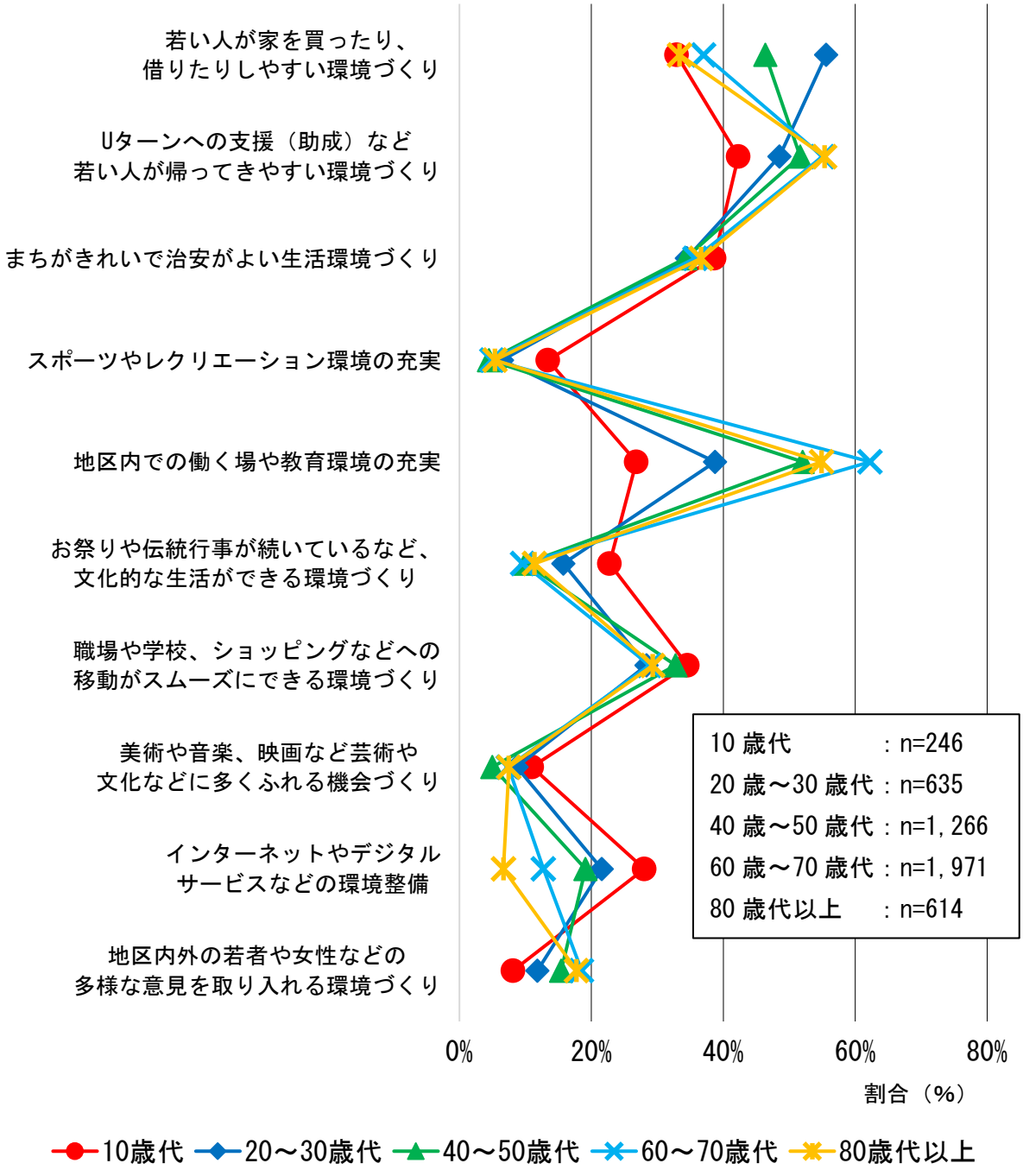
＜ 3-8-2.　若い世代が１０年後も大野地区で安心して住むために必要なこと（問８）＞

・選択肢ごとの年代の傾向をみると、若い世代と高い年代では「地区内での働く場や教育環境の充実」でばらつきが大きくなっていました。年代が高いほど雇用や教育環境の充実化の必要性を感じている傾向にありました。

・一方で、「Ｕターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり」は世代間のばらつきは少なく、全体的に多くなっていました。

年代別の若い世代が住むために必要なこと

異なる年代同士の比較(年代によるばらつきの確認)

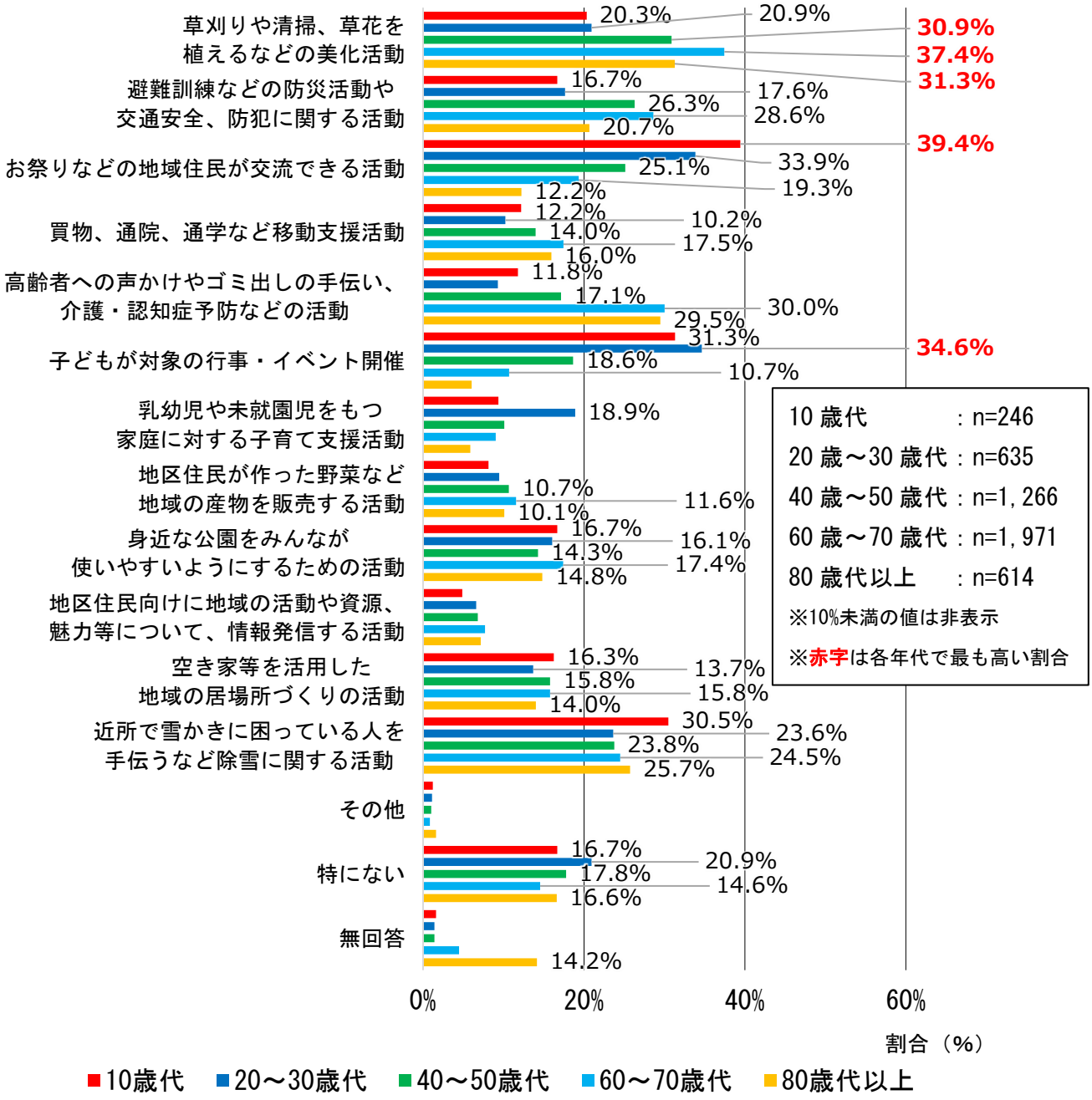


＜3-9.　関心・興味・行ってみたい活動（問９）＞

・40 歳～50 歳代以上の方は、「草刈りや清掃、草花を整えるなどの美化活動」に興味・関心を持たれていました。

・一方で、10 歳代は「お祭りなどの地域住民が交流できる活動」、20～30 歳代は「子どもが対象の行事・イベント開催」に興味・関心を持たれていました。

年代別の関心･興味･行ってみたい活動

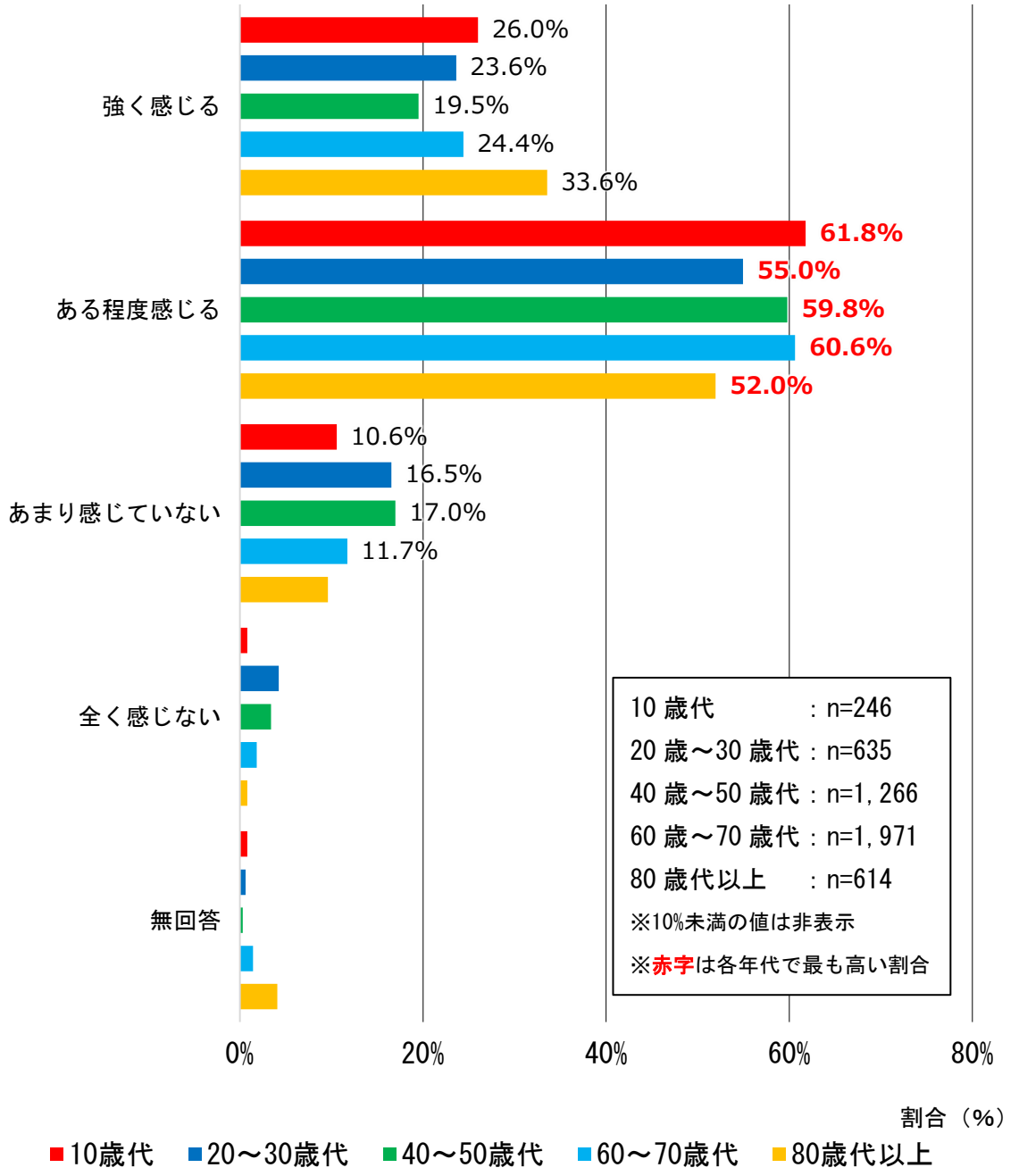


＜ 3-10-1.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 愛着 ＞

・全ての年代で共通して、大野地区にある程度愛着を感じていました。

年代別の大野地区へ日頃感じていること

愛着



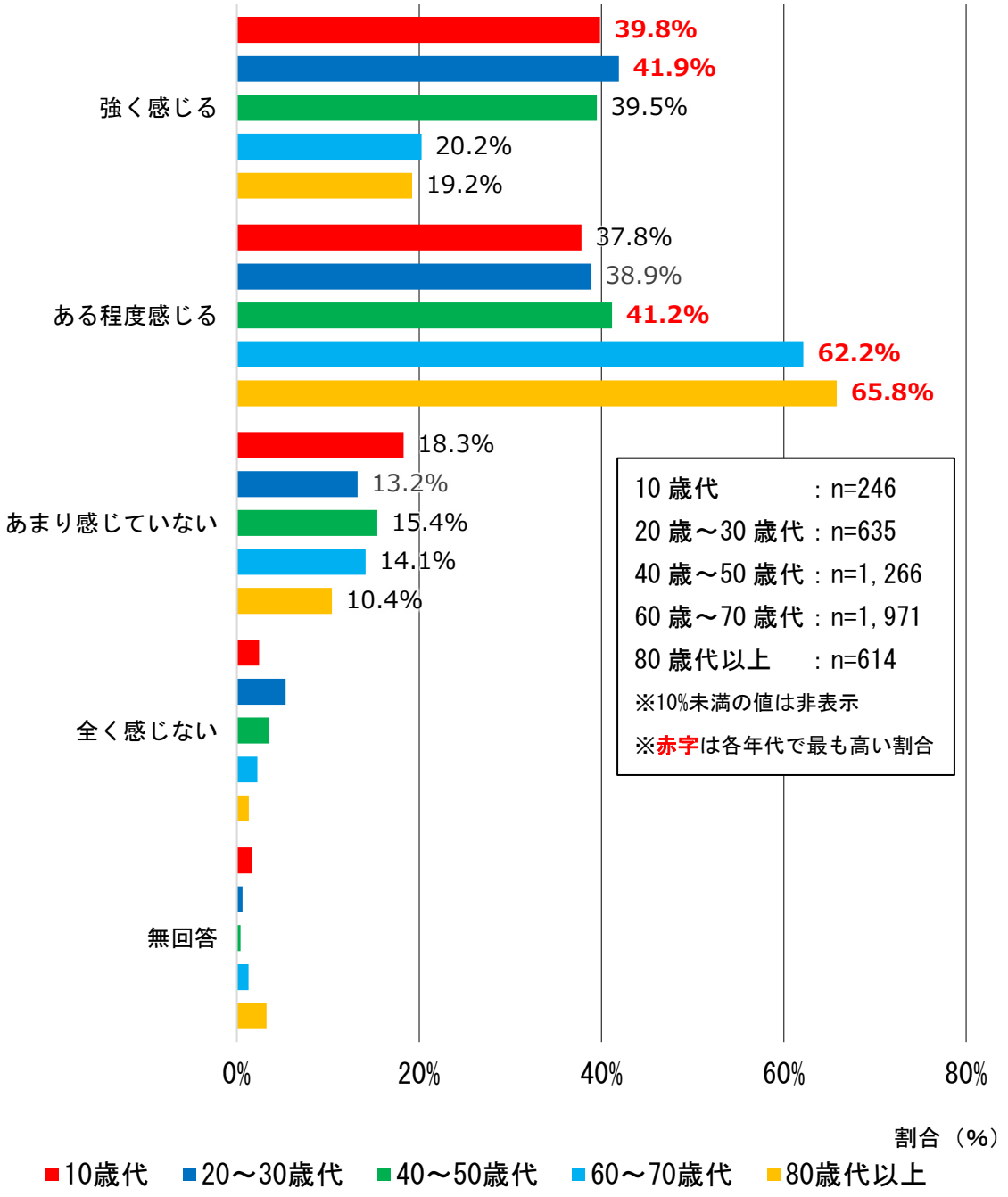
＜ 3-10-2.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 住みやすさ ＞

・10 歳代～30 歳代は大野地区を強く住みやすく感じていました。

・一方で、40 歳代以上はある程度住みやすく感じていました。

年代別の大野地区へ日頃感じていること

住みやすさ

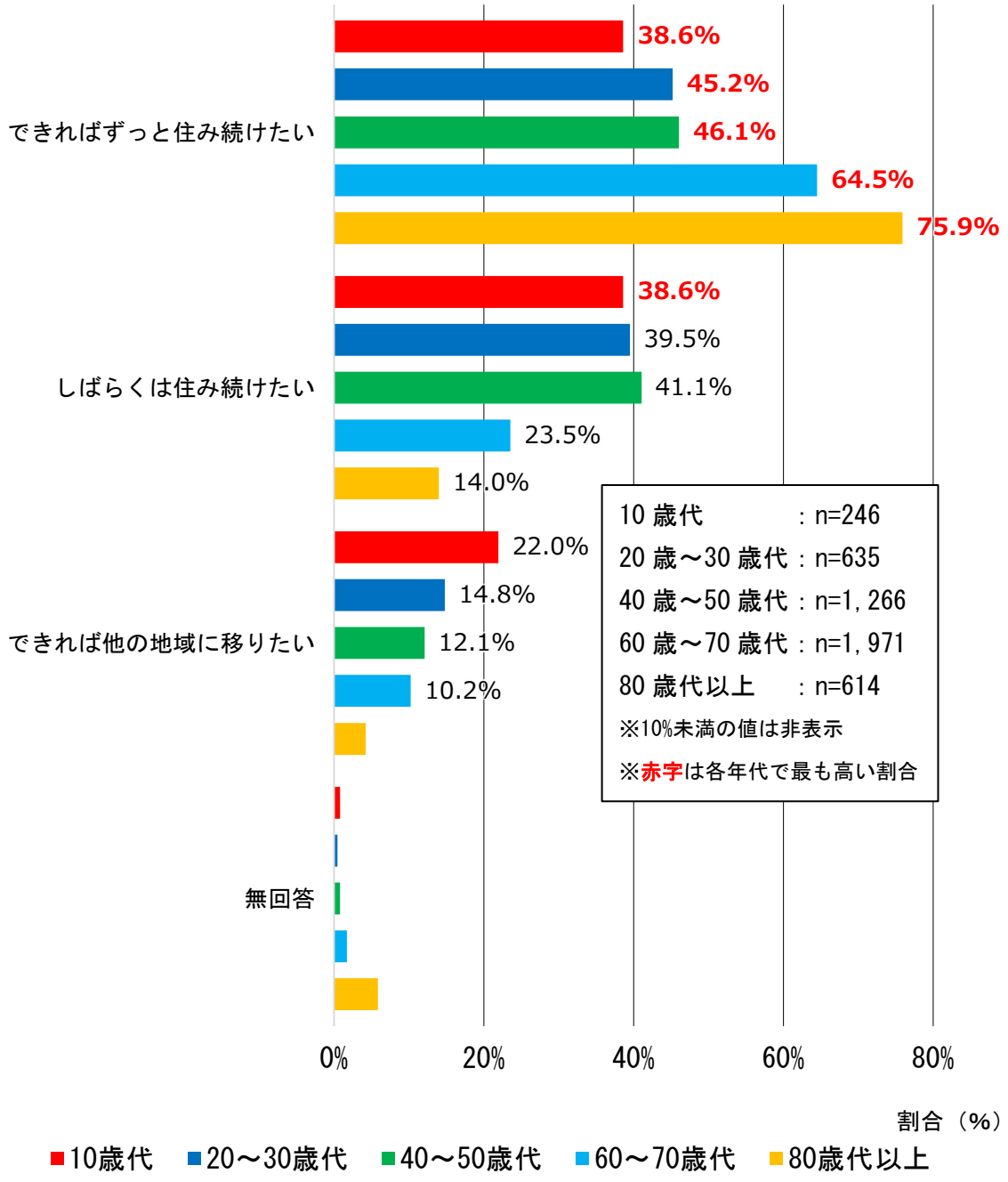


＜ 3-10-3.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 居住意向 ＞

・全ての年代で共通して、大野地区にできれば住み続けたいと感じていました。また、10 歳代はしばらく住み続けたいと感じている方も多くいました。

年代別の大野地区へ日頃感じていること

居住意向:各年代別の傾向の比較

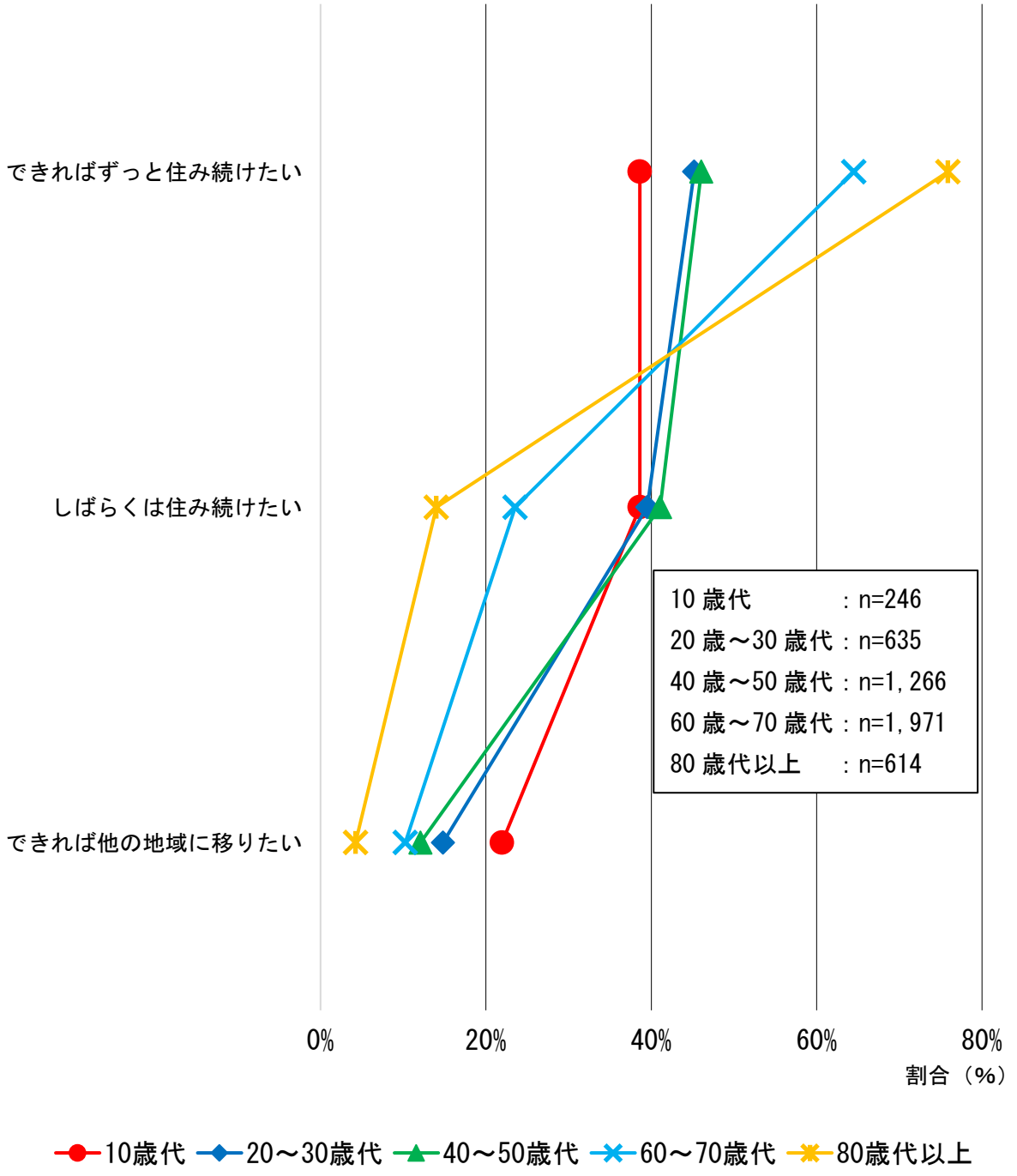


＜ 3-10-4.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 居住意向 ＞

・選択肢ごとの年代の傾向をみると、どの年代の方も住み続けたいと感じている傾向にありました。

年代別の大野地区へ日頃感じていること

居住意向:異なる年代同士の比較(年代によるばらつきの確認)



＜ 3-10-4.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・10 歳代以外の年代では、住み続けたい理由として「出身地だから（住み慣れている等）」が最も多くなっていました。一方、10 歳代は「転居の予定があるから等」が多く、将来的には大野市を離れたいといったような意見が確認されました。

・大項目で見ると、すべての世代で「家庭の事情等に関するもの」に分類される意見が多くなっていました。

年代別の大野地区へ日頃感じていること

住み続けたいと思う人の意見（できればずっと住み続けたい、しばらく住み続けたい）

連番	カテゴリー	大項目	小項目	年代				
				10歳代	20～30歳代	40～50歳代	60～70歳代	80歳代以上
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	17	64	175	218	65
2			愛着があるから等	8	25	31	52	9
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	9	13	51	140	44
4			交流の場が少ないから	1	0	0	1	0
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	4	9	5	5	0
6			娯楽施設等がないから	8	8	4	2	0
7			交通の便がよくないから	5	14	14	16	1
8			医療サービスが利用しにくいから	0	3	12	15	0
9			全体的に不便だから等	1	3	2	1	0
10			買い物がしやすいから	0	7	18	31	3
11			交通の便がよいから	0	3	12	18	4
12			医療サービスが利用しやすいから	0	0	4	16	2
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	16	51	112	193	45
14			景観がよいから	3	9	2	8	4
15			食べ物がおいしいから	1	4	7	11	4
16			まちの歴史があるから	0	1	1	2	1
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	0	2	1	0	0
18			育児環境がよいから	0	11	1	2	0
19			教育環境がよくないから	0	0	2	0	1
20			教育環境がよいから	0	6	5	1	1
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	13	14	32	81	17
22			治安がよくないから	0	0	0	0	0
23			被災時に不安があるから	0	0	1	0	1
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	7	49	76	96	14
25			加齢による不安があるから	0	3	40	86	37
26			住居・住宅を所有しているから等	1	40	62	65	11
27			転居の予定がないから	6	15	64	150	49
28			転居の予定があるから等	21	10	17	8	2
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	2	2	18	5	0
30			仕事上の都合があるから	0	11	15	9	0
31		進学・就職に関するもの	進学するから	18	3	3	0	0
32			就職（転職）するから	2	5	3	0	1
33			仕事が少ないから	2	5	7	5	3
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	5	2	3	2	1
35			将来的なことが分からないから	3	9	16	13	0
36			視野を広げるため	3	1	6	1	0
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	2	11	39	58	13
38			除雪があるから	0	7	31	36	7
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	0	0	1	2	0
40			自然環境がよいから	19	33	72	169	45
41			良質な水があるから	4	13	27	68	14
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	性別の将来性を感じないから	4	10	23	28	7
43			施設の更新等がされていないから	0	2	5	2	1
44			市政に不満があるから等	1	1	3	3	0
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0	0	0	0
46			経済的に厳しいから	0	0	0	0	0
47	その他	その他	現状に満足しているから	4	10	23	28	7
48			魅力を感じないから	0	2	5	2	1
49			イベントが多いから	1	1	3	3	0
50			資産があるから	0	0	0	1	0
51			その他（理由にならないもの）	6	24	37	39	8
合計				197	516	1,091	1,692	423

＜ 3-10-5.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・10～30 歳代は「娯楽施設等がないから」、40 歳代以上は「降雪があるから」が多くなっていました。

・大項目でみると、10～50 歳代までは「生活の利便性に関するもの」、60 歳代以上は「雪に関するもの」が多くなっていました。

年代別の大野地区へ日頃感じていること

地域を移したいと思う人の意見(できれば他の地域に移りたい)

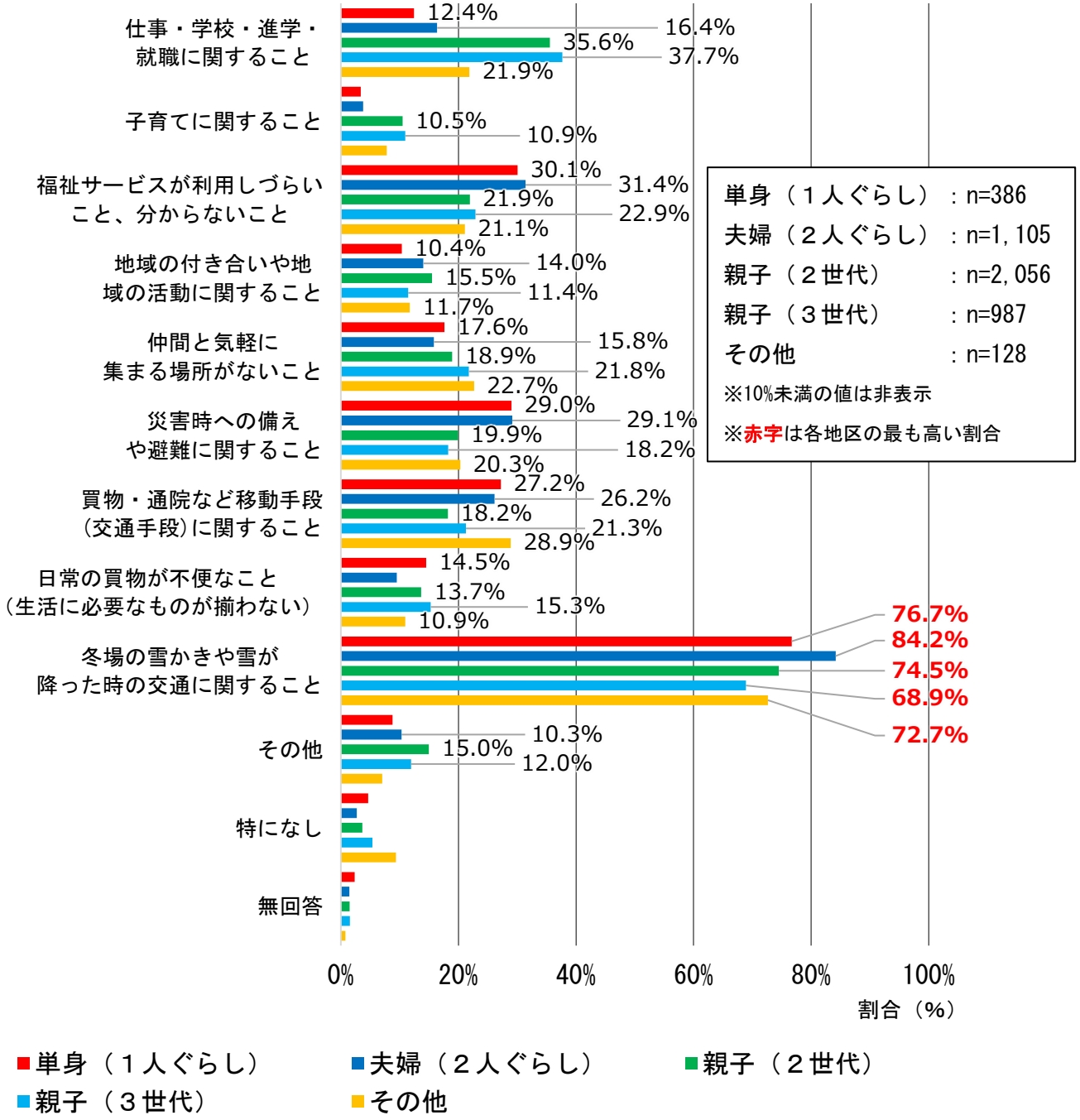
連番	カテゴリー	大項目	小項目	年代				
				10歳代	20～30歳代	40～50歳代	60～70歳代	80歳代以上
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	1	2	0	0	0
2			愛着があるから等	0	0	0	0	0
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	0	2	5	2	0
4			交流の場が少ないから	0	1	0	3	0
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	6	8	11	14	0
6			娯楽施設等がないから	7	16	8	5	1
7			交通の便がよくないから	6	12	20	35	3
8			医療サービスが利用しにくいから	0	6	11	22	1
9			全体的に不便だから等	4	12	7	5	0
10			買い物がしやすいから	0	0	0	0	0
11			交通の便がよいから	0	0	0	0	0
12			医療サービスが利用しやすいから	0	0	0	0	0
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	0	3	1	1	0
14			景観がよいから	0	0	0	0	0
15			食べ物がおいしいから	0	0	0	1	0
16			まちの歴史があるから	0	1	0	0	0
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	1	1	2	0	0
18			育児環境がよいから	0	0	1	0	0
19			教育環境がよくないから	1	2	2	0	0
20			教育環境がよいから	0	1	0	0	0
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	0	0	0	0	0
22			治安がよくないから	0	0	2	0	0
23			被災時に不安があるから	0	0	1	1	0
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	0	2	5	8	0
25			加齢による不安があるから	1	1	7	21	2
26			住居・住宅を所有しているから等	0	0	0	2	0
27			転居の予定がないから	0	0	0	1	0
28			転居の予定があるから等	3	1	6	18	2
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	0	0	1	1	0
30			仕事上の都合があるから	0	3	2	2	0
31		進学・就職に関するもの	進学するから	4	0	1	0	0
32			就職（転職）するから	1	2	0	0	0
33			仕事が少ないから	5	9	13	6	2
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	3	0	0	0	0
35			将来的なことが分からないから	0	0	0	2	0
36			視野を広げるため	1	2	0	1	0
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	1	7	31	65	12
38			除雪があるから	0	1	23	39	2
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	0	0	1	2	0
40			自然環境がよいから	0	1	1	0	0
41			良質な水があるから	0	0	0	1	0
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	性別の将来性を感じないから	0	0	0	0	0
43			施設の更新等がされていないから	5	2	5	4	0
44			市政に不満があるから等	0	0	0	0	0
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0	0	0	0
46			経済的に厳しいから	0	0	0	0	0
47	その他	その他	現状に満足しているから	0	0	0	0	0
48			魅力を感じないから	5	2	5	4	0
49			イベントが多いから	0	0	0	0	0
50			資産があるから	0	0	0	0	0
51			その他（理由にならないもの）	1	5	9	0	2
合計				56	105	181	266	27

属性別集計４．　家族構成を重ね合わせた集計

＜ 4-1.　大野地区の不安な点（問３）＞

・家族構成問わず、「冬場の雪かきや雪が降った時の交通に関すること」といった雪に関することに不安を感じていました。

家族構成別の大野地区の不安な点

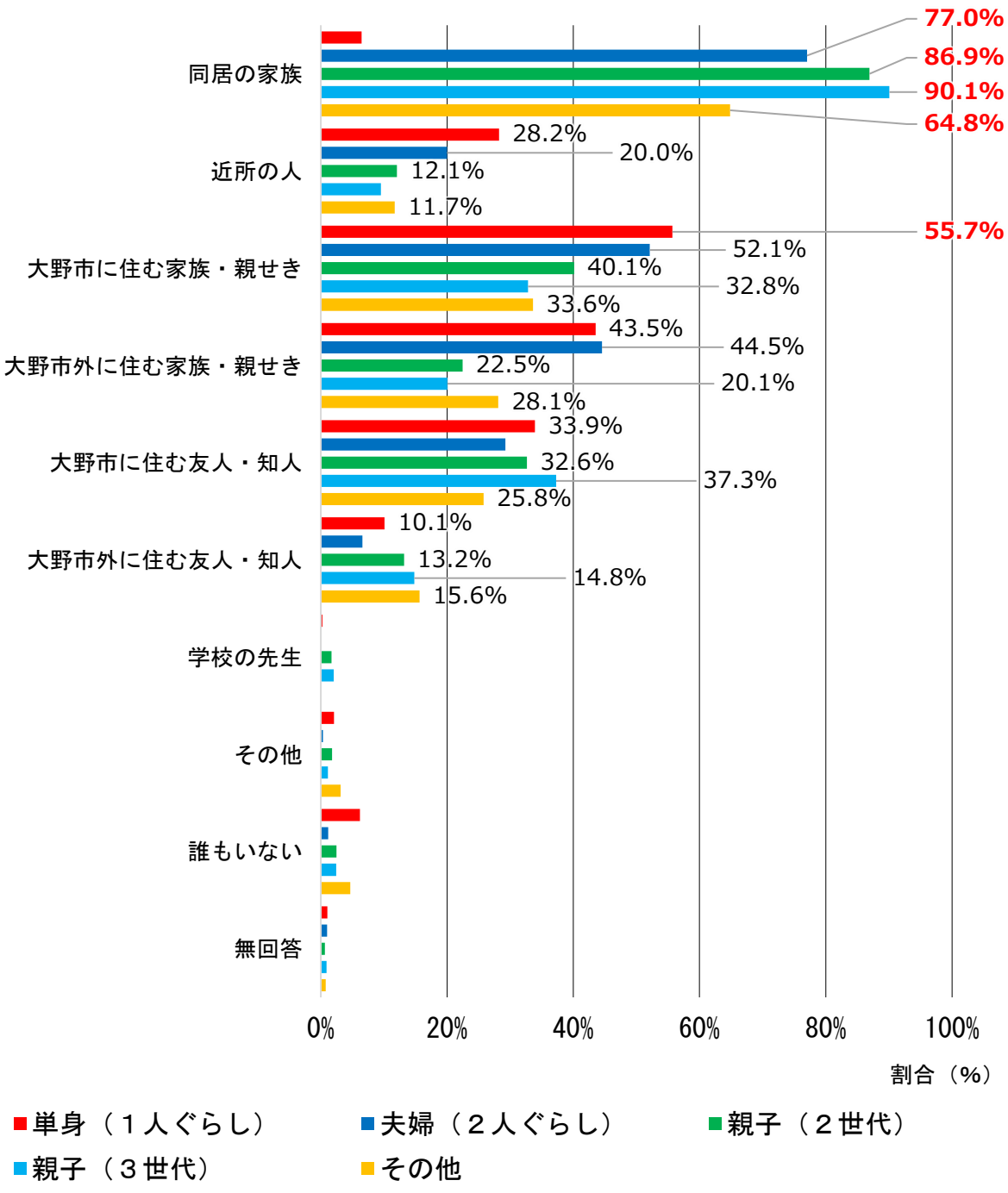


＜ 4-2.　相談する相手（問４）＞

・単身世帯（１人ぐらし）以外は、「同居する家族」に相談する方が多くいました。

・一方で、単身世帯（１人ぐらし）は「大野市に住む家族・親せき」に相談する方が多くいました。

家族構成別の相談相手

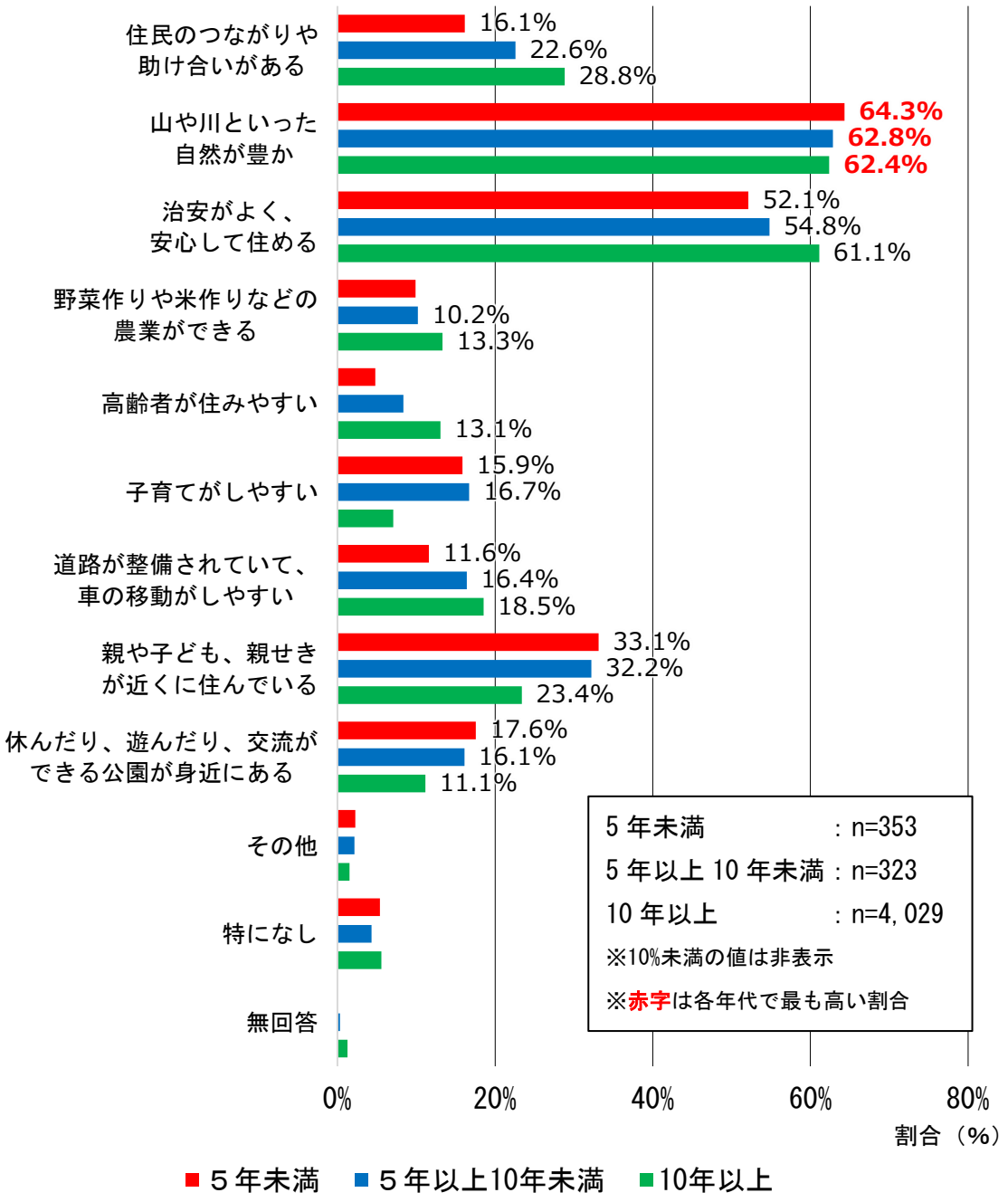


属性別集計５．　居住歴別の集計

＜ 5-1.　大野地区の良い点（問２）＞

・居住歴問わず、「山や川といった自然が豊か」が良い点と思われていました。

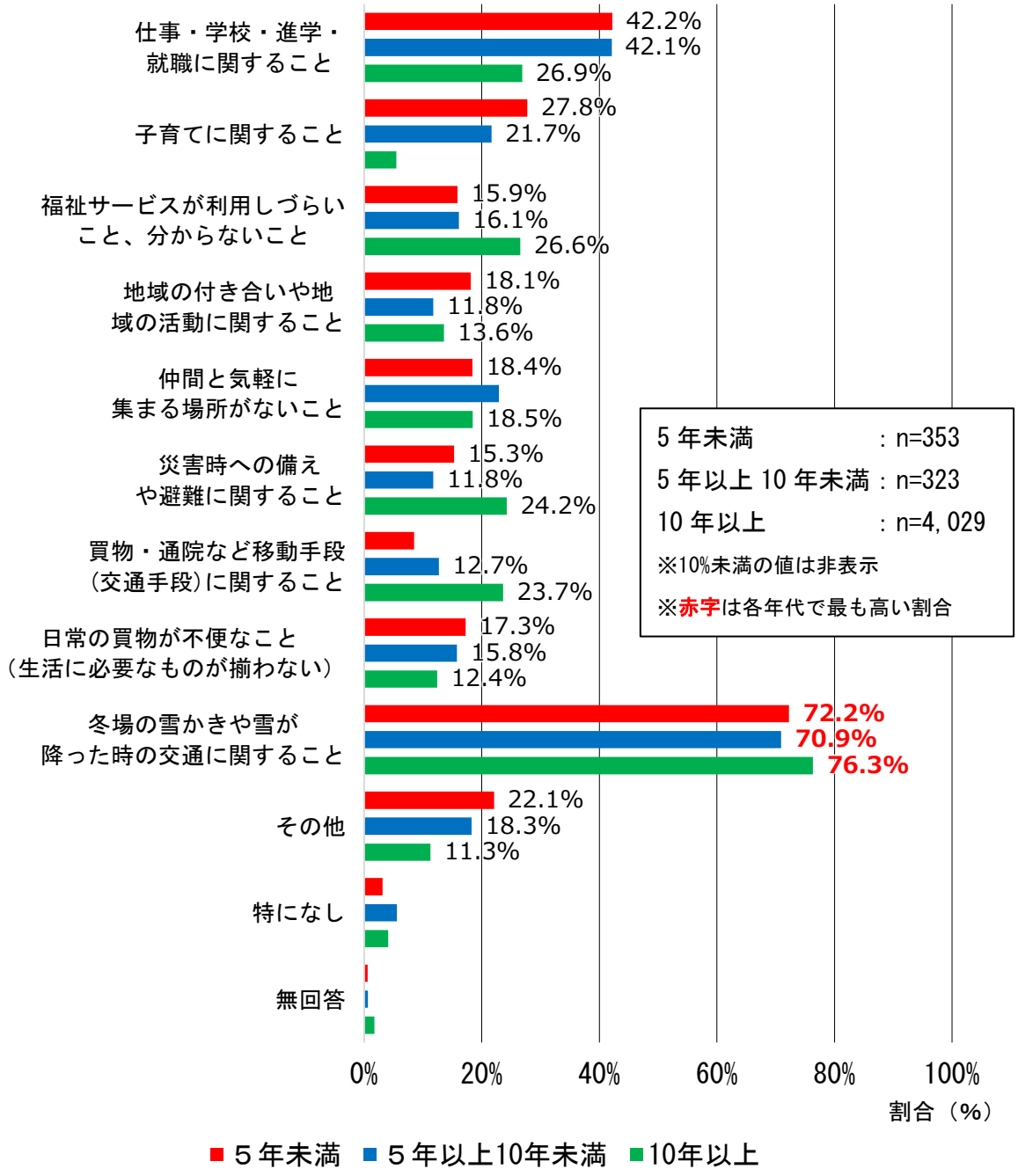
居住歴別の大野地区の良い点



＜ 5-2.　大野地区の不安な点（問３）＞

・居住歴問わず、「冬場の雪かきや雪が降った時の交通に関すること」といった雪に関することに不安を感じていました。

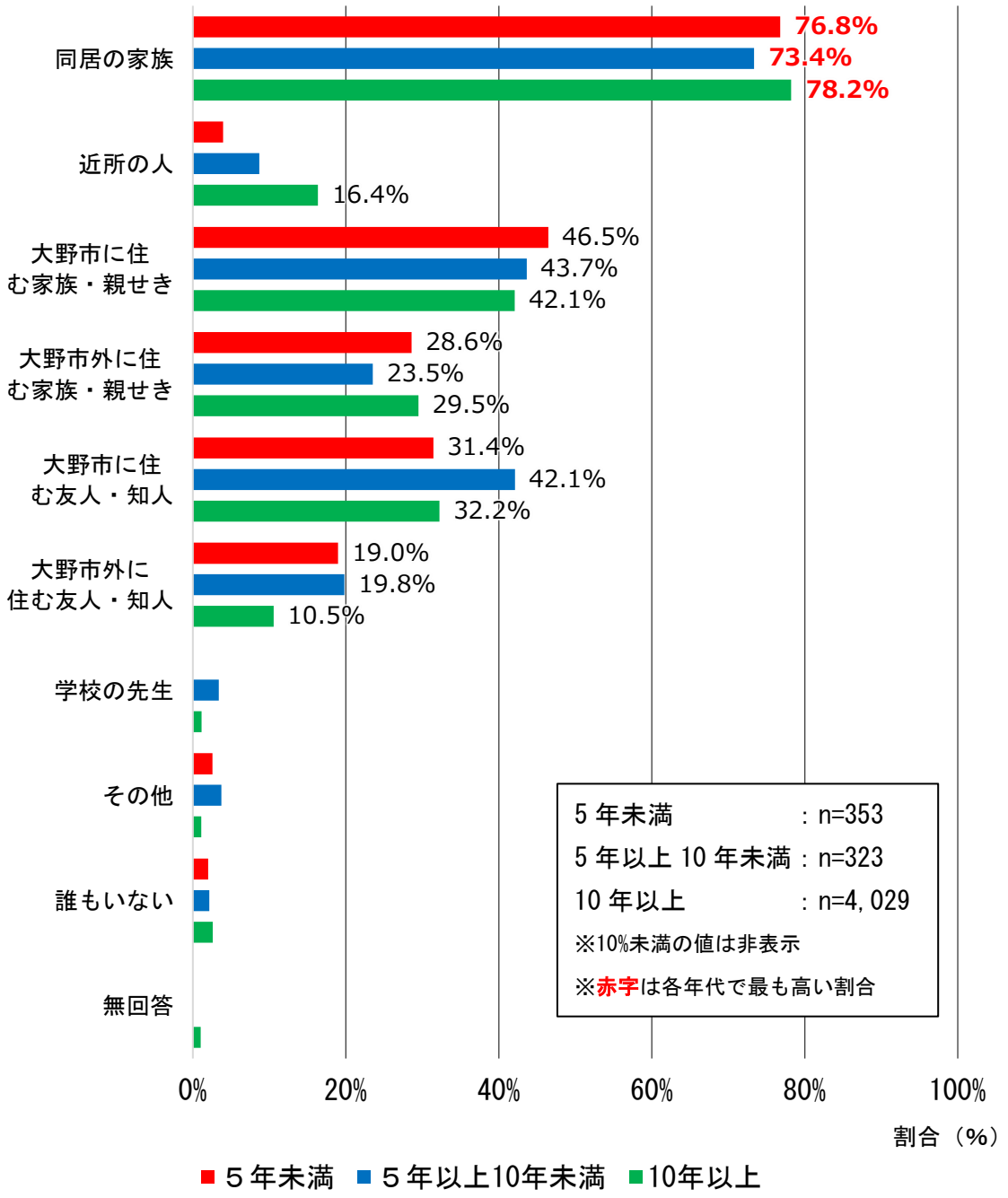
居住歴別の大野地区の不安な点



＜ 5-3.　相談する相手（問４）＞

・居住歴問わず、「同居の家族」に相談している方が多くいました。

居住歴別の相談相手

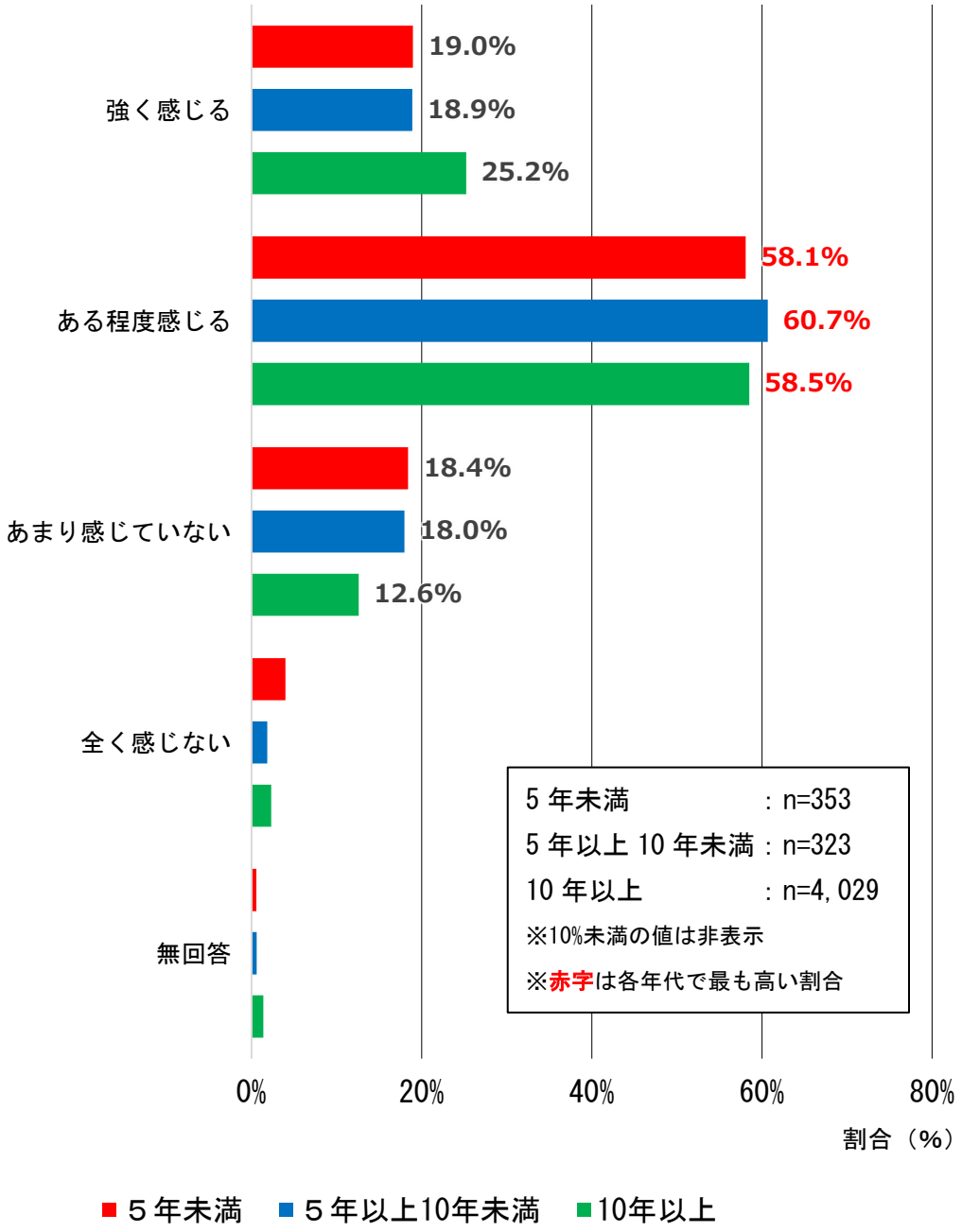


＜ 5-4-1.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 愛着 ＞

・居住歴問わず、大野地区にある程度愛着を感じていました。

居住歴別の大野地区へ日頃感じていること

愛着

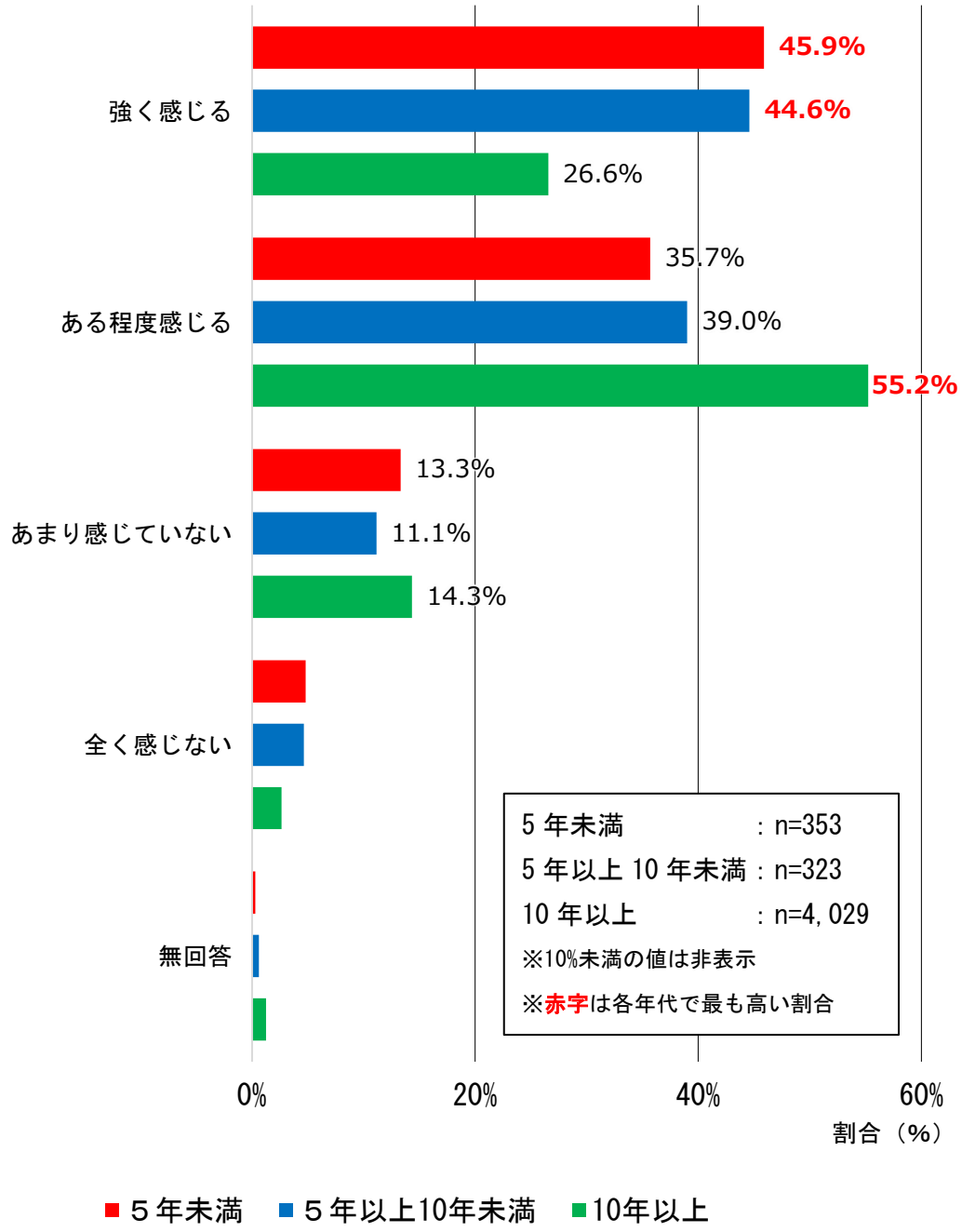


＜ 5-4-2.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 住みやすさ ＞

・居住歴問わず、多くの方が大野地区を住みやすいと感じていますが、居住歴が 10 年以上の方は、他の居住歴の方と比べて住みやすさの感じ方がやや低い傾向にあります。

居住歴別の大野地区へ日頃感じていること

住みやすさ

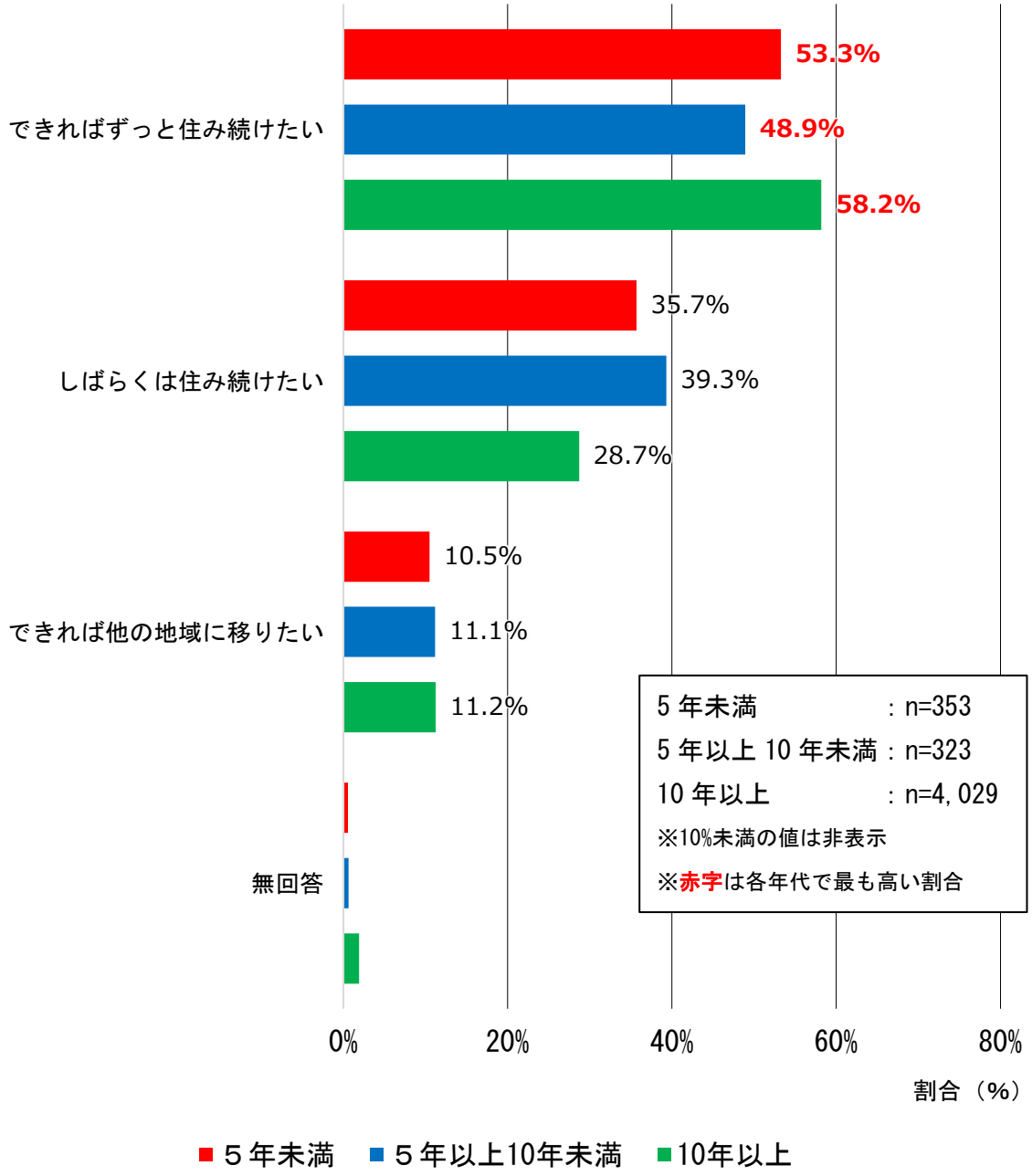


＜ 5-4-3.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 居住意向 ＞

・居住歴問わず、大野地区にできればずっと住み続けたいと感じていました。

居住歴別の大野地区へ日頃感じていること

居住意向



＜ 5-5-4.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・居住歴問わず、住み続けたい理由として「出身地だから（住み慣れている等）」が多くなっていました。

・大項目で見ると、居住歴問わず、仕事や子どもの就学等の「家庭の事情などに関するもの」に分類される意見が住み続けたい理由となっていました。

居住歴別の大野地区へ日頃感じていること

住み続けたいと思う人の意見（できればずっと住み続けたい、しばらく住み続けたい）

連番	カテゴリー	大項目	小項目	居住歴		
				５年未満	５年以上10年未満	10年以上
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	43	31	464
2			愛着があるから等	11	11	102
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	12	13	230
4			交流の場が少ないから	0	1	1
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	5	1	17
6			娯楽施設等がないから	6	2	14
7			交通の便がよくないから	3	7	40
8			医療サービスが利用しにくいから	7	0	23
9			全体的に不便だから等	1	1	5
10			買い物がしやすいから	5	8	46
11			交通の便がよいから	0	2	35
12			医療サービスが利用しやすいから	0	3	19
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	29	25	363
14			景観がよいから	3	3	20
15			食べ物がおいしいから	4	1	21
16			まちの歴史があるから	0	1	4
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	2	0	1
18			育児環境がよいから	5	5	4
19			教育環境がよくないから	0	2	1
20			教育環境がよいから	3	5	5
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	10	12	134
22			治安がよくないから	0	0	0
23			被災時に不安があるから	0	0	2
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	27	22	193
25			加齢による不安があるから	5	10	151
26			住居・住宅を所有しているから等	26	20	133
27			転居の予定がないから	18	13	254
28			転居の予定があるから等	6	7	45
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	3	1	23
30			仕事上の都合があるから	9	2	23
31		進学・就職に関するもの	進学するから	5	2	17
32			就職（転職）するから	2	1	8
33			仕事が少ないから	0	4	18
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	0	0	13
35			将来的なことが分からないから	6	2	31
36			視野を広げるため	0	1	10
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	7	6	110
38			除雪があるから	6	4	71
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	0	0	3
40			自然環境がよいから	27	24	285
41			良質な水があるから	6	9	110
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	性別の将来性を感じないから	4	6	62
43			施設の更新等がされていないから	1	3	6
44			市政に不満があるから等	2	0	6
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0	0
46			経済的に厳しいから	0	0	0
47	その他	その他	現状に満足しているから	4	6	62
48			魅力を感じないから	1	3	6
49			イベントが多いから	2	0	6
50			資産があるから	0	0	1
51			その他（理由にならないもの）	16	12	86
合計				332	292	3,284

＜ 5-5-5.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・居住歴が５年以上の方は、他の地域に移りたい理由として「降雪があるから」の回答がありました。一方で、居住歴が５年未満の方は、「娯楽施設等がないから」が他の地域に移りたい理由でした。

・大項目で見ると、居住歴問わず、「生活の利便性に関するもの」に属する意見が他の地域に移りたい理由でした。

居住歴別の大野地区へ日頃感じていること

地域を移したいと思う人の意見（できれば他の地域に移りたい）

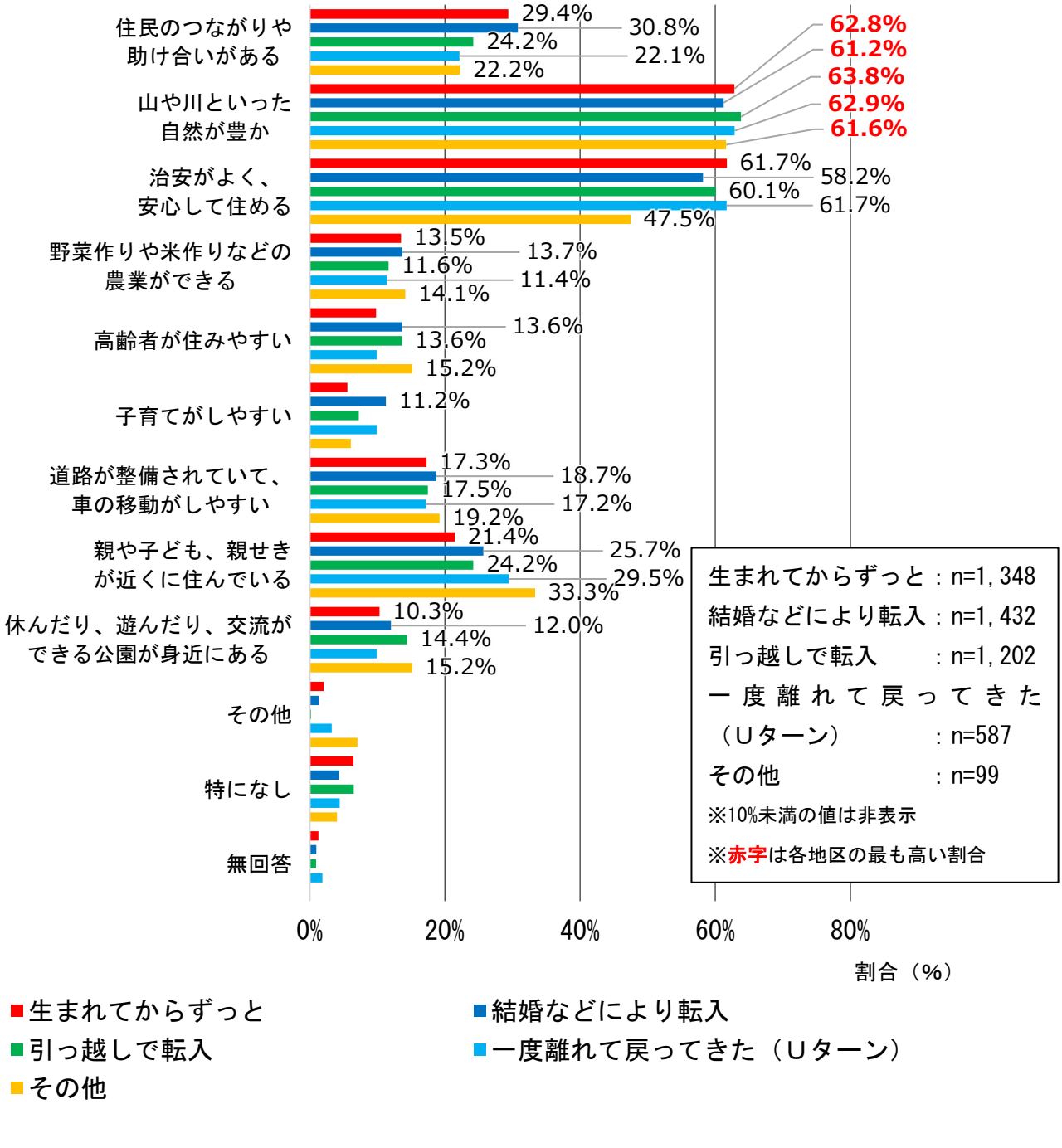
連番	カテゴリー	大項目	小項目	居住歴		
				５年未満	５年以上10年未満	10年以上
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	0	1	1
2			愛着があるから等	0	0	0
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	0	1	8
4			交流の場が少ないから	0	0	4
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	6	2	31
6			娯楽施設等がないから	7	2	28
7			交通の便がよくないから	3	3	70
8			医療サービスが利用しにくいから	2	4	33
9			全体的に不便だから等	6	2	20
10			買い物がしやすいから	0	0	0
11			交通の便がよいから	0	0	0
12			医療サービスが利用しやすいから	0	0	0
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	0	0	5
14			景観がよいから	0	0	0
15			食べ物がおいしいから	0	0	1
16			まちの歴史があるから	0	0	1
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	0	3	1
18			育児環境がよいから	0	0	1
19			教育環境がよくないから	1	1	3
20			教育環境がよいから	1	0	0
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	0	0	0
22			治安がよくないから	0	0	2
23			被災時に不安があるから	0	0	2
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	2	3	10
25			加齢による不安があるから	0	1	30
26			住居・住宅を所有しているから等	0	0	2
27			転居の予定がないから	0	0	1
28			転居の予定があるから等	1	0	29
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	1	0	1
30			仕事上の都合があるから	2	1	4
31		進学・就職に関するもの	進学するから	1	0	4
32			就職（転職）するから	1	1	1
33			仕事が少ないから	4	2	29
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	0	1	2
35			将来的なことが分からないから	0	0	2
36			視野を広げるため	0	0	4
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	4	6	106
38			除雪があるから	2	1	62
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	0	1	2
40			自然環境がよいから	1	0	1
41			良質な水があるから	0	0	1
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	性別の将来性を感じないから	0	0	0
43			施設の更新等がされていないから	1	0	15
44			市政に不満があるから等	0	0	0
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0	0
46			経済的に厳しいから	0	0	0
47	その他	その他	現状に満足しているから	0	0	0
48			魅力を感じないから	1	0	15
49			イベントが多いから	0	0	0
50			資産があるから	0	0	0
51			その他（理由にならないもの）	1	3	13
合計				48	39	545

属性別集計６．　居住理由別の集計

＜ 6-1.　大野地区の良い点（問２）＞

・居住理由問わず、「山や川といった自然が豊か」が良い点と思われていました。

居住理由別の大野地区の良い点

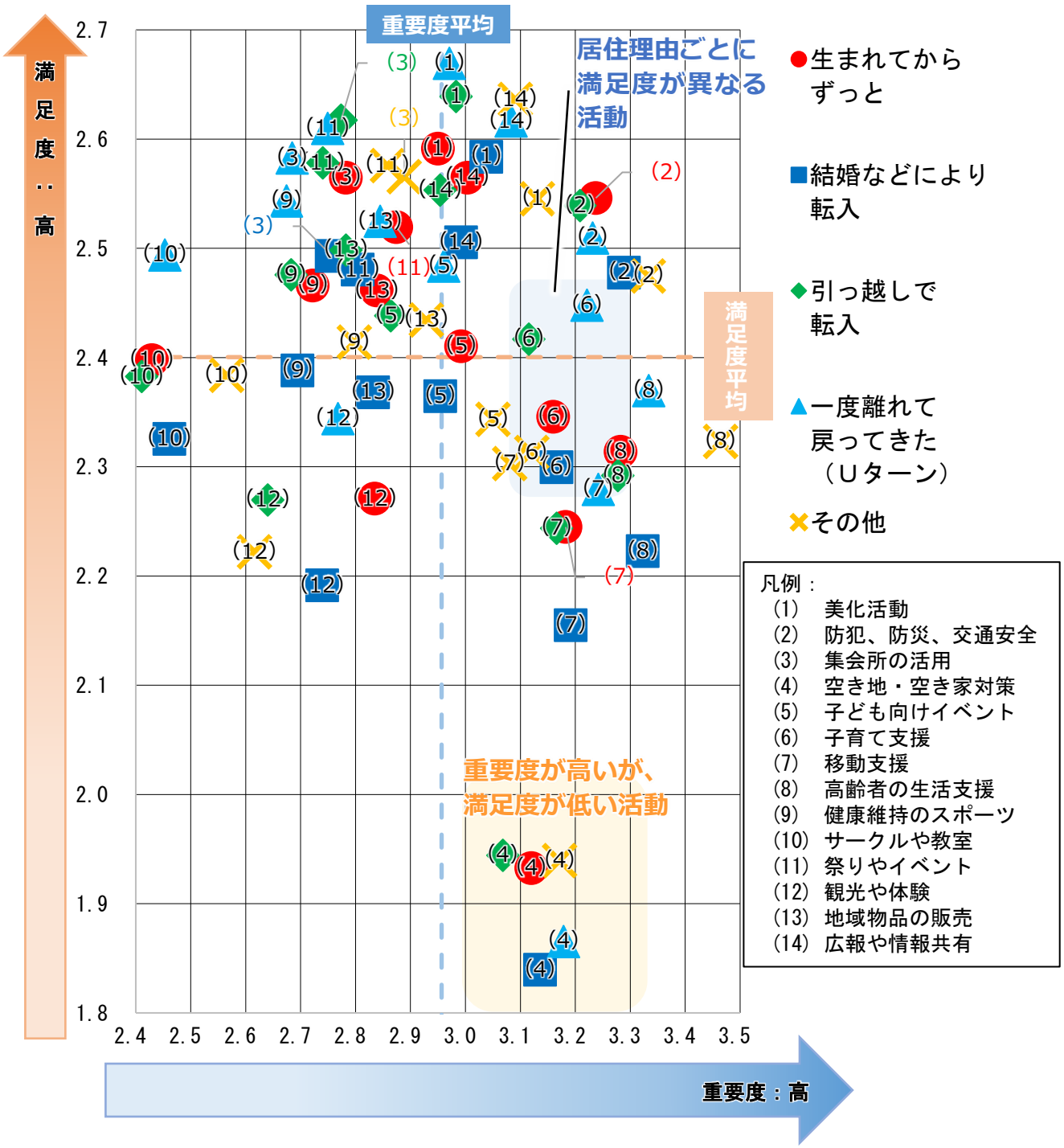


＜ 6-2.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）＞

・居住理由問わず、「（４）空き家・空き地対策」が重要だと思いつつ、不満に感じていました。

・「（６）子育て支援活動」は、重要度が高いものの、居住理由ごとに満足度が異なっていました。

居住理由別の各活動の重要度と満足度

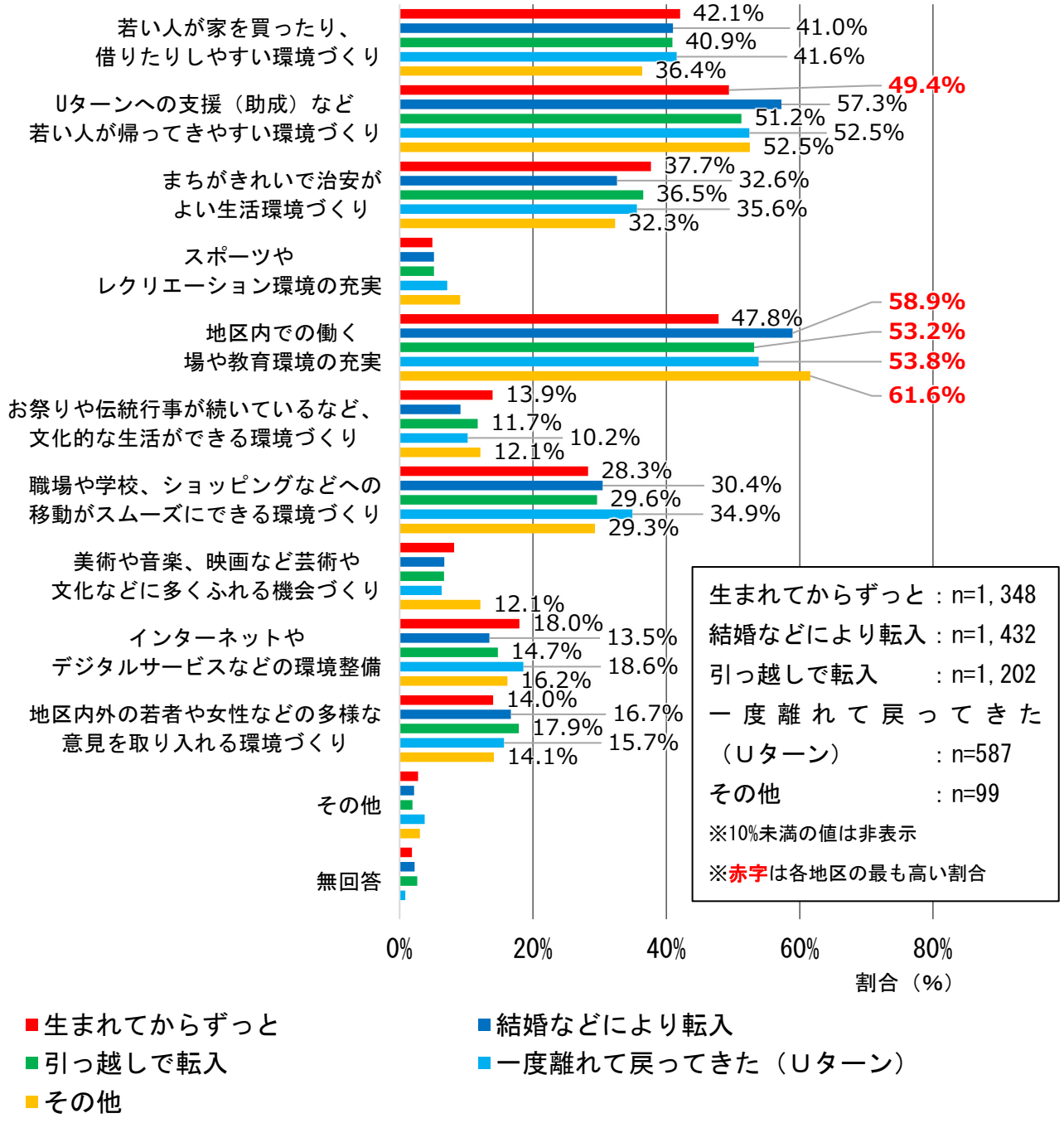


＜ 6-3.　若い世代が１０年後も大野地区で安心して住むために必要なこと（問８）＞

・生まれてからずっと大野地区に住んでいる方以外は、「地区内での働く場や教育環境の充実」が必要であると思われていました。

・生まれてからずっと大野地区に住んでいる方は、「Ｕターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり」が必要であると思われていました。

居住理由別の若い世代が住むために必要なこと



４）調査結果のまとめ

○ 大野地区の将来像について、地区全体では、「働く場所や居場所が十分にあるまち」や、「要配慮者へのサポートが充実したまち」が望まれていました。属性別に見ると、年代以外の属性では概ね地区全体の回答と同様の傾向でした。年代別に見ると、特に 10 代で「たくさんの観光客が訪れるまち」や、「イベントや芸術活動が盛んなまち」等のまちの活気に関するものが選ばれる傾向にありました。

○ 大野地区で不安に感じている点について、地区全体では、非常に多くの方が「冬場の降雪」を回答していました。属性別にみると、年代以外の属性では概ね地区全体と同じ傾向にありました。年代では、30 歳代以下の若い世代で、「就職や進学などの将来的なこと」や、「仲間と気軽に集まれる場所が少ないこと」に不安を感じていました。

○ 大野地区での活動について、地区全体では、特に「空き家・空き地対策」について重要かつ非常に不満に感じている活動で、関心が高いことが伺えます。属性別で見ても概ね地区全体と同様の傾向でした。この他には、高齢者の見守り・生活支援活動、買物・通院・通学などの移動支援活動、防災活動、子育て支援活動が、重視すべき大野地区の取組として認識されています。

○ 若い世代が大野地区に住むために必要なことについて、地区全体では、「雇用の創出や教育環境の充実」、「家の購入や賃借を行いやすくする」等のUターンの基盤を整えることが必要だと思われていました。属性別で見ても概ね地区全体と同様の傾向でした。

○ 大野地区への愛着や住みやすさ、居住意向について、地区全体では、愛着がある方、住みやすいと思われている方、住み続けたいと思われている方が多くいました。属性別で見ても概ね地区全体と同様の傾向でした。愛着について年代別に見ると「強く感じる」と「ある程度感じる」を合わせた割合が最も大きいのは、10 代でした。ただし、10 代は進学などを見据えて「他の地域に移り住みたい」を選ぶ割合が他の年代よりも若干大きくなっています。

○ 大野地区に住み続けたい方の中で、多くの方は、「市・地区への愛着」や「家庭の事情」といった理由を挙げていました。属性別で見ても概ね地区全体と同様の傾向でした。

○ 大野地区から他の地域に移りたい方の中で、多くの方は、「生活の利便性」や「雪が多いこと」を理由に挙げていました。属性別で見ても概ね地区全体と同様の傾向でした。

○ 大野地区の今後のまちづくりについて、交通の便等を含む「生活環境の利便性の向上」に関することや、「地域の稼ぐ力」の強化に関するご意見が多くありました。特に雇用については、若い人にとって魅力的で多様な選択肢を確保するなど、若者が住みたくなるまちづくりで人口減少に歯止めをかけることを重視したご意見が多くありました。

今後の課題

⇒アンケート調査からは、今後取り組むべき課題として、①**雪かきへの不安への対応**、②**空き地・空き家対策**、③**高齢者の生活支援、買物・通院など移動支援**、④**地域防災力の強化**、⑤**若者が住みたくなるまちづくり**が重要であると、大野地区の皆様が考えていることが浮かび上がってきました。

⇒令和４年度に実施した行政区調査の結果からは、多くの行政区で担い手が不足している実情が明らかとなっており、**行政区の枠を越えた地域ぐるみの取組**として、これらの課題に対応する必要があります。

① **雪かきへの不安を少しでも和らげるために、地域ぐるみでどのようなことができるのか**、例えば、隣り合う複数の行政区でお年寄りの自宅玄関前の雪かきや屋根雪下ろしを支援するグループを作ったり、民間雪下ろし事業者とお年寄りとの間のトラブル防止策を検討したり、民地除雪活動に対する市の支援制度の活用を検討したりすることなどが考えられます。

② また、例えば、今後の**急激な空き家・空き地の増加を防ぐため**、さらには、空き家・空き地の管理不全や景観面など周辺への**様々な影響を小さくするため**、**地域ぐるみでどのようなことができるのか**、話し合うことも重要です。
地域おこし協力隊として大野地区に移り住み、空き家問題に取り組んでいる**専門家と連携**し、地域ぐるみで取り組むべき内容や、取り組むべき手順などについて**専門家の助言を得て効果的に進めることが可能**です。
若い世代が**気軽に集まることができる場づくり**や若い世代が**取得しやすい住まいの確保**、**小さな子どもを育てている方への支援**などと**空き家の活用を結びつけて取り組む**こともできるかもしれません。

③ 買物・通院などの移動支援では、例えば、永平寺町で行われている「近助タクシー（自家用車を使った**地域住民による有償の移動支援**）」に倣った取組の可能性や、事業者による**移動販売のコーディネート・受け入れ環境づくり**など、**「あいさつで結び隊」とも連携**しながら地域ぐるみでどのようなことができるか、話し合うことで良いアイデアが生まれ、大野地区ならではの取り組みが実施できるかもしれません。

④ お年寄りなど災害時の**避難に支援が必要な方々について事前に状況を把握**したり、**役割分担を決めておく**こと、**避難所を円滑に運営するための訓練**なども地域ぐるみで取り組むべきことです。

⑤ 若い世代も大野地区への愛着がある事が明らかになりました。地域ぐるみで課題解決に取り組む様子が見えたり、**取り組みに若い世代の意見を反映**したり、**活躍の場を用意**することによって、若者のふるさとへの愛着と誇りが一層育まれていくと考えられます。

⇒第１地区から第６地区の地域地区単位で**これらの課題について認識を共有**し、**地域ぐるみのまちづくりの実践**に向けた**話し合いを開始すること**が重要です。

＜参考資料１：中学生以上全住民アンケート調査票＞

抽選番号：［　　］

ご回答いただいた方の中から抽選で景品をさしあげます。当選者は、館報などを通じて抽選番号でお知らせします。大野公民館でこの用紙と景品をお引替えいたします。

全住民（中学1年生以上）対象のアンケート調査にご協力を よろしくお願いします





アンケート調査の目的

これが知りたい

みんなの想い・希望 ＋ みんなの不安・困り事 ＋ みんなが大事にしていること・満足していること

知りたい理由

なぜ → みんなの意見をよく知って、みんなが共感できる（その通りだなぁと思える）まちづくりの将来像や取組の優先順位を決めることが大事だから！

どうして → みんなが力を合わせ、**結の力**を強くして問題・課題に対応し、夢や希望を叶えることができる地域づくりが大事だから！

だから → 高齢化、若者の減少、災害の危険性の高まりなどの地域の問題・課題が複雑に絡み合っているため、みんなが力を合わせなければ、その解決は不可能だから！

○スマートフォンやタブレットから WEB で回答することもできます！　回答用 WEB ページ

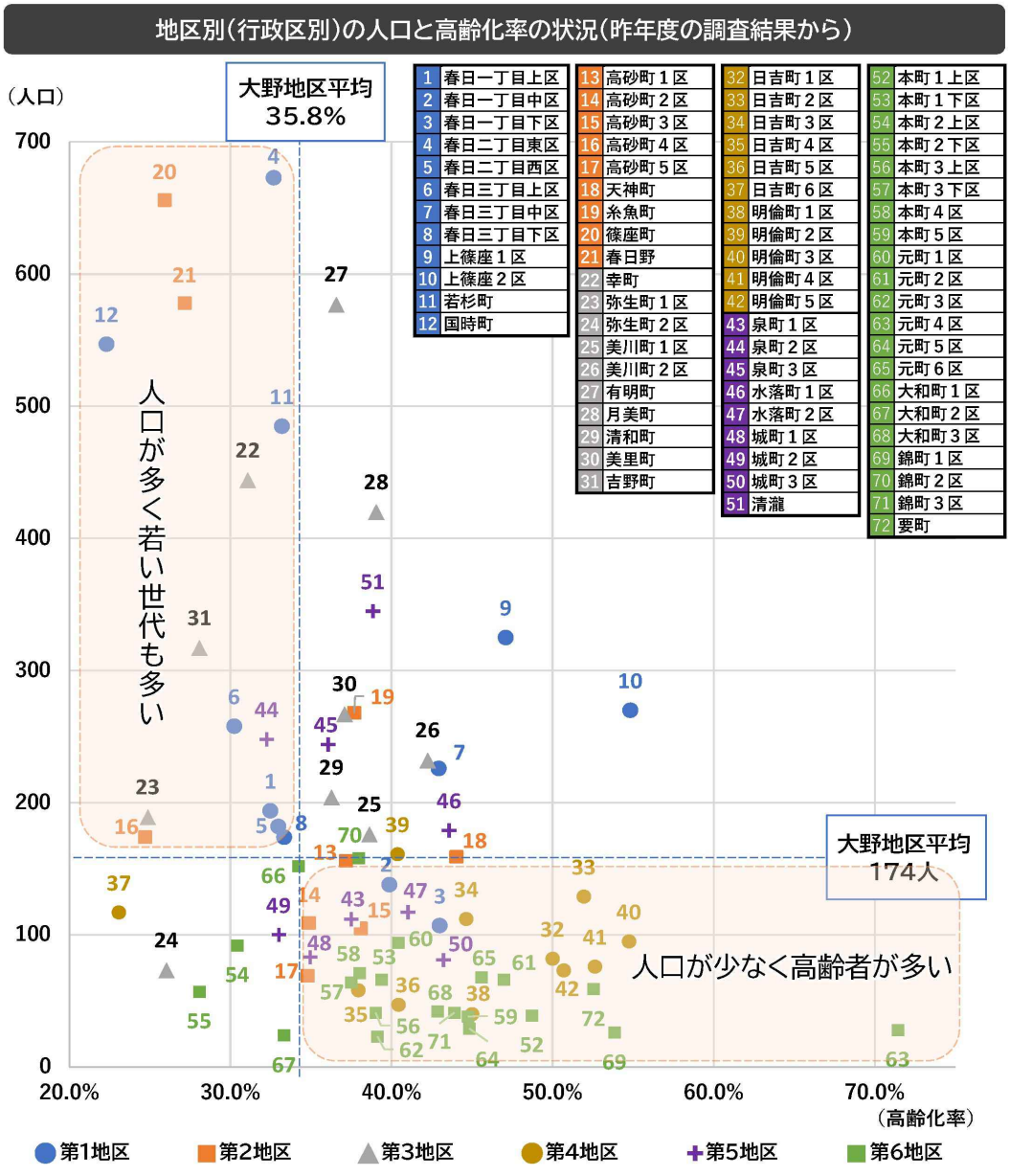
次のページには、このアンケート調査結果の取りまとめの参考イメージをお示しします

結果の取りまとめのイメージ



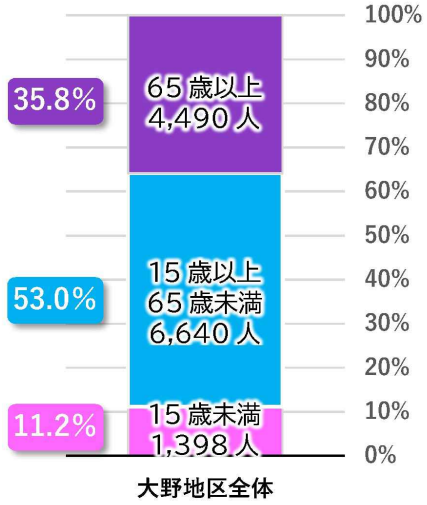
皆さんからいただいた回答は、集計を行い、大事にしたいことや困りごととして、どの事柄が多くの人に選ばれているのかなど、全体としてどのような意見が多いのか、グラフなどで分かりやすくまとめます。

また、年齢によってどのように意見の違いがあるかをグラフや数字から明らかにします。

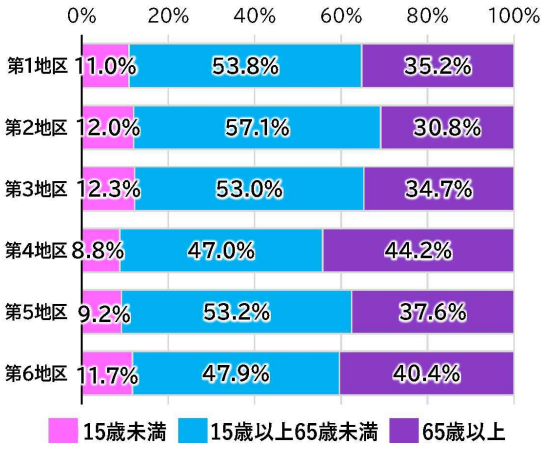




大野地区全体の年齢別人口構成
（昨年度の調査結果から）



第１地区～第６地区の年齢別人口構成
（昨年度の調査結果から）



アンケート記入時の注意点

【一人ひとりが答えてください】

○中学生以上の方、全員分の調査票を用意していますので、それぞれご自身の考えをお答えください。**家族の分の調査票に勝手に記入、回答することはおやめください。**

【回答方法は２種類】

○紙の調査票(1 ページ～8 ページ)に記入する回答方法

○スマートフォンやタブレット、パソコンによる回答方法

回答用 WEB ページ



【回答は、ほとんど選択式】

○ほとんどの質問が、用意された選択肢からご自身の考えに近いものを選ぶ方式です。

～ 記 入 例 ～

良い例
- ●・塗りつぶす
- ✓・チェックする
- 3・枠内に文字を記入する

悪い例
- ◎・○で囲んでいる
- ✓ ✓・チェックがずれている、薄い
- 3 3・文字が小さすぎる、はみ出る

【提出方法は３種類】



○区長様にお渡しする（区長様のご自宅まで 1 ページ～8 ページをご持参ください）

○大野公民館に直接提出（1 ページ～8 ページをご持参ください）

○スマートフォンやタブレットから WEB で回答する（紙の調査票は提出不要です）



回答用 WEB ページ

次のページには、今後の予定や実施主体についてお示しします

回答にかかる時間は、おおむね 15 分程度です。

抽選番号：●●●●●

地域の未来を担う
中高生も答えてね！

中学生以上全住民アンケート調査票

書き方例

良い例		悪い例	
●	・塗りつぶす	○	・○で囲んでいる
✓	・チェックする	✓ ✓	・チェックがずれている、薄い
3	・枠内に文字を記入する	3	・文字が小さすぎる、はみ出る

Ⅰ．あなたご自身（回答者）について教えてください（1 つ選んでください）

質　問	回　答
性　別	**あてはまるものを選んでください。** ○ 男性　○ 女性　○ 答えたくない
年　齢	**あてはまるものを選んでください。** ○ 12～15 歳　○ 16～19 歳　○ 20 歳代　○ 30 歳代　○ 40 歳代 ○ 50 歳代　○ 60 歳代　○ 70 歳代　○ 80 歳代以上
一緒に暮らしている家族について	**(1)どのような家族構成ですか。** **あてはまるものを選んでください。** ○ 単身(1人ぐらし)　○ 夫婦(2人ぐらし)　○ 親子(2世代) ○ 親子(3世代)　○ その他［　　］
	(2)家族の人数は何人ですか。 **あてはまるものを選んでください。※自分を含みます。** ○ 1人　○ 2人　○ 3人　○ 4人 ○ 5人　○ 6人　○ 7人以上
現在のお住まいの状況について	**(1)住み始めて何年になりますか。** **当てはまるものを選んでください。** ○ 5年未満　○ 5年以上 10 年未満　○ 10 年以上
	(2)どのような理由から、住んでいますか。 **あてはまるものを選んでください。** ○ 生まれてからずっと　○ 結婚などにより転入　○ 引っ越しで転入 ○ 一度離れて戻ってきた(Uターン) ○ その他 具体的に［　　］

Ⅱ．お住いの地域や生活環境についてお伺いします

問１　大野地区は将来（10～20年後）、どのような地区になると良いと思われますか。
あてはまるものを３つまで選んでください。

- ○　地域の子どもや若者、女性など多様な意見が取り入れられ、活動に参加しやすいまち
- ○　住民が働く場所や居場所があるなど、一人ひとりが活躍できるまち
- ○　県外や地区外からたくさんの観光客が訪れるまち
- ○　子育て環境や教育環境が充実したまち
- ○　高齢者や障がいを持つ方へのサポートがあるなど、福祉環境が充実したまち
- ○　歴史や文化などのイベントや芸術活動が盛んなまち
- ○　地域の産業やブランドを活かした経済活動が盛んなまち
- ○　健康づくりやスポーツが盛んなまち
- ○　地域が主体となって災害への対策などに取り組む安全安心なまち
- ○　その他　具体的に［　　］
- ○　特になし

問２　大野地区に住んでいて、良いと思うことや満足していることは何ですか。
あてはまるものを３つまで選んでください。

- ○　住民のつながりや助け合いがある
- ○　治安がよく、安心して住める
- ○　高齢者が住みやすい
- ○　道路が整備されていて、車の移動がしやすい
- ○　山や川といった自然が豊か
- ○　野菜作りや米作りなどの農業ができる
- ○　子育てがしやすい
- ○　親や子ども、親せきが近くに住んでいる
- ○　休んだり、遊んだり、交流ができる公園が身近にある
- ○　その他　具体的に［　　］
- ○　特になし



問３　生活する上で、あなたが不安に感じていること、困っていることは何ですか。
あてはまるものをいくつでも選んでください。

- ○　仕事・学校・進学・就職に関すること
- ○　子育てに関すること
- ○　福祉サービスが利用しづらいこと、分からないこと
- ○　地域の付き合いや地域の活動に関すること
- ○　仲間と気軽に集まる場所がないこと
- ○　災害時への備えや避難に関すること
- ○　買物・通院など移動手段(交通手段)に関すること
- ○　日常の買物が不便なこと（生活に必要なものが揃わない）
- ○　冬場の雪かきや雪が降った時の交通に関すること
- ○　その他　具体的に［　　］
- ○　特になし

問４　あなたは、いざというときに誰に相談しますか。
あてはまるものをいくつでも選んでください。

- ○　同居の家族
- ○　大野市に住む家族・親せき
- ○　大野市に住む友人・知人
- ○　学校の先生
- ○　その他　具体的に［　　］
- ○　だれもいない
- ○　近所の人
- ○　大野市外に住む家族・親せき
- ○　大野市外に住む友人・知人

問５　あなたは仕事や通学、買物、通院などの日常的な移動手段はどうしていますか。
あてはまるものをいくつでも選んでください。

- ○　自分が運転する車
- ○　同居する家族が運転する車
- ○　近所の人が運転する車
- ○　大野市に住む家族・親せきが運転する車
- ○　大野市に住む友人・知人が運転する車
- ○　大野市外に住む家族・親せきが運転する車
- ○　自転車・バイク
- ○　タクシー
- ○　まちなか循環バス、京福バス
- ○　介護・福祉タクシー(医療機関・福祉施設や福祉輸送タクシー事業者が運行する車等)
- ○　その他　具体的に［　　］

Ⅲ．地域の活動についてお伺いします

問６　地域で行っている、または、行うべきと考える下記の活動について、重要度と満足度を教えて下さい。
(１)～(１４)の全ての活動について、４つの選択肢のうち、重要度から１つ、満足度から１つを選んでください。

※回答例

	重要度（１つだけ●か、☑）				満足度（１つだけ●か、☑）			
	１ 重要である	２ やや重要である	３ あまり重要でない	４ 重要でない	１ 満足している	２ やや満足している	３ やや不満である	４ 不満である
（１）草刈や清掃、草花を植えるなどの美化活動について	○	●	○	○	○	○	●	○
（２）避難訓練などの防災活動や交通安全、防犯活動について	☑	○	○	○	☑	○	○	○

※回答例を参考に、以下より記入をお願いします。

	重要度（１つだけ●か、☑）				満足度（１つだけ●か、☑）			
	１ 重要である	２ やや重要である	３ あまり重要でない	４ 重要でない	１ 満足している	２ やや満足している	３ やや不満である	４ 不満である
（１）草刈や清掃、草花を植えるなどの美化活動について	○	○	○	○	○	○	○	○
（２）避難訓練などの防災活動や交通安全、防犯活動について	○	○	○	○	○	○	○	○
（３）地域で集まる集会所の活用や維持管理について	○	○	○	○	○	○	○	○
（４）使われていない空き地や空き家の対策について	○	○	○	○	○	○	○	○
（５）子どもが対象の行事・イベント開催について	○	○	○	○	○	○	○	○

	重要度（１つだけ●か、☑）				満足度（１つだけ●か、☑）			
	１ 重要である	２ やや重要である	３ あまり重要でない	４ 重要でない	１ 満足している	２ やや満足している	３ やや不満である	４ 不満である
（６）乳幼児や未就園児を持つ家庭に対する子育て支援活動について	○	○	○	○	○	○	○	○
（７）買物、通院、通学など、移動支援活動について	○	○	○	○	○	○	○	○
（８）高齢者の見守りやゴミ出し、高齢者の介護・認知症予防を含む生活支援活動について	○	○	○	○	○	○	○	○
（９）健康維持のためのスポーツ・レクリエーション活動について	○	○	○	○	○	○	○	○
（１０）音楽、手芸など生涯学習のサークルや教室などの活動について	○	○	○	○	○	○	○	○
（１１）お祭りなど地区住民が集うイベント開催について	○	○	○	○	○	○	○	○
（１２）地区外の人を呼び込むための観光や体験などの交流活動について	○	○	○	○	○	○	○	○
（１３）地域住民がつくった野菜や商品を販売したりする活動について	○	○	○	○	○	○	○	○
（１４）地域住民向けの広報や情報の共有について	○	○	○	○	○	○	○	○

問７　問６の(１)～(１４)の活動で、大野地区で重要な活動であると思われるものを３つまで選び、□□に、(１)～(１４)の数字をご記入ください。

※ □□ の枠の中に、右詰めではっきりと数字をご記入ください。
※ □□ の枠から外れたり、枠に重なっていたり、文字が小さいと読み取れません。

□□ □□ □□

※回答例

良い例

□3
10

枠内に右詰めで
適切な大きさ、濃さで記入

悪い例

はみ出している　小さい　薄い

問８　あなたや地域の将来を担う若い世代が 10 年後も大野地区で安心して住み続けられるために必要だと思うことは何だと思いますか。
あてはまるものを３つまで選んでください。

- ○　若い人が家を買ったり、借りたりしやすい環境づくり
- ○　Ｕターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり
- ○　まちがきれいで治安がよい生活環境づくり
- ○　スポーツやレクリエーション環境の充実
- ○　地区内での働く場や教育環境の充実
- ○　お祭りや伝統行事が続いているなど、文化的な生活ができる環境づくり
- ○　職場や学校、ショッピングなどへの移動がスムーズにできる環境づくり
- ○　美術や音楽、映画など芸術や文化などに多くふれる機会づくり
- ○　インターネットやデジタルサービスなどの環境整備
- ○　地区内外の若者や女性などの多様な意見を取り入れる環境づくり
- ○　その他　具体的に［　　］

問９　あなたが、大野地区で関心がある活動、行ってみたい活動、これなら協力できるという活動はありますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

- ○　草刈りや清掃、草花を植えるなどの美化活動
- ○　避難訓練などの防災活動や交通安全、防犯に関する活動
- ○　お祭りなどの地域住民が交流できる活動
- ○　買物、通院、通学など移動支援活動
- ○　高齢者への声かけやゴミ出しの手伝い、介護・認知症予防などの活動
- ○　子どもが対象の行事・イベント開催
- ○　乳幼児や未就園児をもつ家庭に対する子育て支援活動
- ○　地区住民が作った野菜など地域の産物を販売する活動
- ○　身近な公園をみんなが使いやすいようにするための活動
- ○　地区住民向けに地域の活動や資源、魅力等について、情報発信する活動
- ○　空き家等を活用した地域の居場所づくりの活動
- ○　近所で雪かきに困っている人を手伝うなど除雪に関する活動
- ○　その他 具体的に［　　］
- ○　特にない

Ⅳ．お住いの地域への愛着や住みやすさについてお聞きします

問１０　大野地区について、日頃感じておられることをお伺いします。

（１）大野地区に愛着を感じていますか。あてはまるものを１つ選んでください。

- ○　強く感じる
- ○　ある程度感じる
- ○　あまり感じていない
- ○　全く感じない

（２）大野地区は住みやすいと感じていますか。あてはまるものを１つ選んでください。

- ○　とても住みやすい
- ○　住みやすい
- ○　あまり住みやすくない
- ○　住みにくい

（３）大野地区に住み続けたいですか。あてはまるものを１つ選んでください。

- ○　できればずっと住み続けたい
- ○　しばらくは住み続けたい
- ○　できれば他の地域に移りたい

（４）（３）でそのように回答した理由をお聞かせください。

［　　］

問１１　大野地区の今後のまちづくりについて、ご意見やご提案などがありましたら、自由にお書きください。

［　　］

※１０歳代の方はここで終了です。たくさんの質問にお答えいただきありがとうございました。

※ここからは 20 歳以上の方が対象の質問です。

Ⅴ．町内会や地域住民組織、団体についてお聞きします

問 12　大野地区で活動する下記団体について、活動内容を知っている団体をいくつでも選んでください。

○ ジュニアリーダー（中学生・高校生）	○ 大野地区各種団体連絡協議会
○ 大野地区まちづくり推進協議会	○ 大野地区子ども会育成会連絡協議会
○ 大野地区社会福祉協議会	○ 大野長生会
○ 大野地区 区長会（第1～6地区）	○ あいさつで結び隊（大野地区第２層協議体）
○ 民生委員児童委員協議会	○ 大野地区福祉委員会
○ 大野地区スポーツ協会（各地区体育協会）	
○ 大野地区地域課題解決検討会（プロジェクトチーム含む）	
○ その他 具体的に［　　］	

問 13　大野地区で活動する団体に興味や関心はありますか。あてはまるものを１つ選んでください。また、「ある」と回答した方は、団体名も記入してください。

○ ある 団体名［　　］
○ ない

問 14　今まであなたは町会役員や消防団などの地域の組織や団体の役員を担当したことがありますか。あてはまるものを１つ選んでください。また、「ある」と回答した方は、団体名も記入してください。

○ ある 団体名［　　］
○ ない

問 15　問 14 で「ある」と回答された方に伺います。役員を務めていた際に、良かった点と苦労した点をお聞かせください。
良かった点と苦労した点のそれぞれにあてはまるものをいくつでも選んでください。

良かった点	○ 地域の方と顔見知りになったり、交流したりする機会が増えた ○ みんなの意見をまとめたり、問題を解決したりするなど自己の成長になった ○ やりがいを得られた ○ その他 具体的に［　　］ ○ 特になし
苦労した点	○ みんなの意見をまとめるのが大変であった ○ 役割が多く、仕事と両立するのが大変であった ○ 慣れるのに時間がかかった ○ その他 具体的に［　　］ ○ 特になし

以上で質問は終わります。たくさんの質問にお答えいただきありがとうございました。

※記入済の調査票は、９月末日までに、以下のいずれかの方法で提出ください。

回答方法①：お住いの地域の区長様にお渡しする(1 ページ～8 ページ)
回答方法②：大野公民館に直接提出(1 ページ～8 ページ)
回答方法③：スマートフォンやタブレットから WEB で回答する

回答用 WEB ページ

今後の予定

アンケートの回答の締切りは**９月末日**です。
９月末日までに下記①～③のいずれかの方法で
ご回答をよろしくお願いします。

①区長様のご自宅まで、１ページ～8 ページをご持参ください
②大野公民館まで、１ページ～8 ページをご持参ください
③スマートフォンやタブレットから WEB で回答してください（紙の調査票は提出不要です）

回答用 WEB ページ

**ご回答いただいた方の中から抽選で景品をさしあげます。
当選者は館報などを通じてこの用紙の表紙の左上と回答票の
１ページの左上に表示してある抽選番号でお知らせします。
大野公民館でこの用紙と景品をお引替えいたします。**

みなさんの回答結果の集計を行い、
年内には中間報告を行う予定です。
（ホームページへの掲載、その他）



その後、年齢別の集計などを行い、令和６年
２月に最終報告を取りまとめる予定です。



令和６年度には、今回のアンケート調査の結果を踏まえて大野地区のまちづくりの優先順位を考えたり、大野地区のまちづくり構想づくりの準備を始めます。

実施団体について

このアンケート調査を実施している団体は

「大野地区地域課題解決検討会」です

設　立：　令和３年１２月２３日

目　的：　大野地区における地域課題を把握し、その解決に向けた検討や取組を進めること

大野地区地域課題解決検討会のＨＰ

問い合わせ先

「大野地区地域課題解決検討会」事務局（大野公民館）：電話　66-2828
調査委託機関（株式会社サンワコン）：電話　0776-32-6170

＜参考資料２：調査周知チラシ＞

大野地区にお住まいの中学生の皆さんへ

全住民（中学１年生以上）対象のアンケート調査への

ご協力のお願い

地域の未来を担う皆さんの声を聞かせてください！



アンケートは、15分程度で終わります。

大野地区では地域が抱える課題をみんなで把握し、解決するための活動を行っています。
地域の未来を担う若者のみなさんが、将来にわたって住み続けられる地域づくりに向けて、アンケート調査にご協力お願いします。

回答期限　2023年9月末日

回答者の中から抽選で粗品をプレゼントします！

回 答 方 法

学校で配布されている「タブレット」やご自身の「スマートフォン」で、以下のQRコードを読み取ってご回答ください。



① タブレットまたはスマートフォンで、右のQRコードを読み込む

② 必要事項を入力し、全て入力したら「送信」ボタンをクリックする

※大野地区にお住まいの方のみ、アンケート調査票を配布しています。
※「抽選番号」は、ご自宅に届いた紙の調査票を見て入力してください！

【問い合わせ先】「大野地区地域課題解決検討会」事務局（大野公民館）：電話　66-2828
調査委託機関（株式会社サンワコン）：電話　0776-32-6170

全住民（中学１年生以上）対象のアンケート調査への

ご協力のお願い



大野地区では地域が抱える課題をみんなで把握し、解決するための活動を行っています。
将来にわたって住み続けられる地域づくりに向けて、アンケート調査にご協力お願いいたします。

回答期限　**2023年9月末日**

回答者の中から抽選で粗品をプレゼントします！

回 答 方 法

その1　ご自宅に届いた調査票で回答する

① ご自宅に届いた紙の調査票に回答を記入する

↓

② 記入した調査票を封筒に入れて、お住いの区長さんまたは大野公民館へ提出する

その2　スマートフォンやタブレットで回答する



① スマートフォンまたはタブレットで右の QR コードを読み込む　サンプル

↓

② 必要事項を入力し、全て入力したら「送信」ボタンをクリックする

【問い合わせ先】「大野地区地域課題解決検討会」事務局（大野公民館）：電話　66-2828
調査委託機関（株式会社サンワコン）：電話　0776-32-6170

<参考資料３：地域地区別座談会用説明資料イメージ（第６地区を事例に）>

【令和５年度　中学生以上全住民アンケート調査】

１）調査概要

① 調査期間

・令和５年９月初旬から 10 月 10 日までの約１ヶ月の期間に調査を実施しました。

② 調査方法

・下記の調査票を調査対象となる住民（中学生１年生以上）に配布しました。配布・回収は各行政区の区長様、役員様にご協力いただきました。併せて、インターネットでも回答できるようにアンケート回答用のＷＥＢページを設置しました。

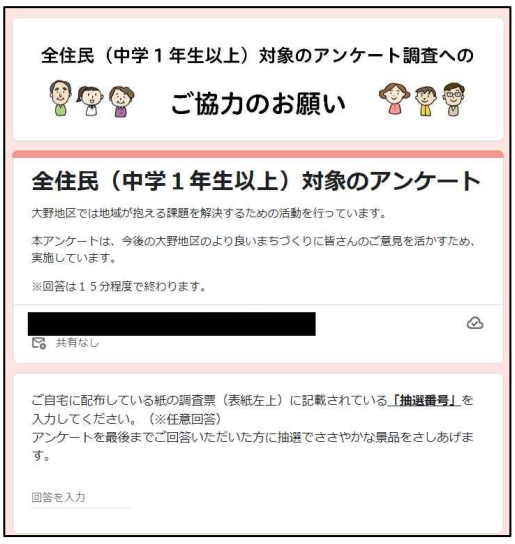
紙面版

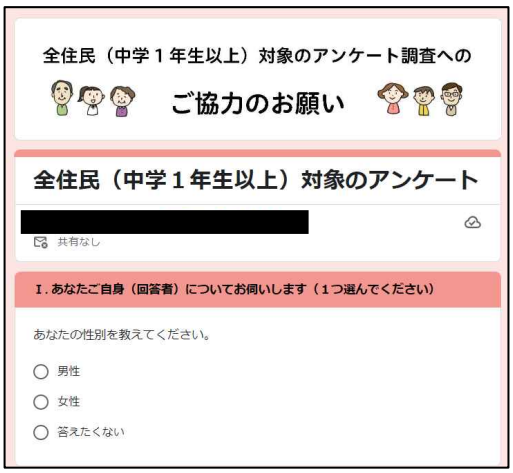






ＷＥＢ版





③ 調査の周知・説明

- アンケート調査の回答率を向上させるために、地区単位で説明会や学校にポスターの掲示、館報での周知等を行いました。

	実施概要
地区	下記の日程で説明会を実施しました。 第１地区：南部集会所（８/17） 第２地区：結とぴあ（８/12） 第３地区：駅東集会所（８/９） 第４地区：学びの里「めいりん」（８/１） 第５地区：学びの里「めいりん」（７/26）、 第６地区：石灯篭会館（８/23）
学生の方	中学生：２学期の始業式に開成中学校を通じて案内文を配布。 高校生：校内の掲示板にポスターを設置。
一般の方	チラシの配布や館報での周知。

④ 回収結果

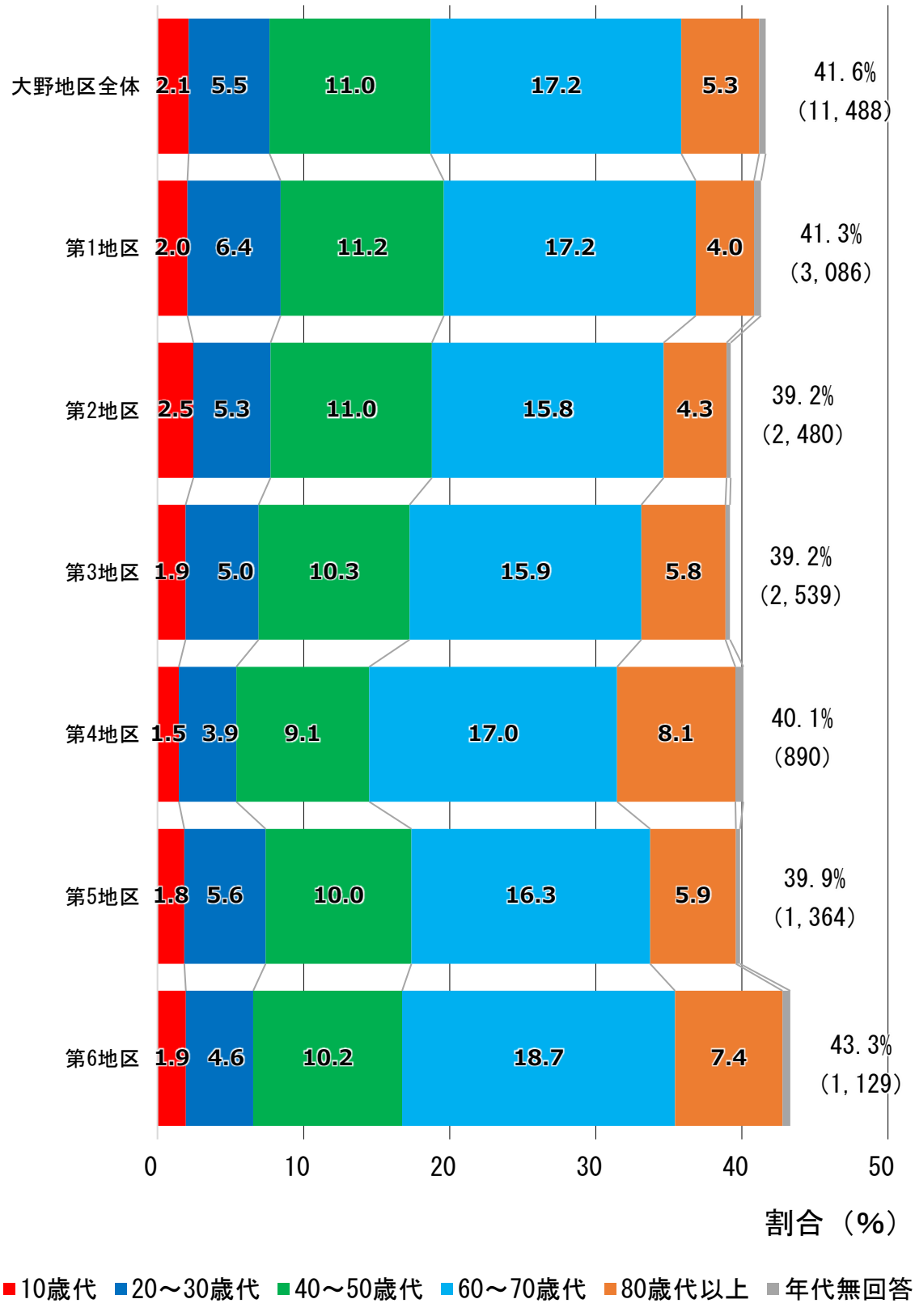
- 大野地区全体の配布数に対する回収率は、41.6%となりました。第６地区の回収率が最も高く、第２地区と第３地区の回収率が低い結果となりました。（下表、次頁）

地域地区	配布数（件）	回収数（件）	回収率（%）
第１地区	3,086	1,275	41.3%
第２地区	2,480	973	39.2%
第３地区	2,539	995	39.2%
第４地区	890	357	40.1%
第５地区	1,364	544	39.9%
第６地区	1,129	489	43.3%
大野地区全体	11,488	4,782（※）	41.6%

（※）地区不明の回収数を合算しています。（149 件）

④ 回収結果

大野地区全体並びに第１地区～第６地区の
地区別の回収率及び年代別の内訳



2）属性別集計

① 属性別集計を行う設問について

・単純集計から得られた結果について、地域の特性や世代の特性等を分析するために基本属性（地域地区、性別、年齢、家族構成、居住歴、居住理由）ごとの集計を行いました。

設問	性別	年齢	家族構成	世帯人員	居住歴	居住理由
問１	○	◎	－	－	－	－
問２	○	○	－	－	○	○
問３	○	◎	○	－	○	－
問４	－	○	○	－	○	－
問５	－	○	－	－	－	－
問６	－	◎	－	－	－	○
問７	－	○	－	－	－	－
問８	○	◎	－	－	－	○
問９	－	○	－	－	－	－
問１０	○	◎ (※)	－	－	○	－

○：属性別集計を実施　◎：年代による意向の違いの分析を実施

－：属性別集計を実施しない

（※）問 10 は（３）のみ行いました。

３）第６地区の集計

① 単純集計について

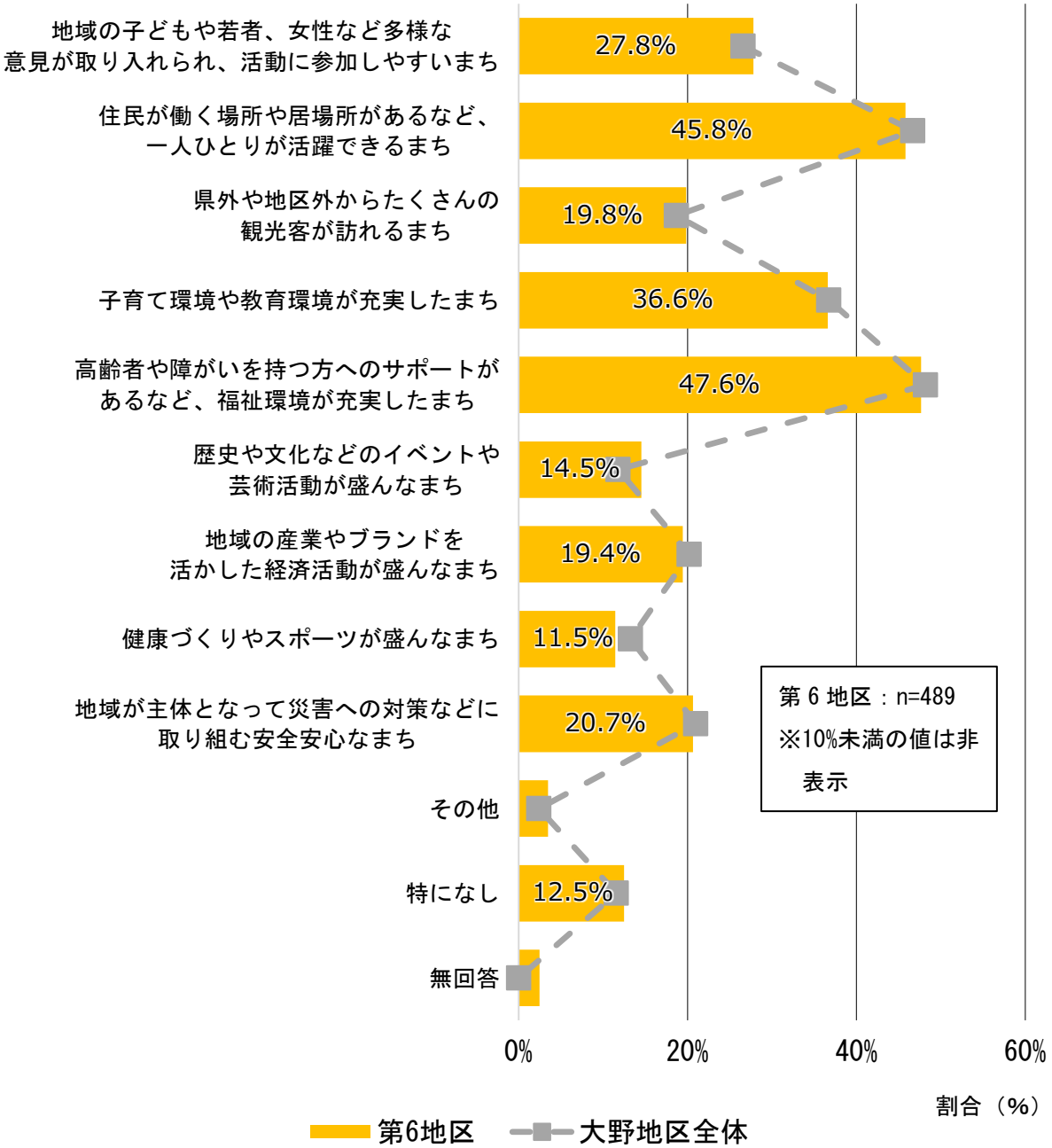
集計１.　第６地区のみの集計

＜1-1.　１０～２０年後の大野地区の将来像（問１）＞

・第６地区では、「住民が働く場所や居場所があるなど、一人ひとりが活躍できるまち」（45.8%）や「高齢者や障がいを持つ方へのサポートがあるなど、福祉環境が充実したまち」（47.6%）といった地区になると良いと思われていました。

・大野地区全体と比較しても、同様の傾向にありました。

第6地区の大野地区の将来像

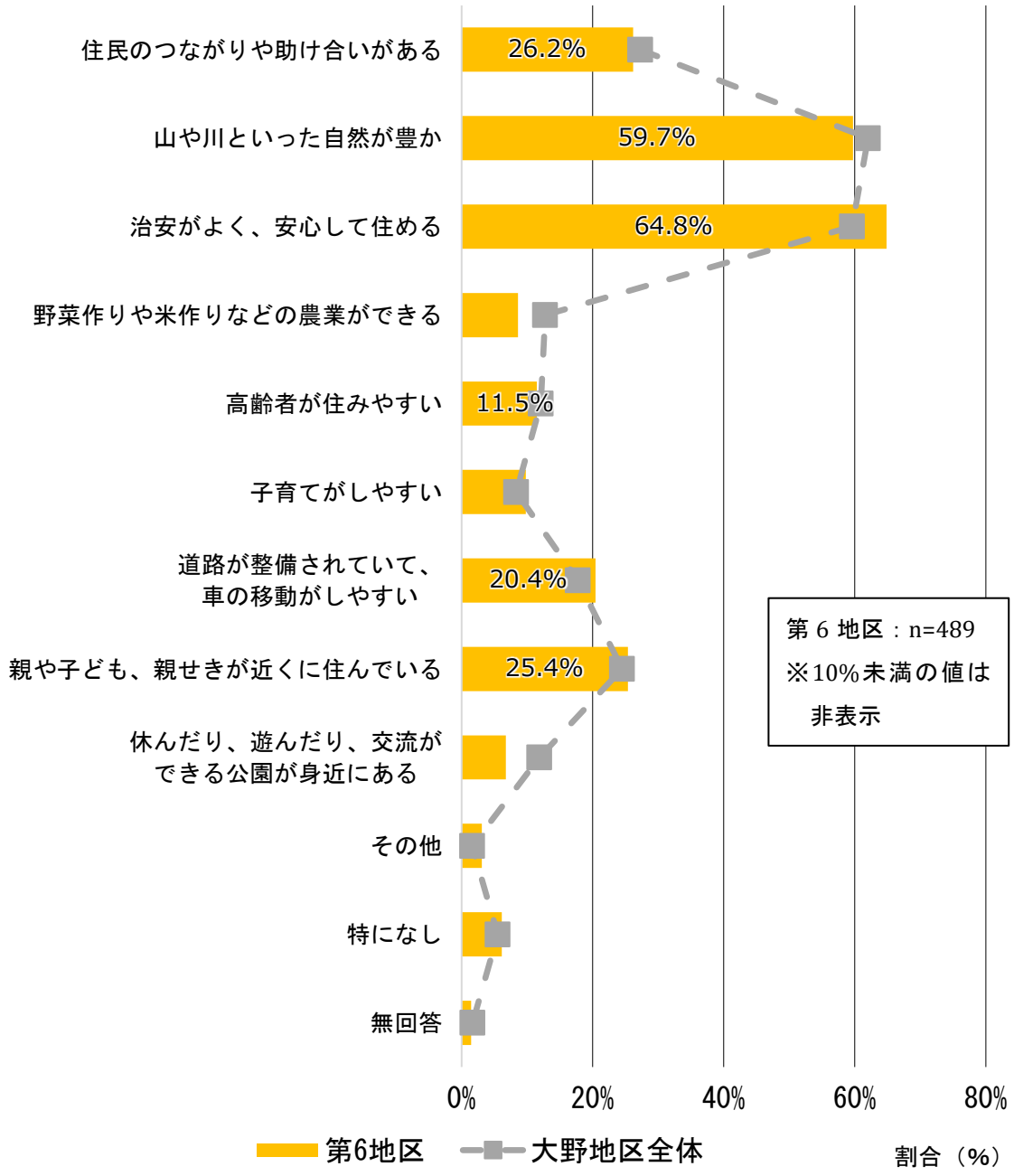


＜ 1-2.　大野地区の良い点（問２）＞

・第６地区では、「山や川といった自然が豊か」（59.7%）や「治安がよく、安心して住める」（64.8%）が良い点と思われていました。

・大野地区全体と比較しても、同様の傾向にありました。

第6地区の大野地区の良い点

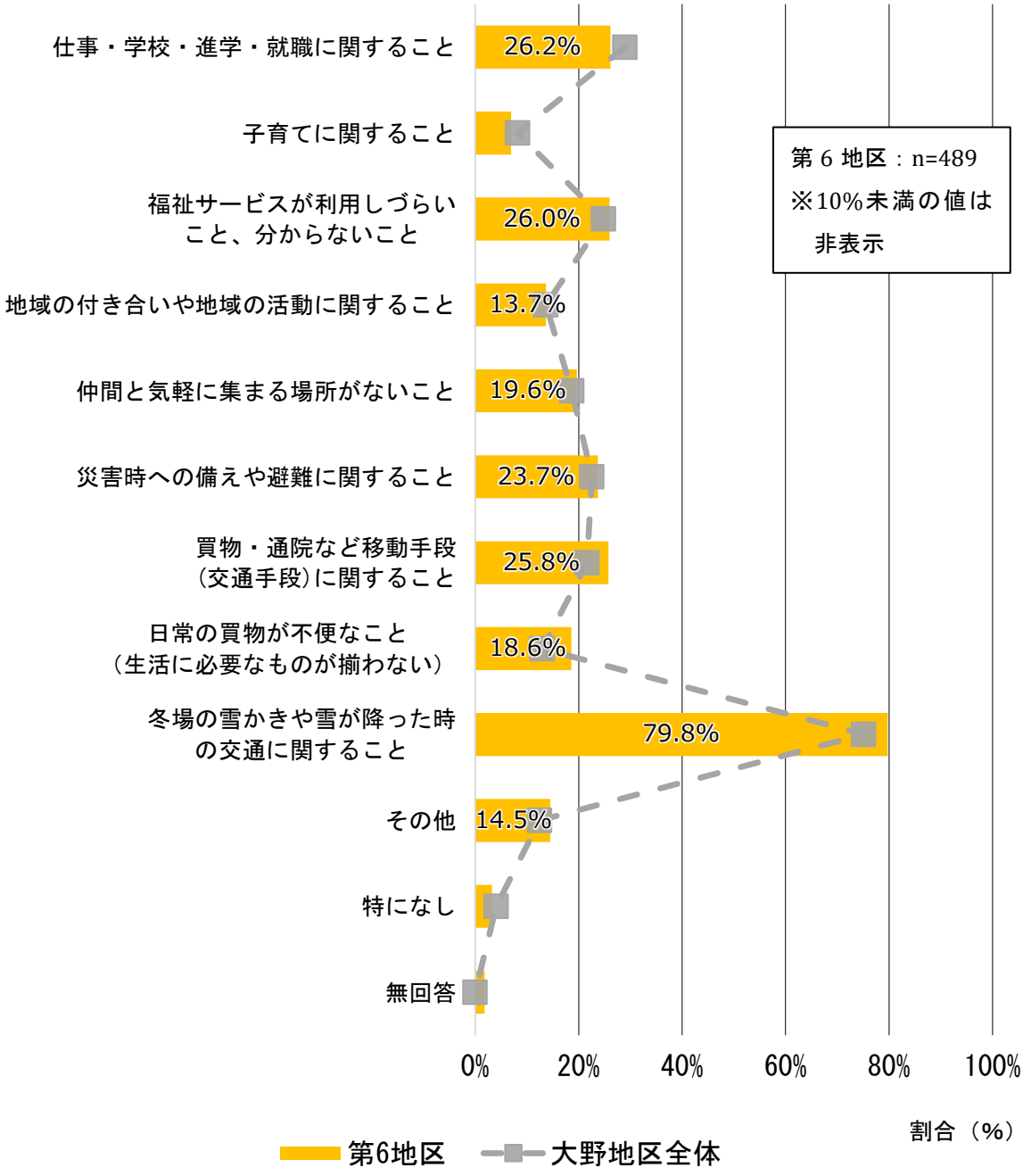


＜ 1-3.　大野地区の不安な点（問３）＞

・第６地区では、「冬場の雪かきや雪が降った時の交通に関すること」（79.8%）に不安を感じていました。

・大野地区全体と比較しても、同様の傾向にありました。

第6地区の大野地区の不安な点

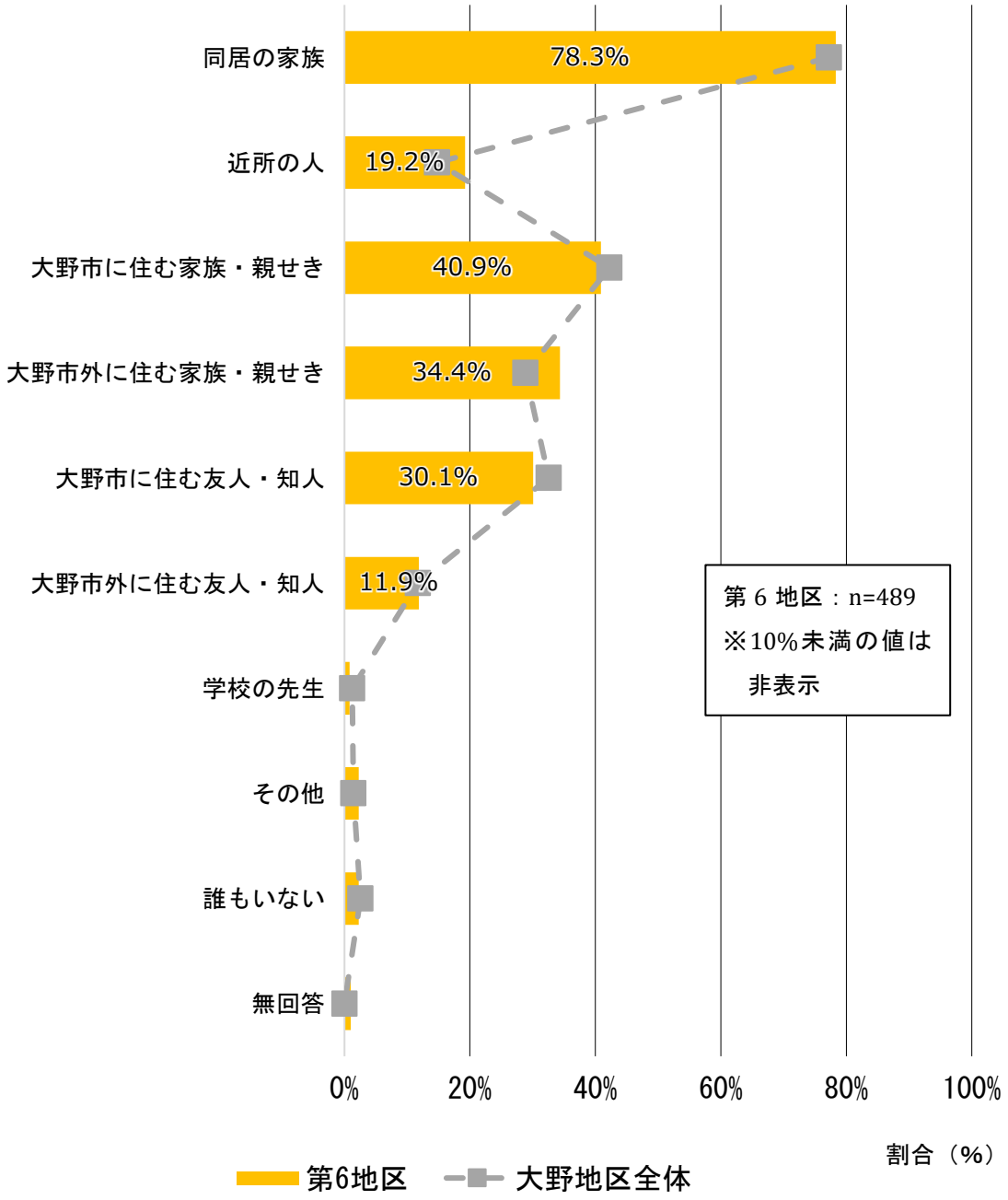


＜ 1-4.　相談する相手（問４）＞

・第６地区では、「同居の家族」（78.3%）に多くの方が相談されていました。

・大野地区全体と比較しても、同様の傾向にありました。

第6地区の相談相手

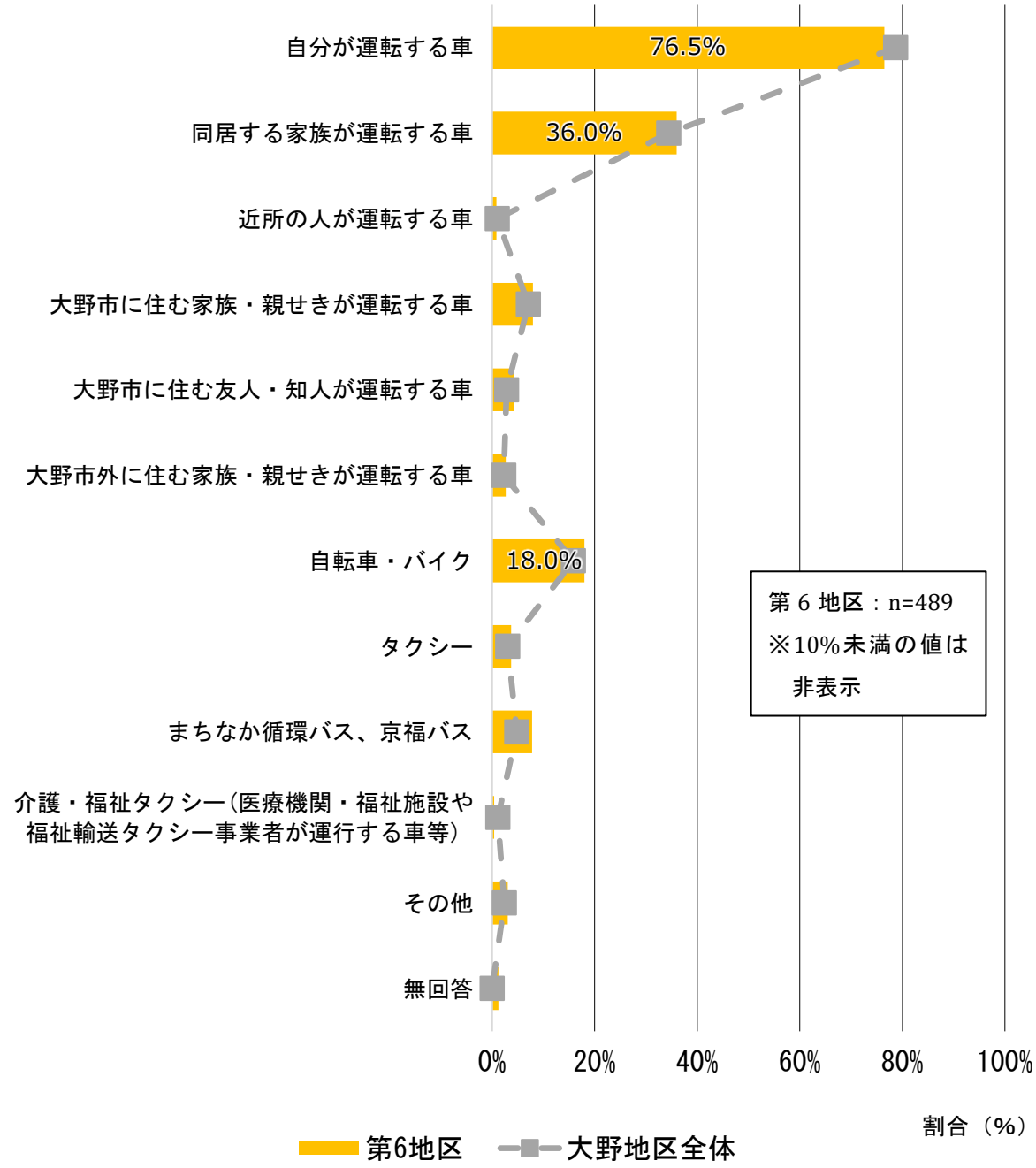


＜ 1-5.　普段の交通手段（問５）＞

・第６地区では、「自分が運転する車」（76.5%）で多くの方が移動されていました。

・大野地区全体と比較しても、同様の傾向にありました。

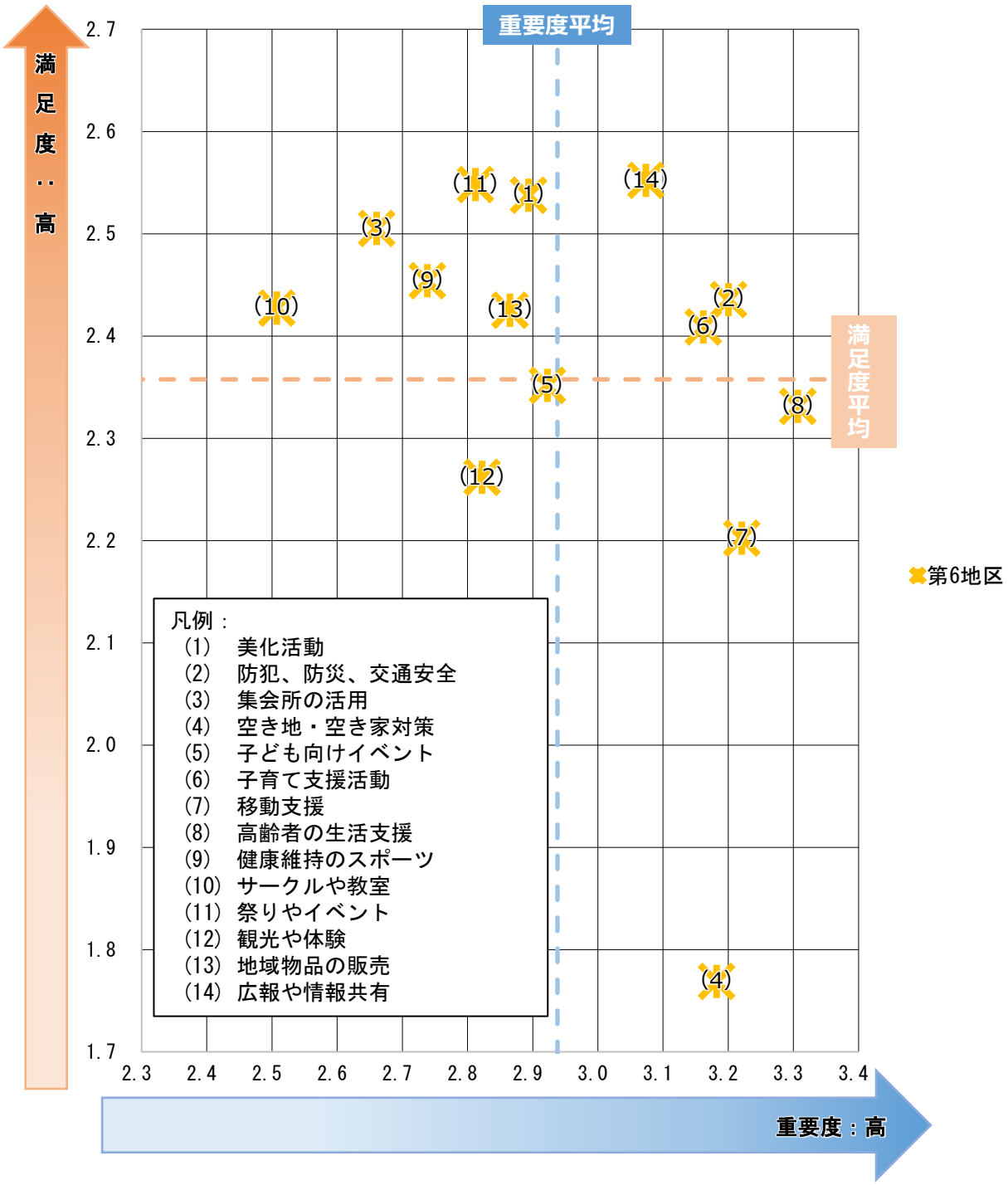
第6地区の日常の移動手段



＜ 1-6.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）＞

・第６地区は、「（４）空き地・空き家対策」、「（７）移動支援」、「（８）高齢者の生活支援」に関する活動が、重要と思われつつも、不満に思われていました。

第6地区の各活動の重要度と満足度

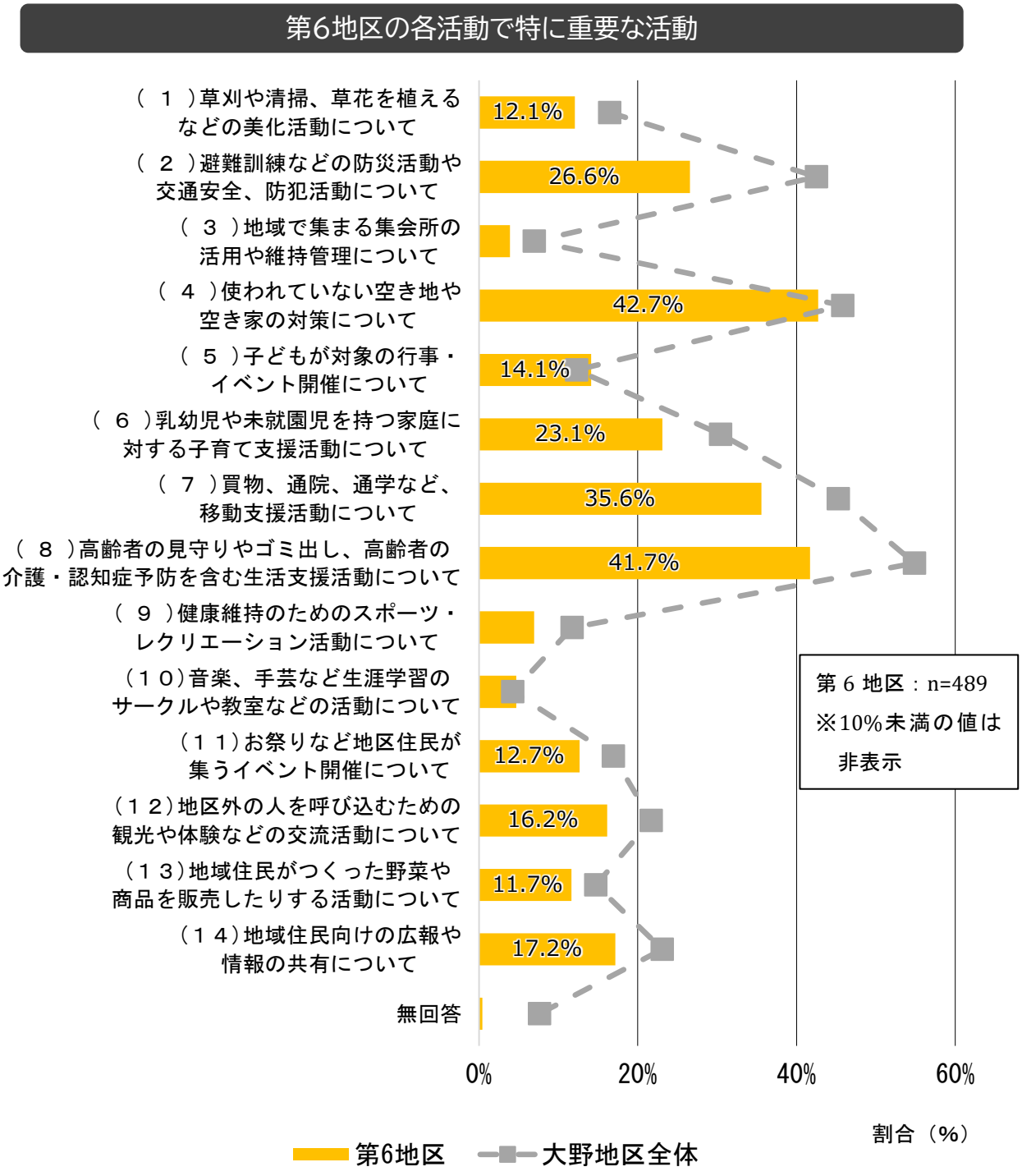


※重要度平均、満足度平均は大野地区全体の平均

＜ 1-7.　特に重要な活動（問７）＞

・第６地区では、「（４）使われていない空き地や空き家の対策について」（42.7%）、「（８）高齢者の見守りやゴミ出し、高齢者の介護・認知症予防を含む生活支援活動について」（41.7%）が特に重要と思われていました。

・大野地区全体と比較すると、高齢者の生活支援活動は大野地区全体よりは重要に思われていませんでした。

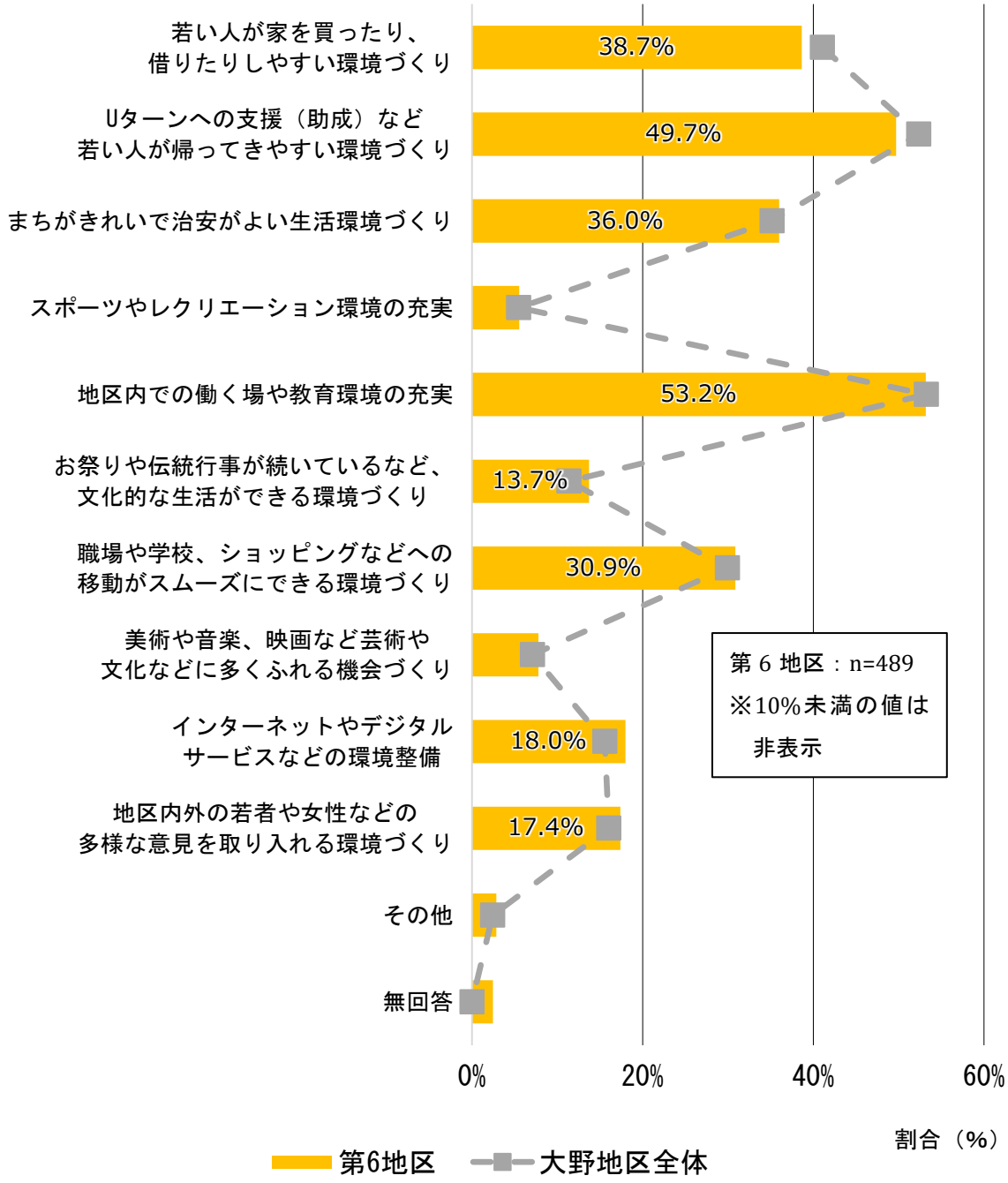


＜ 1-8.　若い世代が１０年後も大野地区で安心して住むために必要なこと（問８）＞

・第６地区では、「地区内での働く場や教育環境の充実」（53.2%）、「Ｕターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり」（49.7%）が必要であると思われていました。

・大野地区全体と比較しても、同様の傾向にありました。

第6地区の若い世代が住むために必要なこと

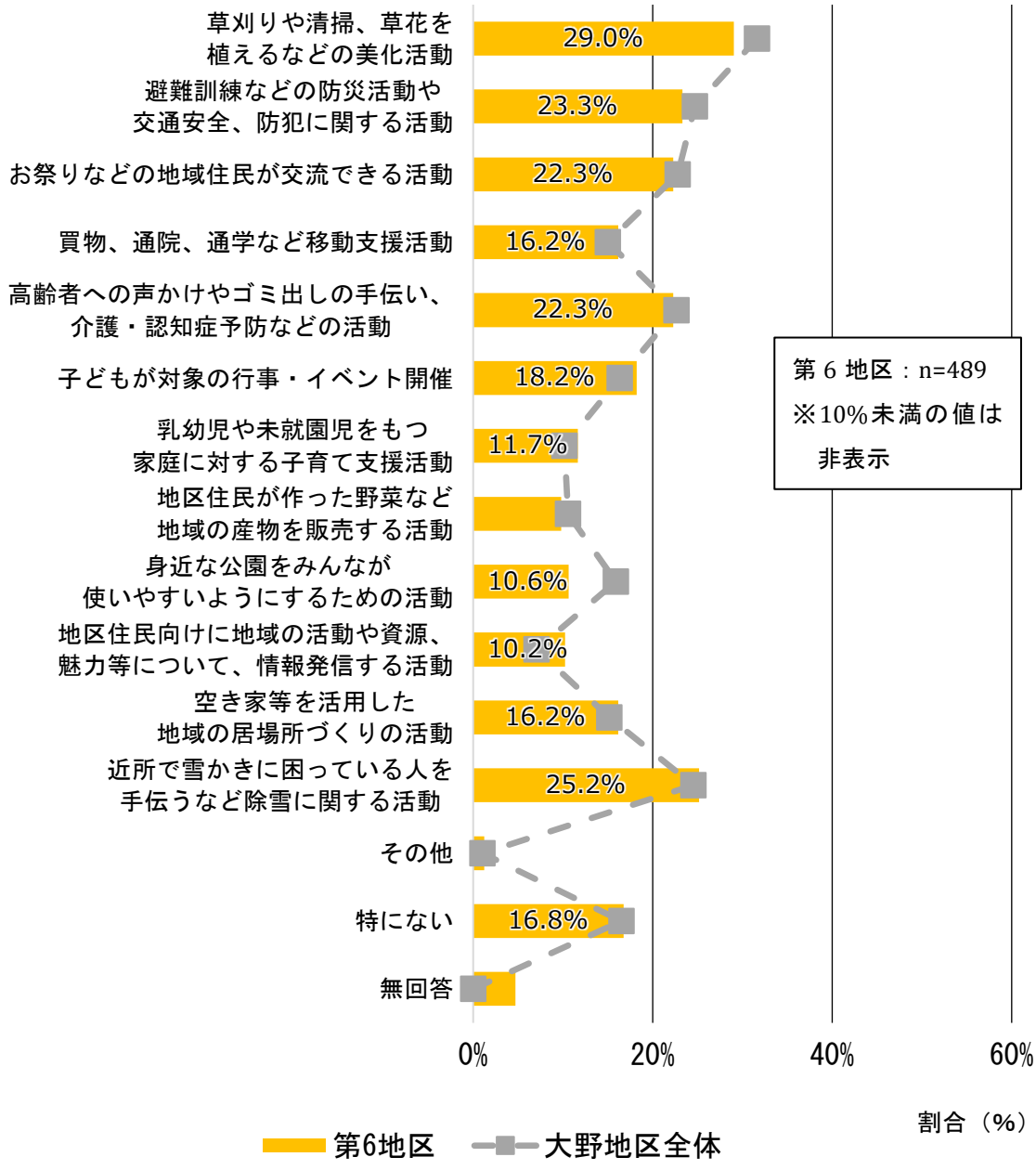


＜ 1-9.　関心・興味・行ってみたい活動（問９）＞

・第６地区では、「草刈りや清掃、草花を植えるなどの美化活動」（29.0%）や「近所で雪かきに困っている人を手伝うなど除雪に関する活動」（25.2%）に興味・関心を持たれていました。

・大野地区全体と比較しても、同様の傾向がありました。

第6地区の関心･興味･行ってみたい活動



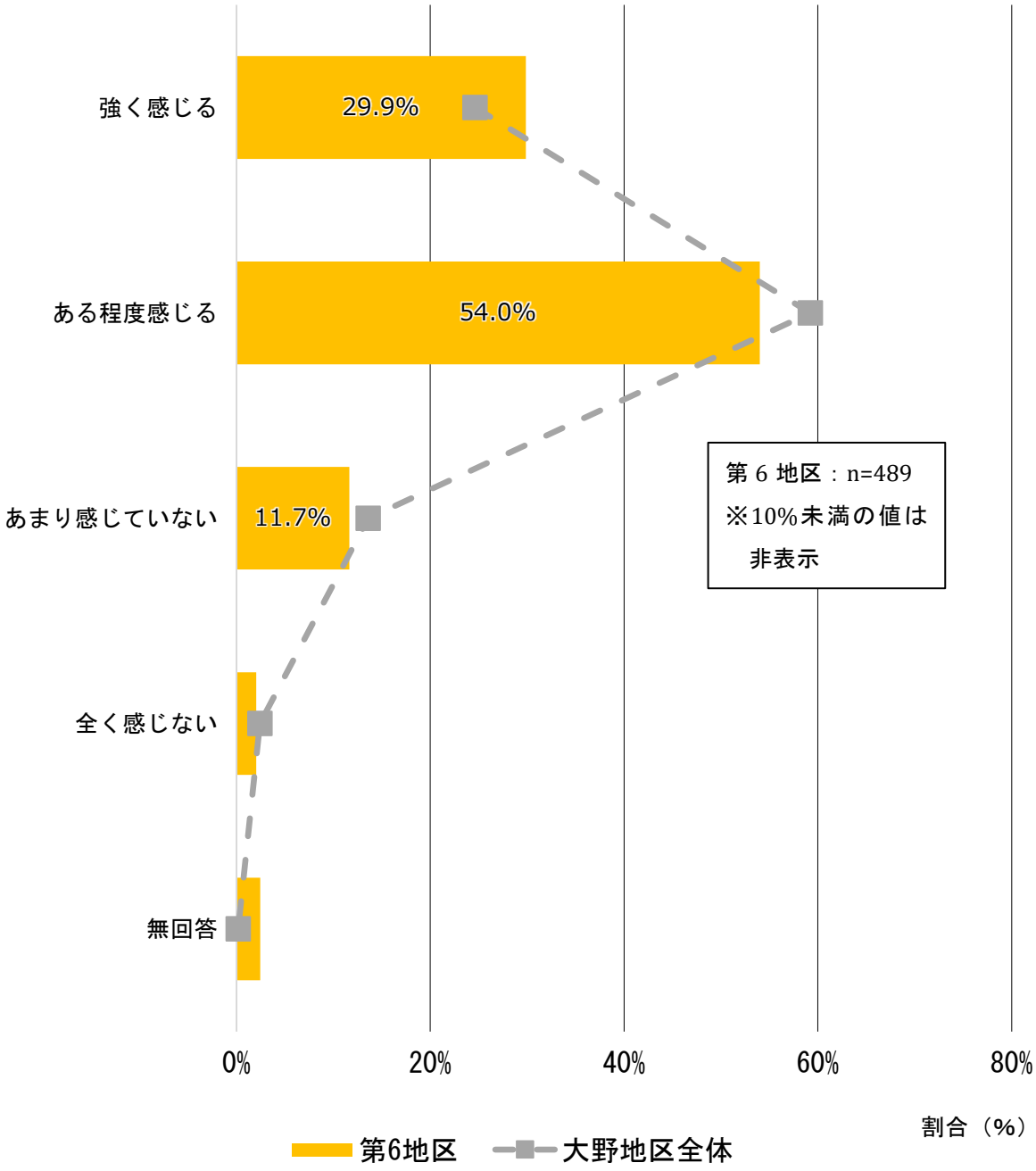
＜ 1-10-1.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（１））- 愛着 ＞

・第６地区では、半数以上の方（54.0%）が大野地区にある程度の愛着を感じていました。

・大野地区全体と比較しても、同様の傾向がありました。

第6地区の大野地区へ日頃感じていること

愛着



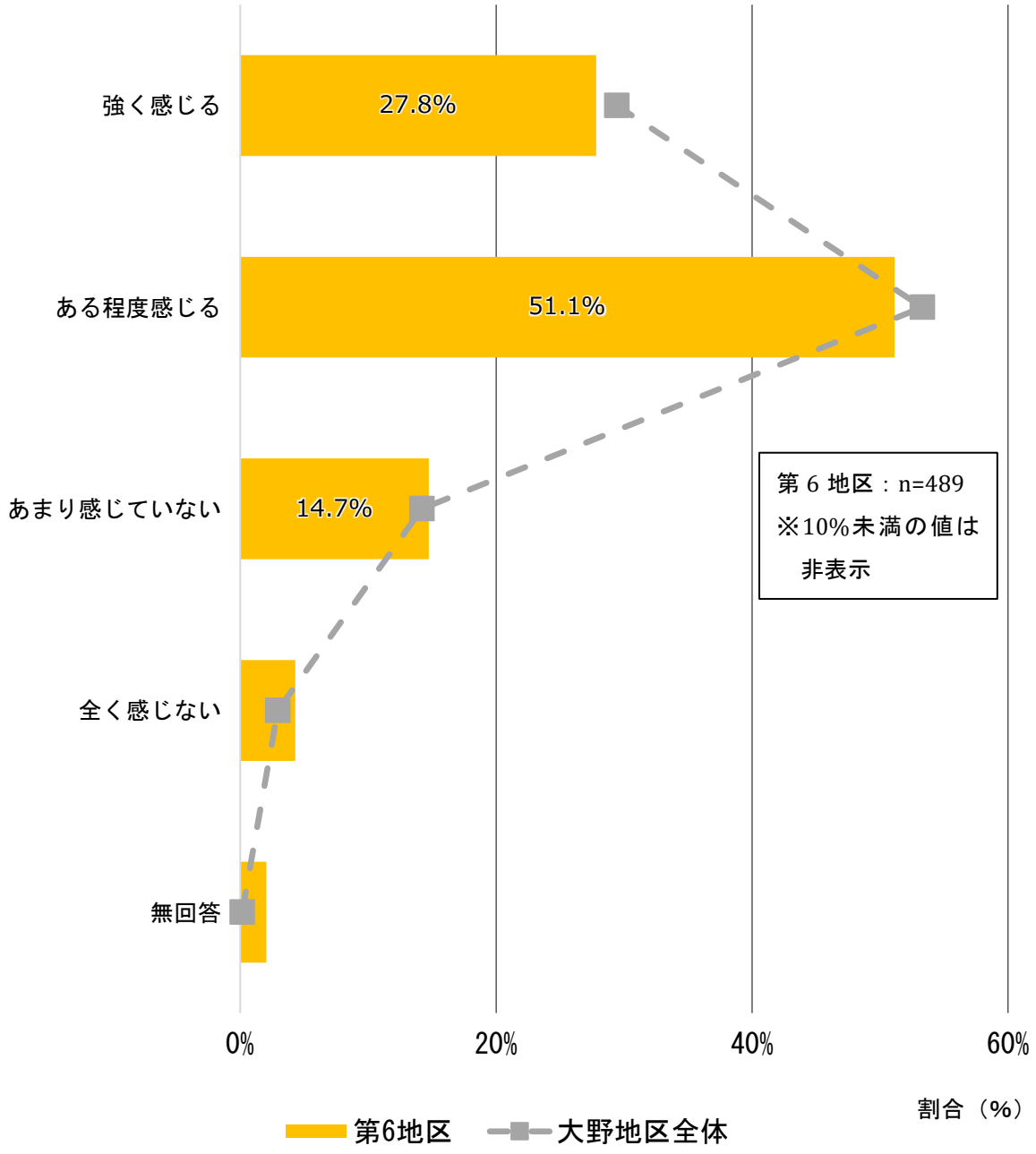
＜ 1-10-2.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（２））- 住みやすさ ＞

・第６地区では、半数以上の方（51.1%）が大野地区にある程度の住みやすさを感じていました。

・大野地区全体と比較しても、同様の傾向がありました。

第6地区の大野地区へ日頃感じていること

住みやすさ



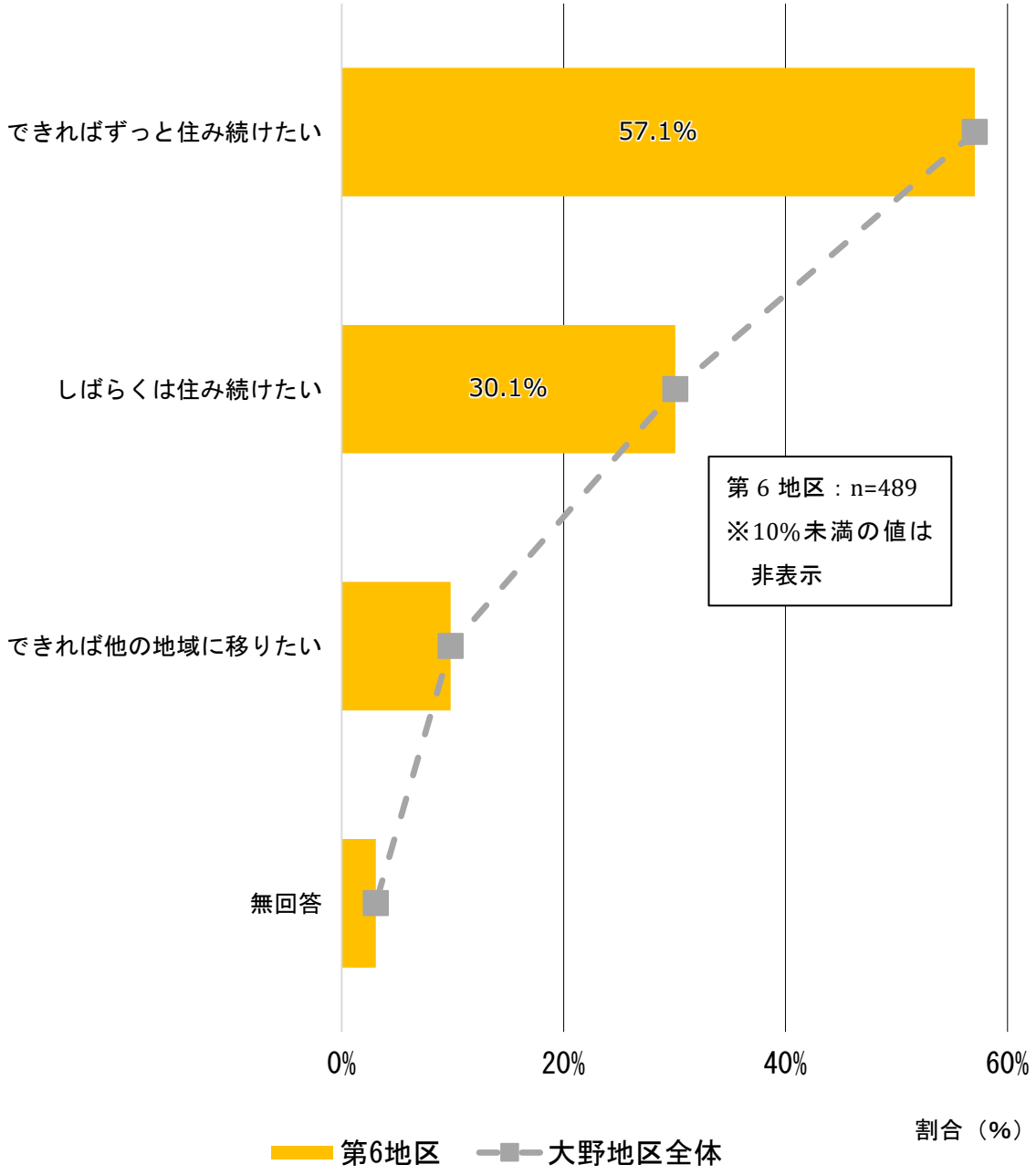
＜ 1-10-3.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（３））- 居住意向 ＞

・第６地区では、半数以上の方（57.1%）が大野地区にできればずっと住み続けたいと感じていました。

・大野地区全体と比較しても、同様の傾向がありました。

第6地区の大野地区へ日頃感じていること

居住意向



＜ 1-10-4.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・第６地区では、住み続けたいと思う方（「できれば住み続けたい」、または「しばらく住み続けたい」と回答した人）で、理由を回答された 323 名の方のうち、「出身地だから（住み慣れている等）」（22.0%）が最も多くなっていました。

・大項目で見ると、「家庭の事情に関するもの」（34.7%）に分類される意見が多くなっていました。

第6地区の大野地区へ日頃感じていること

住み続けたいと思う人の意見（できればずっと住み続けたい、しばらく住み続けたい）

連番	カテゴリー	大項目	小項目	地域地区 第６地区
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	71
2			愛着があるから等	16
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	28
4			交流の場が少ないから	1
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	4
6			娯楽施設等がないから	2
7			交通の便がよくないから	10
8			医療サービスが利用しにくいから	3
9			全体的に不便だから等	1
10			買い物がしやすいから	1
11			交通の便がよいから	2
12			医療サービスが利用しやすいから	2
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	40
14			景観がよいから	3
15			食べ物がおいしいから	4
16			まちの歴史があるから	3
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	0
18			育児環境がよいから	4
19			教育環境がよくないから	0
20			教育環境がよいから	2
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	11
22			治安がよくないから	0
23			被災時に不安があるから	0
24	家庭の事情または	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	21
25	一身上の都合によるもの		加齢による不安があるから	25
26			住居・住宅を所有しているから等	17
27			転居の予定がないから	39
28			転居の予定があるから等	10
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	6
30			仕事上の都合があるから	4
31		進学・就職に関するもの	進学するから	3
32			就職（転職）するから	1
33			仕事が少ないから	1
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	1
35			将来的なことが分からないから	5
36			視野を広げるため	1
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	11
38			除雪があるから	16
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	0
40			自然環境がよいから	35
41			良質な水があるから	24
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	地区の将来性を感じないから	4
43			施設の更新等がされていないから	1
44			市政に不満があるから等	1
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0
46			経済的に厳しいから	3
47	その他	その他	現状に満足しているから	12
48			魅力を感じないから	1
49			イベントが多いから	1
50			資産があるから	0
51			その他（理由にならないもの）	5
合計				456

＜ 1-10-5.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・第６地区では、他の地域に移りたいと思う方（「できれば他の地域に移りたい」と回答した人）で、理由を回答された 41 名の方のうち、「除雪があるから」（除雪作業などがあるから）（22.0%）が最も多くなっていました。

・大項目で見ると、どの地区においても「生活の利便性に関するもの」に分類される意見（24 件、58.5%）が多くなっていました。

第6地区の大野地区へ日頃感じていること

地域を移したいと思う人の意見(できれば他の地域に移りたい)

連番	カテゴリー	大項目	小項目	地域地区 第６地区
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	0
2			愛着があるから等	0
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	0
4			交流の場が少ないから	0
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	5
6			娯楽施設等がないから	1
7			交通の便がよくないから	6
8			医療サービスが利用しにくいから	6
9			全体的に不便だから等	6
10			買い物がしやすいから	0
11			交通の便がよいから	0
12			医療サービスが利用しやすいから	0
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	0
14			景観がよいから	0
15			食べ物がおいしいから	0
16			まちの歴史があるから	0
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	3
18			育児環境がよいから	1
19			教育環境がよくないから	2
20			教育環境がよいから	0
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	0
22			治安がよくないから	0
23			被災時に不安があるから	0
24	家庭の事情または	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	1
25	一身上の都合によるもの		加齢による不安があるから	2
26			住居・住宅を所有しているから等	0
27			転居の予定がないから	0
28			転居の予定があるから等	3
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	0
30			仕事上の都合があるから	0
31		進学・就職に関するもの	進学するから	0
32			就職（転職）するから	1
33			仕事が少ないから	5
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	0
35			将来的なことが分からないから	0
36			視野を広げるため	0
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	5
38			除雪があるから	9
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	1
40			自然環境がよいから	0
41			良質な水があるから	1
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	地区の将来性を感じないから	1
43			施設の更新等がされていないから	1
44			市政に不満があるから等	2
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0
46			経済的に厳しいから	1
47	その他	その他	現状に満足しているから	0
48			魅力を感じないから	2
49			イベントが多いから	0
50			資産があるから	0
51			その他（理由にならないもの）	0
合計				65

＜1-11.　今後のまちづくりに対する意見（問１１）＞

・第６地区では、大野地区の今後のまちづくりについて、意見を頂いた 156 名のうち、「交通の便の向上」（11.5%）に関する意見が最も多くなっていました。

・大項目で見ると、「生活環境の利便性向上」に分類される意見は計 41 件（26.3%）となりました。

第6地区でのまちづくりに対する意見

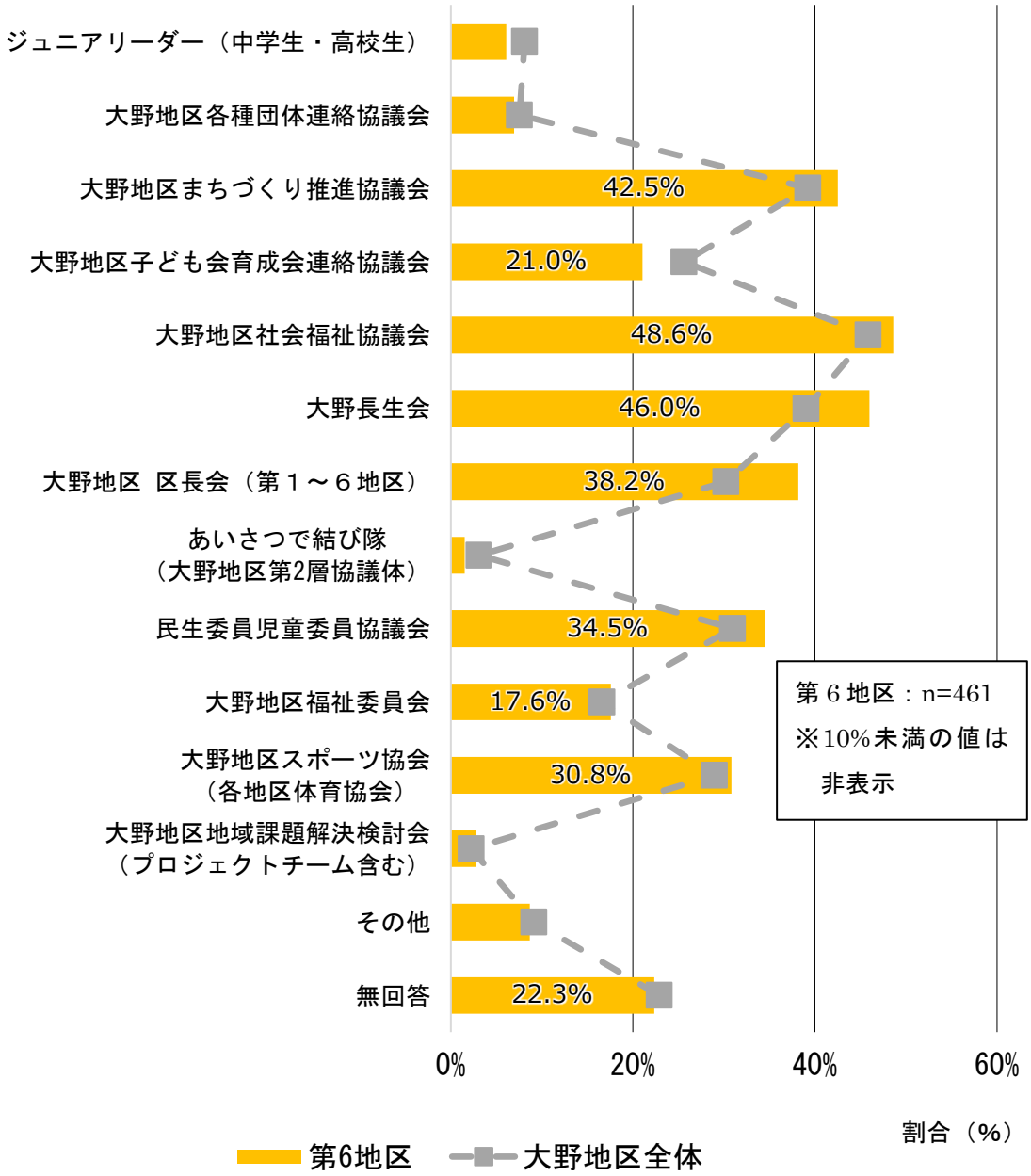
連番	カテゴリー	大項目	小項目	全て
1	生活しやすいまちづくり	施設の誘致	商業施設の誘致	5
2			教育施設の誘致	1
3			企業の誘致	5
4			飲食店の誘致	1
5			娯楽施設の誘致	2
6			小売店の誘致	1
7			専門店の誘致	0
8			宿泊施設の誘致	1
9			医療施設の誘致	2
10			福祉施設の誘致	1
11		育児・教育環境の向上	子育て世代向けの施設の増加	1
12			育児支援の拡充	4
13			児童向け施設の増設	2
14			教育・保育環境の整備	2
15		生活環境の利便性向上	交通の便の改善	18
16			医療サービスの向上	5
17			生活環境の整備（買い物や住宅など）	15
18			スポーツ施設等の充実	1
19			利便性の向上	1
20			放送サービスの向上	0
21			通信サービスの向上	2
22			介護サービスの向上	1
23	経済力のあるまちづくり	観光事業の強化	魅力のある場所の創設	8
24			地域資源の活用	4
25			観光業の強化	3
26			地域住民への配慮	0
27			積極的な発信（SNS等）	1
28			魅力のあるまちづくり	2
29		地域の稼ぎ力	雇用の創出	8
30			地域経済の強化	0
31			U・I・Jターンの増加	5
32			労働環境の改善	0
33	安心できるまちづくり	自然との共生	除雪の強化	13
34			獣害の対策	1
35			自然の保全	1
36		空き家・空地の対策	空き家等の対策	14
37		高齢者が住みやすいまちづくり	高齢者が働き、住みやすいまちづくり	7
38		安全・安心の確保	安全・安心の向上（子ども・高齢者等）	1
39			災害への備え	4
40			防犯の対策	1
41			交通モラル・マナーの意識改善	0
42	活気あるまちづくり	地域の活性化	コミュニケーションの活発化	2
43			イベントの開催	7
44			住民意識の改革	2
45			にぎわいの創出	1
46			市民の参画促進	2
47		若者が住みたくなるまちづくり	若者の結婚支援	1
48			若者が離れないまちづくり	18
49	寄り添えるまちづくり	適切な支援	経済的支援	3
50			要配慮者への支援強化	1
51			市民活動への支援	1
52			社会保障等の強化	0
53			補助金等の獲得および利用	0
54	風通しのよいまちづくり	市政の改革	行政の改革（体制など）	13
55			財政の改革	3
56		地域づくりの推進	将来像の共有	1
57			地域のコンパクト化	1
58			特定分野の特化	2
59		公共施設等の整理	公共施設の整理	1
60			既存施設の再整備	1
61		地区等の整理	行政区の統合等	2
62			地区の再開発	3
63		活動の見直し	活動の見直し	1
64			イベントの削減	0
65			イベントの体制の見直し	1
66	誰も取り残さないまちづくり	情報の入手のしやすさ	情報共有の強化	3
67			サイトやアプリなどの使いやすさの向上	0
68	挑戦できるまちづくり	IT技術の活用・DXの促進など	IT技術の活用	0
69			都市のスマート化	0
70		活動の大規模化	活動の大規模化	0
71		新規事業等の開始	新規事業等の開始	1
72	美しいまちづくり	景観の保全	景観の整備	4
73	伝統を重んじるまちづくり	伝統の継承	伝統・文化の継承	0
74	その他	その他	資産形成の教育	0
75			その他	12
合計				231

＜ 1-12.　知っている大野地区で活動している団体（問１２）＞

・第６地区では、「大野地区社会福祉協議会」（48.6%）、「大野長生会」（46.0%）、「大野地区まちづくり推進協議会」（42.5%）が多くの方に認知されていました。

・大野地区全体と比較しても、同様の傾向がありました。

大野地区全体での知っている団体



＜ 5-2.　興味・関心のある大野地区で活動している団体（問１３） ＞

＜ 5-3.　役員経験がある団体（問１４） ＞

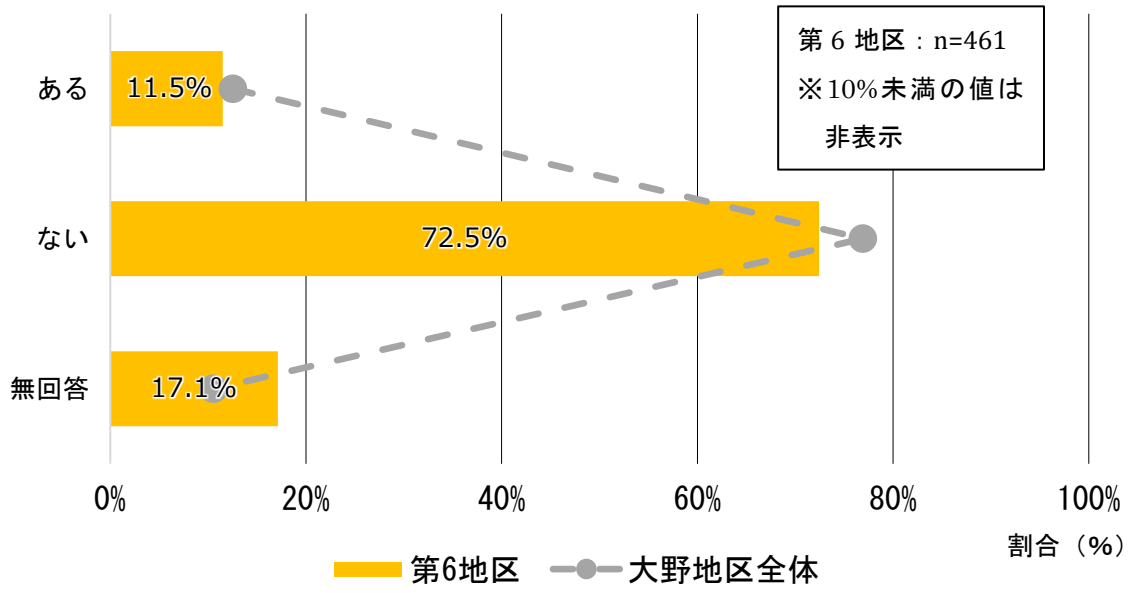
・問１３について、「興味がない」と回答した方が最も多い結果となりました（72.5%）。

・問１４について、「役員経験がない方」が最も多い結果となりました（43.2%）。

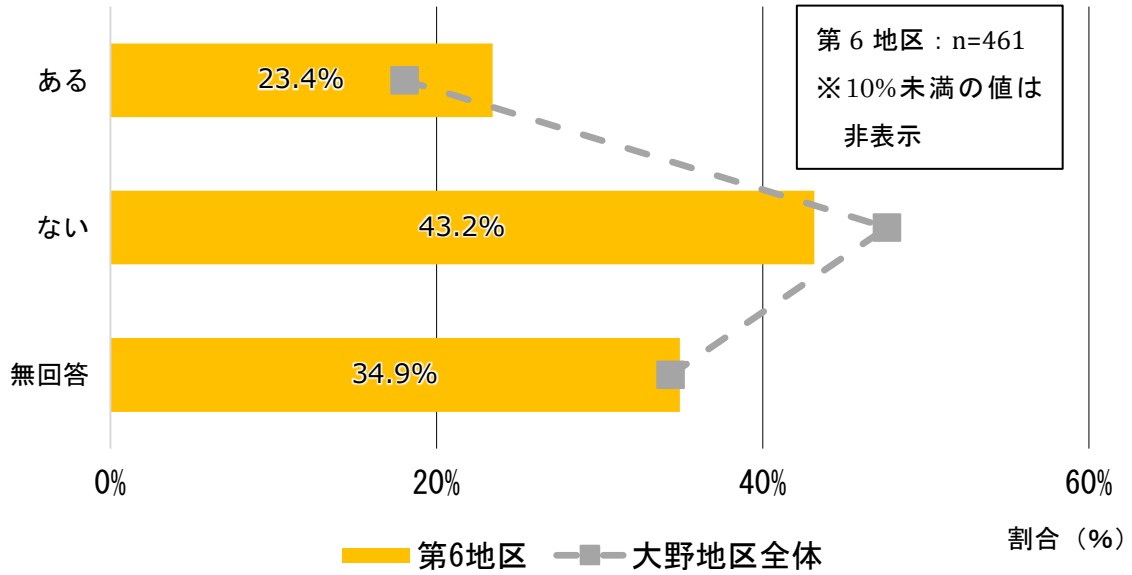
・どちらも、大野地区全体と同様の傾向にありました。

大野地区全体での団体への興味･関心、役員経験

問 13 の集計結果



問 14 の集計結果



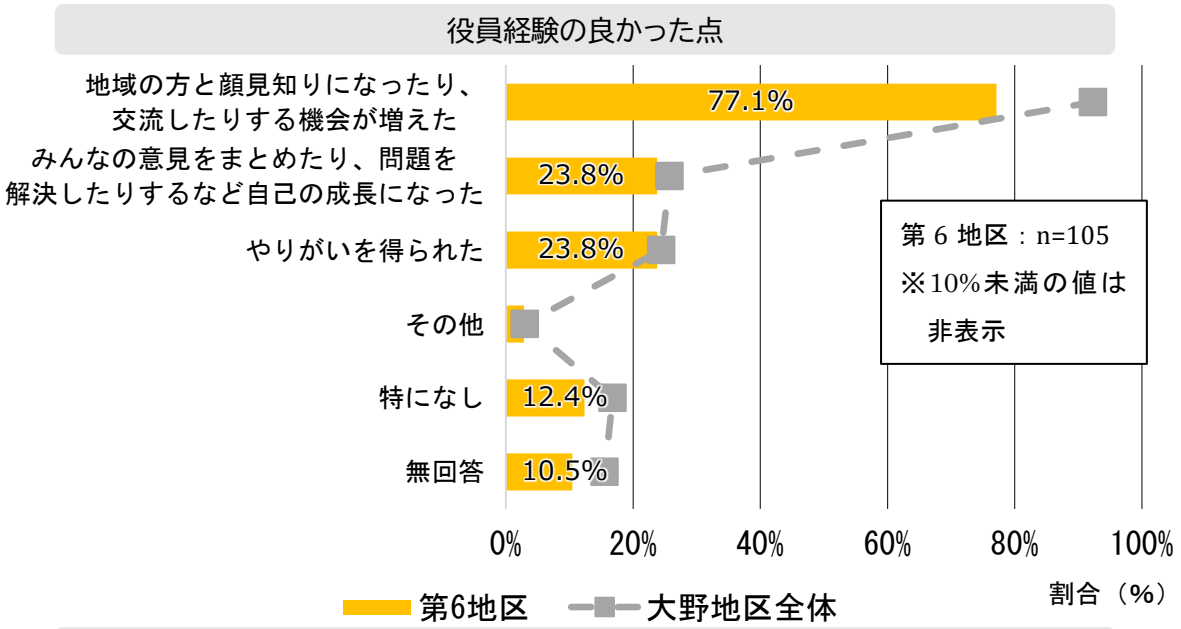
＜ 5-4.　役員経験のある団体の活動経験について（問１５）＞

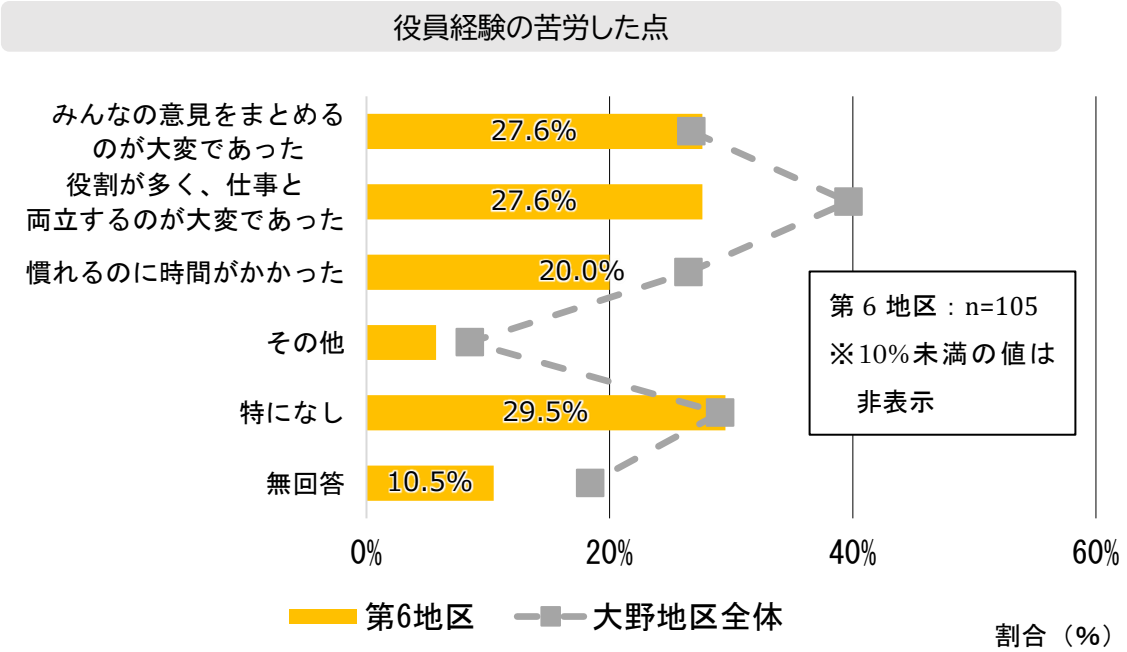
・役員経験のある方にとって良かった点は、「地域の方と顔見知りとなったり、交流したりする機会が増えた」（77.1%）、「みんなの意見をまとめたり、問題を解決したりするなど自己の成長になった」（23.8%）、「やりがいを得られた」（23.8%）が多くなっていました。

・役員経験のある方にとって苦労した点は、「特になし」（29.5%）、次いで、「みんなの意見をまとめるのが大変であった」（27.6%）、「役割が多く、仕事と両立するのが大変であった」（27.6%）、「慣れるのに時間がかかった」（20.0%）が多くなっていました。

・大野地区全体と比較すると、役員経験の良かった点は全体と同様の傾向にありました。一方で、苦労した点について、仕事との両立は大野地区全体よりは苦労に感じた人が少ない結果となりました。

大野地区全体での役員経験の良い点、悪い点





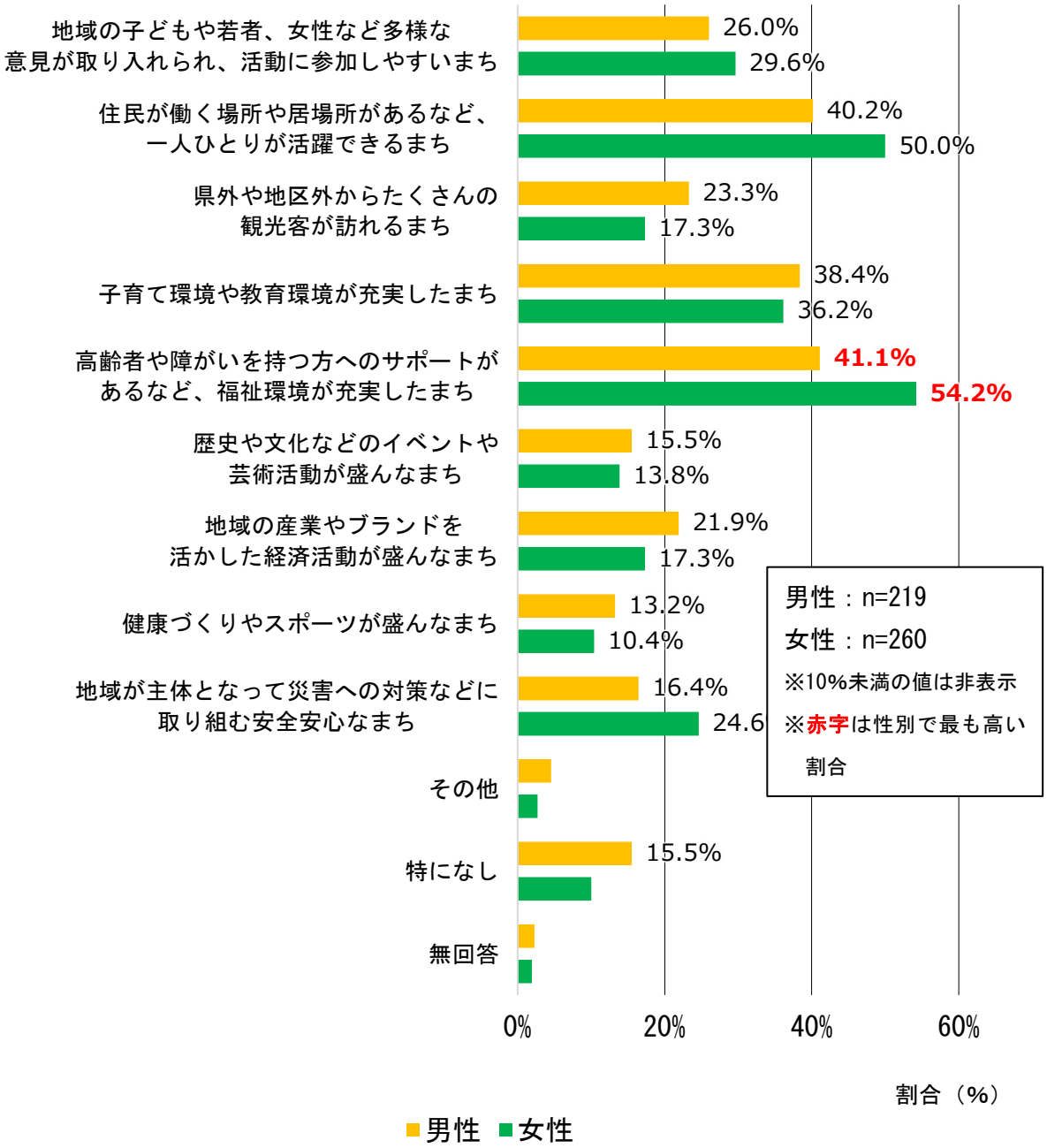
② 属性別集計について

属性別集計１．　第６地区の男女別の集計

＜ 1-1.　　１０～２０年後の大野地区の将来像（問１）＞

・男女共通して、「高齢者や障がいを持つ方へのサポートがあるなど、福祉環境が充実したまち」といった地区になると良いと思われていました。

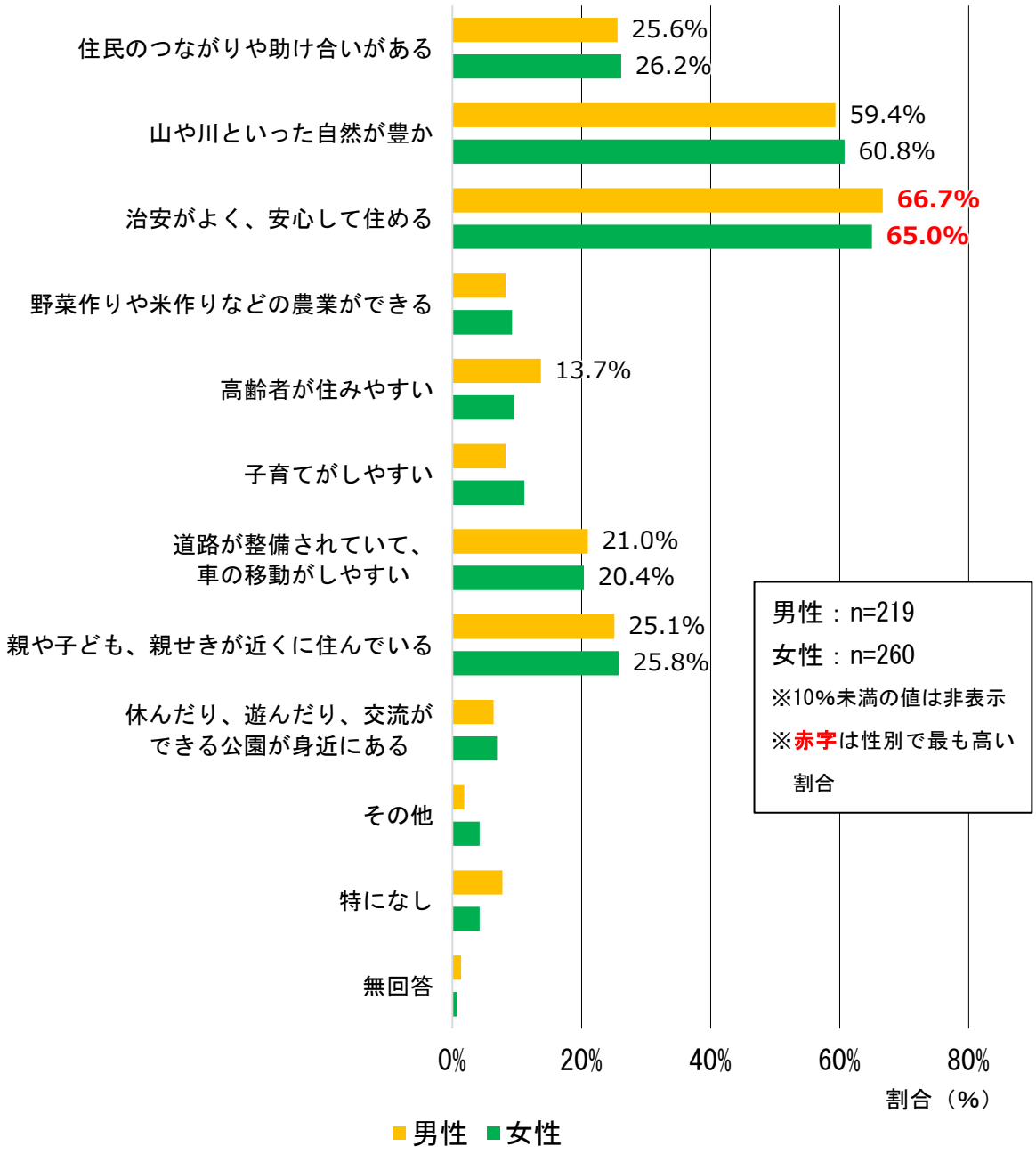
男女別の大野地区の将来像



＜ 1-2.　大野地区の良い点（問２）＞

・男女共通して、「治安がよく、安心して住める」が良い点と思われていました。

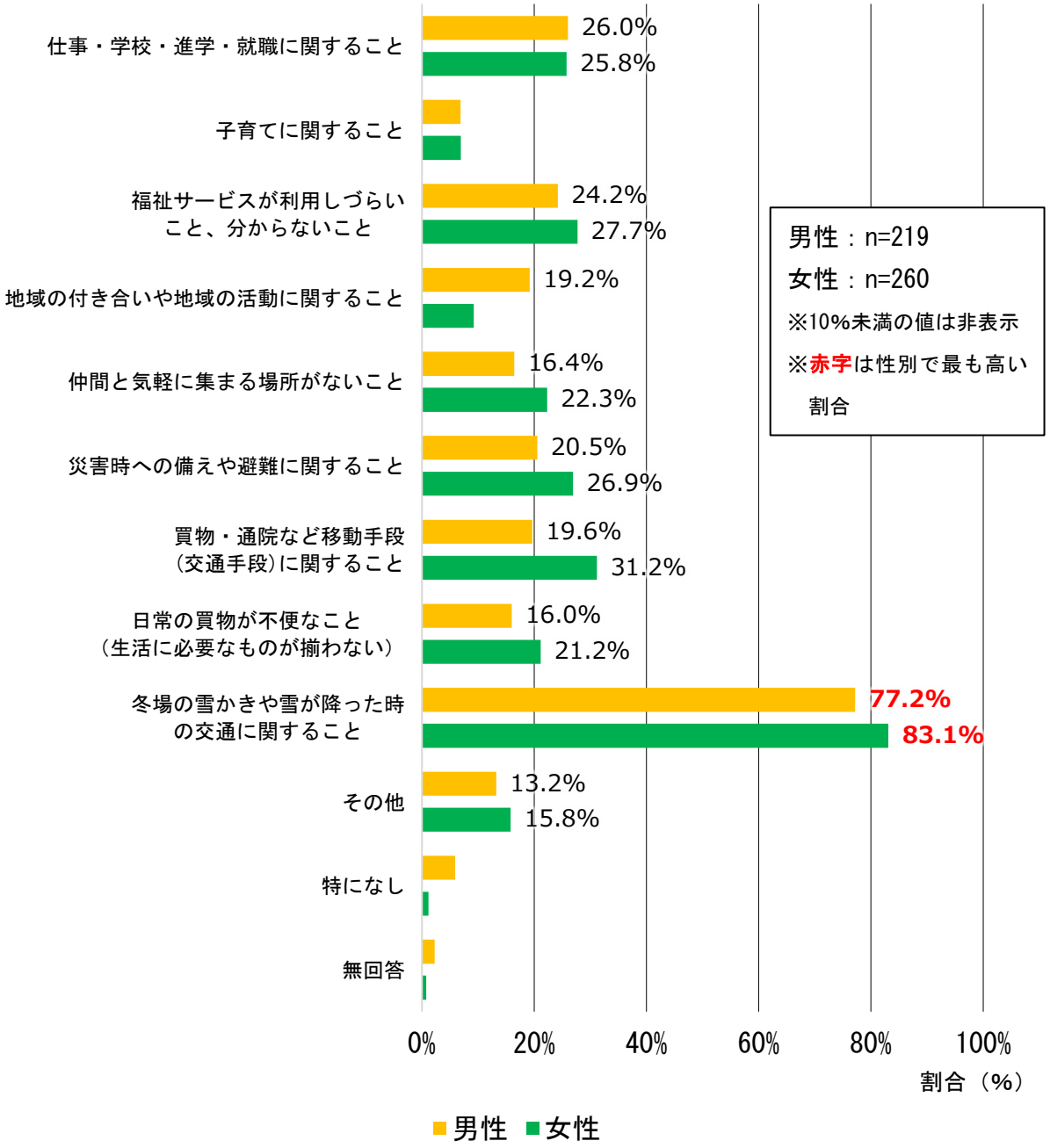
男女別の大野地区の良い点



＜ 1-3.　大野地区の不安な点（問３）＞

・男女共通して、「冬場の雪かきや雪が降ったときの交通に関すること」といった雪に関することに不安を感じていました。

男女別の大野地区の不安な点

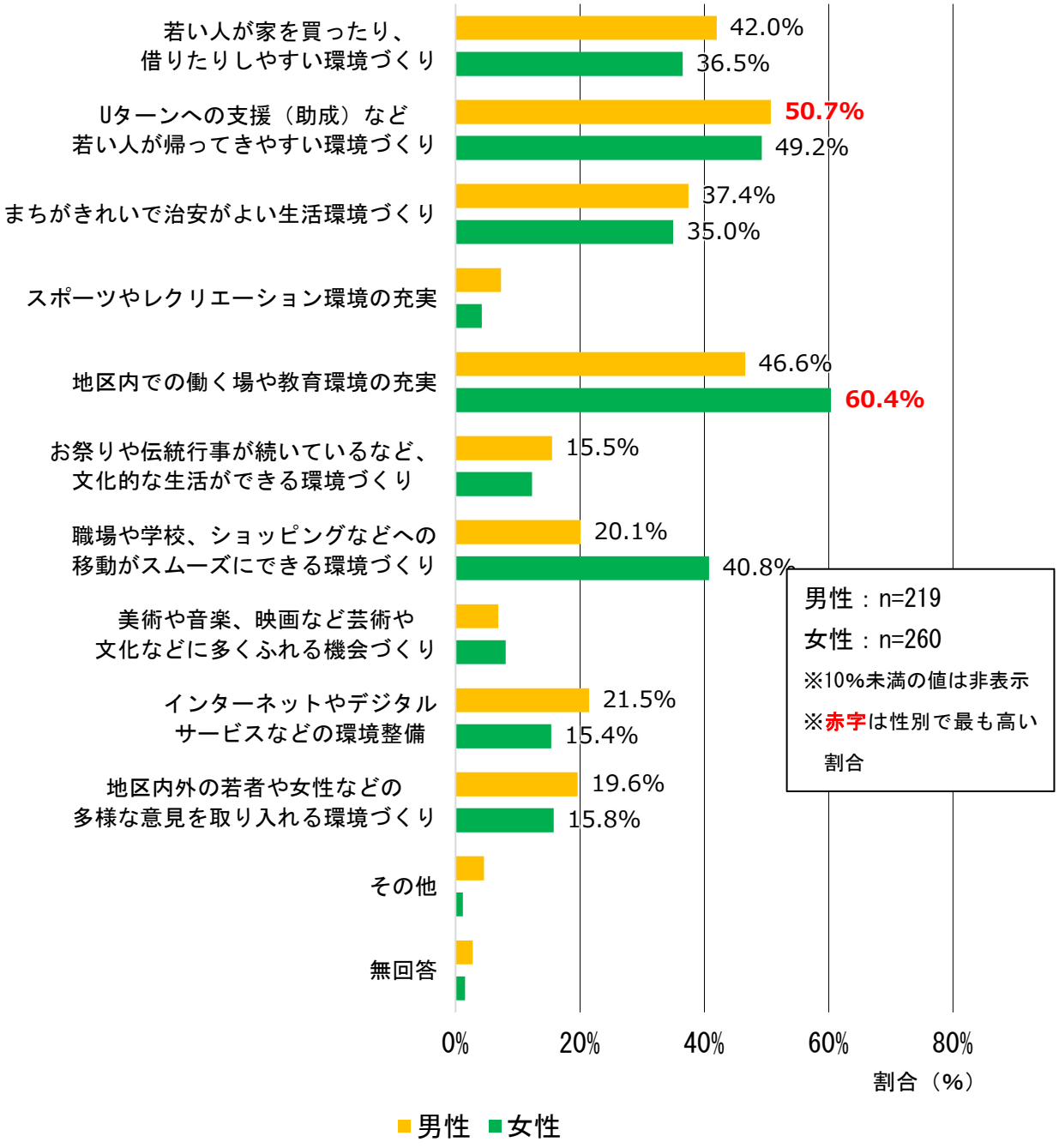


＜ 1-4.　若い世代が１０年後も大野地区で安心して住むために必要なこと（問８）＞

・男性は、「Ｕターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり」が必要であると感じていました。

・一方で、女性は、「地区内での働く場や教育環境の充実」が必要であると感じていました。

男女別の若い世代が住むために必要なこと

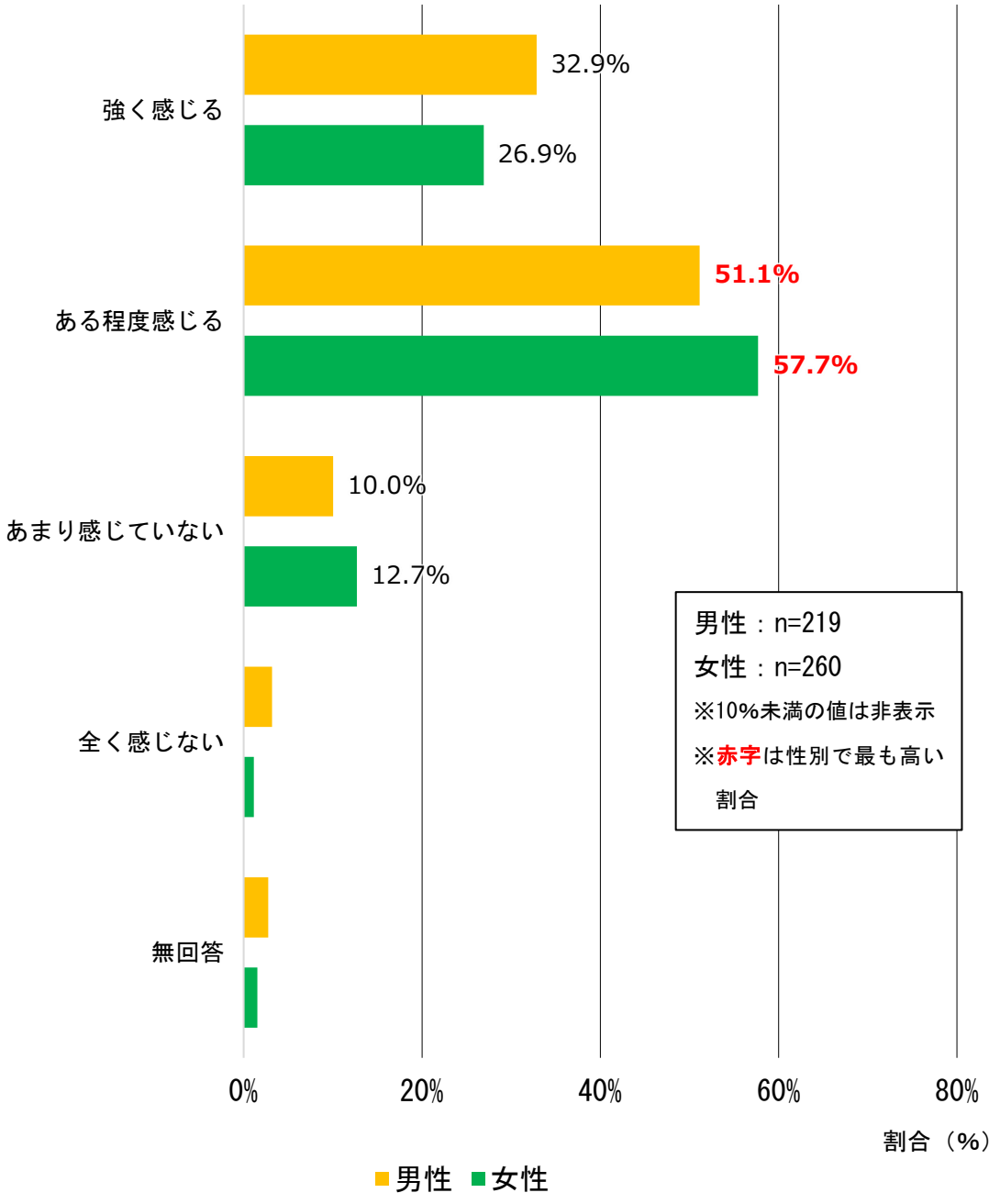


＜ 1-5-1.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 愛着 ＞

・男女共通して、大野地区にある程度の愛着を感じています。

男女別の大野地区へ日頃感じていること

愛着

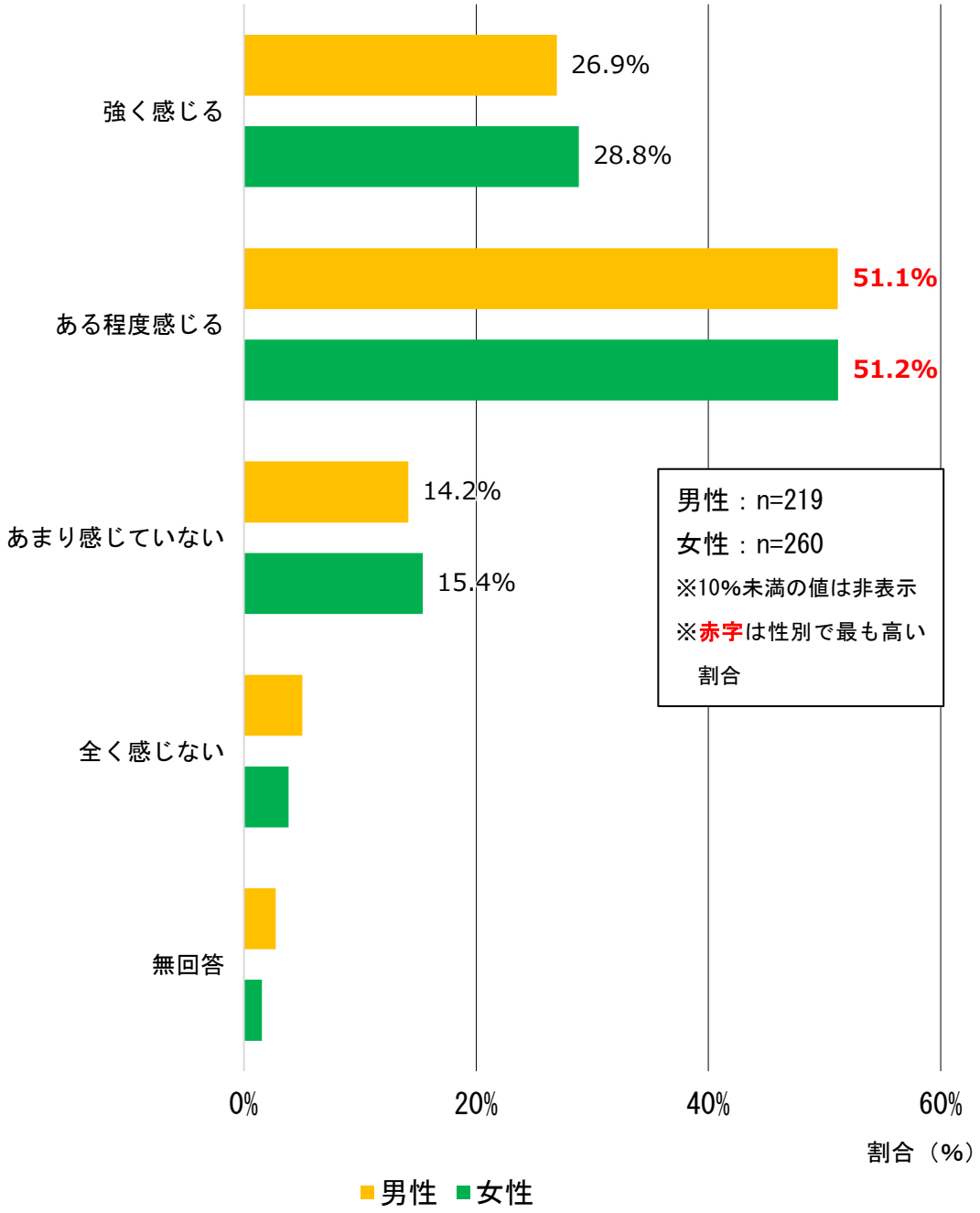


＜ 1-5-2.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 住みやすさ ＞

・男女共通して、大野地区にある程度住みやすさを感じています。

男女別の大野地区へ日頃感じていること

住みやすさ

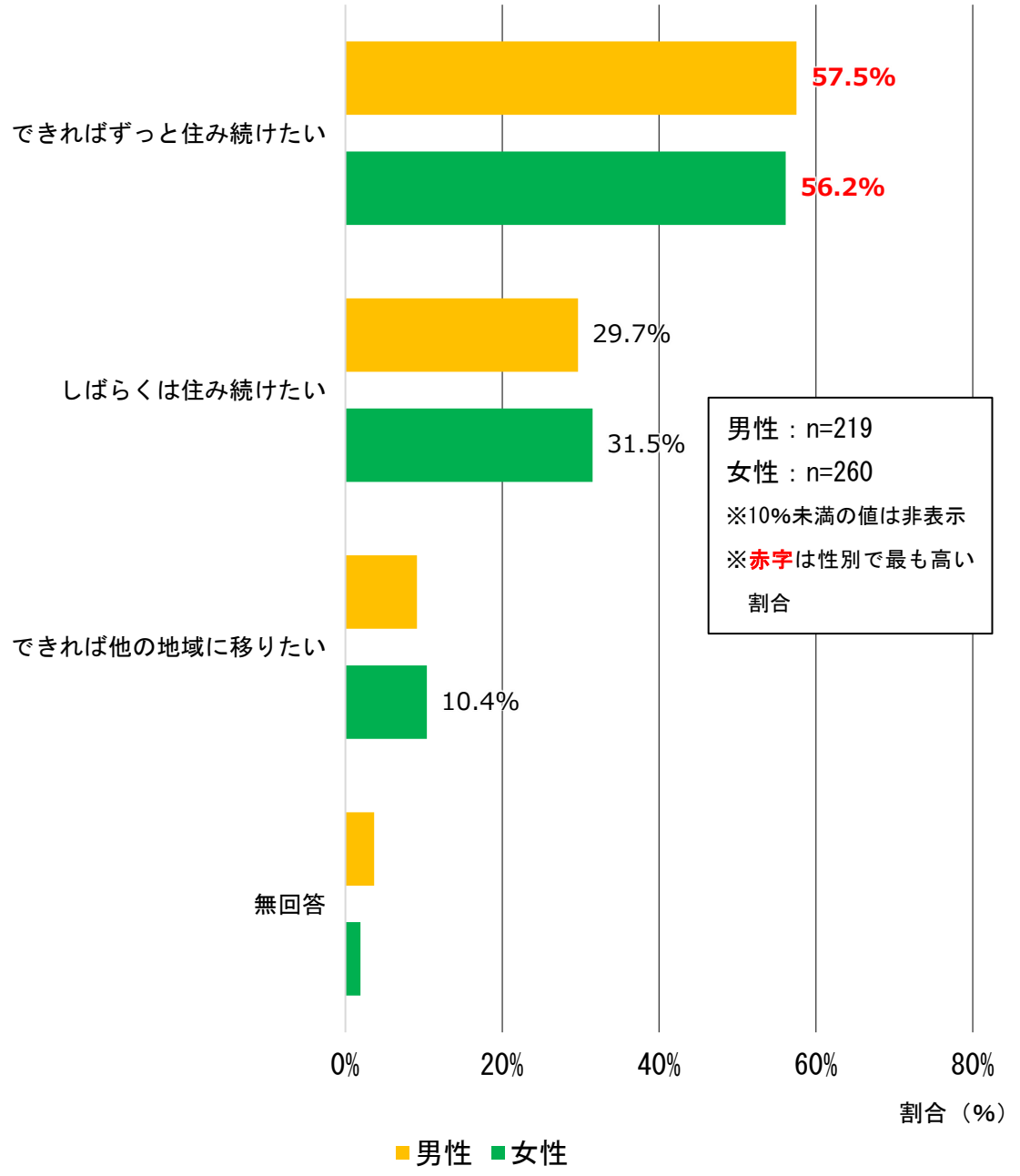


＜ 1-5-3.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 居住意向 ＞

・男女共通して、大野地区にできればずっと住み続けたいと感じています。

男女別の大野地区へ日頃感じていること

居住意向



＜ 1-5-4.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・男女共通して、住み続けたい理由として「出身地だから（住み慣れている等）」が最も多くなっていました。

・大項目で見ると、男性は「市・地区への愛着に関するもの」に分類される意見が多くなっていました。一方で、女性は「家庭の事情等に関するもの」分類される意見が多くなっていました。

男女別の大野地区へ日頃感じていること

住み続けたいと思う人の意見(できればずっと住み続けたい、しばらく住み続けたい)

連番	カテゴリー	大項目	小項目	性別	
				男性	女性
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	38	32
2			愛着があるから等	8	8
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	13	15
4			交流の場が少ないから	0	1
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	1	3
6			娯楽施設等がないから	1	1
7			交通の便がよくないから	6	4
8			医療サービスが利用しにくいから	1	2
9			全体的に不便だから等	1	0
10			買い物がしやすいから	0	1
11			交通の便がよいから	1	1
12			医療サービスが利用しやすいから	0	2
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	17	23
14			景観がよいから	0	3
15			食べ物がおいしいから	1	3
16			まちの歴史があるから	1	2
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	0	0
18			育児環境がよいから	0	4
19			教育環境がよくないから	0	0
20			教育環境がよいから	0	2
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	4	7
22			治安がよくないから	0	0
23			被災時に不安があるから	0	0
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	6	15
25			加齢による不安があるから	6	18
26			住居・住宅を所有しているから等	7	10
27			転居の予定がないから	16	22
28			転居の予定があるから等	4	6
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	4	2
30			仕事上の都合があるから	2	2
31		進学・就職に関するもの	進学するから	2	0
32			就職（転職）するから	0	1
33			仕事が少ないから	1	0
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	1	0
35			将来的なことが分からないから	0	5
36			視野を広げるため	1	0
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	4	7
38			除雪があるから	6	10
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	0	0
40			自然環境がよいから	15	20
41			良質な水があるから	10	14
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	性別の将来性を感じないから	5	7
43			施設の更新等がされていないから	0	1
44			市政に不満があるから等	1	0
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0
46			経済的に厳しいから	0	0
47	その他	その他	現状に満足しているから	5	7
48			魅力を感じないから	0	1
49			イベントが多いから	1	0
50			資産があるから	0	0
51			その他（理由にならないもの）	3	2
合計				193	264

＜ 1-5-5.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・男女共通して、他の地域に移りたい理由として「除雪があるから」（除雪作業があるから等）が最も多くなっていました。また、男性は「医療サービスが利用しにくいから」、「全体的に不便だから等」が多くなっていました。

・大項目で見ると、男性、女性どちらも「生活の利便性に関するもの」に分類される意見が多くなっていました。

男女別の大野地区へ日頃感じていること

地域を移したいと思う人の意見（できれば他の地域に移りたい）

連番	カテゴリー	大項目	小項目	性別	
				男性	女性
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	0	0
2			愛着があるから等	0	0
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	0	0
4			交流の場が少ないから	0	0
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	2	3
6			娯楽施設等がないから	0	1
7			交通の便がよくないから	1	5
8			医療サービスが利用しにくいから	3	3
9			全体的に不便だから等	3	3
10			買い物がしやすいから	0	0
11			交通の便がよいから	0	0
12			医療サービスが利用しやすいから	0	0
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	0	0
14			景観がよいから	0	0
15			食べ物がおいしいから	0	0
16			まちの歴史があるから	0	0
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	2	1
18			育児環境がよいから	0	1
19			教育環境がよくないから	2	0
20			教育環境がよいから	0	0
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	0	0
22			治安がよくないから	0	0
23			被災時に不安があるから	0	0
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	0	1
25			加齢による不安があるから	1	1
26			住居・住宅を所有しているから等	0	0
27			転居の予定がないから	0	0
28			転居の予定があるから等	1	2
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	0	0
30			仕事上の都合があるから	0	0
31		進学・就職に関するもの	進学するから	0	0
32			就職（転職）するから	0	1
33			仕事が少ないから	2	3
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	0	0
35			将来的なことが分からないから	0	0
36			視野を広げるため	0	0
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	2	3
38			除雪があるから	3	6
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	1	0
40			自然環境がよいから	0	0
41			良質な水があるから	0	1
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	性別の将来性を感じないから	0	0
43			施設の更新等がされていないから	2	0
44			市政に不満があるから等	0	0
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0
46			経済的に厳しいから	0	0
47	その他	その他	現状に満足しているから	0	0
48			魅力を感じないから	2	0
49			イベントが多いから	0	0
50			資産があるから	0	0
51			その他（理由にならないもの）	0	0
合計				27	35

属性別集計２．　第６地区の年代別の集計

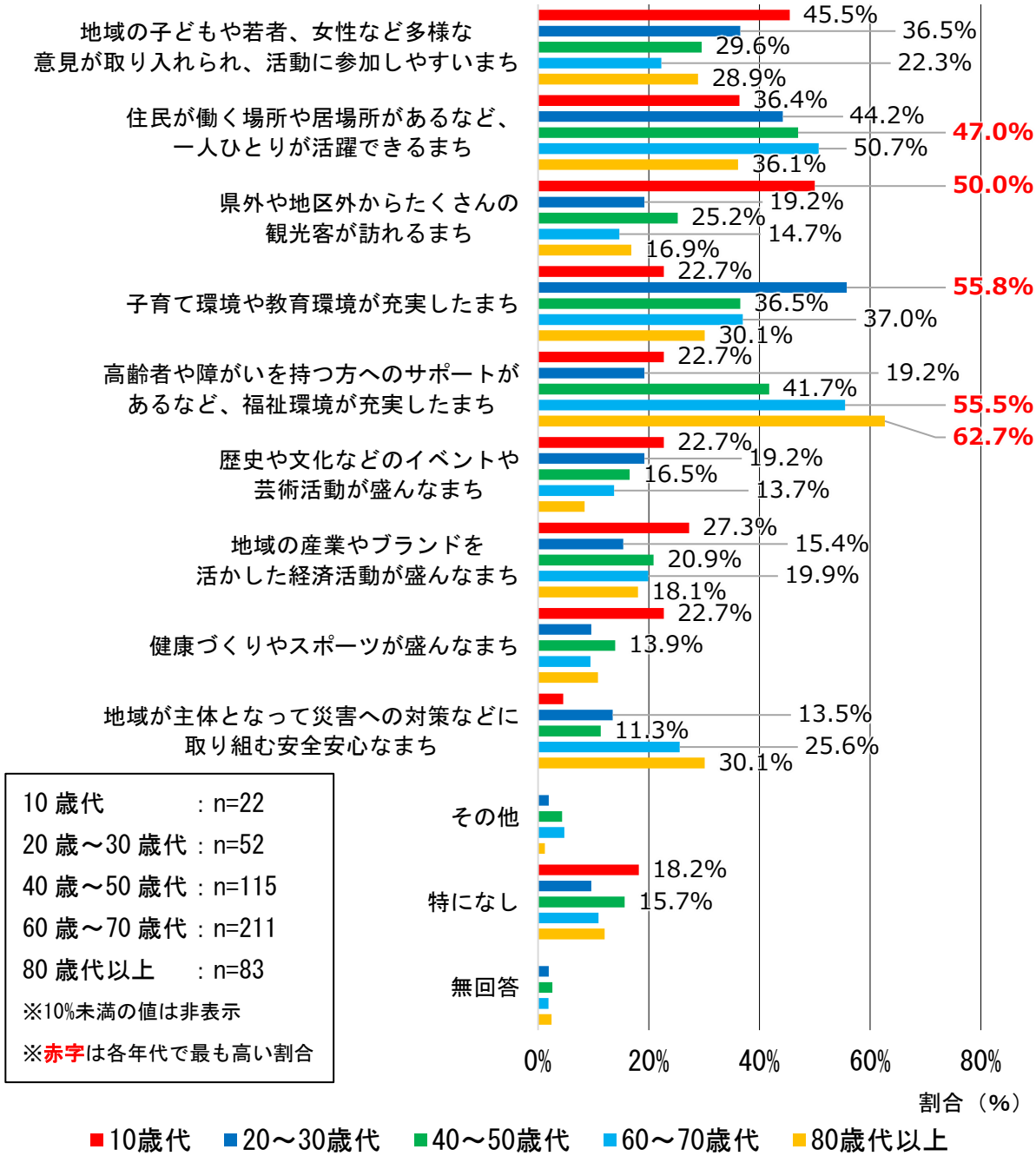
＜　2-1-1.　１０～２０年後の大野地区の将来像（問１）＞

・60 歳代以上の方は、「高齢者や障がいを持つ方へのサポートがあるなど、福祉環境が充実しているまち」といった地区になると良いと思われていました。

・一方で、10 歳代から 40～50 歳代までは順に、「県外や地区外からたくさんの観光客が訪れるまち」、「子育て環境や教育環境が充実したまち」、「住民が働く場所や居場所があるなど、一人ひとりが活躍できるまち」が多くなっていました。

年代別の大野地区の将来像

各年代別の傾向の比較



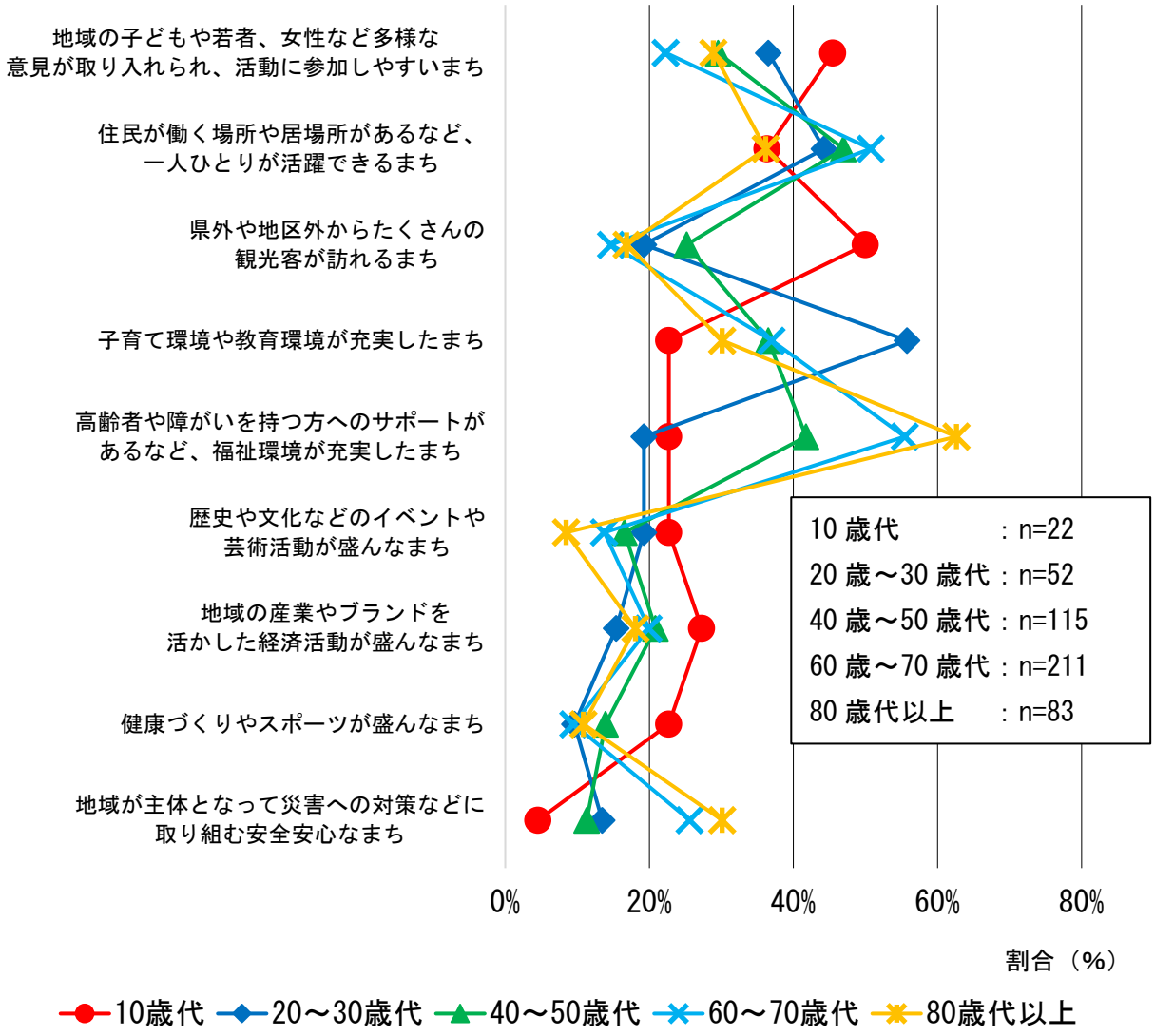
＜ 2-1-2.　　１０～２０年後の大野地区の将来像（問１）＞

・選択肢ごとの年代の傾向をみると、若い世代と高い年代では「高齢者や障がいを持つ方へのサポートがあるなど、福祉環境が充実したまち」で選択のばらつきが大きくなっていました。年代が高いほど、福祉環境が充実してほしいと感じている傾向にありました。

・また、10 歳代と 20 歳代以上の年代では、「県外や地区外からたくさんの観光客が訪れるまち」、で選択のばらつきが大きくなっていました。10 歳代の世代は他の世代と比べて、観光業に力を入れて欲しいと感じている傾向にありました。

年代別の大野地区の将来像

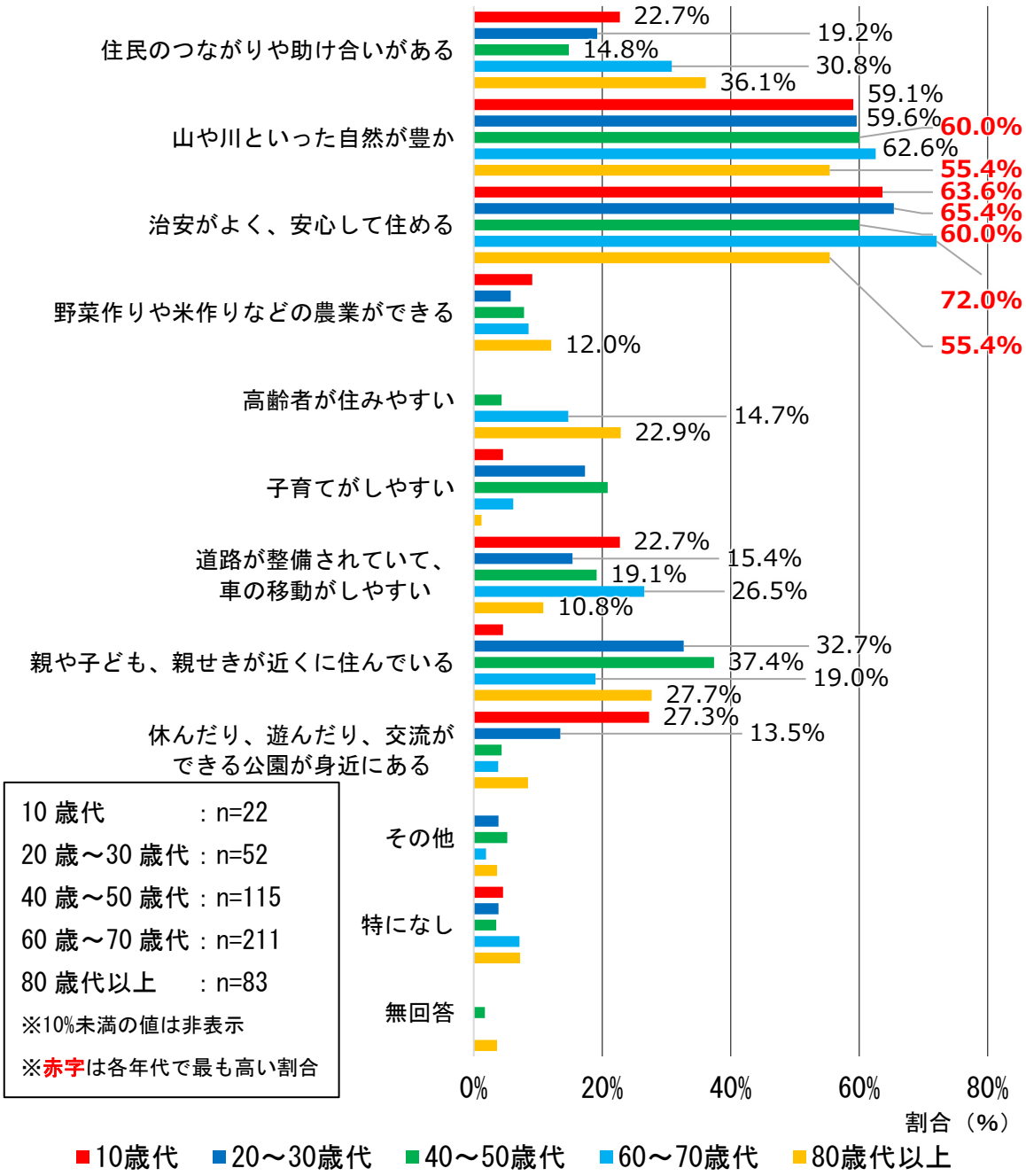
異なる年代同士の比較(年代によるばらつきの確認)



＜ 2-2.　大野地区の良い点（問２）＞

・年代問わず、「治安がよく、安心して住める」が良い点と思われていました。また、40～50 歳代と 80 歳代以上の方は「山や川といった自然が豊か」が良い点と思われていました。

年代別の大野地区の良い点



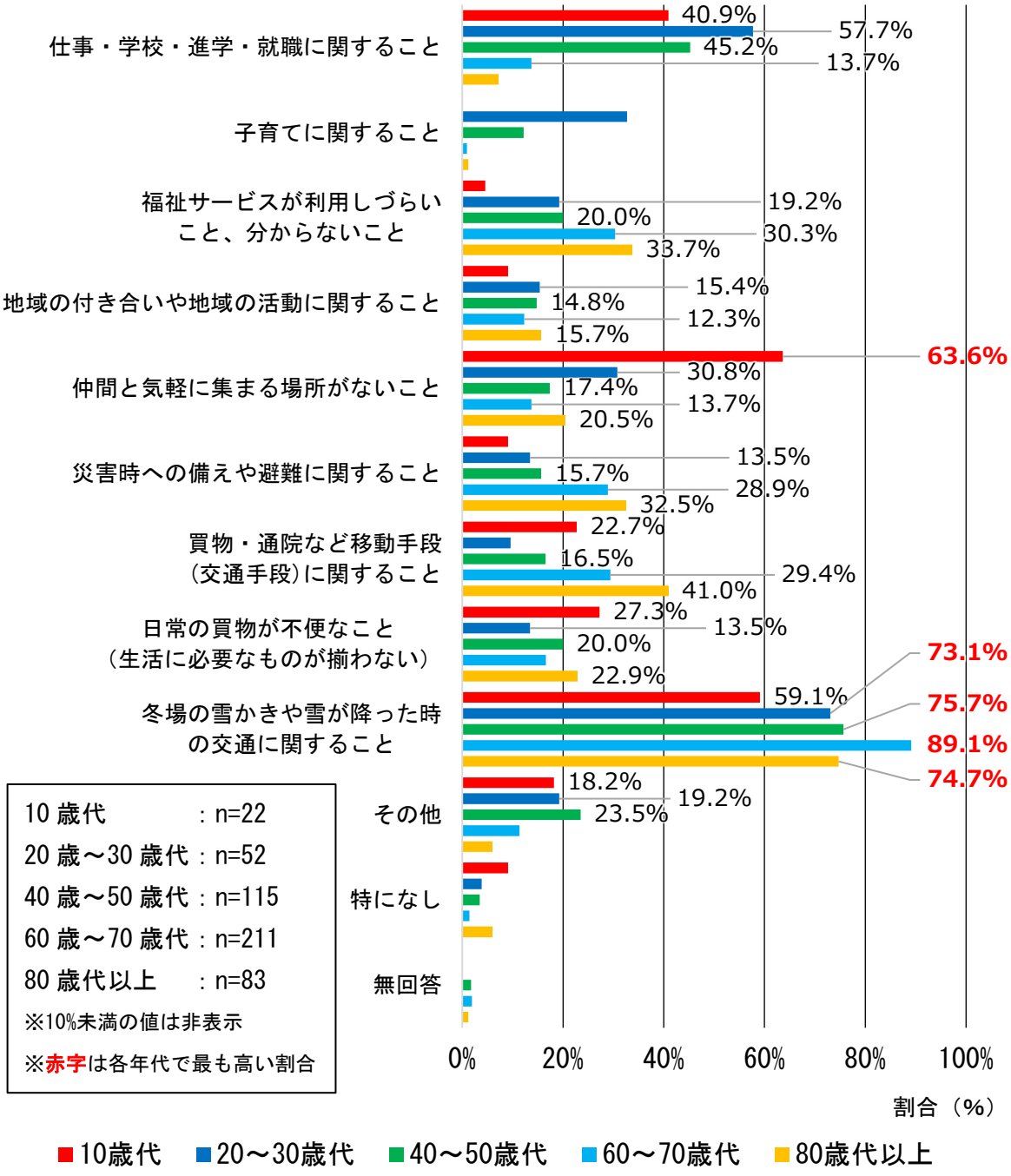
＜ 2-3.　大野地区の不安な点（問３）＞

・10 歳代以外は、「冬場の雪かきや雪が降った時の交通に関すること」に不安を感じていました。

・一方で、10 歳代は、「仲間と気軽に集まる場所がないこと」に不安を感じていました。

年代別の大野地区の不安な点

同じ年代同士の比較



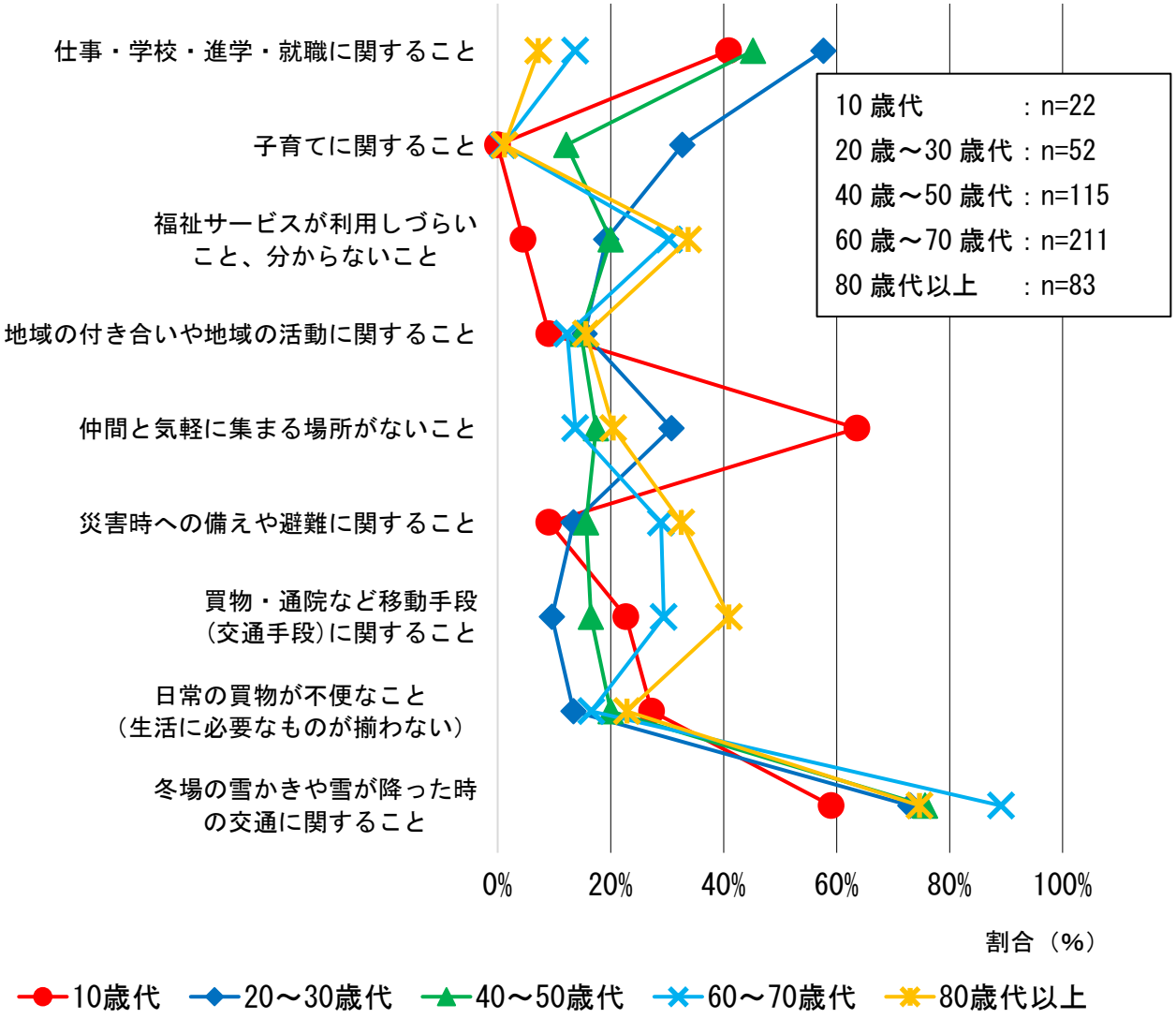
＜ 2-3-2.　　大野地区の不安な点（問３）＞

・選択肢ごとの年代の傾向をみると、若い世代と高い世代で「仕事・学校・進学・就職に関すること」、「福祉サービスが利用しづらいこと、分からないこと」、で世代間のばらつきが大きくなっていました。若い世代ほど進学や就職といった将来に関すること、高い年代ほど福祉サービスや雪かきなど支援に関することに不安を感じる傾向にありました。

・10歳代は「仲間と気軽に集まる場所がないこと」の回答が多く、友人等の仲間と集まれる場所が無いことに不安を感じていました。

年代別の大野地区の不安な点

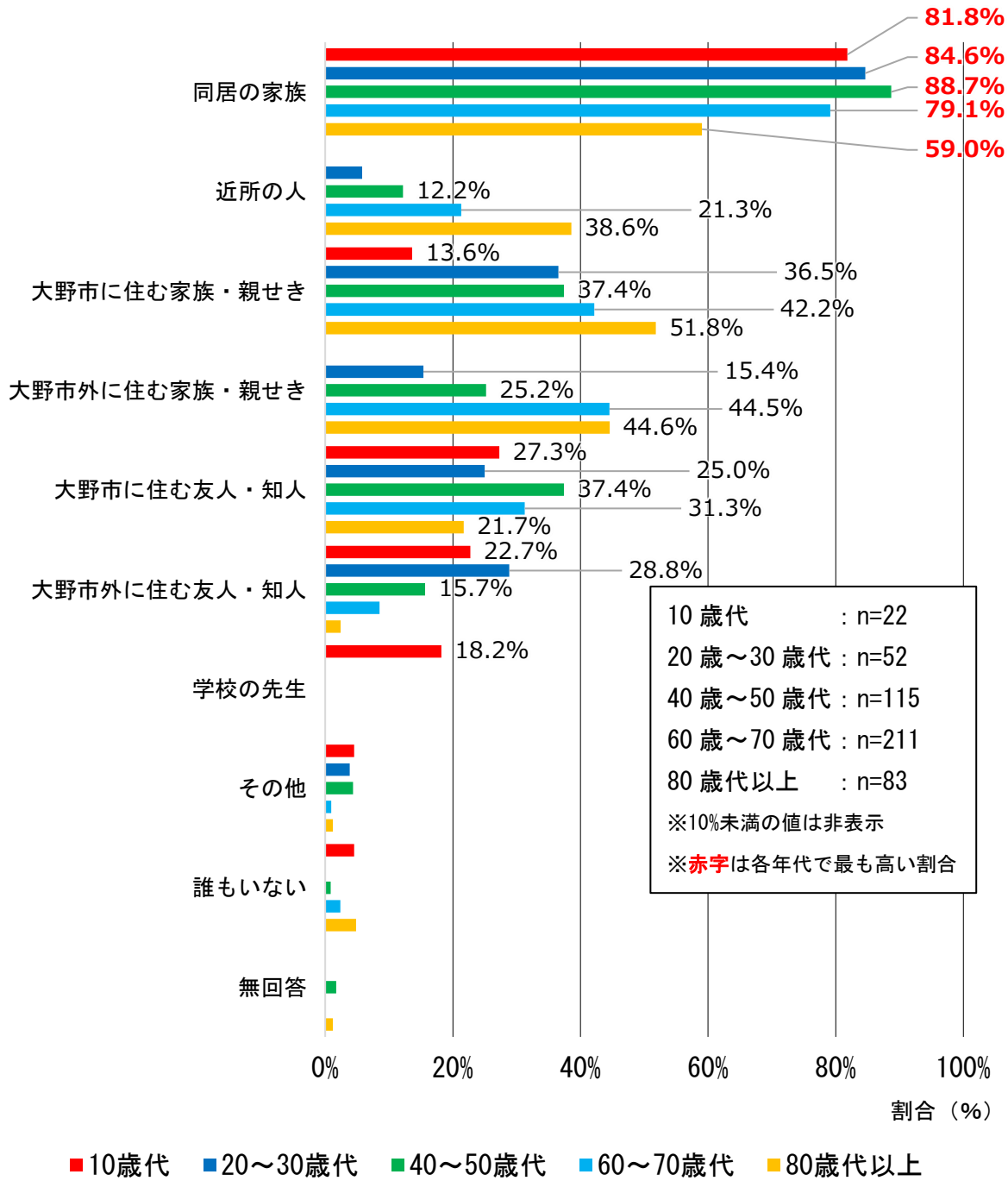
異なる年代同士の比較



＜2-4.　相談する相手（問４）＞

・全ての年代で共通して、「同居の家族」に相談している方が多くいました。

年代別の相談相手

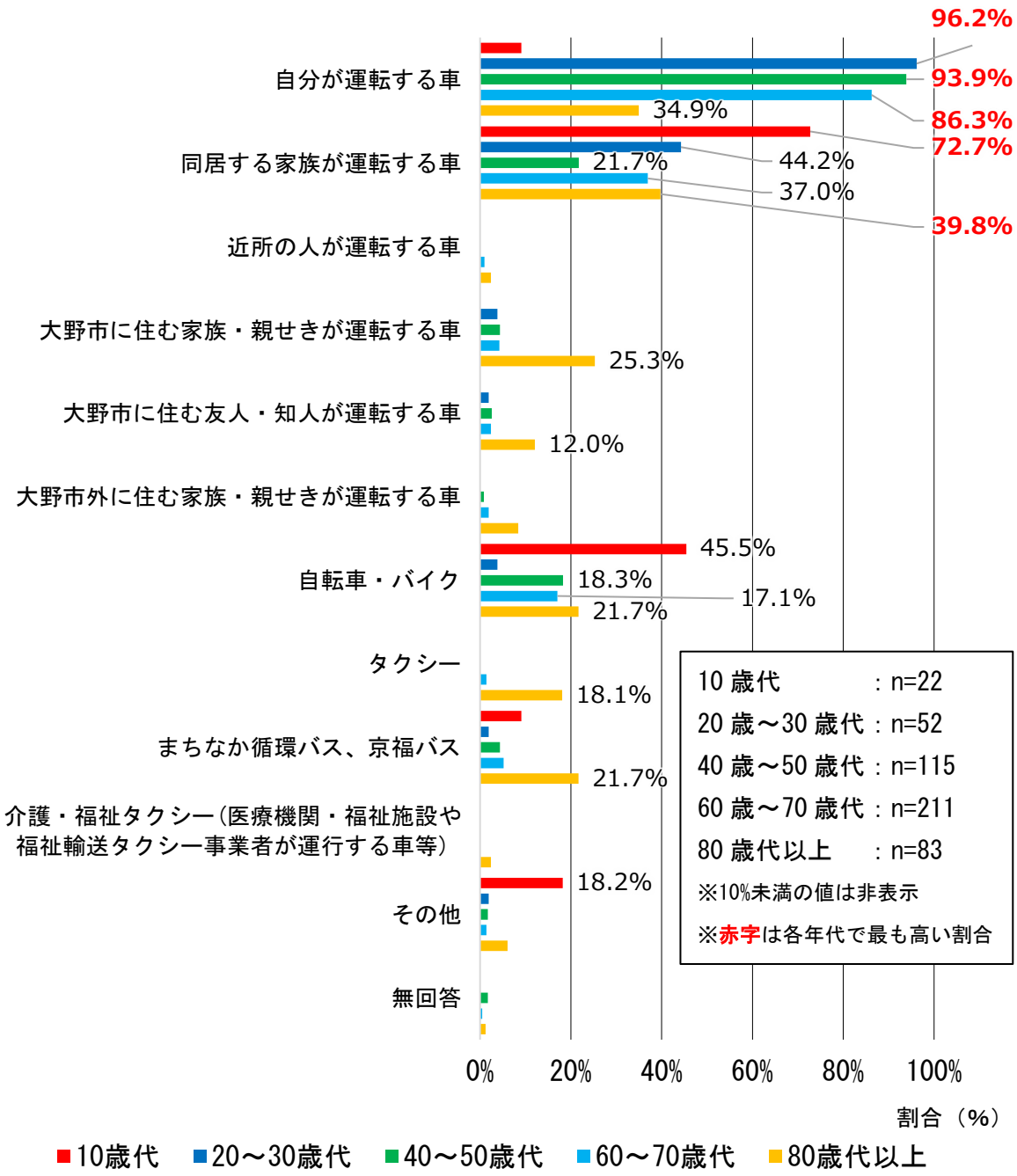


＜ 2-5.　普段の交通手段（問５）＞

・10 歳代と 80 歳代以上以外は、「自分が運転する車」で移動していました。

・一方で、10 歳代と 80 歳代以上は「同居する家族が運転する車」で移動していました。

年代別の日常の移動手段



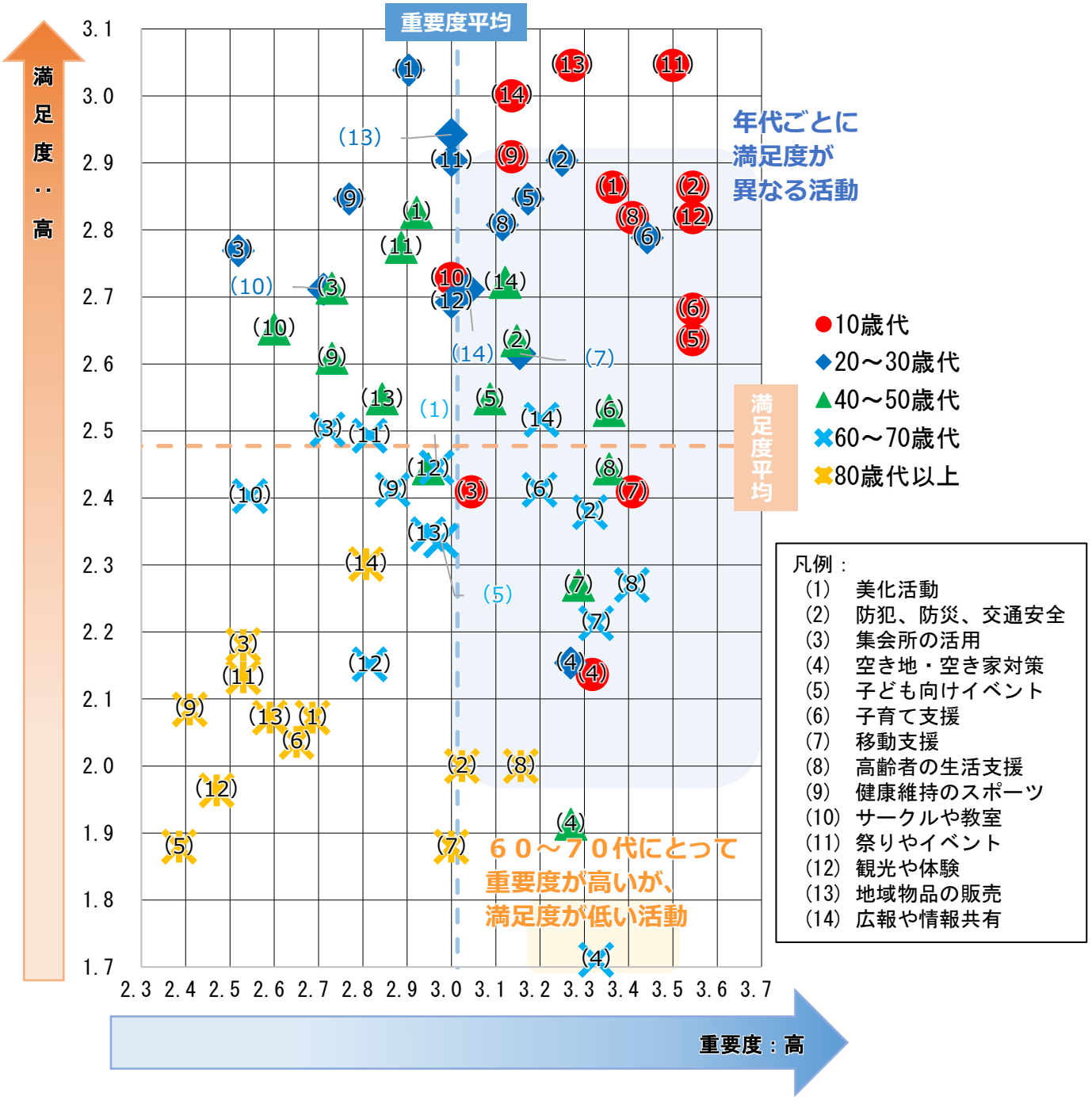
＜ 2-6-1.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）＞

・60 歳代～70 歳代の方は、「（４）空き地・空き家対策」に重要だと思いつつ、かなり不満に感じていました。

・「（２）防犯、防災、交通安全」、「（８）高齢者の生活支援活動」は、10 歳代～50 歳代と 60 歳代以上で満足度が異なっていました。

年代別の各活動の重要度と満足度

異なる年代同士の比較

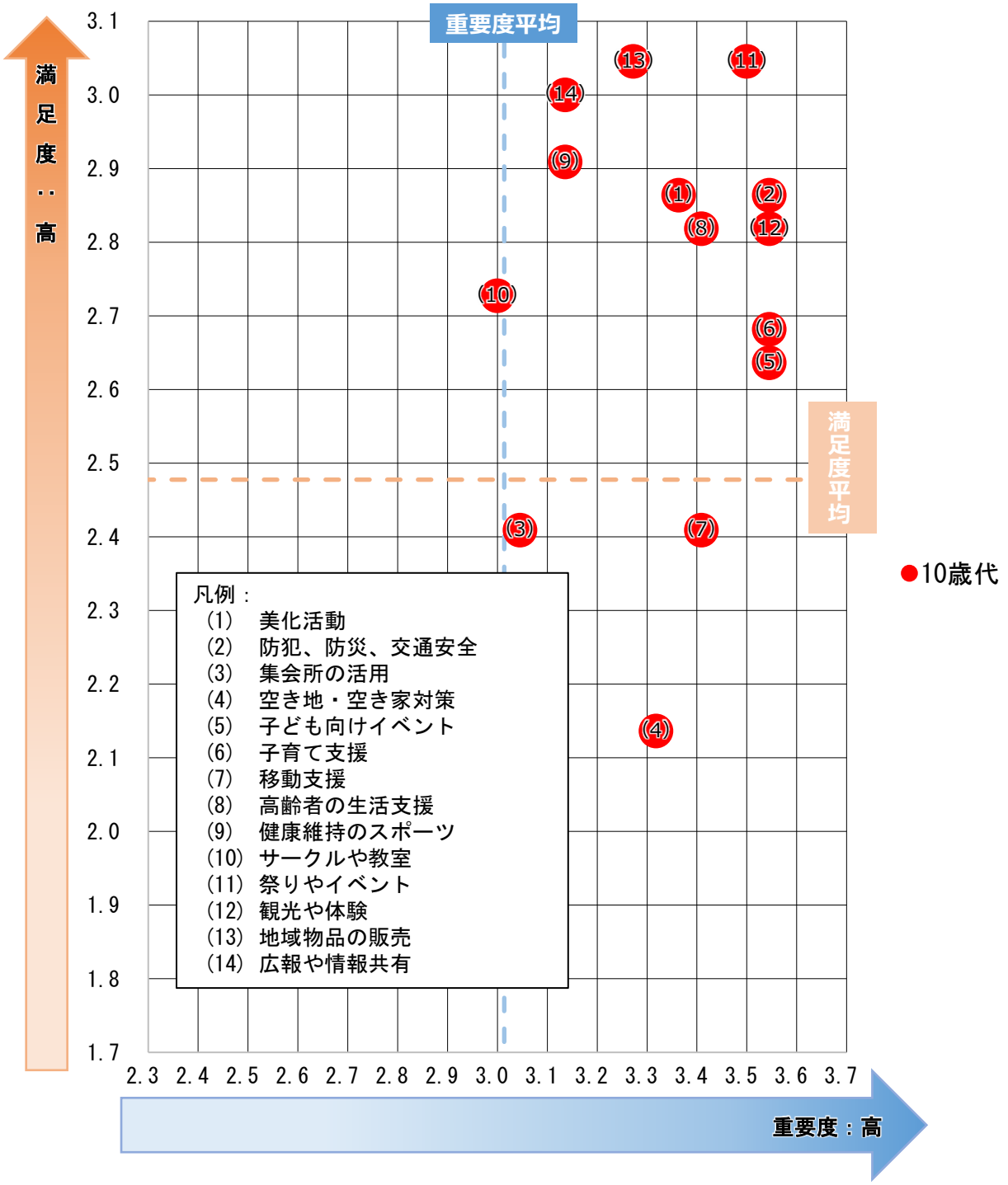


＜ 2-6-2.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）（10 歳代）＞

・10 歳代では、多く活動で重要に感じつつ、満足に感じている活動は多いものの、「（３）集会所の活用」、「（４）空き地・空き家対策」、「（７）移動支援」に関する活動は満足度が低い傾向でした。

年代別の各活動の重要度と満足度

10 歳代同士の比較

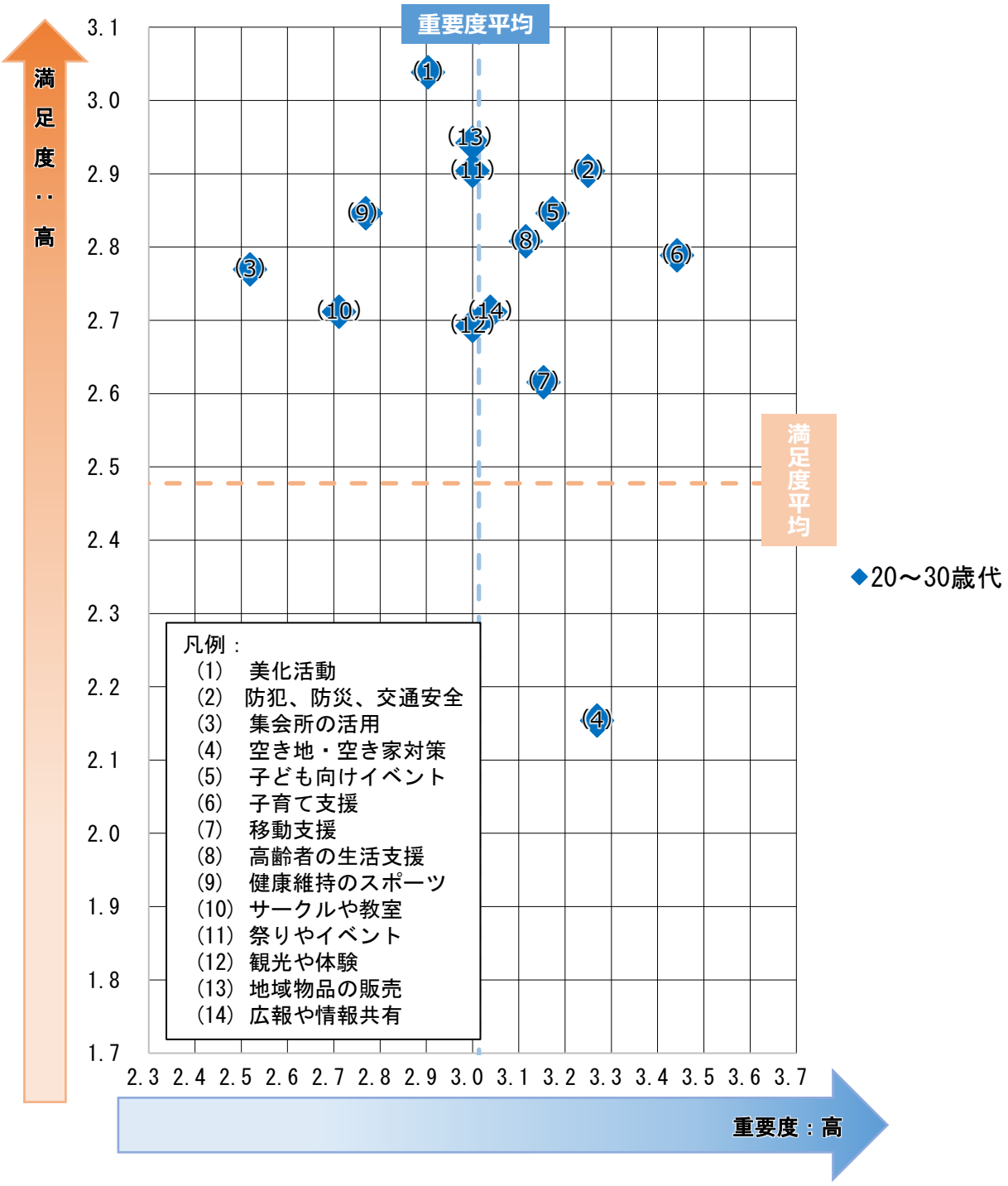


＜2-6-3.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）（20～30 歳代）＞

・ 20～30 歳代では、約半分の活動で重要に感じつつ、満足に感じていますが、「（１）美化活動」、「（３）集会場の活用」、「（９）健康維持のスポーツ」、「（10）サークルや教室」、「（11）祭りやイベント」、「（13）地域物品の販売」に関する活動は重要度が低い傾向でした。また、「（４）空き地・空き家対策」に関する活動は、重要に思われつつ、不満に感じていました。

年代別の各活動の重要度と満足度

20～30 歳代同士の比較

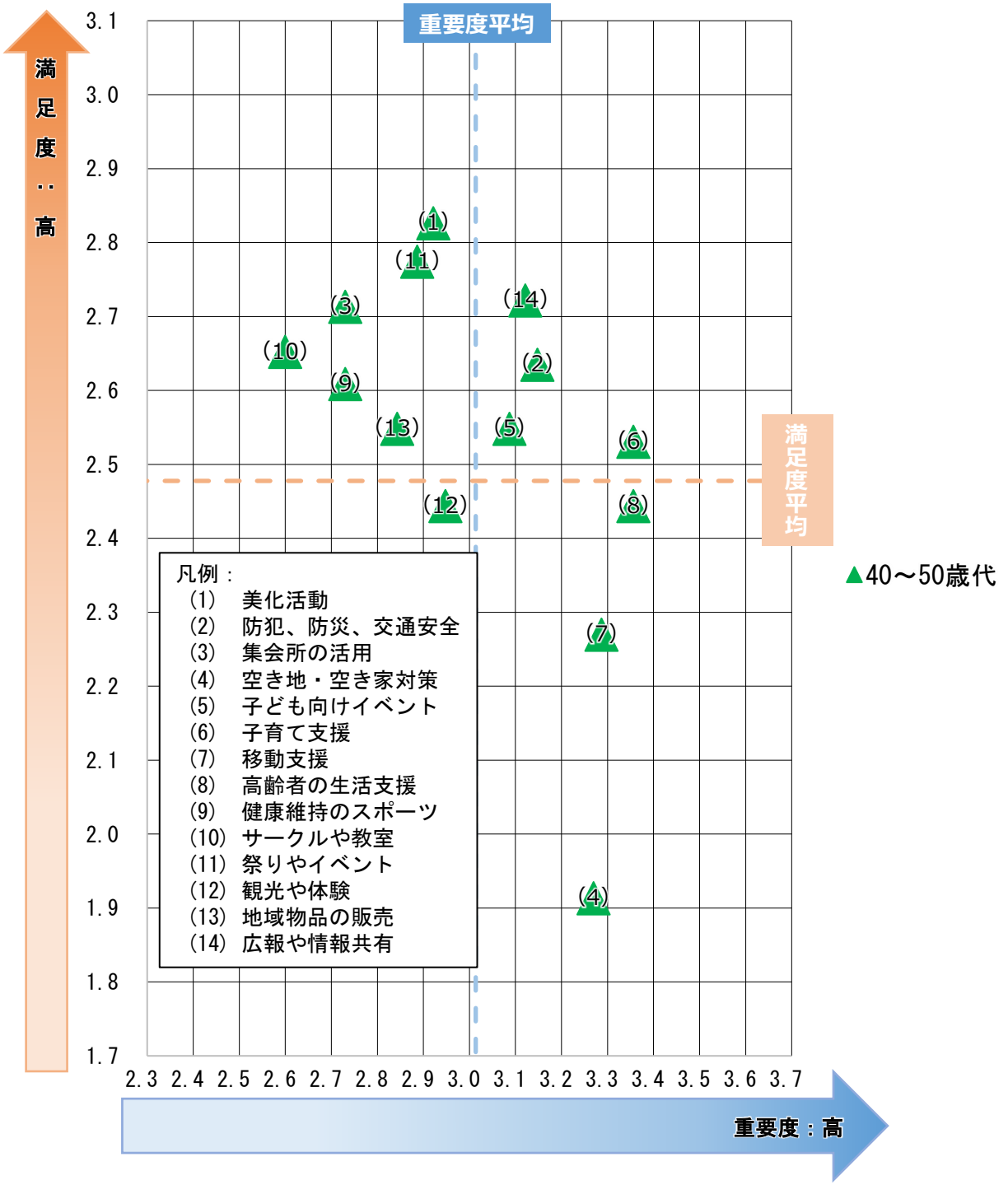


＜2-6-4.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）（40～50 歳代）＞

・40～50 歳代では、重要に感じつつ、満足に感じている活動が半数を切っていました。「（１）美化活動」、「（３）集会場の活用」、「（９）健康維持のスポーツ」、「(10) サークルや教室」、「(11) 祭りやイベント」、「(13) 地域物品の販売」に関する活動は満足しつつも、重要度が低い傾向でした。また、「（４）空き地・空き家対策」、「（７）移動支援」、「（８）高齢者の生活支援」に関する活動は、重要に思われつつ、不満に感じていました。

年代別の各活動の重要度と満足度

40～50 歳代同士の比較

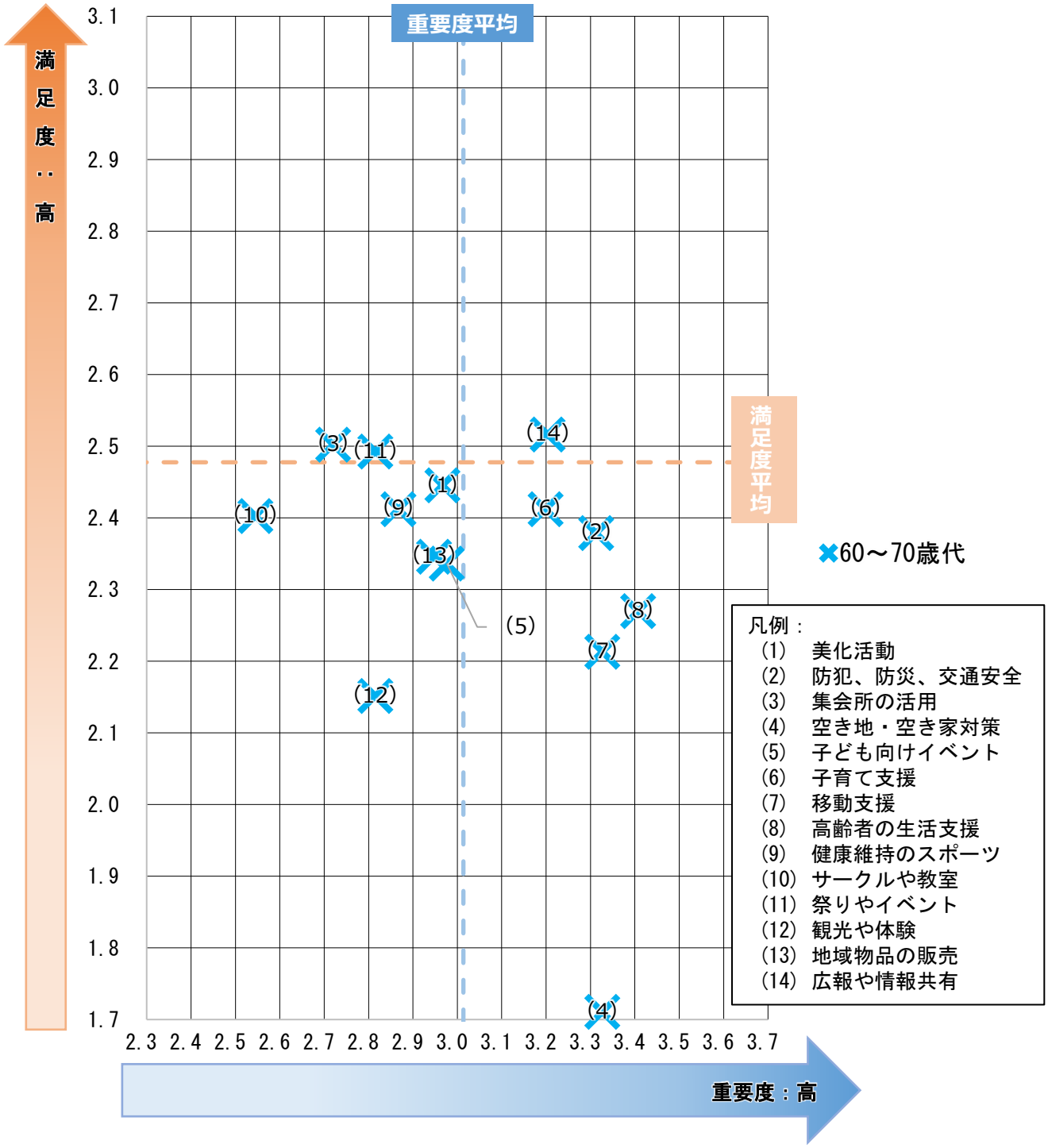


＜2-6-5.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）（60～70 歳代）＞

・60～70 歳代では、重要に感じつつ、満足に感じている活動はほとんどありませんでした。「（３）集会所の活用」、「(11) 祭りやイベント」に関する活動は満足しつつも、重要度が低い傾向でした。また、「（２）防犯、防災、交通安全」、「（４）空き地・空き家対策」、「（６）子育て支援」、「（７）移動支援」、「（８）高齢者の生活支援」に関する活動は、重要に思われつつ、不満に感じていました。

年代別の各活動の重要度と満足度

60～70 歳代同士の比較

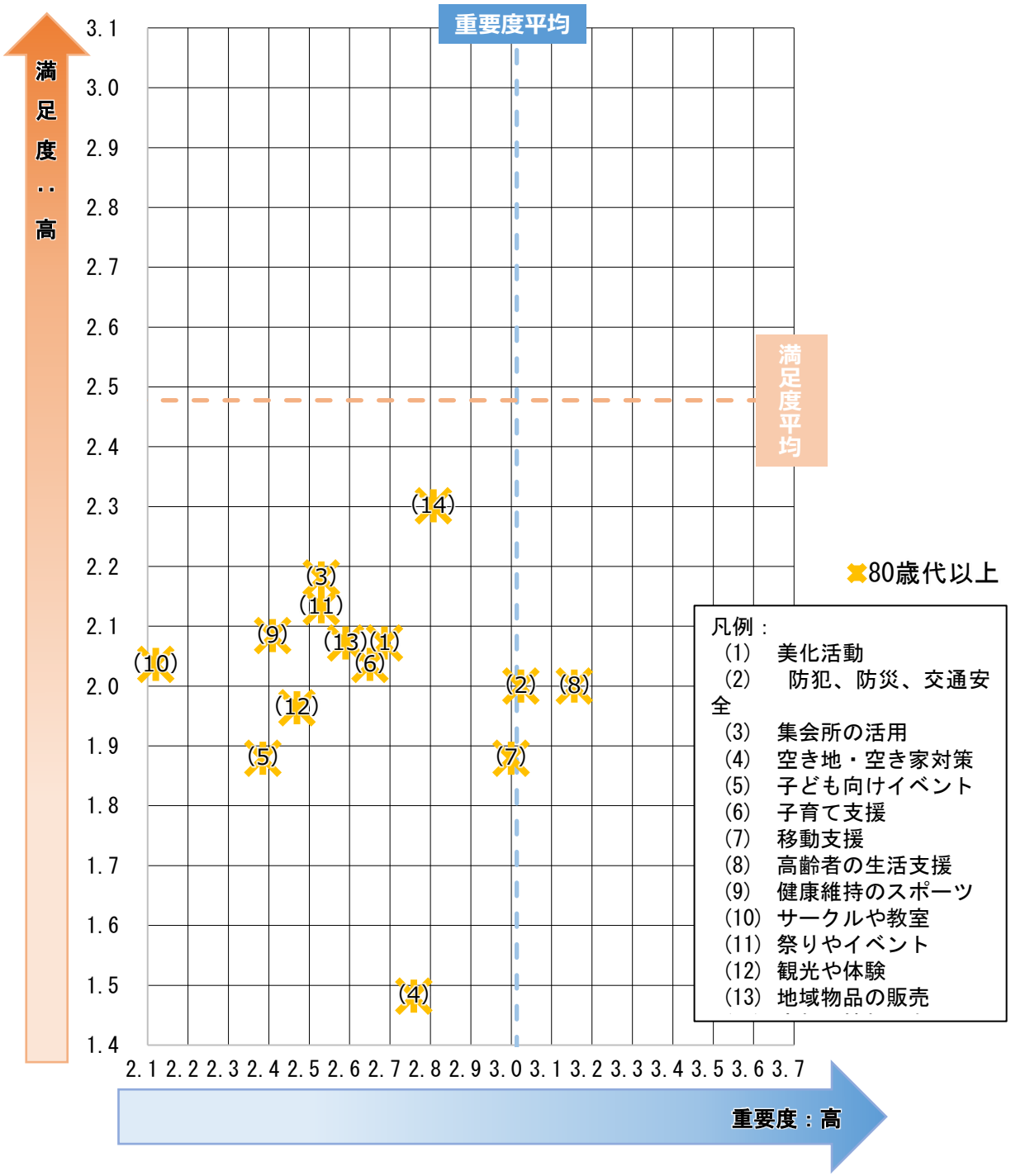


＜ 2-6-6.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）（80 歳代以上）＞

・80 歳代以上では、重要に感じつつ、満足に感じている活動はありませんでした。「（２）防犯、防災、交通安全」、「（８）高齢者の生活支援」に関する活動は、重要に思われつつ、不満に感じていました。

年代別の各活動の重要度と満足度

80 歳代以上同士の比較

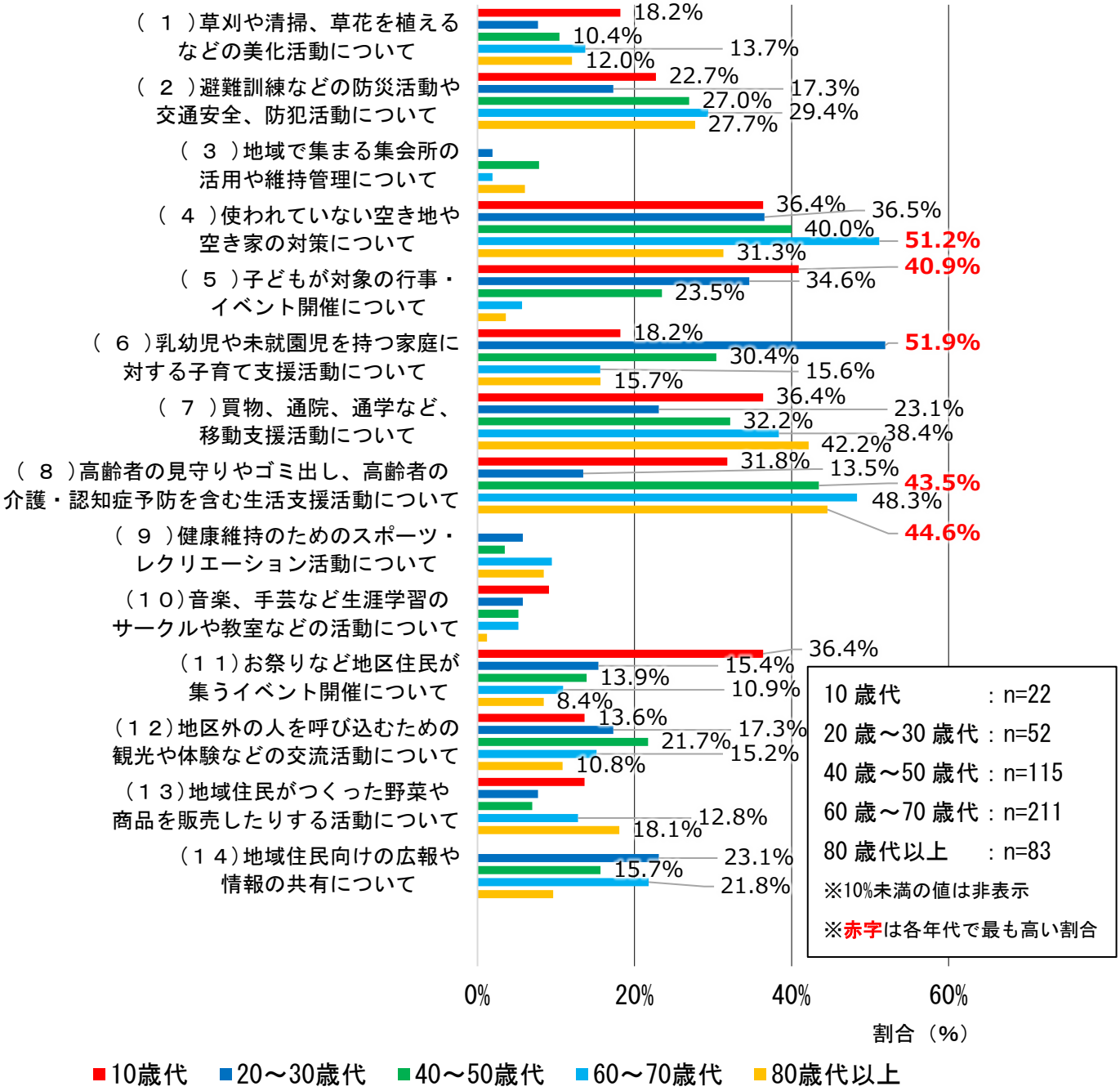


＜ 2-7.　特に重要な活動（問７）＞

・40～50 歳代と 80 歳代以上は、「（８）高齢者の見守りやゴミ出し、高齢者の介護・認知症予防を含む生活支援活動」が特に重要だと感じていました。

・一方で、10 歳代は「（５）子どもが対象の行事・イベント開催について」、20～30 歳代は「（６）乳幼児や未就園児を持つ家庭に対する子育て支援活動について」、60～70 歳代は「（４）使われていない空き地や空き家の対策について」が多くなっていました。

年代別の各活動で特に重要な活動



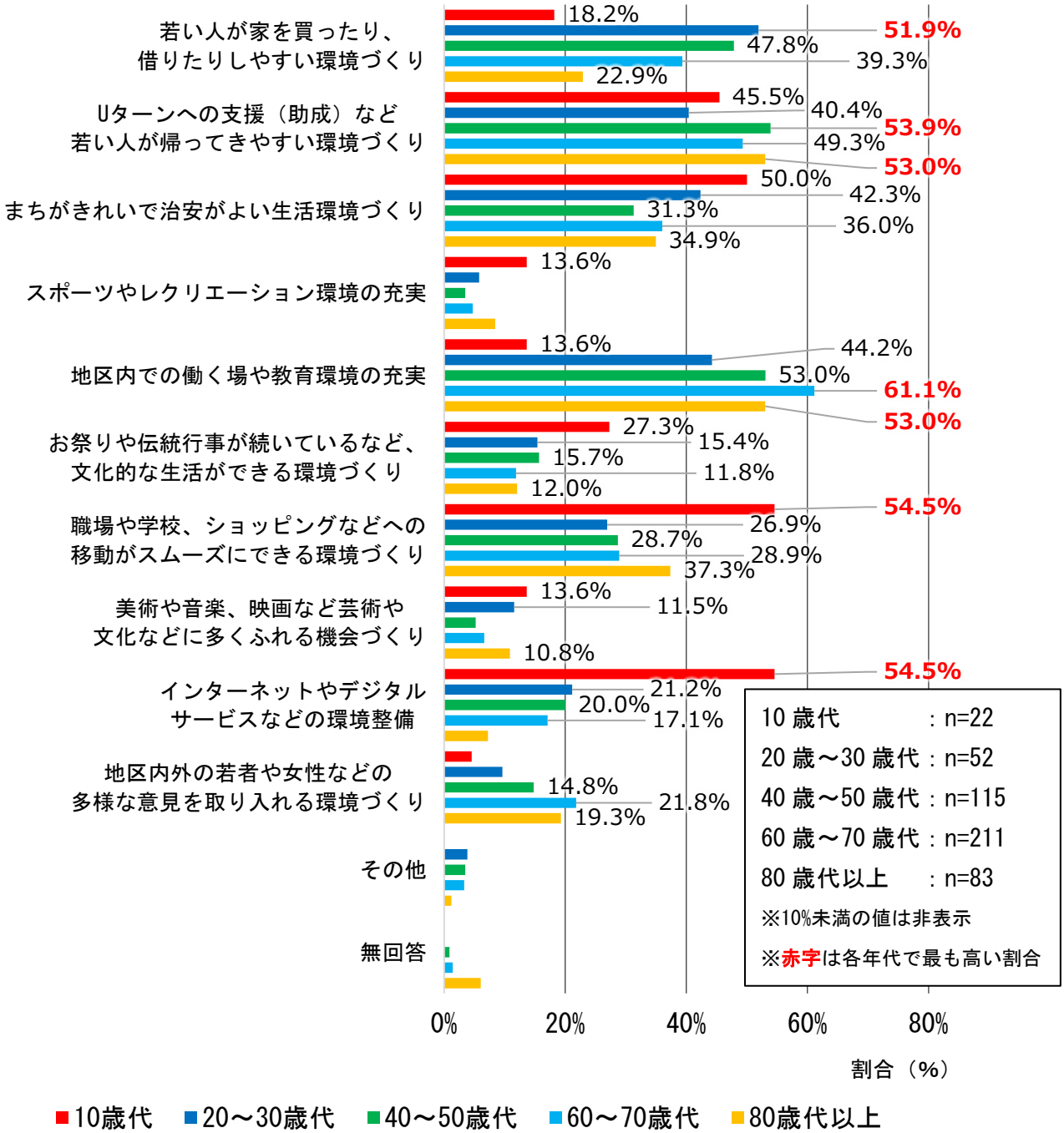
＜2-8-1.　若い世代が１０年後も大野地区で安心して住むために必要なこと（問８）＞

・60 歳代以上は、「地区内での働く場や教育環境の充実」が多くなっていました。また、40～50 歳代と 80 歳代以上はUターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり」も多くなっていました。

・一方で、10 歳代は、「職場や学校、ショッピングなどへの移動がスムーズにできる環境づくり」、「インターネットやデジタルサービスなどの環境整備」が多くなっていました。20～30 歳代では、「若い人が家を買ったり、借りたりしやすい環境作り」が多くなっていました。

年代別の若い世代が住むために必要なこと

各年代別の傾向の比較



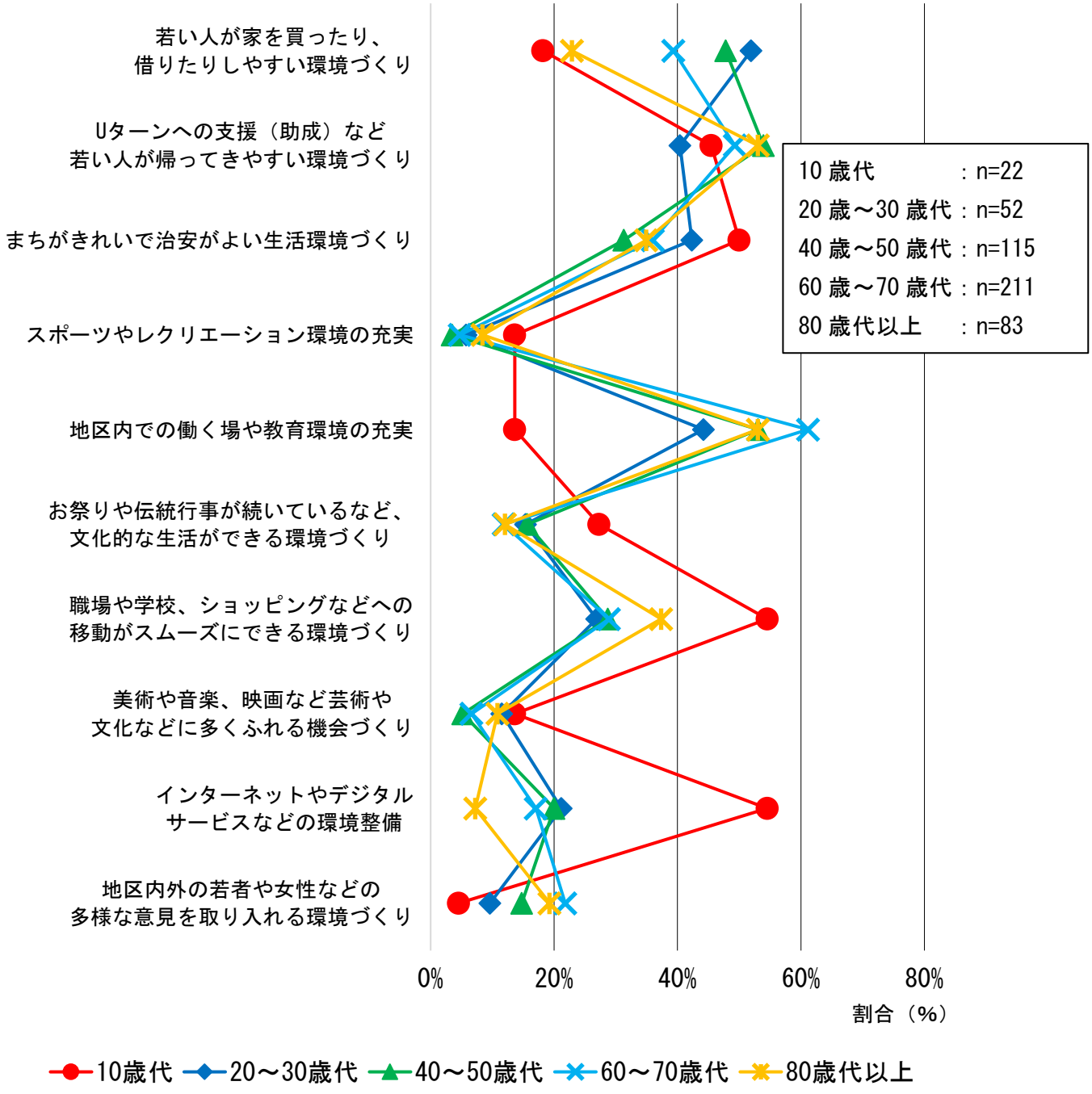
＜2-8-2.　若い世代が１０年後も大野地区で安心して住むために必要なこと（問８）＞

・選択肢ごとの年代の傾向をみると、10 歳代では「職場や学校、ショッピングなどへの移動がスムーズにできる環境づくり」や「インターネットやデジタルサービスなどの環境整備」は必要であると感じていますが、「地区内での働く場や教育環境の充実」はあまり必要ではないと感じています。一方で、20 歳代以上ではその傾向は逆になっています。

・一方で、「Ｕターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり」は世代間のばらつきは少なく、全体的に多くなっていました。

年代別の若い世代が住むために必要なこと

異なる年代同士の比較(年代によるばらつきの確認)

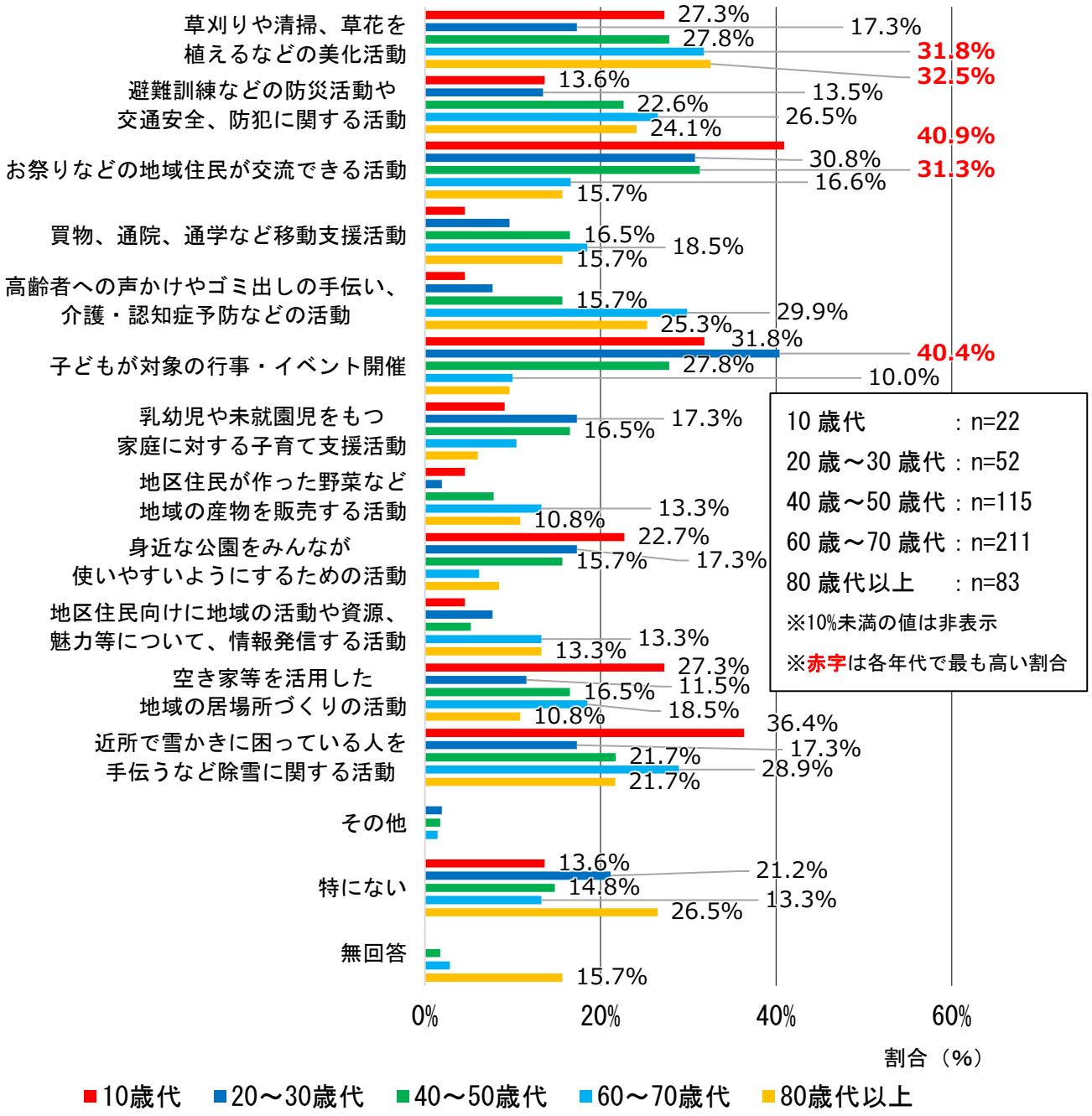


＜ 2-9.　関心・興味・行ってみたい活動（問９）＞

・60 歳代以上は、「草刈りや清掃、草花を整えるなどの美化活動」に興味・関心を持たれていました。

・一方で、10 歳代と 40～50 歳代は、「お祭りなどの地域住民が交流できる活動」、20～30 歳代は「子どもが対象の行事・イベント開催」が多くなっていました。

年代別の関心･興味･行ってみたい活動

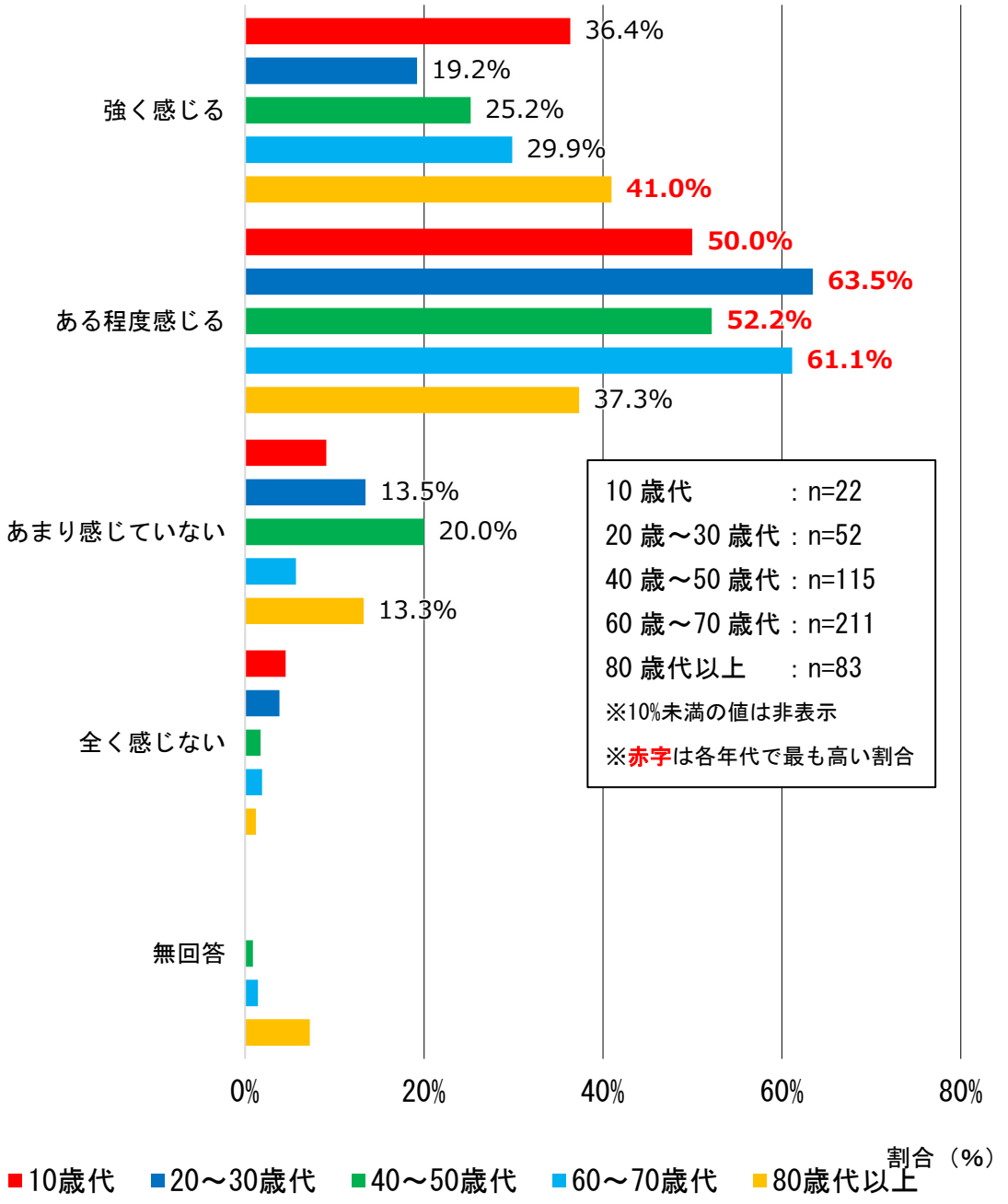


＜ 2-10-1.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 愛着 ＞

・全ての年代で共通して、大野地区にある程度以上の愛着を感じています。

年代別の大野地区へ日頃感じていること

愛着



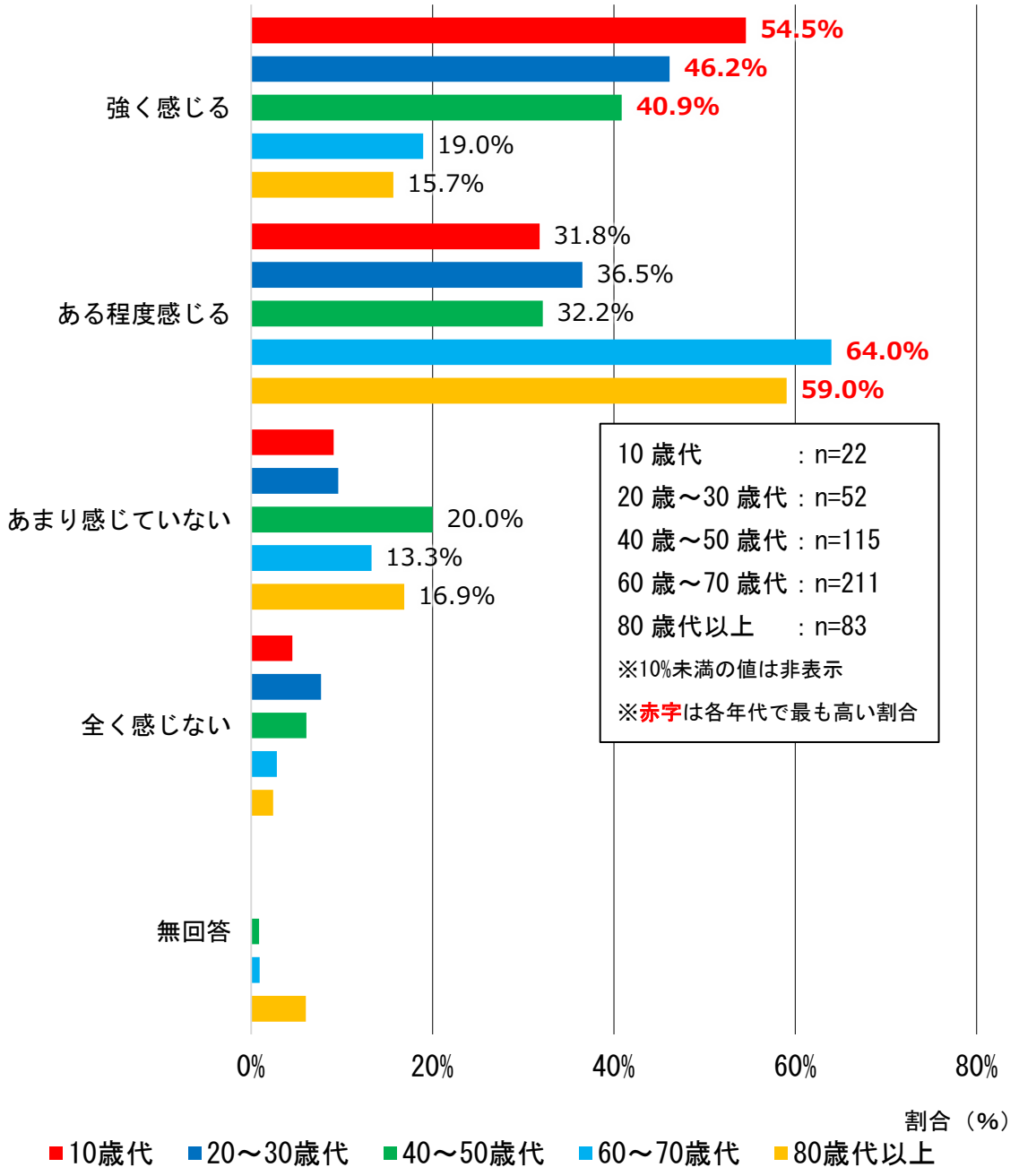
＜ 2-10-2.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 住みやすさ ＞

・10 歳代～50 歳代は大野地区を強く住みやすく感じていました。

・一方で、60 歳代以上はある程度住みやすく感じていました。

年代別の大野地区へ日頃感じていること

住みやすさ



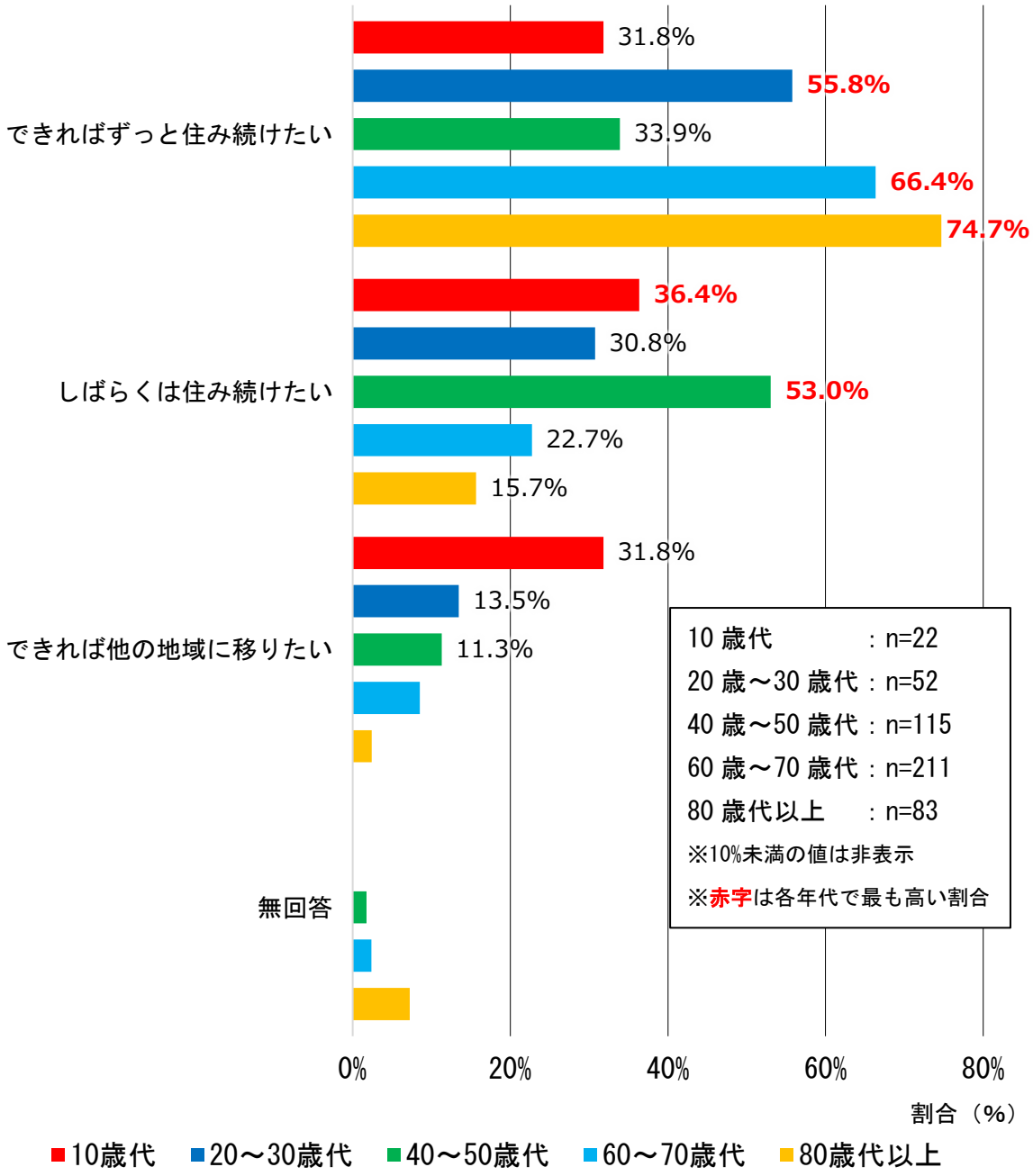
＜ 2-10-3.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 居住意向 ＞

・20～30 歳代と 60 歳代以上で、大野地区にできれば住み続けたいと思われていました。

・一方で、10 歳代と 40～50 歳代は、大野地区にしばらくは住み続けたいと思われていました。

年代別の大野地区へ日頃感じていること

居住意向:各年代別の傾向の比較

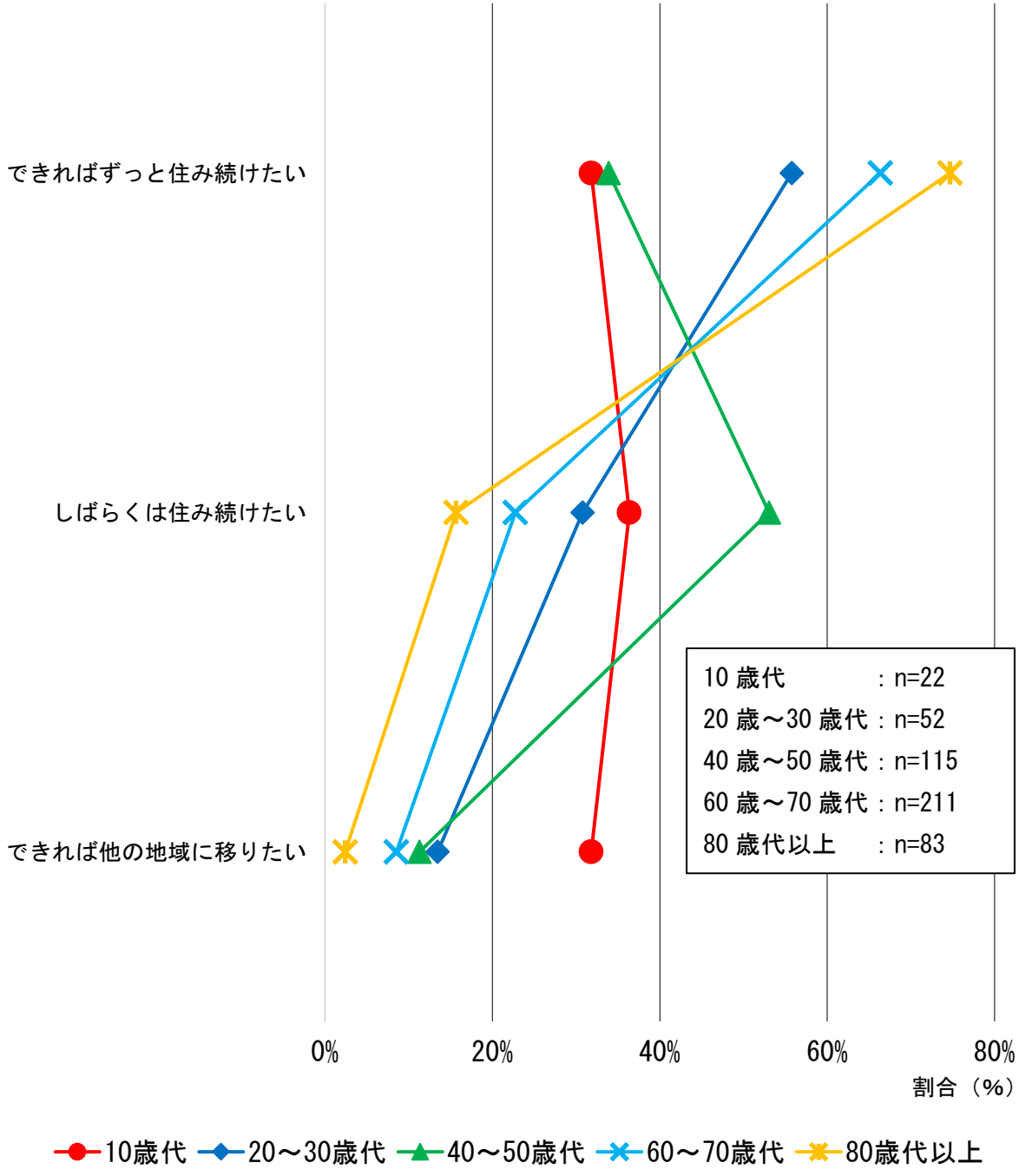


＜ 2-10-4.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 居住意向 ＞

・選択肢ごとの年代の傾向をみると、どの年代も多くの方が住み続けたいと思われていますが、10 歳代では「できれば他の地域に移りたい」も多くみられます。

年代別の大野地区へ日頃感じていること

居住意向:異なる年代同士の比較(年代によるばらつきの確認)



＜ 2-10-5.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・40 歳代以上では、住み続けたい理由として「出身地だから（住み慣れている等）」が最も多くなっていました。一方、10 歳代は「転居の予定があるから等」が多く、将来的には大野市を離れたいといったような意見が確認されました。また、20 歳代では「居住環境・都市環境が良いから」に属する意見が多くなっていました。

・大項目で見ると、すべての世代で「家庭の事情等に関するもの」に分類される意見が多くなっていました。

年代別の大野地区へ日頃感じていること

住み続けたいと思う人の意見（できればずっと住み続けたい、しばらく住み続けたい）

連番	カテゴリー	大項目	小項目	年代				
				10歳代	20～30歳代	40～50歳代	60～70歳代	80歳代以上
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	1	3	21	32	14
2			愛着があるから等	2	3	3	8	0
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	1	2	3	16	6
4			交流の場が少ないから	0	0	0	1	0
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	0	1	2	1	0
6			娯楽施設等がないから	1	0	1	0	0
7			交通の便がよくないから	0	4	2	3	1
8			医療サービスが利用しにくいから	0	0	1	2	0
9			全体的に不便だから等	0	0	1	0	0
10			買い物がしやすいから	0	0	1	0	0
11			交通の便がよいから	0	0	0	1	1
12			医療サービスが利用しやすいから	0	0	1	0	1
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	1	6	7	19	7
14			景観がよいから	0	0	0	2	1
15			食べ物がおいしいから	0	0	2	2	0
16			まちの歴史があるから	0	0	1	2	0
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	0	0	0	0	0
18			育児環境がよいから	0	3	1	0	0
19			教育環境がよくないから	0	0	0	0	0
20			教育環境がよいから	0	1	1	0	0
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	1	3	1	4	2
22			治安がよくないから	0	0	0	0	0
23			被災時に不安があるから	0	0	0	0	0
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	0	2	6	12	1
25			加齢による不安があるから	0	1	9	10	4
26			住居・住宅を所有しているから等	0	4	5	6	2
27			転居の予定がないから	0	2	7	21	9
28			転居の予定があるから等	4	1	3	2	0
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	0	0	4	2	0
30			仕事上の都合があるから	0	2	2	0	0
31		進学・就職に関するもの	進学するから	3	0	0	0	0
32			就職（転職）するから	0	0	1	0	0
33			仕事が少ないから	0	0	0	0	1
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	0	0	1	0	0
35			将来的なことが分からないから	0	2	1	2	0
36			視野を広げるため	1	0	0	0	0
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	0	2	3	5	1
38			除雪があるから	0	2	6	7	1
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	0	0	0	0	0
40			自然環境がよいから	2	3	2	24	4
41			良質な水があるから	1	1	5	16	1
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	年代の将来性を感じないから	0	0	4	7	1
43			施設の更新等がされていないから	0	0	1	0	0
44			市政に不満があるから等	0	0	0	1	0
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0	0	0	0
46			経済的に厳しいから	0	0	0	0	0
47	その他	その他	現状に満足しているから	0	0	4	7	1
48			魅力を感じないから	0	0	1	0	0
49			イベントが多いから	0	0	0	1	0
50			資産があるから	0	0	0	0	0
51			その他（理由にならないもの）	0	1	1	2	1
合計				18	49	115	218	60

＜ 2-10-6.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・10 歳代では「買い物がしにくいから」、20～30 歳代では「仕事が少ないから」、40～50 歳代は「買い物がしにくいから」、「医療サービスが利用しにくいから」、「全体的に不便だから」、「育児環境がよくないから」、「仕事が少ないから」、60 歳代以上は「除雪があるから」（除雪作業があるから）が多くなっていました。

・大項目で見ると、10 歳代～50 歳代までは「生活の利便性に関するもの」に属する意見が多くなっていました。60 歳代以上は「雪に関するもの」に属する意見が多くなっていました。

年代別の大野地区へ日頃感じていること

地域を移したいと思う人の意見（できれば他の地域に移りたい）

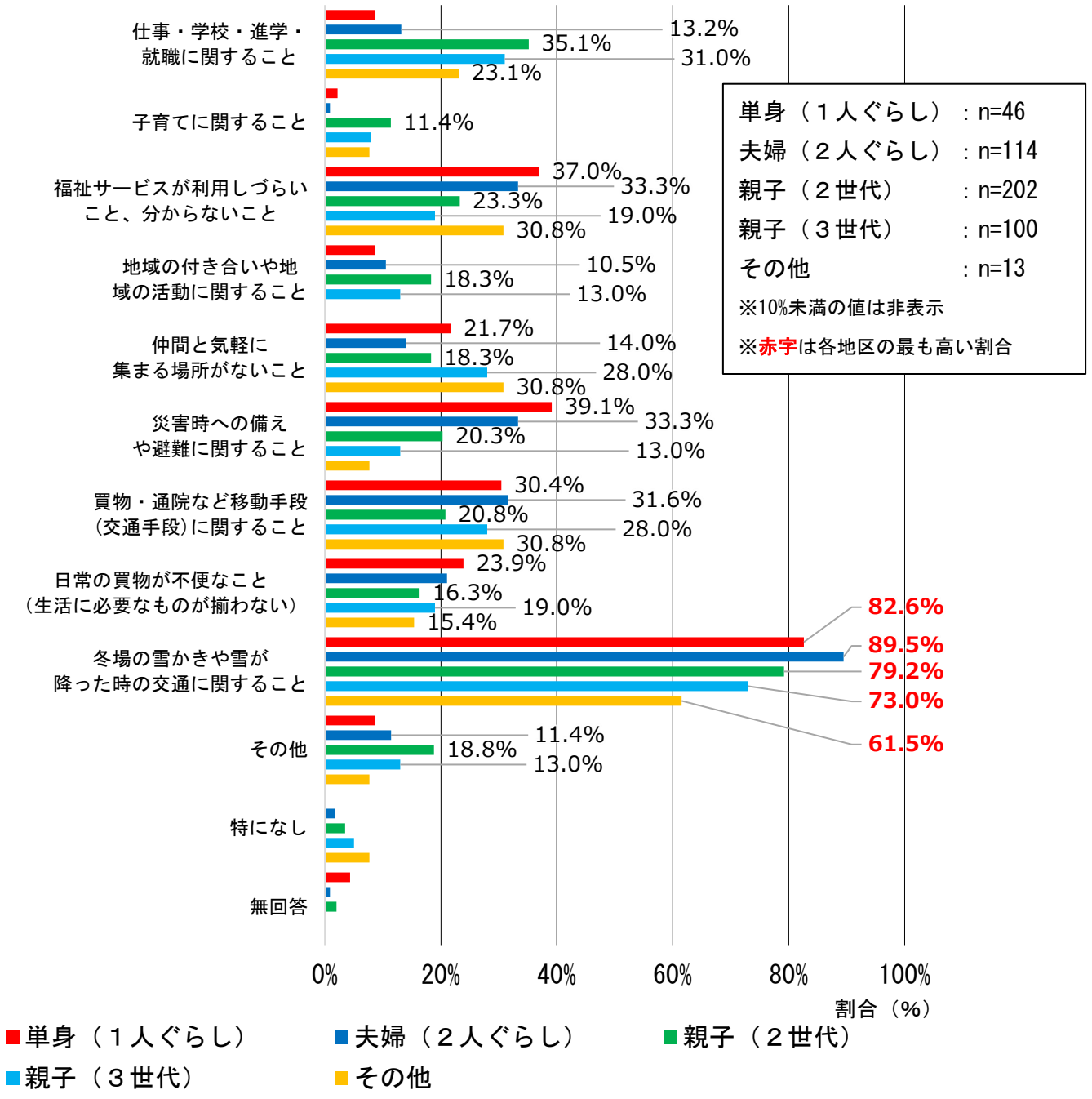
連番	カテゴリー	大項目	小項目	年代				
				10歳代	20～30歳代	40～50歳代	60～70歳代	80歳代以上
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	0	0	0	0	0
2			愛着があるから等	0	0	0	0	0
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	0	0	0	0	0
4			交流の場が少ないから	0	0	0	0	0
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	2	0	2	0	0
6			娯楽施設等がないから	0	1	0	0	0
7			交通の便がよくないから	1	1	0	3	0
8			医療サービスが利用しにくいから	0	1	2	3	0
9			全体的に不便だから等	0	2	2	2	0
10			買い物がしやすいから	0	0	0	0	0
11			交通の便がよいから	0	0	0	0	0
12			医療サービスが利用しやすいから	0	0	0	0	0
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	0	0	0	0	0
14			景観がよいから	0	0	0	0	0
15			食べ物がおいしいから	0	0	0	0	0
16			まちの歴史があるから	0	0	0	0	0
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	0	1	2	0	0
18			育児環境がよいから	0	0	1	0	0
19			教育環境がよくないから	0	1	1	0	0
20			教育環境がよいから	0	0	0	0	0
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	0	0	0	0	0
22			治安がよくないから	0	0	0	0	0
23			被災時に不安があるから	0	0	0	0	0
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	0	0	1	0	0
25			加齢による不安があるから	0	0	1	1	0
26			住居・住宅を所有しているから等	0	0	0	0	0
27			転居の予定がないから	0	0	0	0	0
28			転居の予定があるから等	1	0	0	2	0
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	0	0	0	0	0
30			仕事上の都合があるから	0	0	0	0	0
31		進学・就職に関するもの	進学するから	0	0	0	0	0
32			就職（転職）するから	1	0	0	0	0
33			仕事が少ないから	0	3	2	0	0
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	0	0	0	0	0
35			将来的なことが分からないから	0	0	0	0	0
36			視野を広げるため	0	0	0	0	0
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	0	0	1	4	0
38			除雪があるから	0	0	1	6	1
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	0	0	1	0	0
40			自然環境がよいから	0	0	0	0	0
41			良質な水があるから	0	0	0	1	0
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	年代の将来性を感じないから	0	0	0	0	0
43			施設の更新等がされていないから	1	0	0	1	0
44			市政に不満があるから等	0	0	0	0	0
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0	0	0	0
46			経済的に厳しいから	0	0	0	0	0
47	その他	その他	現状に満足しているから	0	0	0	0	0
48			魅力を感じないから	1	0	0	1	0
49			イベントが多いから	0	0	0	0	0
50			資産があるから	0	0	0	0	0
51			その他（理由にならないもの）	0	0	0	0	0
合計				7	10	17	24	1

属性別集計３．　第６地区の家族構成別の集計

＜ 3-1.　大野地区の不安な点（問３）＞

・家族構成問わず、「冬場の雪かきや雪が降った時の交通に関すること」といった雪に関することに不安を感じていました。

家族構成別の大野地区の不安な点

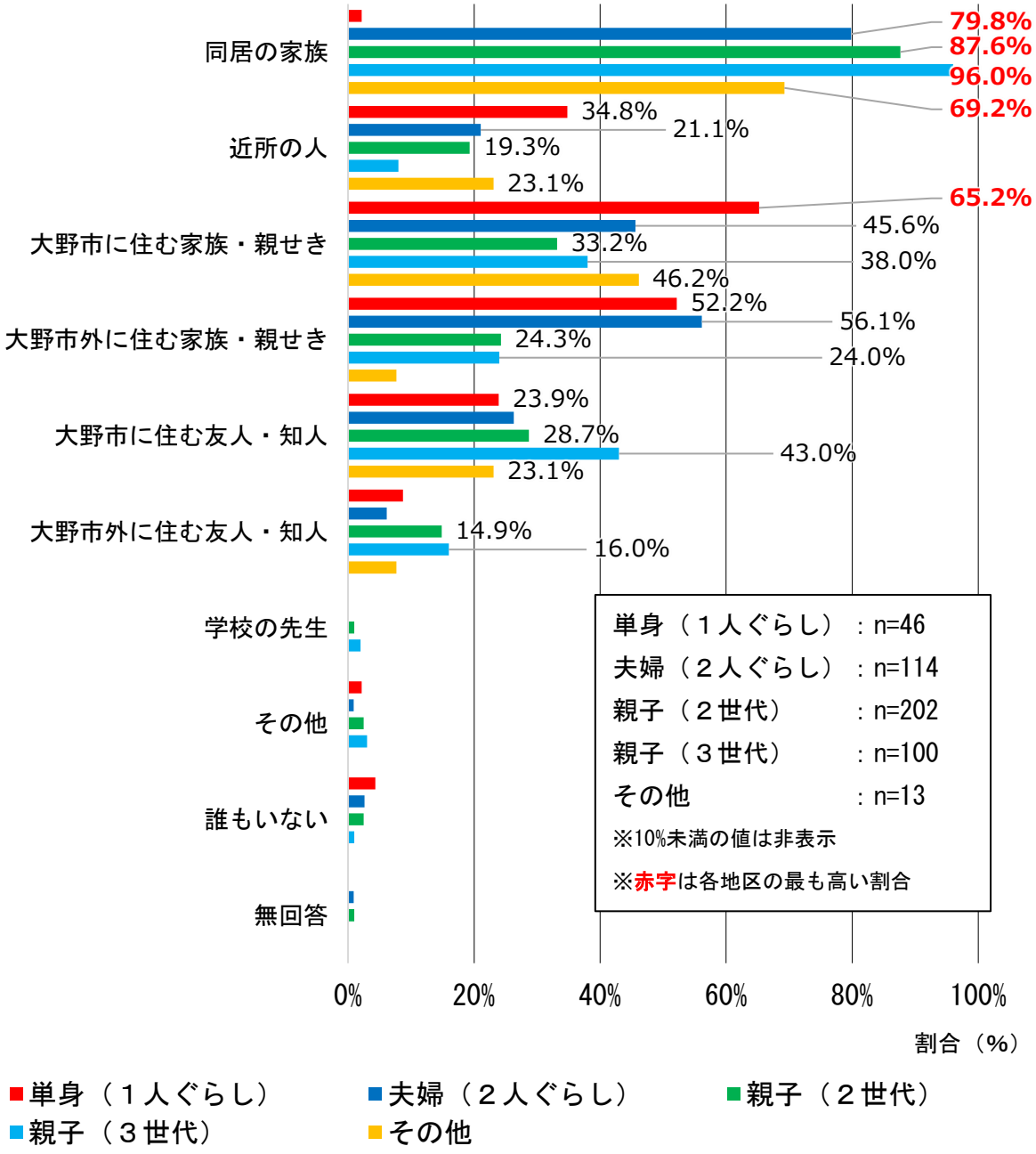


＜3-2.　相談する相手（問４）＞

・単身世帯（１人ぐらし）以外は、「同居する家族」に相談する方が多くいました。

・一方で、単身世帯（１人ぐらし）は「大野市に住む家族・親せき」に相談する方が多くいました。

家族構成別の相談相手



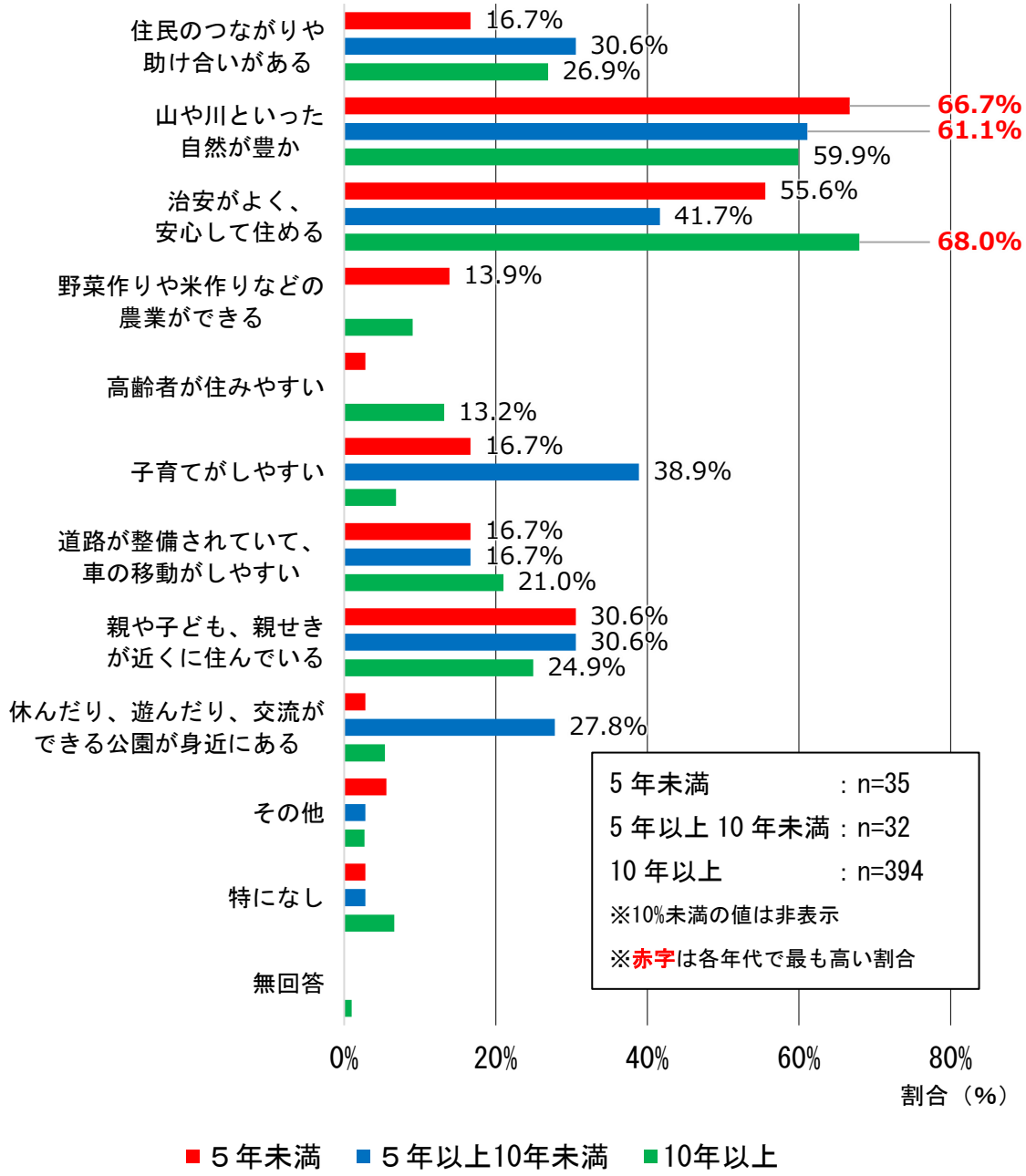
属性別集計４．　第６地区の居住歴別の集計

＜ 4-1.　大野地区の良い点（問２）＞

・居住歴が 10 年未満の方は、「山や川といった自然が豊か」が良い点と思われていました。

・居住歴が 10 年以上の方は、「治安がよく、安心して住める」が良い点と思われていました。

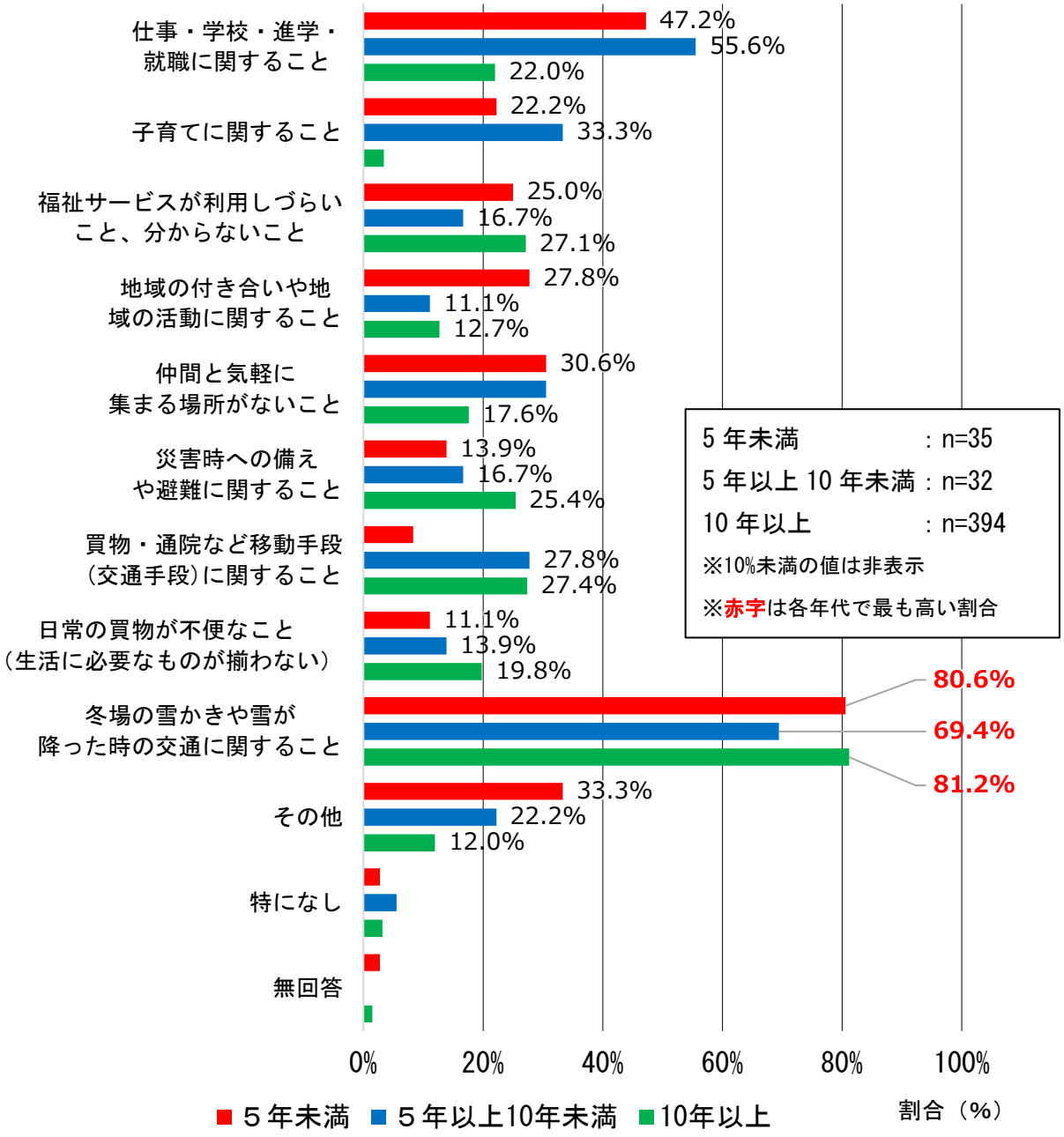
居住歴別の大野地区の良い点



＜ 4-2.　大野地区の不安な点（問３）＞

・居住歴問わず、「冬場の雪かきや雪が降った時の交通に関すること」といった雪に関することに不安を感じていました。

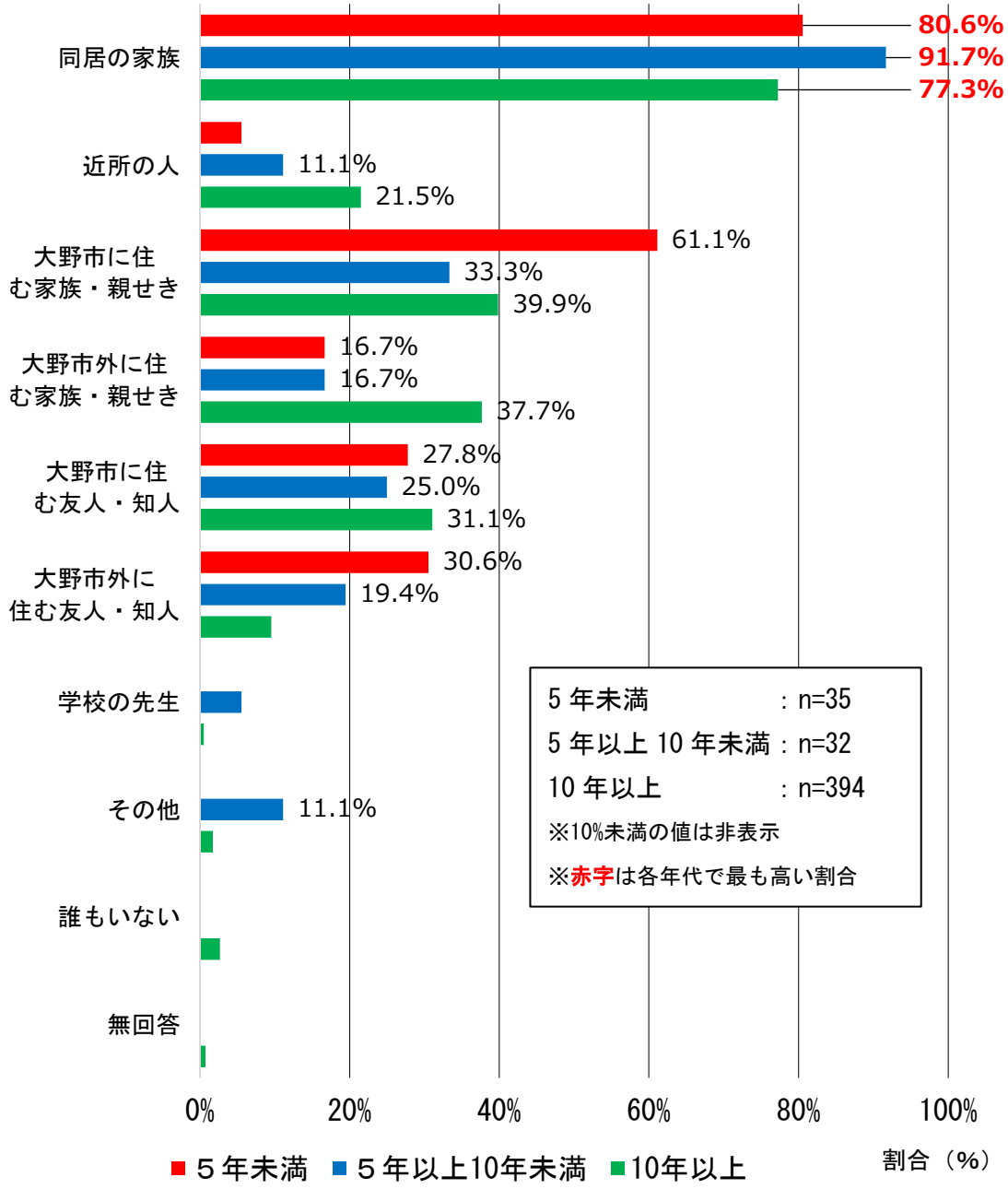
居住歴別の大野地区の不安な点



＜ 4-3.　相談する相手（問４）＞

・居住歴問わず、「同居の家族」に相談している方が多くいました。

居住歴別の相談相手

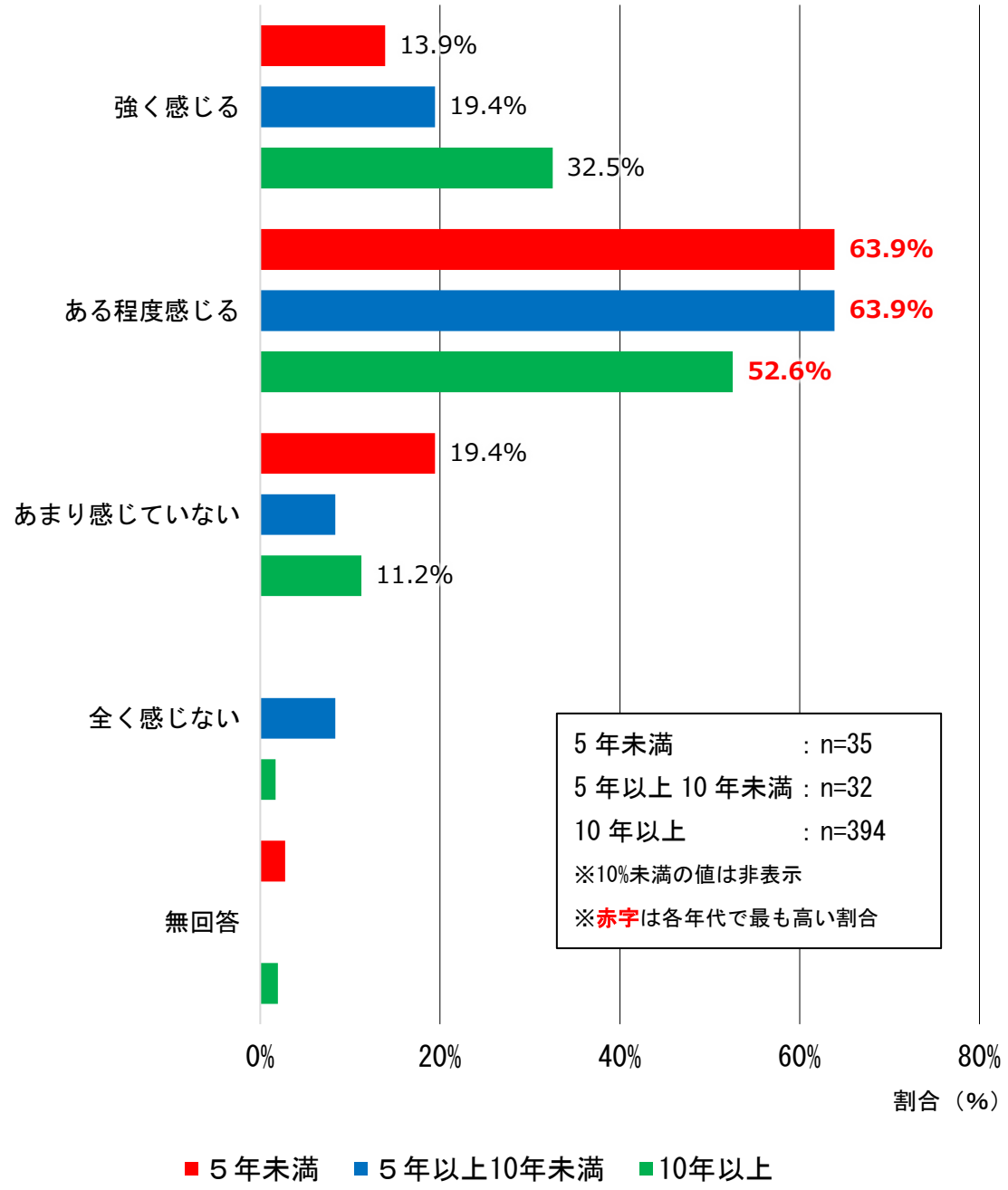


＜ 4-4-1.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 愛着 ＞

・居住歴問わず、大野地区にある程度愛着を感じていました。

居住歴別の大野地区へ日頃感じていること

愛着

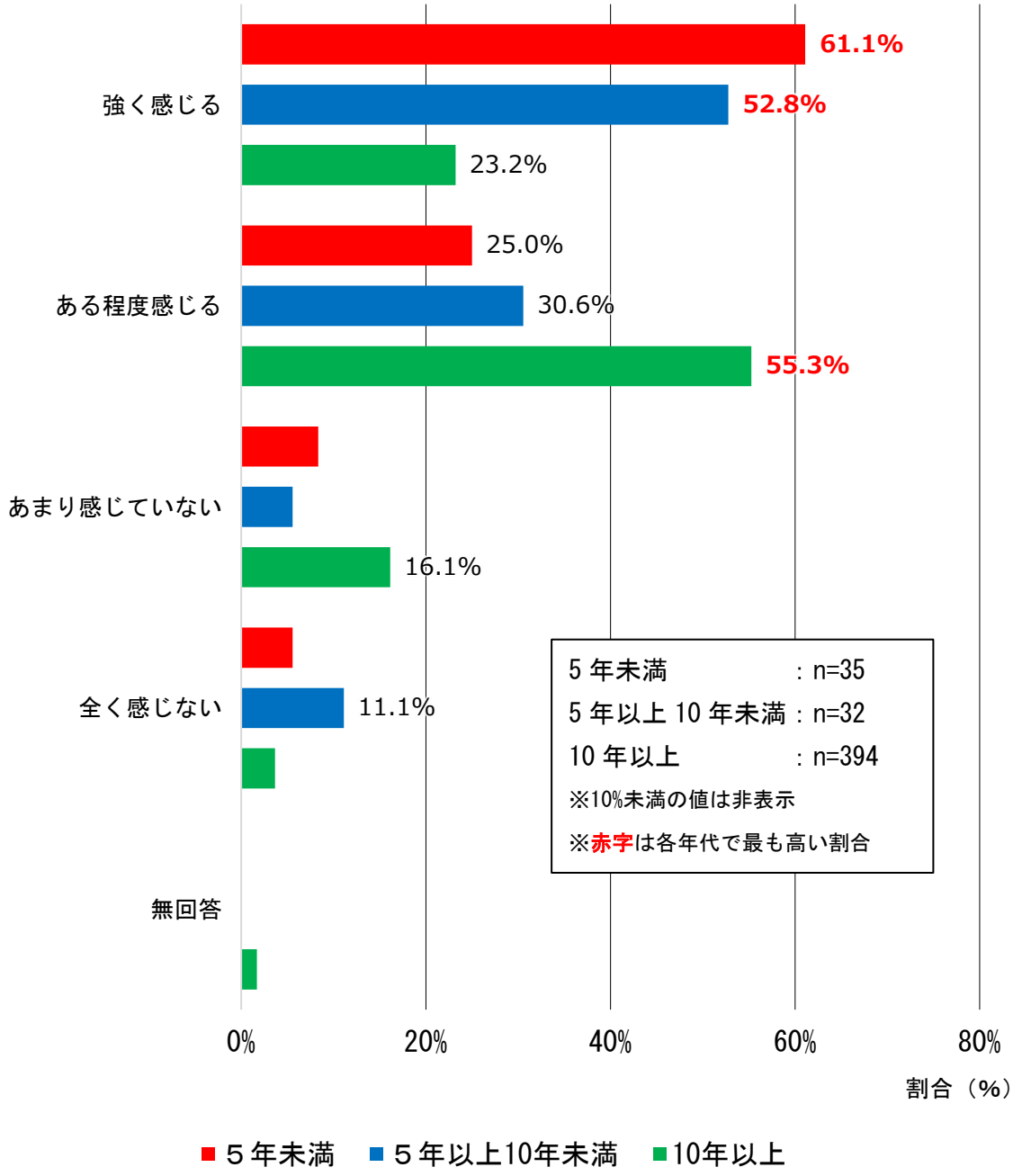


＜ 4-4-2.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 住みやすさ ＞

・居住歴問わず、多くの方が大野地区を住みやすいと感じていますが、居住歴が 10 年以上の方は、他の居住歴の方と比べて住みやすさの感じ方がやや低い傾向にあります。

居住歴別の大野地区へ日頃感じていること

住みやすさ

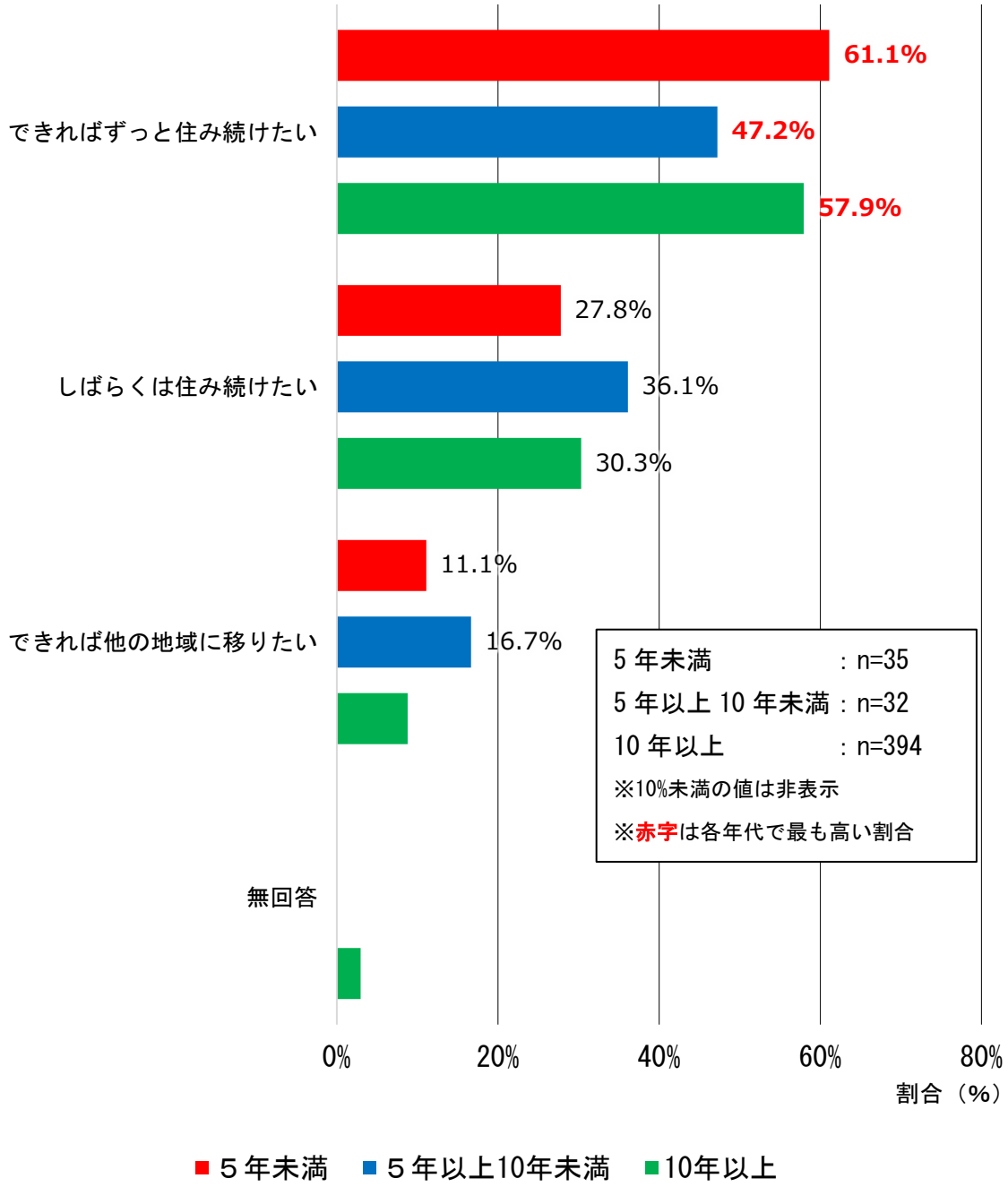


＜ 4-4-3.　大野地区へ日頃感じていること（問１０）- 居住意向 ＞

・居住歴問わず、大野地区にできればずっと住み続けたいと感じていました。

居住歴別の大野地区へ日頃感じていること

居住意向



＜ 4-5-4.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・居住歴５年未満の方は、住み続けたい理由として「居住環境・都市環境がよいから」、「自然環境がよいから」が多くなっていました。一方で、居住歴５年以上 10 年未満の方は「転居の予定があるから等」が多く、将来的に大野地区を離れたいといったような意見が確認されました。居住歴 10 年以上の方は「出身地だから（住み慣れている等）」が多くなっていました。

・大項目で見ると、居住歴問わず、仕事や子どもの就学等の「家庭の事情などに関するもの」に分類される意見が住み続けたい理由でした

居住歴別の大野地区へ日頃感じていること

住み続けたいと思う人の意見（できればずっと住み続けたい、しばらく住み続けたい）

連番	カテゴリー	大項目	小項目	居住歴		
				５年未満	５年以上10年未満	10年以上
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	0	2	69
2			愛着があるから等	1	2	13
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	1	1	26
4			交流の場が少ないから	0	1	0
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	1	0	3
6			娯楽施設等がないから	1	0	1
7			交通の便がよくないから	1	2	7
8			医療サービスが利用しにくいから	2	0	1
9			全体的に不便だから等	0	0	1
10			買い物がしやすいから	0	0	1
11			交通の便がよいから	0	0	2
12			医療サービスが利用しやすいから	0	0	2
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	4	2	34
14			景観がよいから	0	0	3
15			食べ物がおいしいから	1	0	3
16			まちの歴史があるから	0	1	2
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	0	0	0
18			育児環境がよいから	2	2	0
19			教育環境がよくないから	0	0	0
20			教育環境がよいから	0	2	0
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	2	0	9
22			治安がよくないから	0	0	0
23			被災時に不安があるから	0	0	0
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	2	0	19
25			加齢による不安があるから	3	3	18
26			住居・住宅を所有しているから等	3	2	12
27			転居の予定がないから	0	1	38
28			転居の予定があるから等	2	4	4
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	1	0	5
30			仕事上の都合があるから	2	0	2
31		進学・就職に関するもの	進学するから	0	1	2
32			就職（転職）するから	0	0	1
33			仕事が少ないから	0	0	1
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	0	0	1
35			将来的なことが分からないから	1	0	4
36			視野を広げるため	0	0	1
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	2	1	8
38			除雪があるから	1	2	13
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	0	0	0
40			自然環境がよいから	4	1	30
41			良質な水があるから	3	2	19
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	性別の将来性を感じないから	0	0	12
43			施設の更新等がされていないから	0	0	1
44			市政に不満があるから等	0	0	1
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0	0
46			経済的に厳しいから	0	0	0
47	その他	その他	現状に満足しているから	0	0	12
48			魅力を感じないから	0	0	1
49			イベントが多いから	0	0	1
50			資産があるから	0	0	0
51			その他（理由にならないもの）	1	0	4
合計				41	32	387

＜ 4-5-5.　大野地区へ日頃感じていること（問１０（４））- 居住意向の理由 ＞

・居住歴が５年未満の方は、他の地域に移りたい理由にばらつきがあるものの、不便さや教育環境の不十分さといった「居住地によるもの」、転居の予定や仕事が少ないといった「家庭の事情または一身上の都合によるもの」に属する意見の回答がありました。居住歴５年以上 10 年未満の方は「医療サービスが利用しにくいから」、「育児環境がよくないから」が多くなっていました。居住歴 10 年以上の方は、「除雪があるから」（除雪作業があるから）が多くなっていました。

・大項目で見ると、居住歴５年未満の方はばらつきがありますが、居住歴５年以上の方は「生活の利便性に関するもの」に属する意見が他の地域に移りたい理由でした。

居住歴別の大野地区へ日頃感じていること

地域を移したいと思う人の意見（できれば他の地域に移りたい）

連番	カテゴリー	大項目	小項目	居住歴		
				５年未満	５年以上10年未満	10年以上
1	郷土愛によるもの	市・地区への愛着に関するもの	出身地だから（住み慣れている等）	0	0	0
2			愛着があるから等	0	0	0
3	居住地によるもの	人間関係に関するもの	人付き合いがあるから等	0	0	0
4			交流の場が少ないから	0	0	0
5		生活の利便性に関するもの	買い物がしにくいから	0	1	3
6			娯楽施設等がないから	0	1	0
7			交通の便がよくないから	0	0	5
8			医療サービスが利用しにくいから	0	3	3
9			全体的に不便だから等	1	1	4
10			買い物がしやすいから	0	0	0
11			交通の便がよいから	0	0	0
12			医療サービスが利用しやすいから	0	0	0
13		生活の満足度に関するもの	居住環境・都市環境がよいから	0	0	0
14			景観がよいから	0	0	0
15			食べ物がおいしいから	0	0	0
16			まちの歴史があるから	0	0	0
17		育児・教育に関するもの	育児環境がよくないから	0	3	0
18			育児環境がよいから	0	0	1
19			教育環境がよくないから	1	1	0
20			教育環境がよいから	0	0	0
21		安全・安心に関するもの	治安等がよいから	0	0	0
22			治安がよくないから	0	0	0
23			被災時に不安があるから	0	0	0
24	家庭の事情または一身上の都合によるもの	家庭の事情等に関するもの	家族・家庭の事情があるから	0	0	1
25			加齢による不安があるから	0	0	2
26			住居・住宅を所有しているから等	0	0	0
27			転居の予定がないから	0	0	0
28			転居の予定があるから等	1	0	2
29		自身の職業に関するもの	市内で就職したから	0	0	0
30			仕事上の都合があるから	0	0	0
31		進学・就職に関するもの	進学するから	0	0	0
32			就職（転職）するから	0	0	1
33			仕事が少ないから	1	1	3
34		自己実現・自己研鑽に関するもの	夢があるから等	0	0	0
35			将来的なことが分からないから	0	0	0
36			視野を広げるため	0	0	0
37	自然によるもの	雪に関するもの	降雪があるから	0	0	5
38			除雪があるから	1	0	8
39		自然に関するもの	水質に不安があるから	0	1	0
40			自然環境がよいから	0	0	0
41			良質な水があるから	0	0	1
42	市政によるもの	市政への不満に関するもの	性別の将来性を感じないから	0	0	0
43			施設の更新等がされていないから	0	0	2
44			市政に不満があるから等	0	0	0
45		社会保障等に関するもの	合理的配慮の提供が少ないから	0	0	0
46			経済的に厳しいから	0	0	0
47	その他	その他	現状に満足しているから	0	0	0
48			魅力を感じないから	0	0	2
49			イベントが多いから	0	0	0
50			資産があるから	0	0	0
51			その他（理由にならないもの）	0	0	0
合計				5	12	43

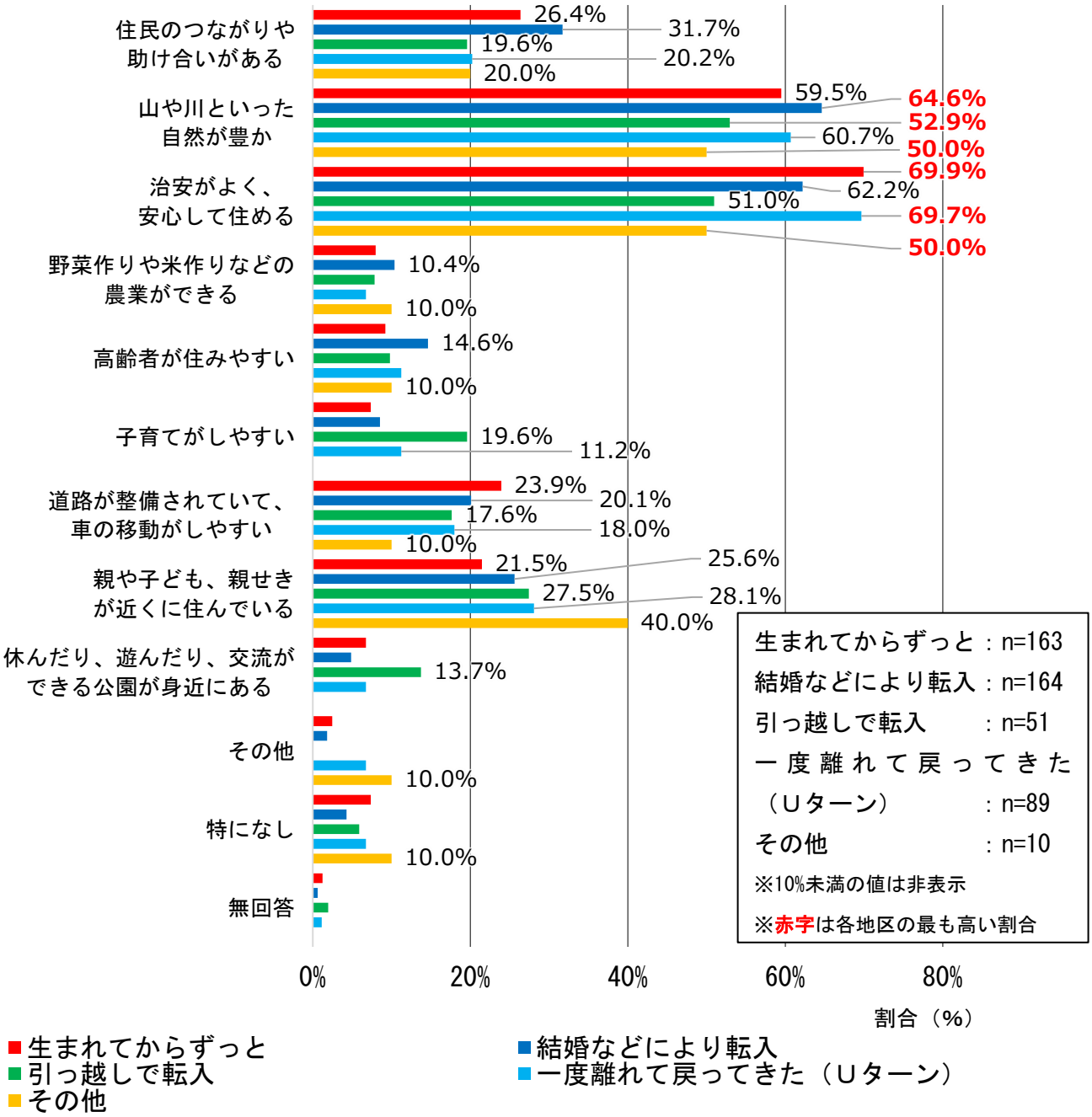
属性別集計５．　第６地区の居住理由別の集計

＜ 5-1.　大野地区の良い点（問２）＞

・結婚などにより転入した方や引っ越しで転入といった方といった外から来た方は、「山や川といった自然が豊か」が良い点と思われていました。

・一方で、生まれてからずっと大野地区に住んでいる方やUターンで帰ってきた方といった出身地が大野地区の方は、「治安がよく、安心して住める」が良い点と思われていました。

居住理由別の大野地区の良い点

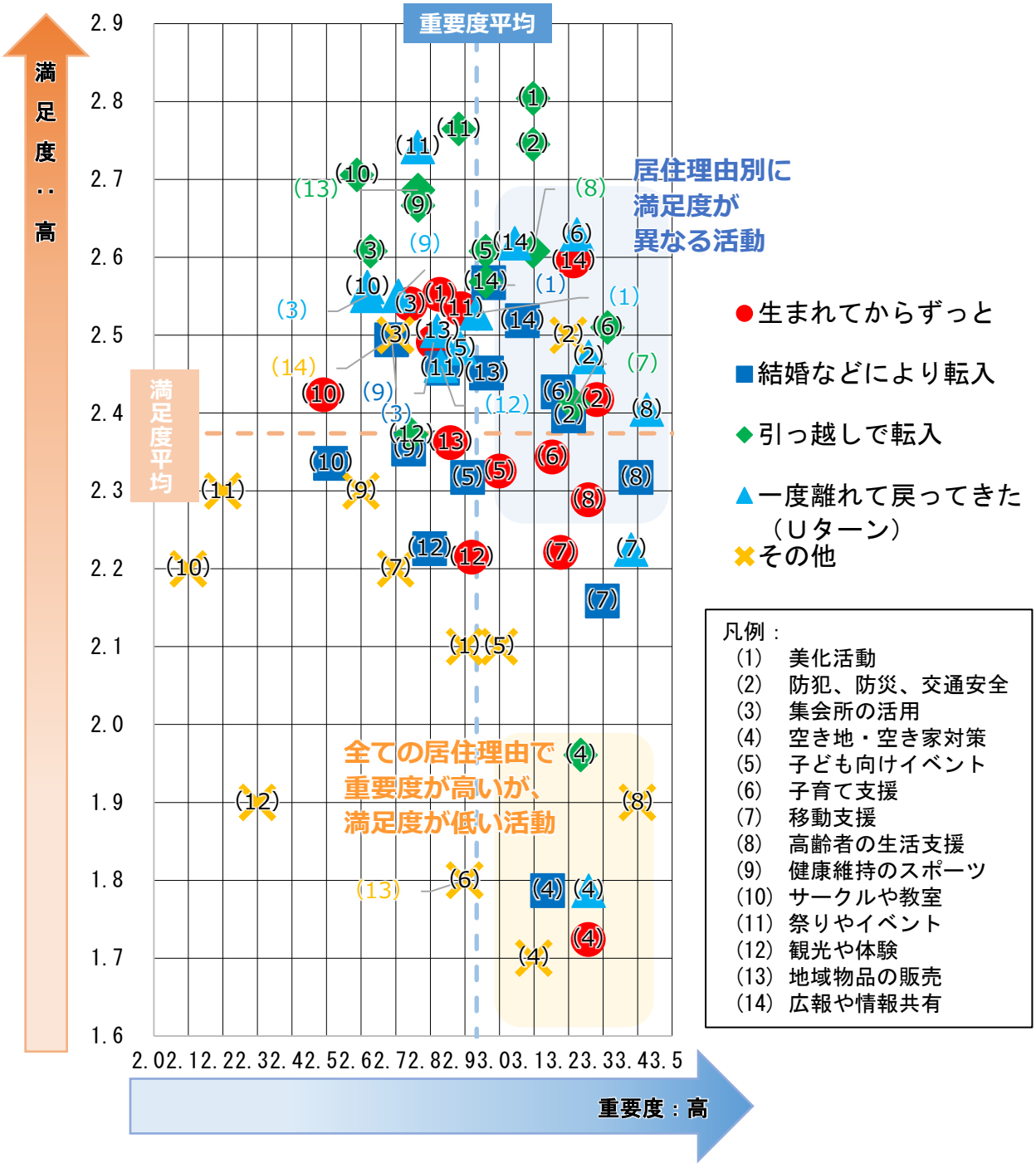


＜ 5-2.　地域で行っている、または行うべき活動について（問６）＞

・居住理由問わず、「（４）空き家・空き地対策」が重要だと思いつつ、不満に感じていました。

・「（６）子育て支援」、「（８）高齢者の生活支援」は、居住理由で共通して重要だとおもわれていますが、生まれてからずっと住んでいる方と結婚などにより転入した方は満足度が低い結果となりました。

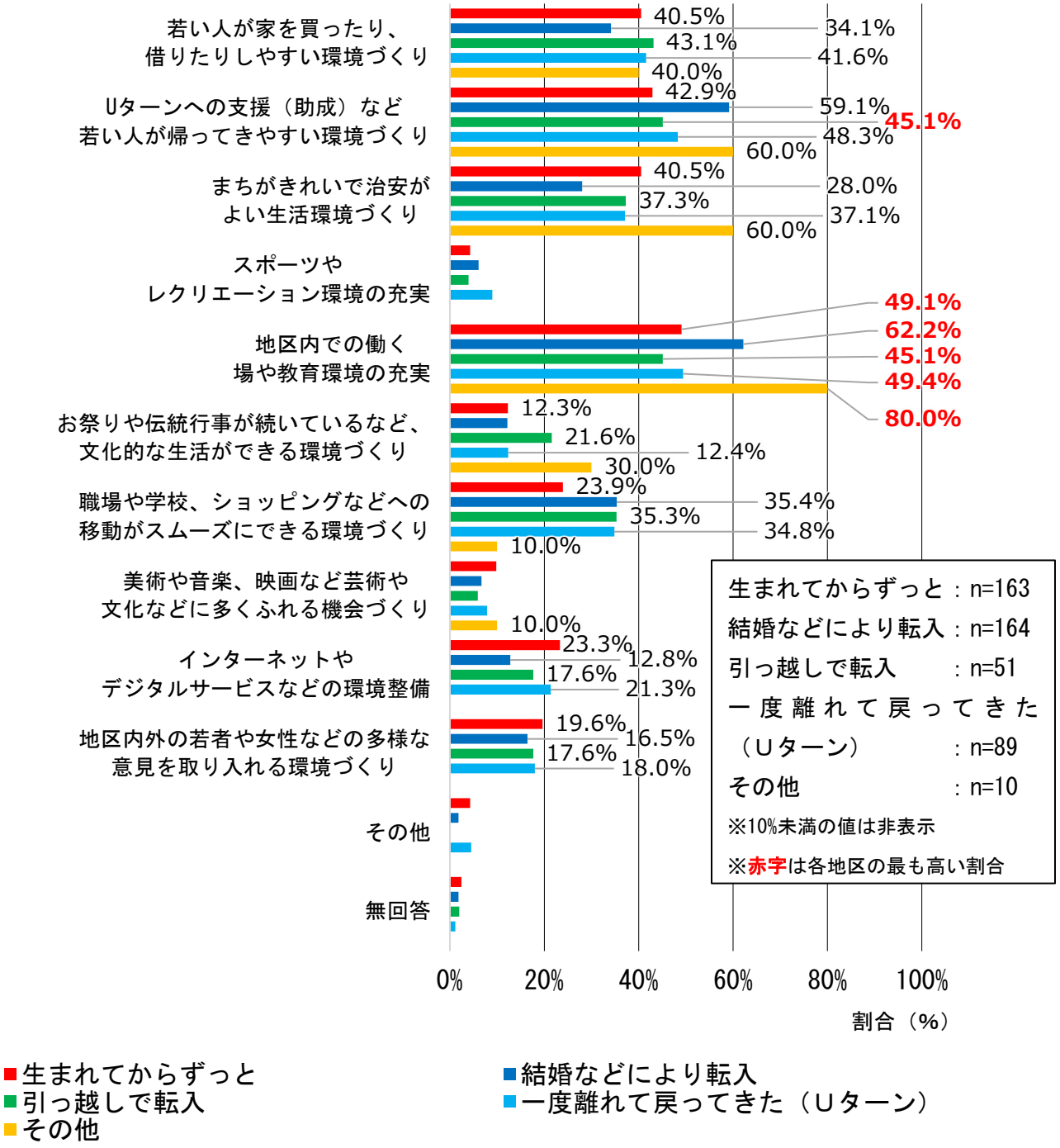
居住理由別の各活動の重要度と満足度



＜ 5-3.　若い世代が１０年後も大野地区で安心して住むために必要なこと（問８）＞

・居住理由問わず、「地区内での働く場や教育環境の充実」が必要であると感じていました。また、引っ越しで転入された方は、「Uターンへの支援（助成）など若い人が帰ってきやすい環境づくり」も必要であると感じていました。

居住理由別の若い世代が住むために必要なこと



【第２部－住民等参加推進の支援】

（１）記念講演・パネルディスカッション

１）趣旨・目的

・県内各地で取材されている講師の方から、大野の強みや弱み、取組の参考となる事例や知見を得ること、プロジェクトチームメンバーを中心にフォーラムの企画検討から運営を通じてまちづくり活動の機運醸成を高めること、今年度実施した大野地区住民アンケート調査結果の中間報告を住民の方にも広く知っていただく機会とすることが目的です。

２）開催概要

① 全体概要

・日時	令和 5 年 12 月 17 日（日）　午後 1 時 40 分～午後 3 時 20 分
・場所	学びの里「めいりん」1 階　講堂
・参加者対象	・プロジェクトチームメンバー、区長、役員、一般の方
・参加者数	150 名 ・スタッフ：プロジェクトチームメンバー 10 名
・テーマ・講師	・テーマ:「取材から見えたまちづくり～ふるさと大野への思い～」 ・講師：羽生 ちひろ氏
・当日の流れ	① アンケート中間報告 ② 基調講演 ③ パネルディスカッション
・広報	ちらし、館報、新聞の折込チラシ、大野市公式 LINE、 SNS（Facebook、Instagram）

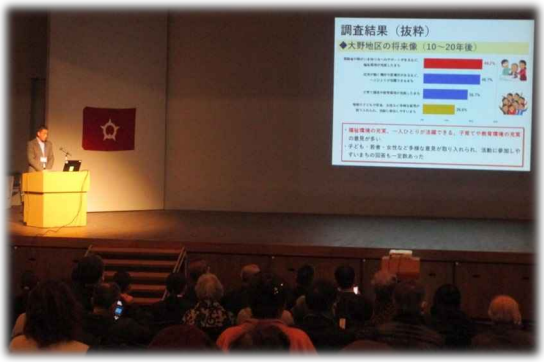
② 記念講演・パネルディスカッションの概要

〈全体の進行、アンケート中間報告〉

・プロジェクトチームメンバーに、記念講演全体の司会進行や今年度実施した大野地区住民アンケート調査結果の中間報告を行っていただきました。



司会の様子



アンケート中間報告の様子

〈記念講演〉

▶ニュースの読み方のクイズ

▶外から見た大野の印象

⇒歴史が感じられる町並み、新しい店との融合もおもしろい、将来性に期待、酒、若い人が元気、「福井は海」というイメージを覆してくれた場所、自然・風景、おいしい食べ物、良い人が多い、五感で培える原風景があること



羽生ちひろ氏の講演の様子

▶まちづくりの重要な要素（事例紹介交えて）

①つながり：お買い物バス「あごころ」（福井市安居地区）、
公民館報 執筆リレー（阪谷地区）

②継続：田村のゆめづくり協議会の取組（小浜市中名田地区）

⇒1 人 1 人に役割があり仕事をしたという実感が大事、派手にやらず小さなことからコツコツと

③変化：伝統芸能「こいとさ」（南越前町甲楽城地区）、伝統の民謡「糠どっさり」（南越前町糠地区）、荒島旅舎（大野地区）

⇒決まりにとらわれない、取組のハードルを下げる、新しい風を柔軟に受け入れて共に盛り上げる

▶これまらのまちづくり：「柔軟な“結”のカタチ」を模索

・集落・地区を越えてタッグを結ぶ、デジタルを活用して後世に

▶まちづくりとは

・新幹線開業の契機を活かし、1 人 1 人が自分のこととして考えていくことが大切

〈パネルディスカッション〉

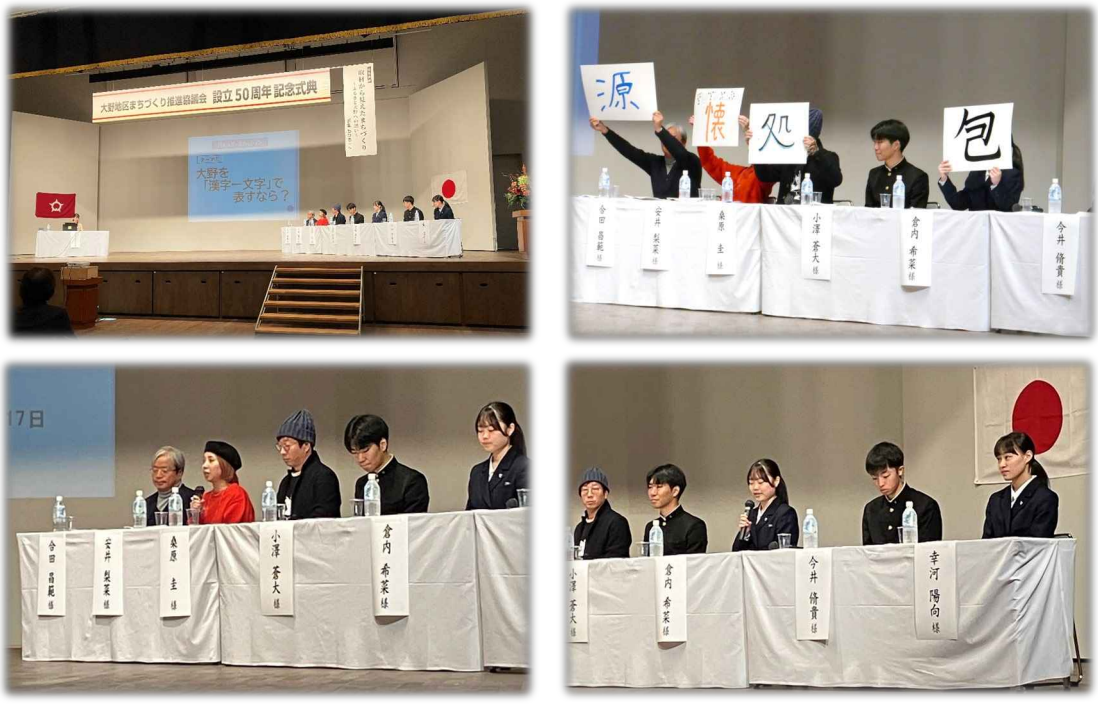
・進行：羽生ちひろ氏

・パネリスト：合田昌範氏（泉町２区区長）
安井梨菜氏
（大野を楽しむ SNS「おおのそだち」運営、ふくい移住サポーター）
桑原圭氏（荒島旅舎運営、編集デザイナー）
小澤蒼大氏、倉内希菜氏、今井脩貴氏、幸河陽向氏（大野高校生徒会）

≪テーマ①：大野を漢字１文字で表すなら？≫

合田氏	「源」 ・理由は、トンネルを抜けて見える広大な大地や原風景があり、水も豊かであるため、さんずい（氵）の源とした。
安井氏	「懐」 ・理由は、大野は懐が深いと感じるからである。 ・都会からＵターンして５年目となるが、大野は個性豊かな人が多く、働き方も多様。無関心でもなく過干渉でもないところが良い。 ・都会とは異なりフリーランスであっても保育園に入れやすく、子育てがしやすいと感じている。
桑原氏	「処」 ・大野市の和泉地区では週１回、地域の方を対象に食事を提供している。また、自身も荒島旅舎を運営しているが、大野には誰かにとっての居場所、人の拠り処が増えていると感じたため。
今井氏	「包」 ・理由は、大野が地理的に大野盆地に囲まれていることに加えて、地域の方が優しくしてくれる、声をかけてくれる温かい人に囲まれているからである。

羽生氏	（大野高校の生徒の皆さんへの質問） ・大野のお気に入りや SNS 映えスポットはあるか。
倉内氏	・お気に入りの場所は「荒島の郷」で、理由は普段とは違った特別な買い物ができるからである。 ・SNS 映えスポットは「天空の城 越前大野城」である。



パネルディスカッションの様子

≪テーマ②：ビジネスの可能性、大野で働くということ≫

合田氏	・大野で事業をいちから始めるのは都会よりも大変な部分はある。 ・サイドビジネスなどビジネスの種を見つけていくこと、兼業や副業から始めてみることも重要である。
安井氏	・実際のお店で働くことで、子育ての相談を受けたり、仕事の窓口となっている。 ・「結の故郷ビジネスサポートチーム（結サポ）」として、月に１回、地元の事業所の支援を行っている。その中で、大野の方は、商品に対して強気な値段設定をする方は少ない印象がある。 ・大野では都会ではできない働き方ができると感じている。
桑原氏	・荒島旅舎を始めて３年目となり、ホステルでは食事の提供はしておらず、宿泊された方にはまちに出て欲しいと思っている。 ・大野の強みは、副業など専業でない働き方があることや自然のアクティビティがあることだと感じている。一方で弱みとしては、様々な動きはあるがそれが繋がっていないところだと思う。
羽生氏	・高校生の皆さんはビジネスというと難しいかもしれないが、大野にこんな施設や場所があるといいなと思うことはあるか。
幸河氏	・大野の豊かな自然を活かしたフォレストアドベンチャーがあると良い。名水を活かした水遊びや体験ができる場があると良い。

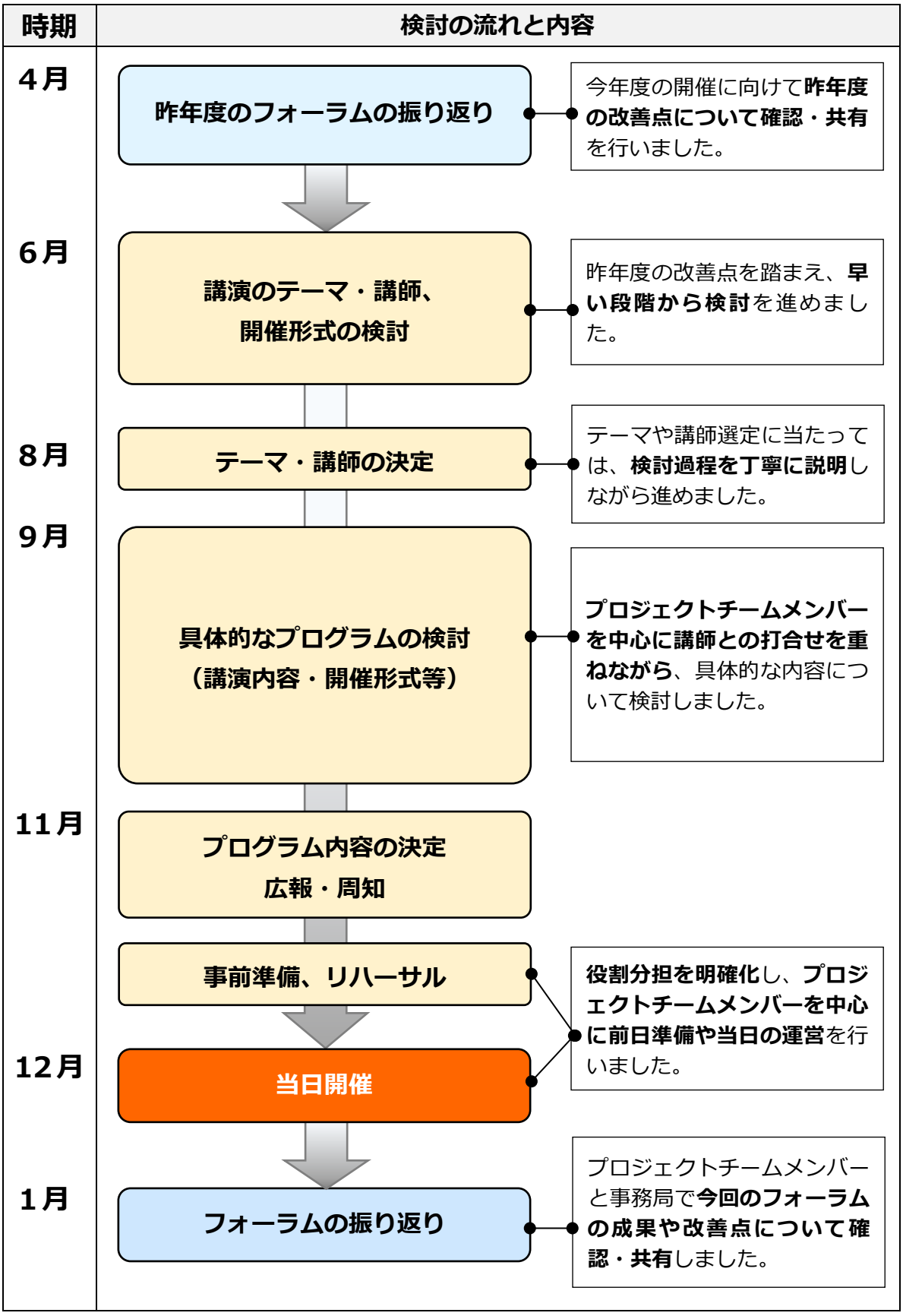
≪テーマ③：10 年後こうあってほしい 未来予想図≫

合田氏	・今のまま変わって欲しくない。JR 越美北線も継続して欲しい。 ・まちなかの賑わいは変わって欲しい。木陰からまちの風景を見れると良い。 ・自分ができることは、色んな人の取り組みを繋げていくこと。
安井氏	・子どもが笑顔になって欲しい。そのためには、大人も笑顔になれることが大切だと思う。
桑原氏	・今ある地元の銭湯や和菓子屋さんなどが残って欲しい。また、若い人が自己実現できるまちにもなって欲しい。 ・自分ができることは、大野にまた来てくれる人を増やすこと。
小澤氏	・大野に子どもがたくさんいて、七間通りに賑わいがあると良い。 ・自分たちができることは、文化を継承することや新しい文化をつくることだと思う。例えば、名水マラソンや夏に雪まつりを行う。
幸河氏	・大きな冷蔵庫に冬の雪を残しておいて、かまくらをつくり、そこでバーベキューをするなどの意見が高校生から出ていた。

≪参加者からの質問・感想≫

・大野に移住した人が変わらないで欲しいという意見が良かった。若い人が帰って来れるまちになるよう頑張りたい。

3）プログラムの検討過程



４）成果と課題

・昨年度の課題として、講演テーマや講師選定の検討や調整が短期間であり、中心メンバーであるプロジェクトチームとのコミュニケーションが不十分であったことが挙げられていました。そのため、今回は年度の早い段階で、プロジェクトチームメンバーを中心に講演テーマや講師選定に向けて会議を重ねながら検討を進めることができました。
・プロジェクトチームメンバーと講師がコミュニケーションを図りながら講演内容について検討することができたとともに、大野地区で活動する移住・定住者や大野高校の学生の参加にも繋がりました。
・当日アンケートでは、今回のプログラムの内容について約８割の方が概ね満足された結果となっており、昨年度よりも満足度が高くなっていました。また、記念講演やパネルディスカッションの感想として「他地区の具体的なまちづくりの話は参考になった。一人ひとりが考えていくことが大事」、「若者や移住された方のお話をお聞きし、大野にはまだまだ魅力があることに気付いた」、「高校生の考えを聞くことができ印象に残った。若者のアイデアの活用を考えるべき」などの前向きな意見を得ることができました。
・さらに、アンケート中間報告では、「大野のまちづくりに力を入れていることが理解できた、大野の問題点を再確認できた」、「雪に関する課題が多いことはやはりと思った」、「大野に愛着や住みやすさを感じてる人が思った以上に多い」、「若者が住みやすい、子育てしやすいまちになるよう協力したい」などの意見があり、広く周知することができました。
・課題としては、プロジェクトチームメンバーとの振り返りで、「寒い時期の開催であったため開催時期の見直しが必要」、「高校生のアイデアを活かしていくべき」、「大野地区内の様々な取組を把握し、連携することが必要」などの意見があったことから、来年度以降の取組として検討していくことが必要です。

＜参考資料１：参加者アンケート結果＞

令和５年度 大野地区地域課題解決検討会

記念講演・パネルディスカッション
参加者アンケート ご協力のお願い

Ｑ１　今回の催しを知ったきっかけを教えてください。（あてはまるもの全てに○）

１．大野公民館の館報	２．チラシ	３．大野市公式 LINE
４．ＳＮＳ（Facebook・Instagram）		
５．知人の紹介・口コミ		
６．その他（　　）		

Ｑ２　今回参加した理由を教えてください。

Ｑ３　感想を教えてください。（あてはまるもの１つに○）

１．非常に良かった	２．良かった	３．普通	４．あまり良くなかった
５．良くなかった	６．その他（　　）		

Ｑ４　大野地区住民アンケート調査の結果報告の中で、印象に残ったことはありますか。

Ｑ５　記念講演やパネルディスカッションの中で、特に印象に残ったことはありますか。

Ｑ６　次回以降も今回のような催しに参加したいですか。（あてはまるもの１つに○）

１．ぜひ参加したい	２．時間があれば参加したい	３．あまり参加したくない
４．参加したくない	５．その他（　　）	

Ｑ７　現在、大野地区地域課題解決検討会のプロジェクトチームでは、大野地区在住の女性や若者を中心に一緒に活動するメンバーを募集しています。活動に参画いただける方は、氏名や電話番号、お住いの地区・校区をご記入ください。

氏　名（　　）	電話番号（　　）
お住いの地区・校区（ 地区名：	校区：　　小学校）

以上でアンケートは終了となります。ご協力いただき、ありがとうございます。

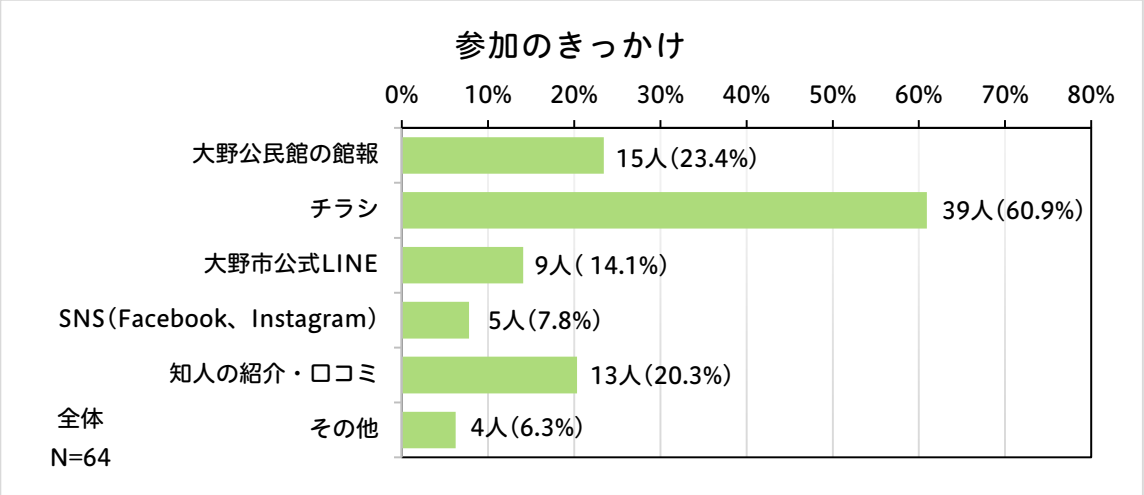
令和５年度　大野地区地域課題解決検討会　記念講演・パネルディスカッション

参加者アンケート結果まとめ（64 名分）

Q１　今回の催しを知ったきっかけ（複数回答）

・回答者のうち、「チラシ」の割合が最も多くなっており、次いで、「大野公民館の館報」、「知人の紹介・口コミ」となっています。

・昨年度と比較すると、「チラシ」と回答した割合が高くなっています（昨年度は約２割）。



【その他の回答】　・新聞　・まちづくり推進協議会

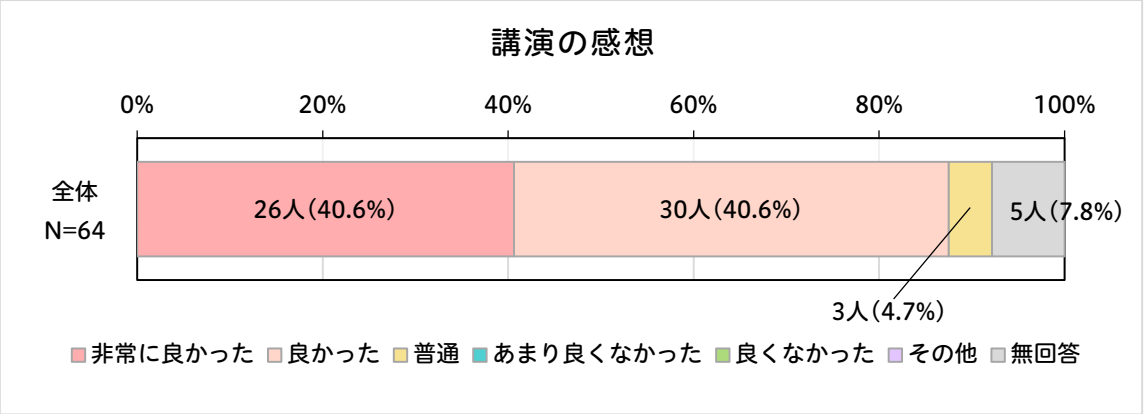
Q２　参加理由

講師の話が聞きたいから（26 人）	・地元出身の羽生氏の話を聞いてみたいから ・羽生氏の話が楽しそうだから、楽しみにしていたから ・羽生氏はよくテレビに出ているので興味や関心があった
イベントに合わせて参加（9 人）	・着付け教室やベビーヨガなどの講座やキッチンカー、ミニコンサートなどのイベントがあったから
まちづくりに関心があるから（6 人）	・活動報告とこれからの進め方が聞きたいから ・大野のまちづくりについて知りたかったから ・大野に関わる素晴らしい内容の企画がなされていることに強い関心を持ったため
まちづくり推進協議会 50 周年であったから（２人）	・まちづくり推進協議会設立 50 周年が気になったから ・50 周年の節目で参加したいと思ったから
その他（17 人）	・大野高校の生徒がパネリストとして出演するから ・息子がパネルディスカッションに参加するため ・知り合いに誘われたから ・公民館の講座に通っているから

Q３　参加した感想（あてはまるもの１つ選択）

・回答者のうち、「非常に良かった」、「良かった」の割合が同程度となっており、「非常に良かった」、「良かった」を合わせると、約８割となっています。

・昨年度のフォーラムでは、「非常に良かった」と「良かった」の割合は約５割であったため、今年度は昨年度よりも参加者の満足度が高くなっています。



Q４　アンケート調査結果の報告で特に印象に残ったこと（記述：32 名）

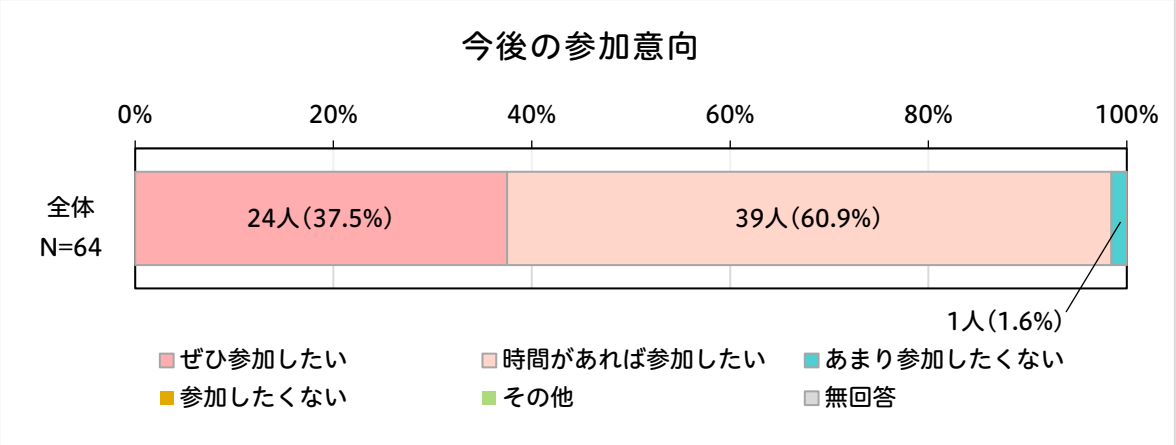
全体	・大野のまちづくりに力を入れていることが理解できた、大野の問題点を再確認できた ・自分もそうだが大野のことを大事にしたい市民の心が強く感じられた ・回答数が少ない
生活する上で不安なこと、困りごと	・必要なことに福祉が上位であったこと、若者とそれ以外の年代別で不安に思うことに違いがあること ・雪に関する課題が多いことはやはりと思った。道の除雪を早く、きれいに細かい道まであけてもらえると、もっと住みやすくなると思う ・自分と同じ思いを持っている人が多いと感じた。特に車に乗れなくなった時の買い物の不安 ・交通手段は差し迫った問題で先日の新聞の私製タクシーはだめか ・大学で県外へ出てもUターンして住む・就職できるように企業や大学を誘致できないか ・企業は人手不足なのに就職先として対象とならない
愛着・住みやすさ・居住意向	・大野に愛着や住みやすさを感じてる人が思った以上に多いこと ・住み続けたい人が多いことは喜ばしい ・若者が戻って来れるような大野市であって欲しいというのは同感 ・若者への愛着を考えたまちづくりをする必要がある ・若者が住みやすい、子育てしやすいまちになるよう協力したい

Q５　記念講演・パネルディスカッションで印象に残ったこと（記述：49 名）

全体	・改めて大野の良さに気付くとともに、若い人たちの前向きな考えが広がりつつあることに嬉しさを感じた ・大野で色んな会や活動をしている所があることを知った ・大野について今一度考えることができた ・色々な年代や立場の人がいるとそれぞれの感じ方の違いが分かって面白かった ・とても分かりやすい講演であり、楽しかった。若い人の意見も大切にしていきたい ・皆さんが熱心に考えているので力強い、応援したい ・大野の人や子どもが 10 年後も笑顔でいられる大野でありたい。世代間や他の地域の人達の意見を取り入れることや話し合いの場があると良い
講師のお話	・羽生氏の講演や進行のテンポが良かった ・羽生氏のまちづくりに対する考え方がよく理解できた ・大野を漢字で表すことやクイズは面白かった ・変化と継続という話が印象に残った ・他地区の具体的なまちづくりの話は参考になった。一人ひとりが考えていくことが大事 ・講演を楽しみに来たが、少し短かった。もっと聞きたかった
移住者の方のお話	・大野の未来予想図の中で、「このままの大野が良い」という意見は、将来が楽しみだと感じた ・保育が充実している、課題をビジネスにするといった意見が印象に残った ・若者や移住された方のお話をお聞きし、大野にはまだまだ魅力があることに気付いた
大野高校の生徒の皆さんのお話	・高校生の意見が面白かった ・高校生の出席が嬉しく、頼もしかった ・話がとても新鮮で嬉しかった。未来が楽しく思えた ・若い高校生がしっかりとした意見を持っているのは良い ・高校生の考えを聞くことができ印象に残った。若者のアイデアの活用を考えるべき

Q６　次回以降のフォーラムへの参加意向（あてはまるもの１つ選択）

・回答者のうち、「時間があれば参加したい」が約６割となっています。「ぜひ参加したい」（約４割）と合わせると、ほとんどの方が次回も参加したいという意向があります。



Q７　プロジェクトチームメンバーへの参加希望者

・４名の方から参加希望がありましたが、大野地区在住者の参加希望者はいませんでした。

＜参考資料２：取組報告資料＞

令和５年度
大野地区住民アンケート調査

中間報告

大野地区地域課題解決検討会
プロジェクトチームメンバー

調査の趣旨・目的

○地区にお住まいの方が日頃感じていることやこうなったらいいなと思う将来像、今後必要な取り組みを把握する



○アンケート結果をみんなで共有し、住民の皆さんから多くの共感が得られる取り組みを実施するための基礎資料とする

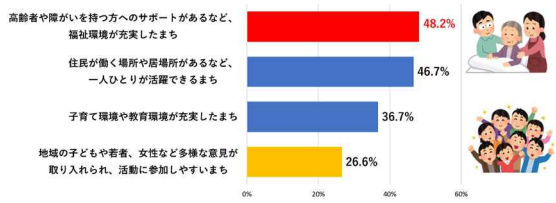


調査概要

調査期間	令和５年９月初旬～１０月１０日（約１ヶ月）
調査方法	大野地区にお住いの中学生以上の方に調査票を配布・回収（11,488通）
回収数	4,782人（回収率：41.6%）

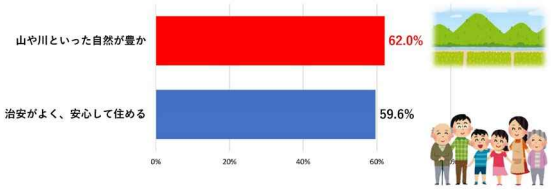
調査結果（抜粋）

◆大野地区の将来像（10～20年後）



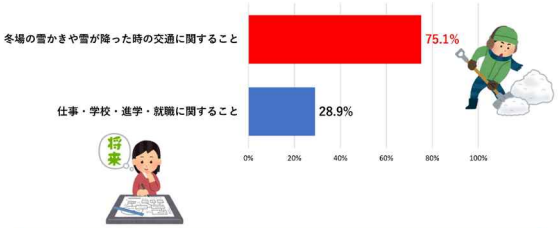
・福祉環境の充実、一人ひとりが活躍できる、子育てや教育環境の充実の意見が多い
・子ども・若者・女性など多様な意見が取り入れられ、活動に参加しやすいまちの回答も一定数あった

◆良いところ



・自然が豊か、治安がよく安心して住めるの意見が多い

◆生活で不安なこと、困りごと

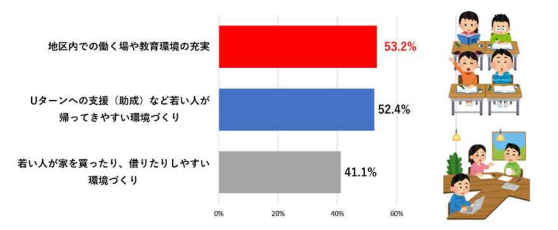


・雪かきや降雪時の交通など、雪に関する意見が最も多い
・仕事・学校・進学・就職は、10歳代の若者の回答が最も多い

◆活動の満足度・重要度



◆あなたや若者が１０年後も住み続けるために必要なこと



・大野地区内での働く場や教育環境の充実、若い人が帰ってきやすい環境づくりの回答が多い
・年代別では、10歳代は若い人が帰ってきやすい環境づくり、20歳代～30歳代は若い人が家を取得しやすい環境づくりが多い

◆大野地区への愛着、住みやすさ、居住意向

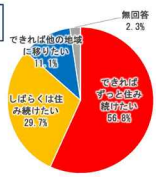
愛着



住みやすさ



居住意向



・回答者の多くが、大野地区への愛着や住みやすさを感じ、今後も住み続けたいと考えている

・年齢や地区別でも大きな違いは見られない

今後の予定



○引き続き、回答の集計・分析作業を進め、最終報告を取りまとめます（令和６年２月）

○最終報告は、ホームページなどで公開します

○来年度には、第1地区から第6地区の地区別に結果報告と意見交換の場を開催する予定です



抽選結果

○アンケート調査の回答者の中から、抽選で100名様に、粗品をプレゼントします

○結果は、講堂の後方通路にて掲載しています

○館報「@めいりん」Vo.209（１月号）でもお知らせします

抽選結果

○当選された方は、アンケート調査票の表紙を持って、大野公民館でお引き替えください



アンケート結果の報告は以上です

ご清聴ありがとうございました！

＜参考資料３：会場内掲示物＞

私たちは

大野地区地域課題解決検討会

プロジェクトチーム会議です

本会議では、地域住民同士で話し合いながら進めています。
引き続き、若者や女性を中心に一緒に活動するメンバーを募集しています！

会議の概要

＜趣旨・目的＞

○プロジェクトチームは、地域課題解決に向けて地域地区（主に若者と女性）と地区団体（主に各校区）から構成され、取組の企画や調査方法の検討を行う組織です。

＜メンバー構成＞

○メンバー数は 18 名となっており、大野地区にお住いの 20 歳代から 80 歳代までの幅広い世代の方が参加されています。（令和５年 12 月現在）

＜開催状況＞

○定期的に会議を開催し、各取組の企画検討や結果報告等を行っています。


有終西小グループ


有終東小グループ


有終南小グループ


メンバー同士の交流会

令和５年度 大野地区住民アンケート調査 結果概要①

調査概要・回収状況

アンケート調査は、大野地区にお住いの中学生以上の方を対象に実施しました。

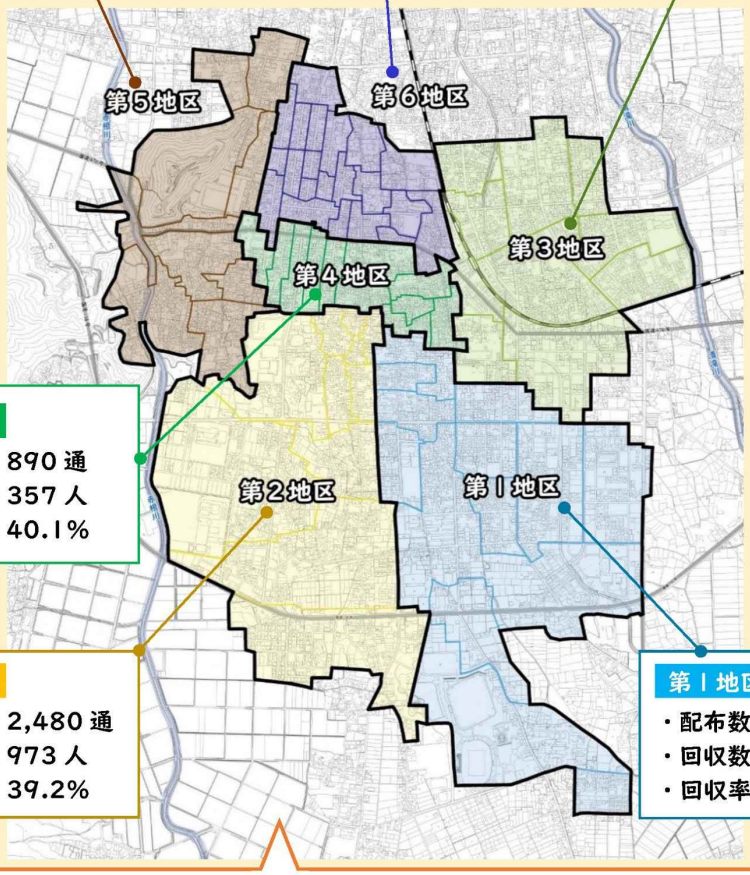
配布数：11,488 通

回収数： 4,782 人 （回収率：41.6%）

第５地区
- 配布数：1,364 通
- 回収数：544 人
- 回収率：39.9%

第６地区
- 配布数：1,129 通
- 回収数：489 人
- 回収率：43.3%

第３地区
- 配布数：2,539 通
- 回収数：995 人
- 回収率：39.2%



第４地区
- 配布数：890 通
- 回収数：357 人
- 回収率：40.1%

第２地区
- 配布数：2,480 通
- 回収数：973 人
- 回収率：39.2%

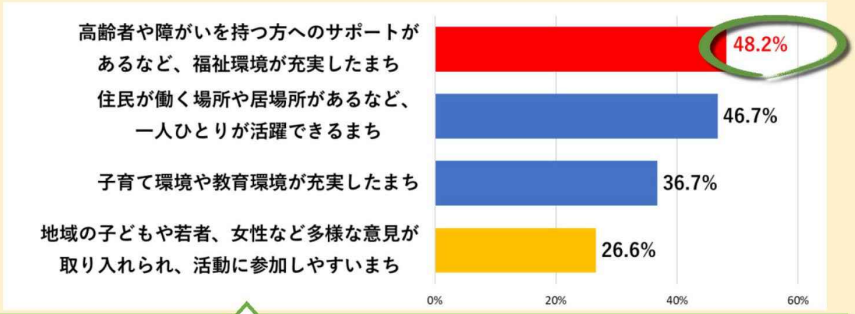
第１地区
- 配布数：3,086 通
- 回収数：1,275 人
- 回収率：41.3%

・アンケートの回収率は、全ての地区で約４割となっており、大きな違いは見られませんでした。

令和５年度 大野地区住民アンケート調査 結果概要②

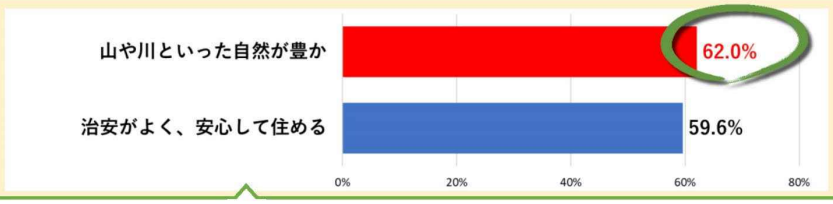
大野地区の将来像、良いところ、不安・困りごと

質問：大野地区は将来（10～20年後）、どのような地区になると良いと思われますか。



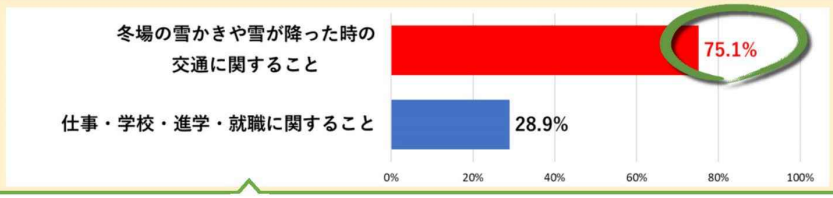
・**福祉環境の充実**、**一人ひとりが活躍できる**、**子育てや教育環境の充実**の意見が多い
・子ども・若者・女性など多様な意見が取り入れられ、活動に参加しやすいまちの回答も一定数あった

質問：大野地区に住んでいて、良いと思うことや満足していることは何ですか。



・**自然豊かで、治安がよいところ**の意見が多い

質問：生活する上で、あなたが不安に感じていること、困っていることは何ですか。



・雪かきや降雪時の交通など、**雪に関する**意見が最も多い
・仕事・学校・進学・就職は、10歳代の若者の回答が最も多い

◆良ければ当てはまる項目にシールを貼ってみてください。

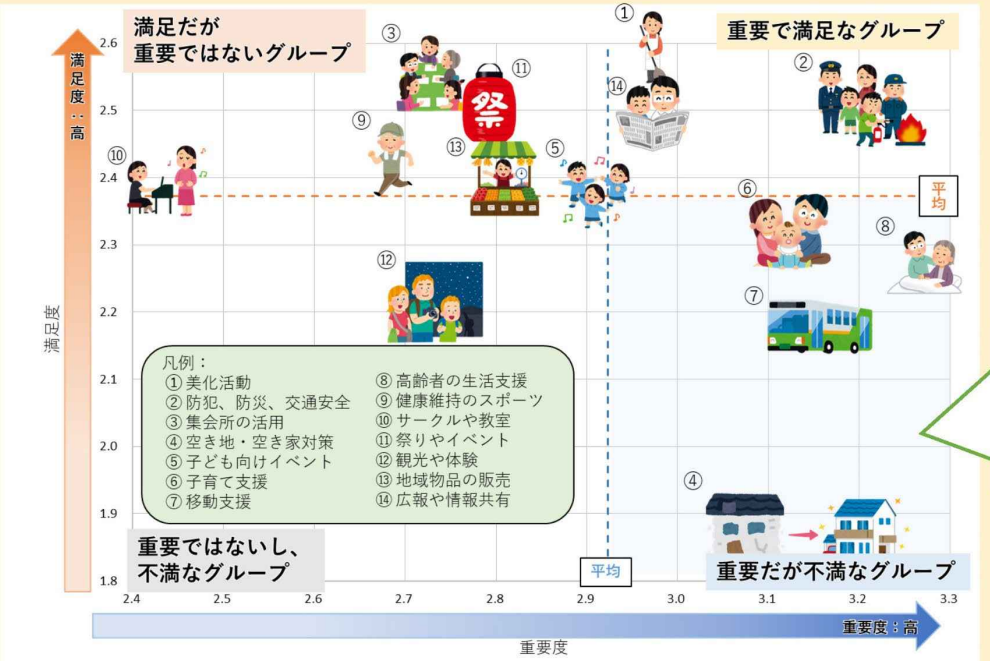
新しい発見があった　概ね予想通りだった　疑問点があった



令和５年度 大野地区住民アンケート調査 結果概要③

大野地区の各活動の満足度や重要度

質問：地域で行っている、または、行うべきと考える活動について重要度と満足度を教えてください。



・空き地・空き家対策、
移動支援、
高齢者の生活支援、
子育て支援は、
重要度は高いが
満足度が低い。

※見やすくするために、実際の数値と少しずらして配置しているものがあります。

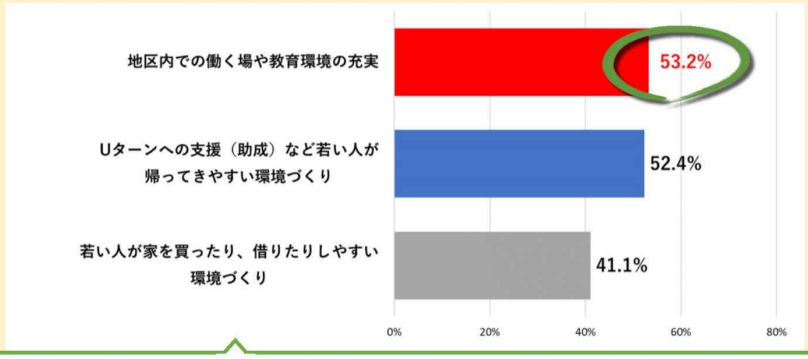
◆良ければ当てはまる項目にシールを貼ってみてください。

新しい発見があった	概ね予想通りだった	疑問点があった

令和５年度 大野地区住民アンケート調査 結果概要④

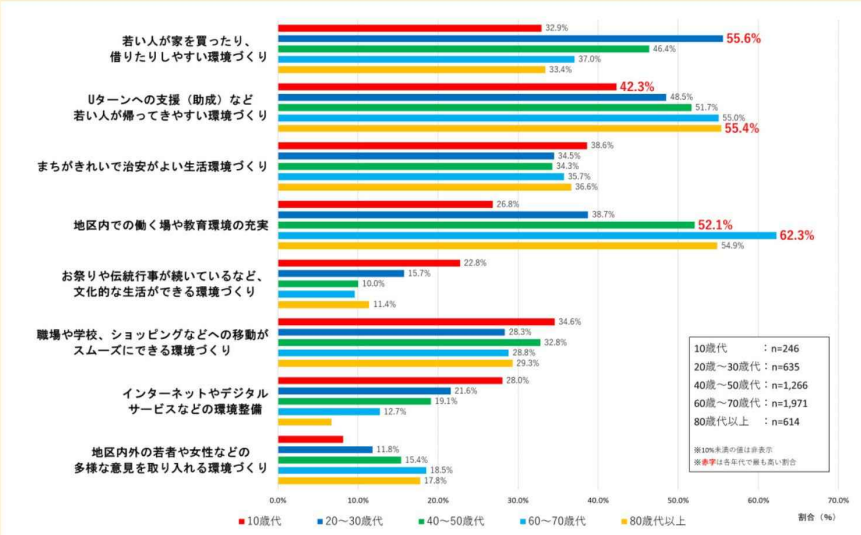
若い世代が住み続けるために必要なこと

質問：あなたや地域の将来を担う若い世代が10年後も大野地区で安心して住み続けられるために必要だと思うことは何だと思いますか。



・大野地区内での**働く場**や**教育環境の充実**、
若い人が帰ってきやすい環境づくりの回答が多い

各年代で思う大野地区に若い世代が住み続けるために必要なこと



・年代別では、10歳代は**若い人が帰ってきやすい環境づくり**、
20歳代～30歳代は**若い人が家を取得しやすい環境づくり**が多い

◆良ければ当てはまる項目にシールを貼ってみてください。

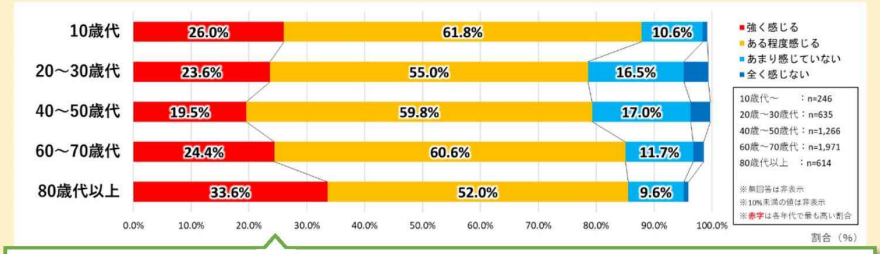
新しい発見があった	概ね予想通りだった	疑問点があった



令和５年度全住民アンケート調査の結果概要⑤

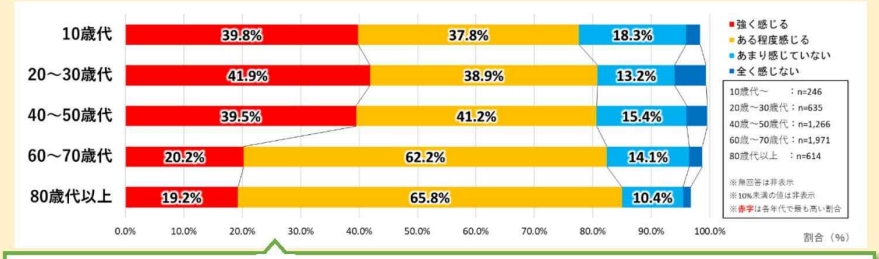
愛着、住みやすさ、居住意向について

質問：大野地区に愛着を感じていますか。



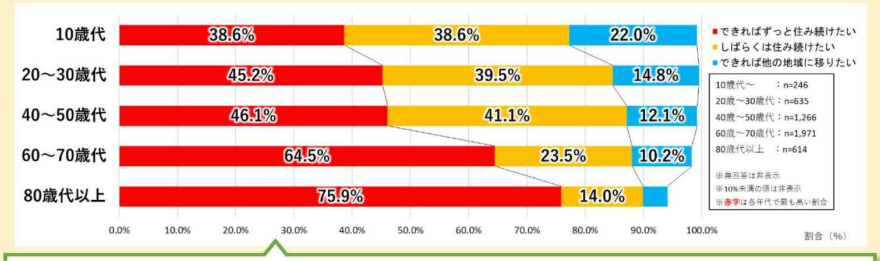
・年代問わず、75%以上の方が愛着を感じている。

質問：大野地区は住みやすいと感じていますか。



・年代問わず、75%以上の方が住みやすさを感じている。

質問：大野地区に住み続けたいですか。



・年代問わず、75%以上の方が住み続けたいと考えている。

◆良ければ当てはまる項目にシールを貼ってみてください。

新しい発見があった　概ね予想通りだった　疑問点があった





大野地区住民アンケート調査に回答された皆様へ

抽選結果発表

アンケートに回答いただいた方の中から、抽選で 100 名の方に粗品をプレゼント致します。
該当された方は、受付までお越しください。

≪当選された方の抽選番号≫

00076	00176	00195	00240	00245	00283
00323	00386	00433	00479	00537	00588
00690	00774	00775	00850	01312	01342
01489	01519	01750	02042	02259	02390
02454	02479	02502	02648	02671	02735
02850	02920	03025	03359	03591	03755
03759	03801	03899	03902	03923	04022
04051	04078	04093	04209	04370	04468
04565	04793	04946	05073	05520	05938
05993	06083	06190	06275	06299	06302
06304	06406	06450	06541	06734	06856
06903	07012	07035	07372	07455	07721
07853	07894	08291	08700	08759	08884
09175	09360	09477	09615	09624	10043
10505	10567	10571	10614	10677	10711
10837	10843	10855	10874	11098	11099
11357	11447	11636	11758		



【第３部－プロジェクトチーム会議の運営支援】

（１）プロジェクトチーム

１）趣旨・目的

・プロジェクトチームは、地域課題解決に向けて地域地区（主に若者と女性）と地区団体（主に各校区）から構成され、取組の企画や調査方法の検討を行う組織です。
・今年度は、記念講演の企画運営だけでなく、昨年度の課題で挙げられていた「参加しやすい会議づくり」、「メンバー同士の情報共有」、「若者やまちづくり実践者との人的ネットワークづくり」についても取組を行いました。

２）メンバー構成

・プロジェクトチームの人数や年齢層、男女比は以下の表のとおりです。

年齢層	人数	うち男性	全員に対する男性の割合	うち女性	全員に対する女性の割合
20 歳台	1 人	0 人	0.0%	1 人	5.6%
30 歳台	1 人	1 人	5.6%	0 人	0.0%
40 歳台	6 人	3 人	16.7%	3 人	16.7%
50 歳台	3 人	2 人	11.1%	1 人	5.6%
60 歳台	5 人	3 人	16.7%	2 人	11.1%
70 歳台	1 人	0 人	0.0%	1 人	5.6%
80 歳台	1 人	1 人	5.6%	0 人	0.0%
合計	18 人	10 人	55.6%	8 人	44.4%

3）開催概要

・プロジェクトチーム会議は、基本的にはワークショップ形式とし、議論の活性化を図りました。また、より多くのメンバーに出席してもらうために、会議の開催時間を朝夕や別日に分けて実施しました。
・会議の開催案内や出欠はグループラインを活用するとともに、ニュースレターも活用しながらメンバー間の情報共有を図りました。
・会議後にメンバー間で交流を促すための交流会を開催することで、メンバー間のコミュニケーションを図りました。
・プロジェクトチームメンバーと講演会講師との顔合わせや打合せの場を設定するとともに、記念講演後に大野地区のまちづくり団体との懇親会を開催するなど、プロジェクトチームメンバーの人的ネットワーク拡大に向けた取組も実施しました。

開催日	会議名	議　事
6 月 27 日（火）	第６回 プロジェクトチーム会議（まちづくり推進協議合同会議）	・テーマ・講師について
9 月 4 日（月）	第７回 プロジェクトチーム会議（荒島旅舎で実施） **メンバー間の交流会の実施**	・大野地区住民アンケート調査の周知について ・テーマ・講師について ・今後の取組について
9 月 12 日（火）	講師打合せ①	・講師との顔合わせ ・テーマについて
10 月 19 日（木）	第８回 プロジェクトチーム会議（午前・午後で実施）	・プログラムの内容について
10 月 25 日（水）	講師打合せ②	・プログラムの内容について
11 月 22 日（水）	第９回 プロジェクトチーム会議（まちづくり推進協議合同会議）	・アンケート調査の進捗共有 ・当日までの段取りについて
12 月 15 日（金） 16 日（土）	事前準備	・掲示物の設置、リハーサル等
12 月 17 日（日）	記念講演･パネルディスカッション当日開催	**まちづくり団体との交流**
1 月 25 日（木） 26 日（金）	第 10 回 プロジェクトチーム会議	・フォーラムのふり返り ・今後の取組について

講師との関係づくり

参加しやすい会議づくり

４）成果と課題

・昨年度の課題で挙げられていた「参加しやすい会議づくり」については、昨年と同様に、会議形式はワークショップ形式とし、プロジェクトチームメンバーが意見を出しやすい雰囲気づくりを図ることにより、記念講演・パネルディスカッションの検討では多くの意見をいただきながら進めることができました。また、開催時間も朝夕や２日間に分けて開催するなど工夫することで､1人でも多くの方に参加してもらうことができました。

・「メンバー同士の情報共有」については、グループラインを活用することで、会議の開催日時の案内や出欠確認を円滑に行うことはもちろん、まちづくりに関するセミナーを周知し参加してもらうなど、まちづくり活動の機運を高めるツールとしても活用することができました。また、ニュースレターの紙媒体も活用することで、欠席者への情報共有を図ることができました。

・「若者やまちづくり実践者との人的ネットワークづくり」については、大野ほりでいの出展団体の補助をしてもらったり、記念講演後に大野地区のまちづくり団体との懇談会を開催することにより、人的ネットワークの構築に向けた取組を行いましたが、懇親会の出席者が少ないなどあまり交流することはできなかったことが改善点として挙げられます。今後も引き続き、大野地区で活躍する若者やまちづくり団体等を把握し、プロジェクトチームと連携するなど人的ネットワーク拡大に向けた機会づくりを図ることが必要です。











＜参考資料１：会議資料＞

◆プロジェクトチームの役割

大野地区地域課題解決検討会・プロジェクトチームの役割

【大野地区を取り巻く社会変化】

地域コミュニティをめぐる課題
- 人口減少・少子高齢化
- 行政区等の担い手の不足
- 世代間の交流の希薄化

大野地区の特性
- ６地区 74 区を有する大きな地区
- 行政区の規模や特性のバラツキ
- 各種都市機能が立地し利便性が高い

対策を講じなければ、日常生活や地域活動に影響が生じ、近い将来、
住み慣れた地域での暮らしの維持が困難になることが懸念されることから、
地域課題の解決に向けて、地域が主体的な取組が必要

大野地区地域課題解決検討会の設立（R3）

◆**目的**：大野地区の地域課題の把握、課題解決に向けた検討・取組の推進

◆**役割**：・地域課題解決に向けた取組の調査、研究、計画、実践
・関係機関団体との連絡調整
・その他目的達成に必要なこと

◆**構成メンバー**：行政区の区長、各種団体の役員、
プロジェクトチーム

プロジェクトチームの設立（R4）

◆**目的**：大野地区の若者及び女性の意見の反映、
活動を通じた地域の担い手やリーダーの育成

◆**役割**：地域課題解決に向けた地域主体の活動の実践

◆**構成メンバー**：各地区から選出された大野地区在住の若者や女性を
中心に幅広い世代で構成





大野地区地域課題解決検討会プロジェクトチーム及び大野地区まちづくり推進協議会常任委員会の合同会議　意見交換まとめ　（令和５年６月27日(火)）

<table>
<tr><th>話し合うこと</th><th colspan="2">ご意見・アイデア※赤字は 6/27(火)役員・PT 合同会議で出た新規意見</th></tr>
<tr><td>基調講演のテーマ・講師について</td><td>
【基調講演のテーマ】※()内はシールの総数
1. 大野の現況について
・大野の良さの再発見（10）
・地区課題の見つけ方（1）
・まちづくりのアイデア（6）
・都会から見た大野の印象（8）
・大野の PR 方法
2. 大野の歴史・文化について
・大野にゆかりのある人が話す大野の昔（4）
・城、歴史、いわれ（3）
3. 亀山について
・亀山の整備方法
・亀山の景観（4）
4. 大野の食
・食（5）
・きき酒（1）
・ワイン
5. その他
・子育て支援（1）
・商工業の発展（2）
・健康生活について
・興味を持ちやすいテーマ（IT ツール、SDGs）（1）
・環境コンポスト
・多くの人が興味を引くようなテーマ
</td><td>
【基調講演に呼ぶ講師】
1. タレント・TV 関係者
・デーブスペクター
・清水国明
・羽生ちひろ（NHK アナウンサー）
・松田佳恵（FBC アナウンサー）
・タモリ
・ブラタモリのプロデューサー
・春風亭昇太
・笑福亭鶴瓶
・パックン（パトリック・ハーラン）
2. スポーツ選手
・中村悠平(野球選手)
3. 実業家
・坪内知佳
・辰野勇氏、モンベル関係者
・若新雄純
4. 著名な著者
・大島昌宏(そろばん武士道)
・浅田次郎（大名倒産）
・土橋章宏（ひっこし大名）
5. その他
・Kazu（Youtuber）
・大門哲爾（唄うお坊さん）
6. 呼んでほしい人のイメージ
・福井全体を知っており、大野の良さも知っている人
・大野の良い面と悪い面の両方を知っている人
・学者よりも気軽に親しみやすい人
</td></tr>
<tr><td>講演以外で実施したい内容について
（今年度の活動報告、学生とのコラボなど）</td><td>
【実施したい内容の方向性】
1. 楽しいイベント
・子どもと親、高齢者層を巻き込んだ一日中楽しめるイベント
・子どもを呼ぶためのお祭りのような楽しげなイベント
2. 子どもを巻き込むイベント
・子どもたちにがんばる大成にしたい
・子どもと親、高齢者層を巻き込んだ一日中楽しめるイベント(再掲)
・子どもを呼ぶためのお祭りのような楽しげなイベント(再掲)
・小・中学生に関係あるプログラム
・人を集めるための幼稚園、保育園などの子どもの発表会（マーチング）
3. その他
・トークイベント
</td><td>
【具体的なアイデア】
・中学生徒が取り組んでいるボランティアの体験
・子育て世代によるワーキング
・割引券、ガラガラ抽選券
・キッチンカー
・夜店
・こけ玉づくり
・プラレールを用いて越美北に関心を持ってもらう
・校区ごとの分科会
・西校の活動のパネル（小学生朝市、もっこの会など）
・しめなわ
・クリスマス
・キッチンカーのメニュー作り
・篠座神社のお神楽とコラボ
・アンケートを回答して得たクーポンをフォーラムで使える仕組み
・サイン会
</td></tr>
<tr><td>周知方法について
（SNS、地区行事などの PR 方法）</td><td colspan="2">
・LINE
・小・中学生でお知らせ
・11 月の市報に掲載(地域の回覧だけでは見落とす可能性があるため)
</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>
・chatGPT を用いてフォーラム開催に関する課題を聞いてみてはどうか
・人集めが大変
・冬対策が必要
</td><td>
・講演だけ聞いて帰らないようにする運営の工夫が必要
・客寄せパンダでもよい、人が集まる場で取組の目的をしっかりと伝える
</td></tr>
</table>

大野地区地域課題解決検討会役員及びプロジェクトチーム合同会議　（令和５年６月27日(火)）

令和５年度　中学生以上全住民アンケート実施に向けた検討　意見交換まとめ

※気になるところにチェックしてもらい、それについて意見交換を行います。

確認・検討事項	確認する項目、ご意見・アイデア	
設問内容	**アンケート全体に関する意見等** **【中高生】** ・　中学生には答えにくい設問がある ・　P7（町内会や住民組織の設問）は中学生には答えられない ・　中学生にも最低限回答してもらう設問を示す ・　中学生の意見が見える設問があると良い ・　中学生・高校生に住み続けたい理由を聞いても良いのではないか →子ども・若い人が何を求めているかが分かるのではないか ・　中学生が自分で読んで答えるとは思えない ・　iPad で入力してもらってはどうか ・　子ども用に別途調査票を作成した方がよい ・　アンケート調査票のタイトルに「地球の未来を担う…」のような表紙のタイトルをつけてはどうか **【雪】** ・　水の問題と雪の問題は何十年前から問題 ・　大野市の一番の問題である雪・水に関することが書かれていない **【交通】** ・　交通に関して５時以降にタクシーが使えない ・　買い物難民がいる **【アンケート全体】** ・　大野の特色を反映した質問が欲しい（住んでもらえるようなメリットを打ち出す） ・　大野市の良いところを伸ばすための設問がほしい ・　真剣に回答すると 15 分以上かかるため、最後まで答えてくれるかどうか ・　誰かがまとめて回答しないように配慮 ・　今回のアンケート調査では形式的な答えしか出ないのではないだろうか ・　全体的に文字がやや多い印象（特に P6） ・	**各設問に関する意見** **【基本属性】** ・　P1 の行政区を尋ねる質問は不要ではないだろうか （お住まいの地域について(2)） ・　お住まいの地域を尋ねるのは問題ない **【問 2】** ・　「公園が多い」といった選択肢を追加してはどうか **【問 3】** ・　雪の課題（屋根、玄関回り）を選択肢に追加してはどうか ・　大雪の話（交通、除排雪）を選択肢に追加してはどうか ・　独居高齢者が抱える不安に関する選択肢を追加してはどうか **【問 4】** ・　子ども用に「先生」、「SNS」等の選択肢を追加してはどうか ・　設問文について、「いざというときは誰に相談しますか」に変えてみてはどうか **【問 5】** ・　設問文について、「最も」の文言が不要ではないか **【問 6】** ・　４択形式にしているのはよい **【問 8】** ・　U ターンへの支援（助成）に関する選択肢を追加してはどうか **【問 9】** ・　除雪協力（屋根雪、玄関回り等）を選択肢に追加してはどうか **【問 10】** ・　中学生が回答するには難しい質問だと感じる **【問 14】** ・　結果はぜひとも知りたい（ここが一番の目的）
レイアウト・デザイン		
より多くの方に 回答してもらう工夫点	・　学校を通じて周知するのがよい。 ・　中学生はタブレットで回答できるが、校区外の生徒もいるので授業中に時間をとるのは難しい ・　回答期間中に、督促のチラシを回覧で回す ・　アンケートに回答して頂いた人から抽選でプレゼントを渡す仕組み ・　回答することでポイントを付与 ・　区長様が集める方が良い可能性	

＜参考資料２：ニュースレター＞

大野地区

令和５年度 大野地区地域課題解決検討会

役員・プロジェクトチーム会議が開催されました！



今回の会議で確認したことや話し合ったことについて、以下のとおり、ご報告させていただきます。

会議結果の概要

開催日時 ： 令和５年６月２７日（火） 19 時 00 分～20 時 45 分まで
場　　所 ： 学びの里「めいりん」１階　ランチルーム
参 加 者 ： プロジェクトチームメンバー　９名、役員　７名、事務局　６名
協議事項 ：以下の（１）～（４）について

協議事項の結果について

（１）令和５年度の取り組み方針について

■ **PT 会議の設立経緯、役割や今後の取組スケジュール（案）の説明**（事務局）

（２）中学生以上全住民アンケート調査について

■ **調査票（たたき案）等について全体説明**（事務局）

■ **各校区で調査票の改善点等について意見交換**
※詳細は別紙まとめを参照ください。

今回いただいたご意見は、対応を検討し、できる限り反映できるよう努めます。

	主な意見（抜粋）
設問内容	○お住いの行政区の質問は不要ではないか ○良い点に「公園が多い」という選択肢を追加してはどうか（問２） ○雪の問題や交通の問題を設問や選択肢に入れてはどうか（問３） ○U ターンへの支援を選択肢に入れてはどうか（問８） ○除雪協力を選択肢に入れてはどうか（問９） ○中学生には答えにくい設問がある（問 10～問 13） ○中学生・高校生の意見が見える設問があると良い ○中学生や高校生に住み続けたい理由を聞いても良い（問 14）
より多くの方に回答してもらうための工夫点	○中学生は学校を通じて周知し、タブレットで回答してもらってはどうか ○回答期間中に、催促のチラシを回覧で回す ○アンケート回答者に抽選でプレゼントを渡す、ポイントを付与 ○区長がアンケートを回収するほうが良い



（裏面もご覧ください）1

（3）フォーラムについて

■ **6/13 実施の大野地区まちづくり推進協議会常任委員会との合同会議における意見交換の結果について全体説明**（事務局）

■ **各校区で基調講演のテーマを中心に意見交換**　※詳細は別紙まとめを参照ください。

○基調講演のテーマを絞るために、**１人３つまで希望するテーマを選び、選んだテーマにシールを貼って**もらいました。

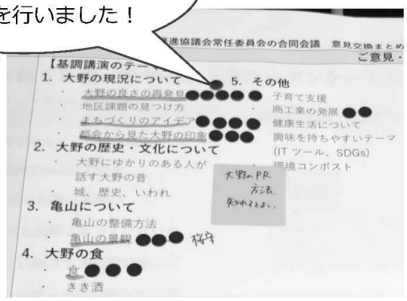
○シールを貼ってもらった結果、特に**「大野の良さの再発見」**や**「都会から見た大野の印象」**、**「まちづくりのアイデア」**といったテーマへの関心が高いことが分かりました。

○最後に、各校区で話し合ったことを発表し、みんなで共有しました。



基調講演のテーマや講師、講演以外のプログラム、周知方法について追加で意見がないかどうか確認しました！

１人３つまでシールを貼って基調講演のテーマの絞り込みを行いました！



シールを貼った結果をもとに、基調講演の講師やプログラムについて意見交換を行いました！



（4）今後の取り組み方針について

■ **PT の意見を踏まえた他地域での取り組み事例等を説明**（事務局）

■ **次回以降、PT メンバーを中心に、具体的な取組の実践を見据えた活動内容についての意見交換を実施予定**

≪次回のプロジェクトチーム会議≫

◆ 日　時：令和５年８月３日（木）19 時 00 分～

◆ 内　容：フォーラムの企画検討（基調講演のテーマ・講師など）

2

令和５年度 大野地区地域課題解決検討会

プロジェクトチーム会議が開催されました！

今回の会議で確認したことや話し合ったことについて、以下のとおり、ご報告させていただきます。

会議結果の概要

開催日時 ： 令和６年１月２５日（木）、26 日（金） 19 時 00 分～20 時 15 分まで
場　　所 ： 学びの里「めいりん」１階　ランチルーム
参 加 者 ： プロジェクトチームメンバー　11 名、事務局　６名
協議事項 ：以下の（１）～（４）について

協議事項の結果について

（１）記念講演・パネルディスカッションの振り返りについて

■ **開催概要や参加者アンケート結果について報告**（事務局）
■ **当日の感想や今後に向けた改善点・アイデアについて意見交換**

	主な意見（抜粋）
感想・良かった点	**■記念講演** ○講師の羽生氏に講演をしてもらえてよかった。 ○講演は分かりやすく、参加者も楽しんでいたように感じた。 ○羽生氏と何度も打ち合わせし、人となりを理解できたのでよかった。 **■パネルディスカッション** ○パネルディスカッションは非常に盛り上がった。 ○高校生や地元の方が話し合ったことが印象に残った。 ○高校生の意見を聞けたのがよかった。雪のアイデアは取り入れたい。 **■その他** ○今回の催しを通じて、参加者同士の交流が生まれた。 ○ＰＴメンバーへの参加希望者がいたのは喜ばしい。
今後に向けた改善点・アイデア	○天候が悪く、会場も寒かった。開催時期を見直せないか。 ○様々なブースがあってよかったが、フォーラムに目を向けてもらいづらかったため、目を向けてもらう工夫が必要。  ○大野ほりでいの継続や子どもを巻き込むなど、PT の活動の認知度を上げる必要がある。 ○大野地区住民アンケート調査の中間報告は、もっと話したかった。 ○まち歩き等の取組結果が今年度のフォーラムには活かされなかった。

（裏面もご覧ください）1

（２）来年度の取組みについて

■ **中学生以上全住民アンケート調査結果の概要、来年度のスケジュール・予算（案）について説明**（事務局）

■ **今年度の取組成果をもとに、来年度の取組みについて意見交換**

	主な意見（抜粋）
大野地区住民アンケート結果について	○「できれば他の地域に移りたい」と回答した割合は 10 歳代が最も高い。大野には大学がなく就職先も少ないため、若者は出てしまう。 ○都会に出ていくこと自体は、色々なことを吸収できるため反対ではないが、**吸収してきたことを大野に反映できるよう帰って来れる環境整備が必要。** ○**若い人**や**学生**にとって、**思い出になるようなイベント**を行いたい。 ○**ＰＴでは少しターゲットを絞って、取り組んでもよい**のではないか。 ○大野に残ってもらうことよりも、**大野に来てもらう人をどう増やすかを考えた方がよい**。来てもらう人が増えれば、定住する人も増えるのでは（例：大学のキャンパスの誘致、大学のゼミと提携）。 
高校生の意見について	○夏まで雪を残してイベントをするのは難しい。春の「大野ほりでい」で試験的に行ってみてはどうか。 ○**少量の雪でもいいので残せるようにし、イベント**を行ってはどうか（例：雪で冷やしたお茶を出す） ○**名水を使ったイベント**をやってはどうか（例：亀山の坂を利用した名水の流しそうめん）。 ○若い世代がイベントをやっていると人も集まってきやすいので、**若者のパワーや知恵を借りて、高校生の意見を何かの形で実現**してあげたい。
大野地区で活動している団体について	○課題は見えてきたが、その課題に対して既に活動している団体はいる中で、ＰＴがその課題に取り組む意味はあるのか。 ○**大野では様々な活動があるが、各団体が連携できていない**のは、**時間とお金がもったいない**。これだけの予算を使って行うのであれば、**各活動団体に顔を出し、交流や連携を図る**ことが必要。 ○**各活動団体で行っている活動の情報などを集約**し、**各活動の連携をサポートができるような仕組み**が必要ではないか。

（３）来年度の予定について

■ 大野ほりでいの開催予定（4/28）

■ 大野地区住民アンケート調査結果をもとに、地域地区単位（第１地区～第６地区）での意見交換会の開催予定

2

【第４部－行政区再編モデル事業の支援】

（１）行政区再編基本方針（案）

1）行政区再編の基本方針の目的と役割

○地域コミュニティ運営の基盤である行政区の再編は、地域コミュニティの全般にわたり影響を与えるものであり、数年単位の期間を要します。

○数年にわたり取り組む間に、区長や役員などの交代も有り得るでしょう。行政区の再編を実現するため、関係者が協議、説明や調整の努力を継続するためには、何のために行政区の再編に取り組むのか、目的や意義などを理解することが重要です。

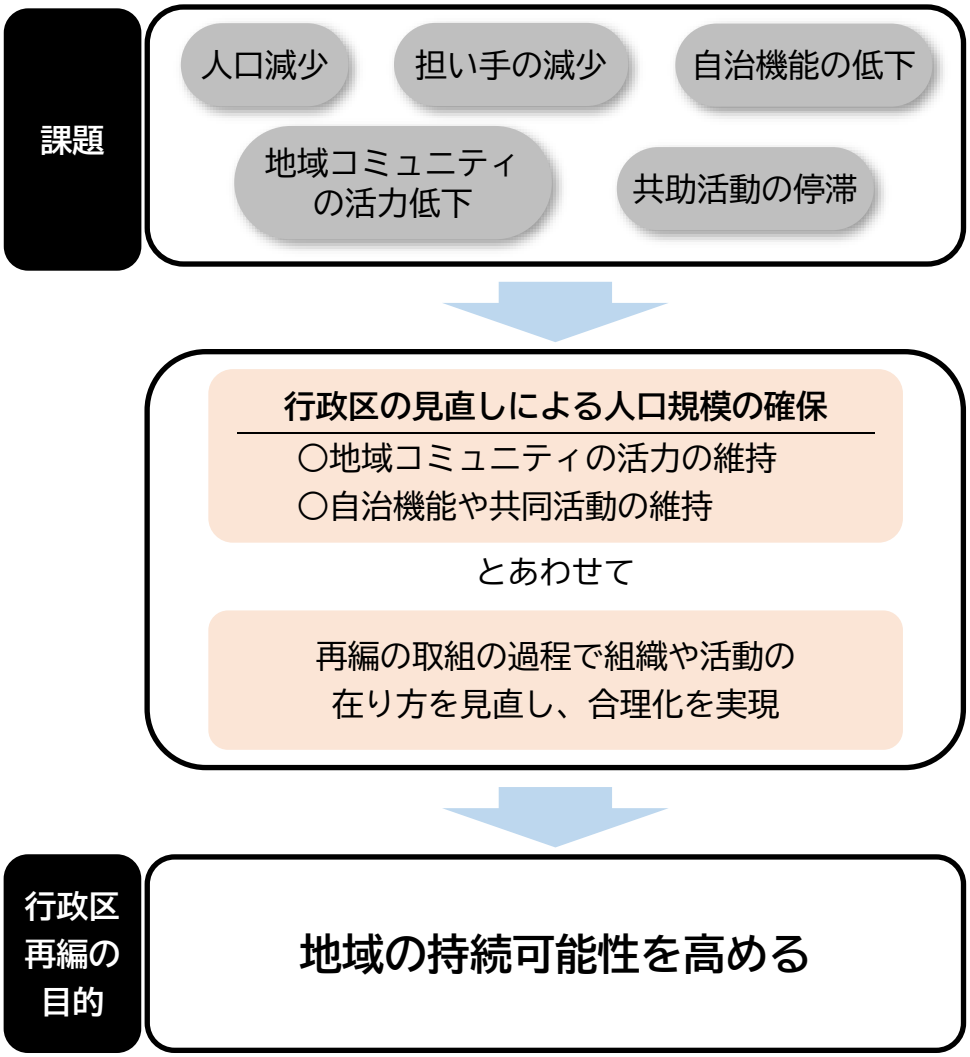
○行政区再編の基本方針（以下「本基本方針」と表記します。）の目的は、行政区再編の目的や意義を明文化することです。行政区再編の取組を開始するスタート段階において、その目的や意義の理解を助ける役割を担います。また、取組の過程において、困難な状況に直面するなどして再編の意義を見失いそうな場合には、本基本方針に立ち返ることにより、行政区再編の取組が停滞したりすることを防ぐ役割があります。

目的	行政区再編の目的を文書として明文化
役割	当事者、関係者が行政区再編の目的を理解、共有することを助ける 再編の目的や意義を見失いそうな場合に、本基本方針に立ち返り、取組の停滞等を防ぐ

2）行政区再編の目的

○行政区は、地域のまとまりの基礎単位であり、地域コミュニティ運営の基盤です。
大野地区内では、人口の減少、担い手の減少によって地域コミュニティの活力の低下、自治機能の低下、共助活動の停滞などの課題が顕在化しつつあります。

○人口減少、担い手減少に歯止めをかける活動に取り組むことも不可欠ですが、かつての人口規模を前提に設定されている行政区を見直すことも重要です。ある程度の人口規模を確保し、地域コミュニティの活力や自治機能、共助活動の維持、向上を図り、地域の持続可能性を高めることが、行政区再編の目的です。



3）行政区再編の目標

〇行政区再編の目的である、地域コミュニティの活力や自治機能、共助活動の維持、向上を達成するため、20 年後の将来における目指すべき姿を設定します。

〇行政区の再編により、小規模な行政区、高齢化率が著しく高い行政区が今よりも少ない状態を目指します。

20 年後（2045 年）の姿（案）

●10 世帯以下の行政区の数：０区
●20 世帯以下の行政区の数：５区以下
●高齢化率 60%以上の行政区の数：０区
●高齢化率 50%以上の行政区の数：５区以下

《参考》2022 年の状況（行政区調査結果より）

●10 世帯以下の行政区の数：２区
●20 世帯以下の行政区の数：12 区
●高齢化率 60%以上の行政区の数：１区
●高齢化率 50%以上の行政区の数：８区

《参考》「限界集落」の定義

●地域人口の 50%以上が 65 歳以上の集落を「限界集落」と呼ぶ場合がある。若者が流出し、冠婚葬祭などの社会的共同生活を維持することが限界に近づきつつある。55 歳以上が過半の場合は「準限界集落」と言われる。

4）行政区再編の基本方針

〇行政区再編の目的、目標の達成に向けた取組の基本的な方針を設定します。

① 当事者の主体性を重視する

・行政区の住民自身が再編に取り組む意向を有していることは当然の事、再編の取組の過程やスケジュールなど、当事者である行政区が主体的に検討、決定する。

・特定の住民に負担が偏ることのないように体制の整備や役割分担を行い、住民だけでは負担が大きい場合には、地区外に転出している元住民の協力を得るなど、積極的に外部からの協力を求める。

② 関係者同士がよく話し合って進める

・代表者数名による話し合いで方向性を見出しながら、決定する際には関係する住民全体の納得が得られるまで、十分に説明と話し合いを尽くす。

・決定する段階で議論を振り出しに戻すような事態にならないように、途中段階においても、随時、話し合いの経過について住民全体に情報提供し、意見を吸い上げる仕組みを用意するなど工夫する。



③ 未来志向で次世代の意向を尊重する

・地域コミュニティの運営に次世代の積極的な参画を得るため、再編の取組に若者、女性の参加を確保し、意向を反映する。

・若者、女性が話し合いの場に出席する機会を確保するだけでなく、想いを表明しやすい雰囲気づくりや意見を吸い上げる仕組みを用意するなど工夫する。



④ 大野地区全体が関わることとして取り組む

・現時点では、再編が緊急課題となっている行政区は大野地区内のごく一部に限られているが、多くの行政区で世帯数が減少しており、いずれ、再編の必要性が高まる行政区が増えていく。再編に先行的に取り組む行政区の取組状況に関心を持って見守り、大野地区として可能な支援を行う。

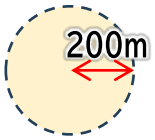
・先行的に再編に取り組む行政区は、再編の取組過程で得ることができた知見などを、後に続く行政区に惜しみなく提供する。

⑤ 着実に推進する方策を考える

・複数の問題が絡み合うなど、全体の合意形成や問題の解決が非常に難しい場合でも、諦めずに知恵を出し合って合意や解決の糸口を探り、少しずつでも着実に前へ進む方策を検討する。

5）行政区再編の標準の検討

・行政区の再編を進める際に一つの参考となる規模や再編の組み合わせに関する標準を設定します。硬直的な基準として定めるのではなく、それぞれの実情に応じて柔軟に取り組むことができるよう、規模や位置関係などの目安を示します。

検討事項	指標	標準
規模	・世帯数	**【50 世帯程度】**  ・一律の基準を定めることは難しいですが、20 世帯を下回る行政区から早期の再編を望む声がある事や大野地区全体の平均が約 70 世帯である事、現在、21～50 世帯の行政区が 24 区と全体の約 35%を占めて最大であることなどから、50 世帯程度を確保することを一つの目安にすることが考えられます。 ※大野市全体の行政区当たり世帯数の平均は約 60 世帯です。 ※他市では自治会再編への助成の基準を 50 世帯以上としている事例があります。
広がり・形状	・区域の広がり距離	**【半径 200m程度】**  ・区域の一方の端から他方の端まで徒歩５分程度で到達できる距離は、400m程度です。半径 200mの円の中に区域が概ね収まる程度を目安とすることが考えられます。
	・まとまり	**【分断する地形地物・地域的つながりに配慮】** ・鉄道、河川、幹線道路などの分断要素が区域内を横断しないようにしましょう。 ・これまでの地域的なつながりに配慮しましょう。 ・現行の境界を尊重しましょう。（現行の行政区単位での再編） ・新たに境界線を設定する場合は、分筆・合筆などによって動く可能性が低く、分かりやすい道路や河川などの地形地物になるようにしましょう。

（２）行政区再編の推進に関する分析

1）再編に関する取り組み状況

・令和５年度は第６地区において行政区再編に関する各行政区の意向を再確認しつつ再編に向けた具体的な取組の必要性やモデル事業の考え方などの理解促進を図りました。

2）再編に関する意向状況（令和4年度調査結果の分析）

・第４地区、第５地区、第６地区は、比較的に再編の意向を有する行政区が多くなっています。

・第４地区の日吉町３区、第６地区の元町３区、元町４区、大和町３区は「すぐにでも再編したい」という意向を有しています。

【行政区再編に関する各行政区の意向（令和４年度行政区調査より）】

地域 地区	ご自身の行政区の再編についてはどう考えていますか？				
	すぐにでも 再編したい	いずれは 再編したい	再編の必要 はない	その他	無回答
第１地区	なし	春日一丁目下区 春日二丁目西区	春日一丁目上区 春日一丁目中区 春日二丁目東区 春日三丁目中区 若杉町 国時町	上篠座１区	春日三丁目上区 春日三丁目下区 上篠座２区
第２地区	なし	高砂町３区 高砂町４区 篠座町	高砂町１区 糸魚町 春日野	なし	高砂町２区 高砂町５区 天神町
第３地区	なし	弥生町２区 美川町１区 有明町	弥生町１区 美川町２区	美里町	幸町 月美町 清和町 吉野町
第４地区	日吉町３区	明倫町３区 明倫町５区	日吉町４区 日吉町５区 明倫町１区 明倫町４区	日吉町２区	日吉町１区 日吉町６区 明倫町２区
第５地区	なし	泉町１区 水落町２区 城町１区 城町２区	泉町２区 泉町３区 水落町１区 清瀧	なし	城町３区
第６地区	元町３区 元町４区 大和町３区	本町１上区 本町１下区 本町２上区 本町３上区 本町５区 大和町１区 錦町１区	錦町２区 錦町３区 要町	元町５区 元町６区 大和町２区	本町２下区 本町３下区 本町４区 元町１区 元町２区

※令和４年度時点では、新庄区は小山地区のため、西里は休止中のため調査対象外

【参考　行政区再編に関する各行政区の意向（行政区別の総覧）

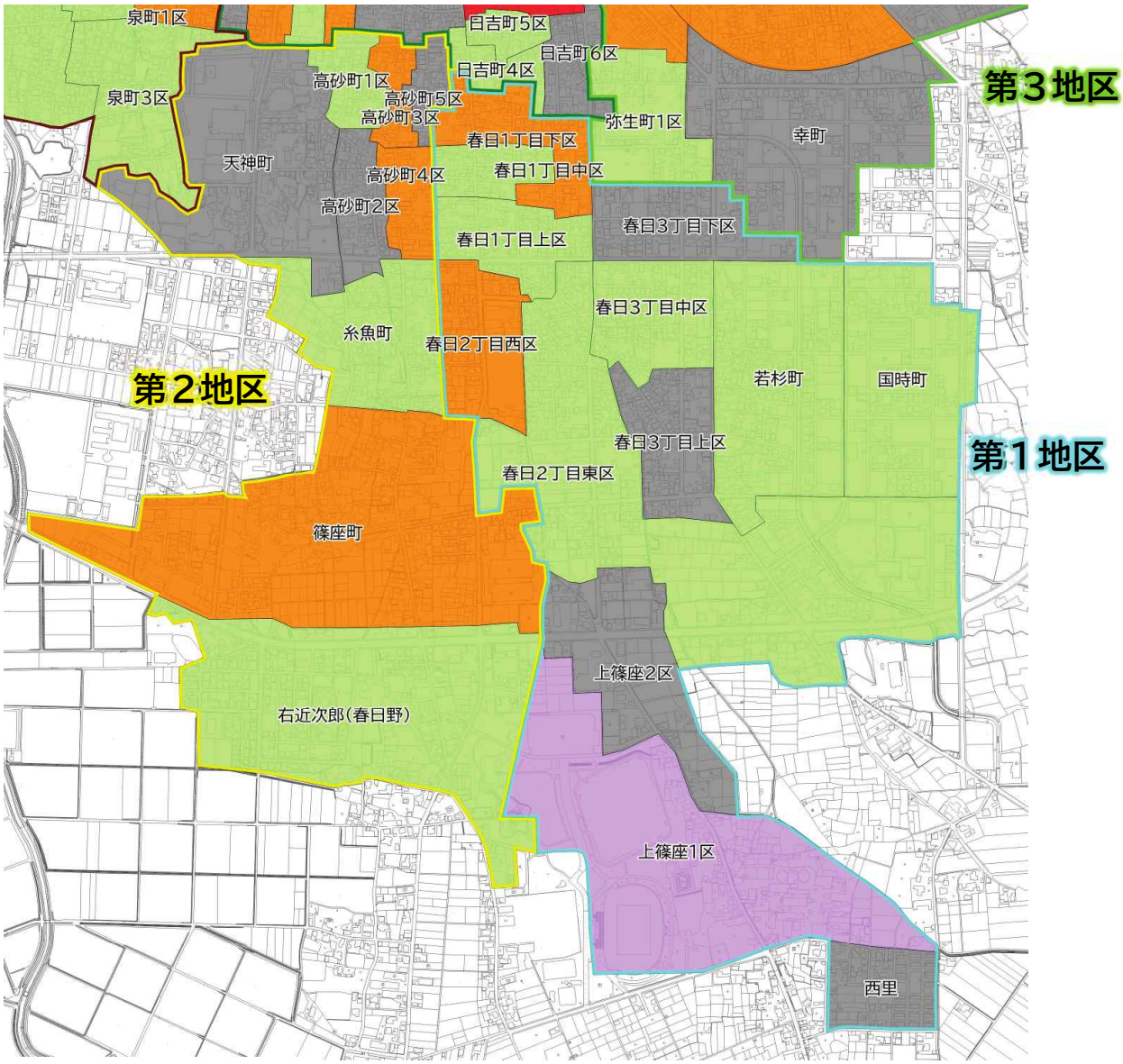
（令和４年度行政区調査より）】

地域地区	行政区名	ご自身の行政区の再編についてはどう考えていますか？
第1地区	春日一丁目上区	再編の必要はない
	春日一丁目中区	再編の必要はない
	春日一丁目下区	いずれは再編したい
	春日二丁目東区	再編の必要はない
	春日二丁目西区	いずれは再編したい
	春日三丁目上区	無回答
	春日三丁目中区	再編の必要はない
	春日三丁目下区	無回答
	上篠座１区	その他
	上篠座２区	無回答
	若杉町	再編の必要はない
	国時町	再編の必要はない
第2地区	高砂町１区	再編の必要はない
	高砂町２区	無回答
	高砂町３区	いずれは再編したい
	高砂町４区	いずれは再編したい
	高砂町５区	無回答
	天神町	無回答
	糸魚町	再編の必要はない
	篠座町	いずれは再編したい
	春日野	再編の必要はない
第3地区	幸町	無回答
	弥生町１区	再編の必要はない
	弥生町２区	いずれは再編したい
	美川町１区	いずれは再編したい
	美川町２区	再編の必要はない
	有明町	いずれは再編したい
	月美町	無回答
	清和町	無回答
	美里町	その他
	吉野町	無回答
第4地区	日吉町１区	無回答
	日吉町２区	その他
	日吉町３区	すぐにでも再編したい
	日吉町４区	再編の必要はない
	日吉町５区	再編の必要はない
	日吉町６区	無回答
	明倫町１区	再編の必要はない
	明倫町２区	無回答
	明倫町３区	いずれは再編したい
	明倫町４区	再編の必要はない
	明倫町５区	いずれは再編したい

地域地区	行政区名	ご自身の行政区の再編についてはどう考えていますか？
第5地区	泉町１区	いずれは再編したい
	泉町２区	再編の必要はない
	泉町３区	再編の必要はない
	水落町１区	再編の必要はない
	水落町２区	いずれは再編したい
	城町１区	いずれは再編したい
	城町２区	いずれは再編したい
	城町３区	無回答
	清瀧	再編の必要はない
第6地区	本町１上区	いずれは再編したい
	本町１下区	いずれは再編したい
	本町２上区	いずれは再編したい
	本町２下区	無回答
	本町３上区	いずれは再編したい
	本町３下区	無回答
	本町４区	無回答
	本町５区	いずれは再編したい
	元町１区	無回答
	元町２区	無回答
	元町３区	すぐにでも再編したい
	元町４区	すぐにでも再編したい
	元町５区	その他
	元町６区	その他
	大和町１区	いずれは再編したい
	大和町２区	その他
	大和町３区	すぐにでも再編したい
	錦町１区	いずれは再編したい
	錦町２区	再編の必要はない
	錦町３区	再編の必要はない
	要町	再編の必要はない

※令和４年度時点では、新庄区は小山地区のため、西里は休止中のため調査対象外

・現時点では第１地区および第２地区には「すぐにでも再編したい」と考える行政区はなく「必要ない」と考える行政区が多い状況です。



※令和４年度時点では、新庄区は小山地区のため、西里は休止中のため調査対象外

図　行政区再編の意向マップ
（第１地区・第２地区）

「その他」の記述内容
・飛び地が２ヶ所（合計４世帯）あるが、地区的には小山地区になるため、そちらへの加入が自然だと思う。

・「すぐにでも再編したい」と考える行政区が隣り合っている区域はありませんが、「いずれは再編したい」と考える行政区や意向を表明していない行政区、「再編したい」わけではないが「いずれ必要」と考えている行政区などと協議、調整に取り組む余地があります。

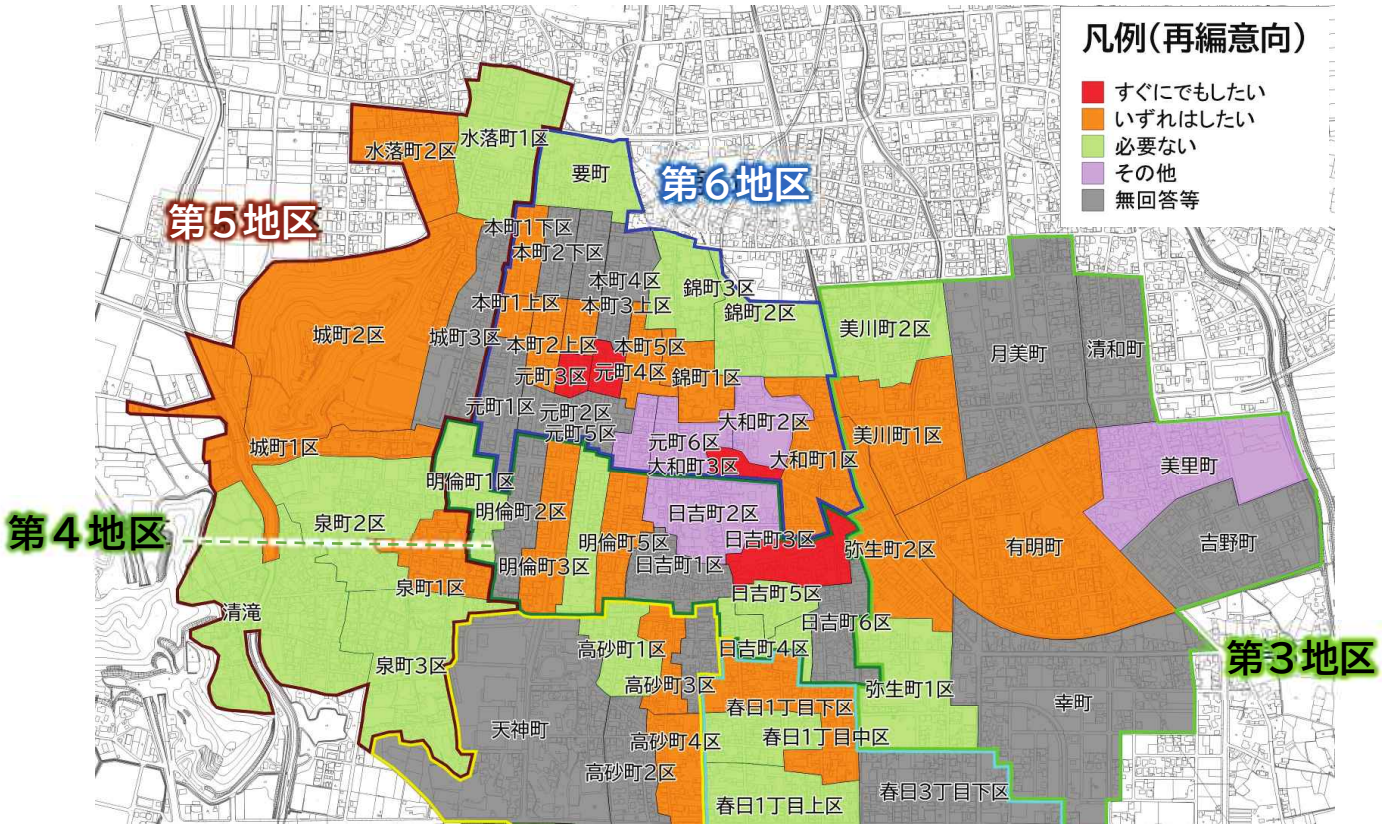


図　行政区再編の意向マップ
（第３地区・第４地区・第５地区・第６地区）

「その他」の記述内容
・10 年後までは再編不要だが、それ以降は不明確。
・再編が必要な行政区は、その行政区内で問題を検討し進めるのが良いと思う。その都度現状に合わせて行うのが良いと思う。大野市全体で検討は必要である（学校の統合などによる行政区の再編は必要と思う）。
・人口減少、高齢化
・現状では再編の必要はないと思う。だが、周囲の行政区では数戸の区もあり、近いうちに世帯数が減って役職につく人がいなくなる恐れがあるので、いずれ再編が必要になると思う。
・まずは大野地区の 6 地域地区制を解消（地域地区会長を置かない、各地域地区会議は廃止、大野地区の区長全体会議で大野地区内の課題を検討する）。区長・行政・第三者からなる行政区再編の協議会を設置（行政区の適正な数規模を議論し、モデルケースの策定）。必要であれば大野地区の地域地区制の復活（学校区、地域性、分かりやすさを加味して）。

3）再編等に関する他都市の事例

【自治会合併】

・福井市では、世帯数が少ない小規模な自治会の合併の話し合いが進められています。

・令和４年には、市街地内の 14 の自治会と隣接自治会との合併に向けて、自治会長、市職員、市自治会連合会の三者で話し合いが進められました。

●福井市で自治会合併の話し合いがされている 14 自治会（令和４年現在）

規模	５世帯以下 ただし、マンション単位の自治会や隣接自治会と地理的に距離があり合併が難しい農村集落を除く
地区別内訳	湊地区：４自治会、順化地区：３自治会 足羽地区：２自治会、旭地区：２自治会 宝永地区：１自治会、豊地区：１自治会 社南地区：１自治会

【集落支援員】

●福井市（令和４年現在）

配置人数	９名：芦見地区および上味見地区の２地区の７集落
主な活動	①地区の巡回、状況の把握（一人暮らし高齢者訪問、異常気象時の見回り、草刈、清掃など維持管理） ②住民の意見集約（自治会長をはじめ住民の相談対応、行政との連絡調整） ③住民のイベント運営のサポート（公民館活動の運営サポート、地区に大学生を入れるコーディネート）

●坂井市

配置人数	１名：竹田地区の４集落
主な活動	①地域巡回、課題や状況の把握、地域団体・住民・行政の連絡調整など ②地域おこし協力隊や緑のふるさと協力隊のサポート

●越前町

配置人数	２名：11 の限界集落を５集落と６集落に分けて担当
主な活動	①集落の見回り　②集落民の心配事聞き取りや相談 ③維持管理の手伝い（草刈、えざらいなど） ④複数集落合同イベントの段取り（健康講座、落語など）

新聞報道（その1）

福井新聞　令和４年 10 月 28 日朝刊 25 面

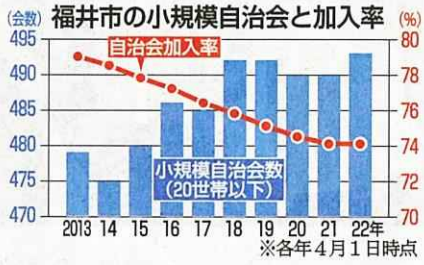
自治会の合併仲介へ

市、市連合会 5世帯以下対象

福井市と市自治会連合会は、世帯数が減少している自治会の機能維持に向けた取り組みを進めている。本年度から、マンションや集落単位の自治会を除き、今後の存続が難しいと思われる市街地の5世帯以下の14自治会に合併を促す事業を始めた。市まち未来創造課は「共助には日頃からの付き合いが大切。機能を維持できるよう積極的に取り組んでいく」としている。（前田皐）

活動成り立たず

今年4月現在、市内には1535自治会があり、7万8312世帯が自治会に加入。自治会数は合併や解散、市営住宅などの解体により昨年よりも七つ減った。加入率は核家族化による世帯数の増加などを要因に年々減少。今年4月時点で74・1％だった。昨年度から、11月を加入促進強化月間と定め、未加入世帯への集中的なチラシのポスティングなどに取り組んでいる。



同課によると自治会の世帯数が減り「活動が成り立たなくなってきた」との声があり、2018年度には役職の負担の重さなどを要因に「乾徳10自治会」が解散。市と同連合会は、促進事業を行うことで解散を選ぶ前に合併を考えてもらいたいという。

本年度は5世帯以下に絞り合併の進め方が分からない自治会の仲介役として、市や同連合会が助言や調整などを行っている。8月から地区連合会長と市の担当者が、自治会合併で活動費を助成する補助制度の説明、相談のため対象自治会を訪問。合併先の目星が付いていれば、協議の場を設けるなど働き掛けていく。

一方で、市は世帯数が減っている集落単位の自治会機能を維持するため、19年度から「集落支援員」を配置。集落出身者1人が月1回以上、集落の活動に参加するなどして課題や悩みを吸い上げ行政との橋渡しを行っている。22年度現在、7集落と芦見、上味見の二つの地域が制度を利用し支援員計9人が活動する。

同課は市中心部では合併の促進を進めるとともに、周縁部の集落では支援員を配置し「両輪で自治会の維持を図っていく」方針。

新聞報道（その2）

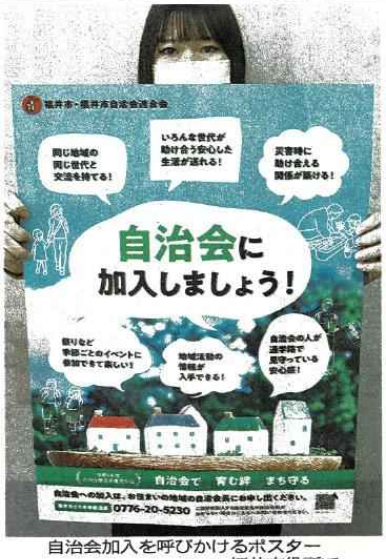
日刊県民福井　令和４年 11 月 27 日朝刊１面

日刊　県民福井　2022年（令和４年）11月27日（日曜日）

小規模自治会 合併の勧め

災害時 助け合い必要

福井市が話し合いの場設置



自治会加入を呼びかけるポスター＝福井市役所で

福井市は、自治会の構成世帯数が減った小規模自治会に活動を維持してもらおうと、近隣自治会との合併を後押ししている。存続のための補助金を設けているほか、本年度からは五世帯以下でつくる自治会を対象に個別で話し合う場をつくっている。（成田真美）

自治会活動を通して地域のつながりをつくっておくことが災害時などに役立つとして、市は自治会への加入を勧めている。

本年度から始めた個別の話し合いは、構成世帯数が五世帯以下の約四十自治会のうち、マンションや集落単位を除き、合併が可能な自治会が近くにある市街地の十四自治会が対象。内訳は湊地区に四、順化地区に三、足羽、旭地区に各二、宝永、豊、社南地区に各一。自治会長と市職員、市自治会連合会長の三者で、合併に向け話し合いを進めている。

二〇一〇（平成二十二）年から設けている補助金は、二十世帯以下でつくる自治会を含んで合併する場合が対象。一自治会あたり五万円と、構成世帯数に応じて一世帯あたり千円を交付しており、これまでの実績は十六件にとる。

まち未来創造課によると、四月一日現在、市内には千五百二十五の自治会があり、加入率は74・1％。自治会数、加入率ともに緩やかな減少傾向にある。二〇一八年末から翌年初めにかけては、高齢化で役職を務められなくなったことなどを理由に各六世帯でつくっていた「東俣町」「乾徳10」が解散した。このようなことから市は、担い手不足が深刻化する前に合併するよう促している。

十一月は、市と市自治会連合会が定める自治会加入促進強化月間。各自治会長を中心に、加入届つきのちらしを未加入世帯に配り、加入を促すポスターを掲示板に貼っている。福井市のハピテラスでは動画を放映中。同課の担当者は「自治会活動は災害時の助け合いや町の美化につながるので、ぜひ加入してほしい」と呼びかけている。

回覧板電子化 補助金を検討

福井市は有料アプリを使って回覧板などを電子化する自治会に対し、補助金を出すことを検討している。自治会活動のデジタル化を促すのが狙い。申請があれば、本年度中にも交付する方針。

まち未来創造課によると、補助金は通信アプリ「LINE（ライン）」や「ラインワークス」、自治会運営支援アプリ「結ネット」などの有料サービスを使う場合に利用できる。小学校区で分けた四十八地区ごとに、一地区あたりの上限を十五万円とする。全額を県の補助金でまかなう。

同課は八月、市内の全千五百三十五自治会にアンケートを実施し、五自治会が有料アプリの導入を希望したため、補助金を導入することにした。スマートフォンのアプリで自治会の連絡ができるようになると、回覧板やちらしを各戸配布する負担を減らせるほか、災害時の安否確認や緊急連絡にも役立つ。

（３）再編以外の共同化・合理化

1）大野地区における共同化の状況（令和4年度調査結果の分析）

・令和４年度の行政区調査のよると、大野地区内で複数の行政区で活動や役職を共同化しているものは、以下のとおりです。

・特徴を分類すると、

①小規模な行政区では活動が難しい、または非効率な活動
（子ども会育成会、防災訓練、自主防災会、民生委員）

②利用者などの範囲が行政区を超える施設の管理に関する活動
（集会所や公園、水路などの施設の管理）

③伝統的に行政区の枠を越えて活動しているもの
（神社、地蔵尊など氏子による例祭、法要、管理）

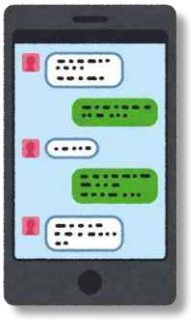
があります。

共同で実施している活動	共同している組織･役職
・子ども会育成会（ラジオ体操を含む） ・防災訓練 ・集会所、公園、水路の管理、清掃 ・夏祭り、どんど焼き ・神社の祭礼、神輿、地蔵尊の法要	・自主防災会 ・民生委員（児童委員） ・交通安全協会委員 ・集会所の管理委員 ・神社の氏子総代

・子ども会育成会など事業費を必要とする活動を共同で実施する場合には、会計処理を一本化するなどの工夫をして運営する必要があります。これらの取組を通じた工夫や知見をその他の活動に展開し、共同化する活動を増やしていくことが合理化、負担の軽減につながる可能性があります。

2）デジタル技術の導入による合理化

・行政区の事業として行われている回覧版の回覧や各種の連絡を「ＬＩＮＥ」などのＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス：社会的な交流の場を提供するインターネット上のサービスの意）やその他のスマートフォンアプリを活用してデジタル化することにより、チラシの仕分け・配布などの作業負担の軽減につながったり、若い世代とのコミュニケーションが気軽にできるようになったり、避難場所の開設など災害情報発信が迅速化するなどの効果が期待できます。



資料編

（１）令和５年度大野地区地域課題解決検討会役員名簿

役職名	選出団体・役職名	氏名
会長	大野地区各種団体連絡協議会長 （大野地区区長会長・大野第３地区区長会長）	米村博之
副会長	大野地区区長会副会長 （大野第１地区区長会長）	西本廣行
副会長	大野地区区長会副会長 （大野第４地区区長会長）	篠島一郎
副会長	大野地区区長会副会長 （大野第５地区区長会長・大野地区まちづくり推進協議会長）	萩原勢子
常任理事	大野第２地区区長会長	澤田国夫
常任理事	大野第６地区区長会長	松田数幸
常任理事	大野地区スポーツ協会長	松原直樹
常任理事	大野長生会長・大野地区社会福祉協議会長	清水武正
常任理事	大野地区子ども会育成会連絡協議会長	松本育倫
幹事	大野地区区長会担当理事（庶務）	森永茂樹
幹事	大野地区区長会担当理事（会計）	篠島喜惠子
監事	大野地区区長会監事	笹川一雄
監事	大野地区区長会監事	朝日正幸

（２）大野地区地域課題解決検討会会則

（名称等）

第１条　本会は、大野地区地域課題解決検討会といい、事務所を大野公民館に置く。

（目的）

第２条　本会は、大野地区における地域課題を把握し、その解決に向けた検討及び取り組みを進めることを目的とする。

（事業）

第３条　本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

(1) 地域課題解決に向けた取組の調査、研究、計画、実践に関すること。

(2) 関係機関団体との連絡調整に関すること。

(3) その他目的達成に必要なこと。

（構成）

第４条　本会は、大野地区内の行政区の長及び大野地区各種団体連絡協議会に加盟する団体の役員で構成する。

（役員）

第５条　本会を運営するため、次の役員を置く。

(1) 会長　１人

(2) 副会長　３人

(3) 常任理事　若干人

(4) 幹事　２人

(5) 監事　２人

２　会長は、大野地区各種団体連絡協議会長をもって充てる。

３　副会長は、大野地区区長会副会長をもって充てる。

４　常任理事は、理事の互選によるものとし、大野地区内の地区区長会の会長及び各種団体連絡協議会に加盟する団体の会長をもって充てる。

５　幹事は、理事の互選によるものとし、各種団体連絡協議会に加盟する団体の庶務、会計の中から会長が委嘱する。

６　監事は、大野地区区長会監事をもって充てる。

（役員の任務）

第６条　会長は、本会を代表し、会務を統轄する。

２　副会長は、会長を補佐し、会長が事故あるときはその職を代行する。

３　常任理事は、予算の編成及び事業の計画並びに所属団体との連絡調整に当たる。

４　幹事は、事務局を担当し、会長の指示に従い、本会の庶務、会計をつかさどる。

５　監事は、本会の会計を監査する。

（役員の選出及び任期）

第７条　役員は、総会において選出する。

２　役員の任期は、２年又はそれぞれ所属する団体による任期とする。ただし、再任を妨げない。

３　欠員によって就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

（理事）

第８条　本会に理事を置き、事業の企画運営及び所属団体における本会事業の周知啓発に当たる。

２　理事は、大野地区内の地区区長会の会長及び副会長並びに大野地区各種団体連絡協議会に加盟する団体の会長及び副会長をもって充てる。

３　理事の任期は、それぞれ所属する団体による任期に準ずる。

４　欠員によって就任した理事の任期は、前任者の残任期間とする。

（会議）

第９条　本会の会議は、総会、役員会及び理事会とする。

２　会議は、会長が招集する。

（総会）

第１０条　総会は、本会の最高決議機関とし、年１回以上、開催する。

２　総会に次の事項を付議する。

(1) 事業実績及び収支決算

(2) 事業計画及び収支予算

(3) 役員の選出

(4) 会則の改廃

(5) その他重要事項

（役員会及び理事会）

第１１条　役員会は、会長、副会長及び常任理事をもって構成し、会長が必要と認めたときに開くことができる。

２　役員会に次の事項を付議する。

(1) 事業及び収支に関する事項

(2) 総会に提案する事項及び総会から委任された事項

(3) その他事業の運営に関する事項

３　理事会は、理事をもって構成し、総会において決定された事項及び事業の推進に必要な事項を審議する。

４　役員会及び理事会の議長は、会長が務める。

（助言）

第１２条　会長は、事業達成のために関係する市職員等の助言を求め、会議に出席を求めることができる。

（プロジェクトチーム）

第１３条　会長は、事業達成のためにプロジェクトチームを構築することができる。

２　プロジェクトチームについては、これを別に定める。

（会計）

第１４条　本会の経費は、補助金及びその他の収入をもって、これに充てる。

２　本会の会計年度は、毎年４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

附則

この会則は、令和３年１２月２３日から施行する。